Gen9 Service Pack for ProLiantコンポーネントリリースノート, v2021.10.0

BIOS - システムROM
ドライバー - Lights-Outマネジメント
ドライバー - ネットワーク
ドライバー - ストレージ
ドライバー - ストレージコントローラー
ドライバー - ストレージファイバーチャネルおよびチャイバーチャネルオーバーイーサーネット
ドライバー - システム
ドライバー - システムマネジメント
ドライバー - ビデオ
ファームウェア - ブレードインフラストラクチャ
ファームウェア - Lights-Outマネジメント
ファームウェア - ネットワーク
ファームウェア - PCIe NVMeストレージディスク
ファームウェア - パワーマネジメント
ファームウェア - SASストレージディスク
ファームウェア - SATAストレージディスク
ファームウェア - ストレージコントローラー
ファームウェア - ストレージファイバーチャネル
ファームウェア - システム
ファームウェア (資格が必要) – ストレージコントローラー
ソフトウェア - Lights-Outマネジメント
ソフトウェア - マネジメント
ソフトウェア - ネットワーク
ソフトウェア - ストレージコントローラー
ソフトウェア - ストレージファイバーチャネル
ソフトウェア - ストレージファイバーチャネルHBA
ソフトウェア - システムマネジメント

BIOS - システムROM

先頭

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL380 Gen9/DL360 Gen9(P89)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-p89-2.90_2021_04_29-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL360/DL380 Gen9システムROM - P89

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL380 Gen9/DL360 Gen9(P89)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: cp047833.exe

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL360/DL380 Gen9システムROM - P89

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL580 Gen9 (U17)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u17-2.90_2021_04_29-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL580 Gen9システムROM - U17

リリースバージョン:

2.90_04-29-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2020

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000019(CPUID 306F4)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000019(CPUID 306F4)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware - HPE ProLiant DL580 Gen9 (U17)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: CP047950.compsig; CP047950.zip

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL580 Gen9システムROM - U17

リリースバージョン:

2.90_04-29-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2020

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000019(CPUID 306F4)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。

ESXi 5.5、ESXi 6.0、およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

ESXi 6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、および5.5用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000019(CPUID 306F4)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL160 Gen9/DL180 Gen9 (U20)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: cp047836.exe

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL160 Gen9/DL180 Gen9システムROM - U20

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL580 Gen9 (U17)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: cp047949.exe

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL580 Gen9システムROM - U17

リリースバージョン:

2.90_04-29-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2020

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000019(CPUID 306F4)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000019(CPUID 306F4)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE Apollo 4200 Gen9/HPE ProLiant XL420 Gen9 (U19) サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: cp047847.exe

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Apollo 4200 Gen9/HPE ProLiant XL420 Gen9システムROM - U19

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant BL460c Gen9/WS460c Gen9(I36)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-i36-2.90_2021_04_29-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant BL460c Gen9/WS460c Gen9システムROM - I36

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046 (CPUID 306F2) および 0x0B00003E (CPUID 406F1)です。この問

題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant BL660c Gen9(I38)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 (B) **(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-i38-2.90_2021_04_29-2.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant BL660c Gen9システムROM - I38

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをSecure Boot DBXにインポートするのに便利です。

修正された問題:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00390 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartArray B140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046 (CPUID 306F2) および 0x0B00003E (CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL160 Gen9/DL180 Gen9(U20)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u20-2.90_2021_04_29-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL160 Gen9/DL180 Gen9システムROM - U20

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題

は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL560 Gen9(P85)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-p85-2.90_2021_04_29-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL560 Gen9システムROM - P85

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL60 Gen9/DL80 Gen9(U15)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u15-2.90_2021_04_29-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL60 Gen9/ProLiant DL80 Gen9 システムROM - U15

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant ML110 Gen9(P99)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-p99-2.90_2021_04_29-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML110 Gen9システムROM - P99

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant ML150 Gen9(P95)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-p95-2.90_2021_04_29-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML150 Gen9システムROM - P95

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant ML350 Gen9(P92)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-p92-2.90_2021_04_29-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML350 Gen9システムROM - P92

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant XL230a/XL250a Gen9(U13)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u13-2.90_2021_04_29-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL230a/250a Gen9 システムROM - U13

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant XL260a Gen9/XL2x260w (U24)サーバー

バージョン: 1.60_01-22-2018 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u24-1.60_2018_01_22-2.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意:

Ver. 1.60(B)には、コンポーネントのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.60と同等です。ファームウェアをバージョン1.60にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンBにアップグレードする必要はありません。

このリビジョンのシステムROMにはインテルのマイクロコードの最新リビジョンが含まれており、オペレーティングシステムのアップデートとの組み合わせで、サイドチャネル解析の脆弱性のバリアント2(Spectreとも呼ばれます)を緩和します。このシステムROMに含まれているマイクロコードのリビジョンでは、Spectreバリアント2の緩和策の一部であった以前のインテルマイクロコードに影響を及ぼしていた、リブート頻度の増加および予測不能なシステム動作の問題はありません。追加情報については、インテルのSecurity Exploit Newsroom(https://newsroom.intel.com/press-kits/security-exploits-intel-products/)から入手できます。

提供名:

HPE ProLiant XL260a Gen9/XL2x260wシステムROM - U24

リリースバージョン:

1.60_01-22-2018

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.60_01-22-2018

以前のリビジョン:

1.50_09-25-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

インテルプロセッサーのマイクロコードを最新バージョンにアップデート。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

Ver. 1.60(B)には、コンポーネントのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.60と同等です。ファームウェアをバージョン1.60にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンBにアップグレードする必要はありません。

このリビジョンのシステムROMにはインテルのマイクロコードの最新リビジョンが含まれており、オペレーティングシステムのアップデートとの組み合わせで、サイドチャネル解析の脆弱性のバリアント2(Spectreとも呼ばれます)を緩和します。このシステムROMに含まれているマイクロコードのリビジョンでは、Spectreバリアント2の緩和策の一部であった以前のインテルマイクロコードに影響を及ぼしていた、リブート頻度の増加および予測不能なシステム動作の問題はありません。追加情報については、インテルのSecurity Exploit Newsroom(https://newsroom.intel.com/press-kits/security-exploits-intel-products/)から入手できます。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

インテルプロセッサーのマイクロコードを最新バージョンにアップデート。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant XL450 Gen9(U21)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u21-2.90_2021_04_29-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL450 Gen9システムROM - U21

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant XL730f/XL740f/XL750f Gen9(U18)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u18-2.90_2021_04_29-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL730f/XL740f/XL750f Gen9システムROM - U18

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE Apollo 4200 Gen9/HPE ProLiant XL420 Gen9 (U19)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: CP047852.compsig; CP047852.zip

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Apollo 4200 Gen9/HPE ProLiant XL420 Gen9システムROM - U19

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。
1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。
ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。
6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。
両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant BL460c Gen9/WS460c Gen9 (I36) サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: CP047766.compsig; CP047766.zip

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant BL460c Gen9/WS460c Gen9システムROM - I36

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。
1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。
ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。
6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。
両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046 (CPUID 306F2) および 0x0B00003E (CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant BL660c Gen9(I38)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: CP047769.compsig; CP047769.zip

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant BL660c Gen9システムROM - I38

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。
1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。
ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。
6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。
両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046 (CPUID 306F2) および 0x0B00003E (CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant DL120 Gen9(P86)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: CP047858.compsig; CP047858.zip

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL120 Gen9システムROM - P86

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。

ESXi 5.1、5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

ESXi 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

ESXi 6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant DL160 Gen9/DL180 Gen9 (U20) サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: CP047837.compsig; CP047837.zip

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL160 Gen9/DL180 Gen9システムROM - U20

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。
1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。
ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。
6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。
両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant DL380 Gen9/DL360 Gen9(P89)サーバー
バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: CP047834.compsig; CP047834.zip

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL360/DL380 Gen9システムROM - P89

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。

ESXi 5.1、5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

ESXi 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

ESXi 6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant DL560 Gen9(P85)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: CP047850.compsig; CP047850.zip

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL560 Gen9システムROM - P85

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。
1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。
ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。
6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。
両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant DL60 Gen9/DL80 Gen9(U15)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: CP047855.compsig; CP047855.zip

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL60 Gen9/ProLiant DL80 Gen9 システムROM - U15

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。

ESXi 5.1、5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

ESXi 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

ESXi 6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant ML110 Gen9(P99)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: CP047846.compsig; CP047846.zip

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML110 Gen9システムROM - P99

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。
1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。
ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。
6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。
両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant ML150 Gen9(P95)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: CP047864.compsig; CP047864.zip

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML150 Gen9システムROM - P95

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。
1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。
ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。
6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。
両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant ML350 Gen9(P92)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: CP047843.compsig; CP047843.zip

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML350 Gen9システムROM - P92

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。
1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。
ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。
6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。
両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant XL450 Gen9(U21)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: CP047840.compsig; CP047840.zip

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL450 Gen9システムROM - U21

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。
1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。
ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。
6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。
両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HPE ProLiant XL230a/XL250a Gen9(U13)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: CP047888.compsig; CP047888.zip

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL230a/250a Gen9 システムROM - U13

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。
1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。
ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。
6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。
両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant BL460c Gen9/WS460c Gen9 (I36)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: cp047765.exe

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant BL460c Gen9/WS460c Gen9システムROM - I36

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046 (CPUID 306F2) および 0x0B00003E (CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant BL660c Gen9 (I38)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048737.exe

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant BL660c Gen9システムROM - I38

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをSecure Boot DBXにインポートするのに便利です。

修正された問題:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00390 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartArray B140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046 (CPUID 306F2) および 0x0B00003E (CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL560 Gen9 (P85)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: cp047849.exe

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL560 Gen9システムROM - P85

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL60 Gen9/DL80 Gen9(U15)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: cp047854.exe

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL60 Gen9/ProLiant DL80 Gen9 システムROM - U15

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant ML110 Gen9 (P99)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: cp047845.exe

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML110 Gen9システムROM - P99

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant ML150 Gen9 (P95)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: cp047863.exe

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML150 Gen9システムROM - P95

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題

は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant ML350 Gen9(P92)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: cp047842.exe

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML350 Gen9システムROM - P92

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen9(U14)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: cp047890.exe

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen9システムROM - U14

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant XL230a/XL250a Gen9 (U13)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: cp047887.exe

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL230a/250a Gen9 システムROM - U13

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant XL450 Gen9 (U21)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: cp047839.exe

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL450 Gen9システムROM - U21

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant XL730f/XL740f/XL750f Gen9 (U18)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: cp047897.exe

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンは、CVE-2019-151に対する緩和策を提供するインテルTrusted eXecution Technology(TXT)の最新サポートが含まれています。この緩和策は、TXTが有効になっているシステムでのみ必要です(TXTはデフォルトで無効になっています)。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 4200 Gen9/HPE ProLiant XL420 Gen9 (U19) サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u19-2.90_2021_04_29-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Apollo 4200 Gen9/HPE ProLiant XL420 Gen9システムROM - U19

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL120 Gen9(P86)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-p86-2.90_2021_04_29-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL120 Gen9システムROM - P86

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL20 Gen9 (U22)サーバー

バージョン: 3.00_04-01-2021 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u22-3.00_2021_04_01-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen9 システムROM - U22

リリースバージョン:

3.00_04-01-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

3.00_04-01-2021

以前のリビジョン:

2.90_11-27-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-24512 として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-464に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x000000EA(CPUID 506E3およびCPUID 906E9)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROMのこのリビジョンには、インテルのサイティングCVE-2020-24512の緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00463 に文章化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x000000EA(CPUID 506E3)および0x000000EA(CPUID 906E9)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8670 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-24512 として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-464に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x000000EA(CPUID 506E3およびCPUID 906E9)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROMのこのリビジョンには、インテルのサイティングCVE-2020-24512の緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00463 に文章化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x000000EA(CPUID 506E3)および0x000000EA(CPUID 906E9)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8670 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant EC200a (U26) サーバー/HPE ProLiant Thin Micro TM200 (U26) サーバー

バージョン: 2.66_07-19-2019 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u26-2.66_2019_07_19-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant Thin Micro TM200システムROM - U26

リリースバージョン:

2.66_07-19-2019

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.66_07-19-2019

以前のリビジョン:

2.62_02-20-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、Intel TSX(Transactional Synchronizations Extensions)Sightingの修正を含む最新のシステムROMへの更新後にシステムがマシンチェックを経験する可能性があるIntel Sightingの緩和を提供するIntelマイクロコードの最新リビジョンが含まれます。以前のマイクロコードは、v2.62システムROMで最初に導入されました。この問題は、Intel Xeon® D-1500プロセッサーで構成されたシステムにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、Intel TSX(Transactional Synchronizations Extensions)Sightingの修正を含む最新のシステムROMへの更新後にシステムがマシンチェックを経験する可能性があるIntel Sightingの緩和を提供するIntelマイクロコードの最新リビジョンが含まれます。以前のマイクロコードは、v2.62システムROMで最初に導入されました。この問題は、Intel Xeon® D-1500プロセッサーで構成されたシステムにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

拡張

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant ML30 Gen9 (U23)サーバー

バージョン: 3.00_04-01-2021 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u23-3.00_2021_04_01-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen9 システムROM - U23

リリースバージョン:

3.00_04-01-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

3.00_04-01-2021

以前のリビジョン:

2.90_11-27-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-24512 として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-464に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x000000EA(CPUID 506E3およびCPUID 906E9)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROMのこのリビジョンには、インテルのサイティングCVE-2020-24512の緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00463 に文章化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x000000EA(CPUID 506E3)および0x000000EA(CPUID 906E9)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8670 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-24512 として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-464に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x000000EA(CPUID 506E3およびCPUID 906E9)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROMのこのリビジョンには、インテルのサイティングCVE-2020-24512の緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00463 に文章化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x000000EA(CPUID 506E3)および0x000000EA(CPUID 906E9)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8670 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen9(U14)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u14-2.90_2021_04_29-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen9システムROM - U14

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant XL270d (U25) アクセラレータトレイ

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u25-2.90_2021_04_29-1.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL270dアクセラレータトレイシステムROM - U25

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

スタンダードLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware - HPE ProLiant DL20 Gen9 (U22)サーバー

バージョン: 3.00_04-01-2021 **(推奨)**
ファイル名: CP047378.compsig; CP047378.zip

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen9 システムROM - U22

リリースバージョン:

3.00_04-01-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

3.00_04-01-2021

以前のリビジョン:

2.90_11-27-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-24512 として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-464に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x000000EA(CPUID 506E3およびCPUID 906E9)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROMのこのリビジョンには、インテルのサイティングCVE-2020-24512の緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00463 に文章化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x000000EA(CPUID 506E3)および0x000000EA(CPUID 906E9)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8670 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。
1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) をインストールされて稼動している必要があります。
ESXi 5.5、ESXi 6.0、ESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、および5.5用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-24512 として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-464に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x000000EA(CPUID 506E3およびCPUID 906E9)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROMのこのリビジョンには、インテルのサイティングCVE-2020-24512の緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00463 に文章化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x000000EA(CPUID 506E3)および0x000000EA(CPUID 906E9)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8670 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware - HPE ProLiant EC200a (U26) サーバー/HPE ProLiant Thin Micro TM200 (U26) サーバー

バージョン: 2.66_07-19-2019 **(推奨)**
ファイル名: CP040773.compsig; CP040773.zip

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant Thin Micro TM200システムROM - U26

リリースバージョン:

2.66_07-19-2019

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.66_07-19-2019

以前のリビジョン:

2.62_02-20-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、Intel TSX(Transactional Synchronizations Extensions)Sightingの修正を含む最新のシステムROMへの更新後にシステムがマシンチェックを経験する可能性があるIntel Sightingの緩和を提供するIntelマイクロコードの最新リビジョンが含まれます。以前のマイクロコー

ドは、v2.62システムROMで最初に導入されました。この問題は、Intel Xeon® D-1500プロセッサーで構成されたシステムにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.5、ESXi 6.0、およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

ESXi 6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、および5.5用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、Intel TSX(Transactional Synchronizations Extensions)Sightingの修正を含む最新のシステムROMへの更新後にシステムがマシンチェックを経験する可能性があるIntel Sightingの緩和を提供するIntelマイクロコードの最新リビジョンが含まれます。以前のマイクロコードは、v2.62システムROMで最初に導入されました。この問題は、Intel Xeon® D-1500プロセッサーで構成されたシステムにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

拡張

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware - HPE ProLiant ML30 Gen9 (U23)サーバー

バージョン: 3.00_04-01-2021 **(推奨)**
ファイル名: CP047379.compsig; CP047379.zip

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen9 システムROM - U23

リリースバージョン:

3.00_04-01-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

3.00_04-01-2021

以前のリビジョン:

2.90_11-27-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-24512 として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-464に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x000000EA(CPUID 506E3およびCPUID 906E9)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROMのこのリビジョンには、インテルのサイティングCVE-2020-24512の緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00463 に文章化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x000000EA(CPUID 506E3)および0x000000EA(CPUID 906E9)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8670 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。
1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。
ESXi 5.5、ESXi 6.0、ESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、および5.5用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-24512 として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-464に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x000000EA(CPUID 506E3およびCPUID 906E9)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROMのこのリビジョンには、インテルのサイティングCVE-2020-24512の緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00463 に文章化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x000000EA(CPUID 506E3)および0x000000EA(CPUID 906E9)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8670 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware - HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen9 (U14)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: CP047891.compsig; CP047891.zip

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen9システムROM - U14

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。

ESXi 5.1、5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

ESXi 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

ESXi 6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL120 Gen9 (P86)サーバー

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: cp047857.exe

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL120 Gen9システムROM - P86

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL20 Gen9 (U22)サーバー

バージョン: 3.00_04-01-2021 **(推奨)**
ファイル名: cp047376.exe

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen9 システムROM - U22

リリースバージョン:

3.00_04-01-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

3.00_04-01-2021

以前のリビジョン:

2.90_11-27-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-24512 として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-464に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x000000EA(CPUID 506E3およびCPUID 906E9)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROMのこのリビジョンには、インテルのサイティングCVE-2020-24512の緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00463 に文章化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x000000EA(CPUID 506E3)および0x000000EA(CPUID 906E9)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8670 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-24512 として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-464に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x000000EA(CPUID 506E3およびCPUID 906E9)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROMのこのリビジョンには、インテルのサイティングCVE-2020-24512の緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00463 に文章化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x000000EA(CPUID 506E3)および0x000000EA(CPUID 906E9)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8670 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-

00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant EC200a (U26) サーバー/HPE ProLiant Thin Micro TM200 (U26) サーバー

バージョン: 2.66_07-19-2019 **(推奨)**
ファイル名: cp040771.exe

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant Thin Micro TM200システムROM - U26

リリースバージョン:

2.66_07-19-2019

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.66_07-19-2019

以前のリビジョン:

2.62_02-20-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、Intel TSX(Transactional Synchronizations Extensions)Sightingの修正を含む最新のシステムROMへの更新後にシステムがマシンチェックを経験する可能性があるIntel Sightingの緩和を提供するIntelマイクロコードの最新リビジョンが含まれます。以前のマイクロコードは、v2.62システムROMで最初に導入されました。この問題は、Intel Xeon® D-1500プロセッサーで構成されたシステムにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、Intel TSX(Transactional Synchronizations Extensions)Sightingの修正を含む最新のシステムROMへの更新後にシステムがマシンチェックを経験する可能性があるIntel Sightingの緩和を提供するIntelマイクロコードの最新リビジョンが含まれます。以前のマイクロコードは、v2.62システムROMで最初に導入されました。この問題は、Intel Xeon® D-1500プロセッサーで構成されたシステムにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

拡張

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant ML30 Gen9 (U23)サーバー

バージョン: 3.00_04-01-2021 **(推奨)**
ファイル名: cp047377.exe

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen9 システムROM - U23

リリースバージョン:

3.00_04-01-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

3.00_04-01-2021

以前のリビジョン:

2.90_11-27-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-24512 として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-464に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x000000EA(CPUID 506E3およびCPUID 906E9)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROMのこのリビジョンには、インテルのサイティングCVE-2020-24512の緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00463 に文章化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x000000EA(CPUID 506E3)および0x000000EA(CPUID 906E9)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8670 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-24512 として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-464に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x000000EA(CPUID 506E3およびCPUID 906E9)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROMのこのリビジョンには、インテルのサイティングCVE-2020-24512の緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00463 に文章化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x000000EA(CPUID 506E3)および0x000000EA(CPUID 906E9)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8670 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant XL270d (U25) アクセラレータトレイ

バージョン: 2.90_04-29-2021 **(推奨)**
ファイル名: cp047894.exe

重要な注意！

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL270dアクセラレータトレイシステムROM - U25

リリースバージョン:

2.90_04-29-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_04-29-2021

以前のリビジョン:

2.80_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、MDクリアと呼ばれるインテルの技術的な問題を緩和する最新のインテル製マイクロコードが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000046(CPUID 306F2)および0x0B00003E(CPUID 406F1)です。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12360 および CVE-2020-12357 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

ドライバー - Lights-Outマネジメント

先頭

ESXi 7.0用のHPE iLOネイティブドライバー

バージョン: 10.7.5 **(推奨)**
ファイル名: ilo-driver_700.10.7.5.2-1OEM.700.1.0.15843807_17856914.zip

修正

- リロード時およびクイックブートが有効になっているときにコントローラーが正しく機能できるように、ドライバーのアンロード機能を修正しました。

ドライバー - ネットワーク

先頭

HP Mellanox RoCE(RDMA over Converged Ethernet)ドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8 (x86_64)

バージョン: 4.9-3.1.6.1 **(推奨)**
ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.3.1.6.1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.3.1.6.1.rhel7u8.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.3.1.6.1.rhel7u8.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.3.1.6.1.rhel7u8.x86_64.rpm

重要な注意！

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ(https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン4.9で修正されました。

- デバイスに大きな負荷がかかっているときに、IOMMUの割り当てエラーが発生しました。
- "ibv_devinfo -v"コマンドで、サポートされていても一部のMEM_WINDOW機能が出力されませんでした。

拡張

バージョン4.9には、以下の変更と新機能が追加されています。

- **ConnectX-5以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- デバッグ機能を改善するために、devlinkツールを使用して構成スペースをダンプするオプション。
- 従来のTXディスクリプター(WQE、ワークキューエレメント)は送信用の単一のパケットを記述します。XDP送信フローでのマルチパケットTX WQEというHW機能のドライバーサポートを追加しました。これにより、HWで、複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトの使用が可能になります。実際、この機能によってPCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- GENEVEのカプセル化/非カプセル化ルールのオフロード。
- XDP送信フロー用に単一のパケットではなく複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトを使用するマルチパケットTxというハードウェア機能のドライバーサポート。これにより、PCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したCT(接続追跡)ルールのアップデート。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したリモートミラーリングルールのアップデート。

- **ConnectX-4以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- 物理ポートのバッファー不足のためにドロップされた受信パケットの数をカウントする、優先順位ごとのrx_prio[p]_discards破棄カウンターを公開しました。
- MPLSタグ付きトラフィックのTSOおよびCSUMオフロード機能をレポートし、カーネルスタックでこれらのオフロードを使用できるようにします。
- mlx5eの最大結合チャネルで、ドライバーの最大結合チャネル値を64から128に増やしました(ただし、OOB値は64を超えないので注意してください)。128が上限です。ファームウェアによって構成されたコアとMSIXの数に応じて、ホストでの最大値がこれよりも下がる可能性があります。
- 次のRoCEアクセラレーターカウンターを追加しました。
  - roce_adp_retrans - RoCEトラフィックのアダプティブ再送信の数をカウントします。
  - roce_adp_retrans_to - RoCEトラフィックがアダプティブ再送信のためにタイムアウトに達した回数をカウントします。

        - roce_slow_restart - RoCEスローリスタートが使用された回数をカウントします。
        - roce_slow_restart_cnps - RoCEスローリスタートによってCNPパケットが生成された回数をカウントします。roce_slow_restart_trans - RoCEスローリスタートによって状態がスローリスタートに変更された回数をカウントします。
    - ユーザーは、実験的なVerbsを使用してリラックスオーダリングアクセスフラグでメモリ領域を登録します。これにより、アーキテクチャやシナリオに応じてパフォーマンスが向上する可能性があります。

    - **すべてのHCAの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- ibdev2netdevツールの出力が変更されたため、ボンディングデバイスがスレーブインターフェイスではなくボンディングを指すようになりました。
- Cookieエラーやタイムアウトなど、RXキューで発生するエラーの監視およびエラーからの回復。
- ドアベルの使用量を必要最低限に減らすことにより、GSO(Generic Segmentation Offload)ワークロードのパフォーマンスを改善しました。
- TX CQE(完了キューエントリー)の圧縮。CQEをまとめて圧縮することにより、送信PCIe帯域幅を節約します。デフォルトでは無効になっています。ethtoolのプライベートフラグで構成可能です。
- devlinkによるファームウェアバージョンのクエリ―:devlinkツールを使用して、実行中および保存されているファームウェアバージョンをクエリするオプションを追加しました。
- devlinkによるファームウェアフラッシュのアップデート:devlinkツールを使用してフラッシュ内のファームウェアイメージをアップデートするオプションを追加しました。使用法:devlink dev flash file .mfa2 このアップデートの実行方法の詳細は、MFTユーザーマニュアルの「Updating Firmware Using ethtool/devlink and .mfa2 File」セクションを参照してください。
- Rx/Txレポーターに関するエラーによってトリガーされるWQE(ワークキューエレメント)のダンプ。また、(エラーによってトリガーされない)一部のダンプは、ユーザーがdevlink healthレポーターを使用して取得できます。
- TSO、CSUM、およびRSSのGENEVEでトンネル化されたハードウェアオフロード。
- MPLSタグ付きトラフィック用のTCPセグメンテーションとチェックサムオフロードのサポート。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 Update 8 (x86_64)カーネルは、次の通りです。
3.10.0-1127.el7 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Blade Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 12.0.1171.0 **(オプション)**
ファイル名: cp039931.compsig; cp039931.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Windows (x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバーfor Windows Server 2019

バージョン: 12.0.1171.0 (B) **(オプション)**
ファイル名: cp049074.compsig; cp049074.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Windows (x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は現在、HPE ProLiant BL660c Gen9サーバーをサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbE iSCSIドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**

ファイル名: kmod-be2iscsi_bl-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi_bl-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-be2iscsi_bl-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi_bl-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE*ファームウェアフラッシュ*for Emulex*メザニンコンバージドネットワークアダプター*for Linux (x64)*、バージョン2021.02.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8および9をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbE iSCSIドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 12.0.1342.0-1 (B) **(オプション)**

ファイル名: kmod-be2iscsi_bl-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi_bl-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-be2iscsi_bl-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi_bl-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade*ファームウェアフラッシュ*for Emulex*メザニンコンバージドネットワークアダプター*for Linux (x64)*、バージョン2021.09.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は現在、HPE ProLiant BL660c Gen9サーバーをサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbE iSCSIドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**

ファイル名: be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE*ファームウェアフラッシュ*for Emulex*メザニンコンバージドネットワークアダプター*for Linux (x64)*、バージョン2021.02.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbE iSCSIドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 12.0.1342.0-1 (B) **(オプション)**

ファイル名: be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-

1.sles15sp1.x86_64.rpm; be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE*ファームウェアフラッシュ*for Emulex*メザニンコンバージドネットワークアダプター*for Linux (x64)*、バージョン2021.02.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbE iSCSIドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2019.12.20 **(オプション)**
ファイル名: cp039936.compsig; cp039936.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *VMware vSphere 6.5*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbE iSCSIドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2019.12.20 **(オプション)**
ファイル名: cp039935.compsig; cp039935.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *VMware vSphere 6.7*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**
ファイル名: be2net_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; be2net_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; be2net_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; be2net_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE*ファームウェアフラッシュ*for Emulex*メザニンコンバージドネットワークアダプター*for Linux (x64)*、バージョン2021.02.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 12.0.1342.0-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: be2net_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; be2net_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; be2net_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; be2net_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE*ファームウェアフラッシュ*for Emulex*メザニンコンバージドネットワークアダプター*for Linux (x64)*、バージョン2021.02.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-be2net_bl-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-be2net_bl-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-be2net_bl-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-be2net_bl-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE*ファームウェアフラッシュ*for Emulex*メザニンコンバージドネットワークアダプター*for Linux (x64)*、バージョン2021.02.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8および9をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 12.0.1342.0-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: kmod-be2net_bl-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-be2net_bl-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-be2net_bl-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-be2net_bl-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade*ファームウェアフラッシュ*for Emulex*メザニンコンバージドネットワークアダプター*for Linux (x64)*、バージョン2021.09.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は現在、HPE ProLiant BL660c Gen9サーバーをサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2020.03.09 **(オプション)**
ファイル名: cp042919.compsig; cp042919.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex Converged Network Adapters for VMware vSphere 6.5*、バージョン2019.12.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、ネットワークの接続性に影響するvmnicフラッピングの問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2020.03.09 **(オプション)**
ファイル名: cp042920.compsig; cp042920.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *VMware vSphere 6.7*、バージョン2019.12.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、ネットワークの接続性に影響するvmnicフラッピングの問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 12.0.1344.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045173.compsig; cp045173.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade*ファームウェアフラッシュ*for Emulex*メザニンコンバージドネットワークアダプター*for Microsoft Windows Server 2016/2019(x64)*、バージョン2021.09.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

このドライバーは、WindowsイベントID 67の後に発生するWindows停止エラー(BSOD)に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor Windows Server 2019

バージョン: 12.0.1344.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045174.compsig; cp045174.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade*ファームウェアフラッシュ*for Emulex*メザニンコンバージドネットワークアダプター*for Microsoft Windows Server 2016/2019(x64)*、バージョン2021.09.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

このドライバーは、WindowsイベントID 67の後に発生するWindows停止エラー(BSOD)に対処します。
このドライバーは、ソフトウェアデファインドデータセンター(SDDC)のBSODが発生する問題を修正します。

拡張

この製品は現在、HPE ProLiant BL660c Gen9サーバーをサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbenドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.04.19 **(オプション)**
ファイル名: cp045171.compsig; cp045171.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for VMware*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、計算時のVFの問題、PFインターフェイスのリセット、リンク状態の伝播、およびVLANトランクのシナリオに対処します。

拡張

この製品は現在、VMware vSphere 6.5 U3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbenドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2019.12.20 **(オプション)**
ファイル名: cp039953.compsig; cp039953.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン1.0.7以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、PCIeリンクがダウンした場合に再帰が正しく終了するように、再帰終了条件を修正します。

この製品は、SFP+モジュールがない場合にixgbenドライバーのCPUオーバーヘッドが高くなる問題に対処します。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbenドライバーfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2020.06.01 **(オプション)**
ファイル名: cp041435.compsig; cp041435.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for VMware*、バージョン1.1.2以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbevfドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 4.9.3-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-ixgbevf_bl-4.9.3-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf_bl-4.9.3-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevf_bl-4.9.3-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf_bl-4.9.3-1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、複数のVFが同じ重複したMACアドレスを持つSRIOVを有効にするときに見られる問題を修正します。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8および9をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbevfドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 4.9.3-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-ixgbevf_bl-4.9.3-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf_bl-4.9.3-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevf_bl-4.9.3-2.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf_bl-4.9.3-2.rhel8u3.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は現在、HPE ProLiant BL660c Gen9サーバーをサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbevfドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 4.9.3-1 **(オプション)**
ファイル名: hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、複数のVFが同じ重複したMACアドレスを持つSRIOVを有効にするときに見られる問題を修正します。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbevfドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 4.9.3-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.9.3_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.9.3_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、複数のVFが同じ重複したMACアドレスを持つSRIOVを有効にするときに見られる問題を修正します。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbeドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 5.9.4-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-ixgbe_bl-5.9.4-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe_bl-5.9.4-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe_bl-5.9.4-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe_bl-5.9.4-1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8および9をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター

HPE Blade Intel ixgbeドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 5.9.4-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-ixgbe_bl-5.9.4-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe_bl-5.9.4-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe_bl-5.9.4-2.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe_bl-5.9.4-2.rhel8u3.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は現在、HPE ProLiant BL660c Gen9サーバーをサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbeドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 5.9.4-1 **(オプション)**
ファイル名: hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbeドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 5.9.4-1 (B) **(オプション)**

ファイル名: hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.9.4_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.9.4_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixnドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 4.1.199.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045176.compsig; cp045176.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップデートユーティリティ*for Windows Server x64 Edition*、バージョン1.0.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリ、ixtmsg.dll、nicco5.dll、およびnicinitx.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHPE Intel ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixnドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 4.1.197.0 (B) **(オプション)**
ファイル名: cp049075.compsig; cp049075.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップデートユーティリティ*for Windows Server x64 Edition*、バージョン1.0.5.2以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は現在、HPE ProLiant BL660c Gen9サーバーをサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHPE Intel ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel vxnドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 2.1.192.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045179.compsig; cp045179.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップデートユーティリティ*for Windows Server x64 Edition*、バージョン1.0.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーではホストドライバーバージョン4.1.199.0以降が必要です。

修正

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリ、vxnmsg.dll、nicco5.dll、およびnicinvxn.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHPE Intel ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel vxnドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 2.1.191.0 (B) **(オプション)**
ファイル名: cp049076.compsig; cp049076.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップデートユーティリティ*for Windows Server x64 Edition*、バージョン1.0.5.2以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーではホストドライバーバージョン4.1.197.0以降が必要です。

拡張

この製品は現在、HPE ProLiant BL660c Gen9サーバーをサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHPE Intel ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade QLogic iSCSI Offload IO Daemon for SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3

バージョン: 2.11.5.13-3 (B) **(オプション)**
ファイル名: iscsiuio_bl-2.11.5.13-3.sles12sp3.x86_64.compsig; iscsiuio_bl-2.11.5.13-3.sles12sp3.x86_64.rpm

修正

この製品は、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbE マルチファンクションドライバーfor Windows Server x64 Editions

バージョン: 7.13.206.0 **(オプション)**
ファイル名: cp047540.compsig; cp047540.exe

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Windows Server x64 Editions*、バージョン1.0.5.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

このドライバーは、NIC VMSwitchで無効なvPort IDが使用された場合にWindows停止エラー(BSOD)が発生する問題を修正します。
このドライバーは、仮想マシンキュー(VMQ)が有効になっている場合にネットワークが断続的に切断される問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー for VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.09.01 **(オプション)**
ファイル名: cp047831.compsig; cp047831.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for VMware*、バージョン1.5.2以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、アイドル状態なしでデバイス状態が変化するときに発生するPSODに対処します。
この製品は、ファブリックログインのスケジューリング中に発生するPSODに対処します。
この製品は、PSODの問題に対処して、作業キューの即時フラッシュおよびアンロード/静止メカニズムを強化します。

拡張

この製品は、HPE XP7ストレージアレイのPLOGIを強化します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー for VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.09.01 **(オプション)**
ファイル名: cp047629.compsig; cp047629.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for VMware*、バージョン1.5.2以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、データダンプの収集中に発生するPSODに対処します。
この製品は、アップリンクリセットの失敗時に見られるPSODに対処します。
この製品は、アイドル状態なしでデバイス状態が変化するときに発生するPSODに対処します。
この製品は、ファブリックログインのスケジューリング中に発生するPSODに対処します。
この製品は、PSODの問題に対処して、作業キューの即時フラッシュおよびアンロード/静止メカニズムを強化します。

拡張

この製品は、HPE XP7ストレージアレイのPLOGIを強化します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー for VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.09.01 **(オプション)**
ファイル名: cp047630.compsig; cp047630.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for VMware*、バージョン1.5.2以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、データダンプの収集中に発生するPSODに対処します。
この製品は、アップリンクリセットの失敗時に見られるPSODに対処します。
この製品は、アイドル状態なしでデバイス状態が変化するときに発生するPSODに対処します。
この製品は、ファブリックログインのスケジューリング中に発生するPSODに対処します。
この製品は、PSODの問題に対処して、作業キューの即時フラッシュおよびアンロード/静止メカニズムを強化します。

拡張

この製品は現在、VMware ESXi 7.0 U3をサポートしています。
この製品は、HPE XP7ストレージアレイのPLOGIを強化します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 7.14.80-5 **(オプション)**
ファイル名: kmod-netxtreme2_bl-7.14.80-5.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2_bl-7.14.80-5.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-netxtreme2_bl-7.14.80-5.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2_bl-7.14.80-5.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.5.2以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、ファームウェアバージョン1.5.xとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 7.14.80-5 **(オプション)**
ファイル名: kmod-netxtreme2_bl-7.14.80-5.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2_bl-7.14.80-5.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-netxtreme2_bl-7.14.80-5.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2_bl-7.14.80-5.rhel8u4.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.5.2以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 8 Update 4をサポートします。

この製品は現在、HPE ProLiant BL660c Gen9サーバーをサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 7.14.80-5 **(オプション)**
ファイル名: netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.80_k4.12.14_120-5.sles12sp5.x86_64.compsig; netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.80_k4.12.14_120-5.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.5.2以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、ファームウェアバージョン1.5.xとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 7.14.80-5 **(オプション)**
ファイル名: netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.80_k5.3.18_22-5.sles15sp2.x86_64.compsig; netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.80_k5.3.18_22-5.sles15sp2.x86_64.rpm; netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.80_k5.3.18_57-5.sles15sp3.x86_64.compsig; netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.80_k5.3.18_57-5.sles15sp3.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.5.2以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は現在、SUSE Linux Enterprise Server 15 SP3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 iSCSI Offload IO Daemon for SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1

バージョン: 2.11.5.13-3 (B) **(オプション)**
ファイル名: iscsiuio_bl-2.11.5.13-3.sles15sp1.x86_64.compsig; iscsiuio_bl-2.11.5.13-3.sles15sp1.x86_64.rpm

修正

この製品は、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリfor Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9

バージョン: 218.0.7.0 **(オプション)**
ファイル名: libbnxt_re-218.0.7.0-rhel7u9.x86_64.compsig; libbnxt_re-218.0.7.0-rhel7u9.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for Red Hat Enterprise Linux 7*、バージョン1.10.2-218.0.65.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

拡張

最初のリリースです

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 1.10.2-218.0.67.0 **(オプション)**
ファイル名: bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k4.12.14_120-218.0.67.0.sles12sp5.x86_64.compsig; bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k4.12.14_120-218.0.67.0.sles12sp5.x86_64.rpm; bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k4.12.14_94.41-218.0.67.0.sles12sp4.x86_64.compsig; bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k4.12.14_94.41-218.0.67.0.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン、218.0.166000以降を推奨しています。

修正

- この製品は、ブロードキャストトラフィックの実行中にドライバーのアンロードとロードをループで実行するとシステムがクラッシュする問題に対処します
- この製品は、ifup(ネットワークインターフェイスの起動)の前にbnxt_enモジュールがNULLポインター逆参照でクラッシュする問題に対処します
- この製品は、PCIe AER(Advanced Error Reporting)デバイスの回復が成功した後にカーネルパニックが発生する問題に対処します
- この製品は、SRIOVを有効にするときにbnxt_enがNULLポインター逆参照でクラッシュする問題に対処します
- この製品は、ethtool -S tx_bytesおよびrx_bytesのカウンター値が実際の値をはるかに超えるエラーを修正します
- この製品は、sysfsを介してVFのhwmon温度を照会する際のエラーメッセージを修正します

拡張

この製品は、ethtoolツールでPAM4速度情報をサポートするようになりました

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 1.10.2-218.0.67.0 **(オプション)**
ファイル名: bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k4.12.14_195-218.0.67.0.sles15sp1.x86_64.compsig; bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k4.12.14_195-218.0.67.0.sles15sp1.x86_64.rpm; bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k5.3.18_22-218.0.67.0.sles15sp2.x86_64.compsig; bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k5.3.18_22-218.0.67.0.sles15sp2.x86_64.rpm; README

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン、218.0.166000以降を推奨しています。

修正

- この製品は、ブロードキャストトラフィックの実行中にドライバーのアンロードとロードをループで実行するとシステムがクラッシュする問題に対処します
- この製品は、ifup(ネットワークインターフェイスの起動)の前にbnxt_enモジュールがNULLポインター逆参照でクラッシュする問題に対処します
- この製品は、PCIe AER(Advanced Error Reporting)デバイスの回復が成功した後にカーネルパニックが発生する問題に対処します
- この製品は、SRIOVを有効にするときにbnxt_enがNULLポインター逆参照でクラッシュする問題に対処します
- この製品は、ethtool -S tx_bytesおよびrx_bytesのカウンター値が実際の値をはるかに超えるエラーを修正します
- この製品は、sysfsを介してVFのhwmon温度を照会する際のエラーメッセージを修正します

拡張

- この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2をサポートしています
- この製品は、ethtoolツールでPAM4速度情報をサポートするようになりました

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.04.05 **(オプション)**
ファイル名: cp045073.compsig; cp045073.zip

重要な注意！

- このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。
- このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン、218.0.166000以降を推奨しています。

修正

この製品は、リモートダイレクトメモリアクセス(RDMA)トラフィック上で仮想SAN(vSAN)を実行しているときに、無効な完了キュー要素(CQE)が原因でPurple Screen Of Death(PSOD)が発生する問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.04.05 **(オプション)**
ファイル名: cp045074.compsig; cp045074.zip

重要な注意！

- このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。
- このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン、218.0.166000以降を推奨しています。

修正

この製品は、リモートダイレクトメモリアクセス(RDMA)トラフィック上で仮想SAN(vSAN)を実行しているときに、無効な完了キュー要素(CQE)が原因でPurple Screen Of Death(PSOD)が発生する問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.04.05 **(オプション)**
ファイル名: cp045075.compsig; cp045075.zip

重要な注意！

- このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。
- このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン、218.0.166000以降を推奨しています。

修正

この製品は、リモートダイレクトメモリアクセス(RDMA)トラフィック上で仮想SAN(vSAN)を実行しているときに、無効な完了キュー要素(CQE)が原因でPurple Screen Of Death(PSOD)が発生する問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 218.0.32.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045020.compsig; cp045020.exe

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン、218.0.166000以降を推奨しています。

修正

- この製品は、使用できないWake-on-LAN(WoL)機能を修正します。
- この製品は、WindowsがホストOSである場合に、特定の仮想OSでVFがロードされない問題を修正します。
- この製品は、IRP SystemBufferアクセスの競合状態によって引き起こされるユーザーモードRDMAのBSoD(Blue Screen of Death)の問題を修正します。
- この製品は、NDISドライバーのアンインストール時に発生するWindows Stop Error BSoD(Blue Screen of Death)を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 218.0.32.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045021.compsig; cp045021.exe

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン、218.0.166000以降を推奨しています。

修正

- この製品は、致命的でないエラーの後でシステムが回復するときにシステムがフリーズして再起動する問題を修正します。
- この製品は、Windows 2019でインボックスドライバーのアップデート後に観察されたBSODの問題を修正します。
- この製品は、WindowsがホストOSである場合に、特定の仮想OSでVFがロードされない問題を修正します。
- この製品は、IRP SystemBufferアクセスの競合状態によって引き起こされるユーザーモードRDMAのBSoD(Blue Screen of Death)の問題を修正します。
- この製品は、NDISドライバーのアンインストール時に発生するWindows Stop Error BSoD(Blue Screen of Death)を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 1.10.2-218.0.67.0 **(オプション)**
ファイル名: kmod-bnxt_en-1.10.2-218.0.67.0.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-bnxt_en-1.10.2-218.0.67.0.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-bnxt_en-1.10.2-218.0.67.0.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-bnxt_en-1.10.2-218.0.67.0.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン、218.0.138000以降を推奨しています。

修正

- この製品は、ブロードキャストトラフィックの実行中にドライバーのアンロードとロードをループで実行するとシステムがクラッシュする問題に対処します
- この製品は、ifup(ネットワークインターフェイスの起動)の前にbnxt_enモジュールがNULLポインター逆参照でクラッシュする問題に対処します
- この製品は、PCIe AER(Advanced Error Reporting)デバイスの回復が成功した後にカーネルパニックが発生する問題に対処します
- この製品は、SRIOVを有効にするときにbnxt_enがNULLポインター逆参照でクラッシュする問題に対処します
- この製品は、ethtool -S tx_bytesおよびrx_bytesのカウンター値が実際の値をはるかに超えるエラーを修正します
- この製品は、sysfsを介してVFのhwmon温度を照会する際のエラーメッセージを修正します

拡張

- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9をサポートしています。
- この製品は、ethtoolツールでPAM4速度情報をサポートするようになりました

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 1.10.2-218.0.67.0 **(オプション)**
ファイル名: kmod-bnxt_en-1.10.2-218.0.67.0.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-bnxt_en-1.10.2-218.0.67.0.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-bnxt_en-1.10.2-218.0.67.0.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-bnxt_en-1.10.2-218.0.67.0.rhel8u3.x86_64.rpm; README

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン、218.0.166000以降を推奨しています。

修正

- この製品は、ブロードキャストトラフィックの実行中にドライバーのアンロードとロードをループで実行するとシステムがクラッシュする問題に対処します
- この製品は、ifup(ネットワークインターフェイスの起動)の前にbnxt_enモジュールがNULLポインター逆参照でクラッシュする問題に対処します
- この製品は、PCIe AER(Advanced Error Reporting)デバイスの回復が成功した後にカーネルパニックが発生する問題に対処します
- この製品は、SRIOVを有効にするときにbnxt_enがNULLポインター逆参照でクラッシュする問題に対処します
- この製品は、ethtool -S tx_bytesおよびrx_bytesのカウンター値が実際の値をはるかに超えるエラーを修正します
- この製品は、sysfsを介してVFのhwmon温度を照会する際のエラーメッセージを修正します

拡張

- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2およびRed Hat Enterprise Linux 8 Update 3をサポートしています。
- この製品は、ethtoolツールでPAM4速度情報をサポートするようになりました

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NX1 1Gbドライバーfor Windows Server x64 Edition

バージョン: 214.0.0.6 **(オプション)**
ファイル名: cp045019.compsig; cp045019.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、OSのシャットダウン中にWindowsドライバーがNMI/RSODを引き起こす問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 3.139b-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-tg3-3.139b-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-tg3-3.139b-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-tg3-3.139b-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-tg3-3.139b-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE NX1 Broadcom Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.27.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらの製品は、tg3タイマーが起動したときにすでにダウンしているにもかかわらず、ドライバーがPHY(物理層)にアクセスしようとする競合状態の問題を修正します。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 3.139b-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-tg3-3.139b-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-tg3-3.139b-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-tg3-3.139b-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-tg3-3.139b-1.rhel8u3.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE NX1 Broadcom Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.27.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらの製品は、tg3タイマーが起動したときにすでにダウンしているにもかかわらず、ドライバーがPHY(物理層)にアクセスしようとする競合状態の問題を修正します。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2およびRed Hat Enterprise Linux 8 Update 3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 3.139b-2 **(オプション)**
ファイル名: README; tg3-kmp-default-3.139b_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.compsig; tg3-kmp-default-3.139b_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm; tg3-kmp-default-3.139b_k4.12.14_94.41-2.sles12sp4.x86_64.compsig; tg3-kmp-default-3.139b_k4.12.14_94.41-2.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE NX1 Broadcom Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.27.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらの製品は、tg3タイマーが起動したときにすでにダウンしているにもかかわらず、ドライバーがPHY(物理層)にアクセスしようとする競合状態の問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)

- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 3.139b-2 **(オプション)**
ファイル名: README; tg3-kmp-default-3.139b_k4.12.14_195-2.sles15sp1.x86_64.compsig; tg3-kmp-default-3.139b_k4.12.14_195-2.sles15sp1.x86_64.rpm; tg3-kmp-default-3.139b_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.compsig; tg3-kmp-default-3.139b_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE NX1 Broadcom Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.27.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらの製品は、tg3タイマーが起動したときにすでにダウンしているにもかかわらず、ドライバーがPHY(物理層)にアクセスしようとする競合状態の問題を修正します。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 12.0.1171.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp044560.compsig; cp044560.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Windows(x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 12.0.1171.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp044561.compsig; cp044561.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Windows(x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 12.0.1171.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp044562.compsig; cp044562.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Windows(x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバー for VMware vSphere 6.5

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp044545.compsig; cp044545.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *VMware vSphere 6.5*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバー for VMware vSphere 6.7

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp044546.compsig; cp044546.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *VMware vSphere 6.7*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 12.0.1195.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp044540.compsig; cp044540.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Windows(x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 12.0.1195.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp044541.compsig; cp044541.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Windows(x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバーfor Windows Server 2019

バージョン: 12.0.1195.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp044542.compsig; cp044542.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Windows(x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSI ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**
ファイル名: be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Linux (x64)*、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSI ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**
ファイル名: be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Linux (x64)*、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 1およびSUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSIドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Linux (x64)*、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8およびRed Hat Enterprise Linux 7 Update 9をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSIドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Linux (x64)*、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2およびRed Hat Enterprise Linux 8 Update 3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSIドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp044543.compsig; cp044543.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *VMware vSphere 6.5*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSIドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp044544.compsig; cp044544.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *VMware vSphere 6.7*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbE ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Linux (x64)*、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8およびRed Hat Enterprise Linux 7 Update 9をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20GbE ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**
ファイル名: be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Linux(x64)*、バージョン2019.12.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 2をサポートしています。

この製品は、SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 1以降にbe2netドライバーをインストールするためのelx_net_install.shインストールスクリプトをサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20GbEドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Linux (x64)*、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2およびRed Hat Enterprise Linux 8 Update 3をサポートしています。
- この製品は、Red Hat Enterprise Linux 8 Update 1以降にbe2netドライバーをインストールするためのelx_net_install.shインストールスクリプトをサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20GbEドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**
ファイル名: be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Linux (x64)*、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Intel E1Rドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 12.16.4.1 **(推奨)**
ファイル名: cp047043.compsig; cp047043.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.5.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリNicInE1R.dllおよびe1rmsg.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366Tアダプター

HPE Intel E1Rドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 12.18.12.1 **(推奨)**
ファイル名: cp047044.compsig; cp047044.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.5.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリNicInE1R.dllおよびe1rmsg.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366Tアダプター

HPE Intel i40eaドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 1.13.104.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045125.compsig; cp045125.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.4.0またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、RDMA機能を有効にした後にパケットがVLANに転送されたときに見られる、トラフィックパケットがcertの失敗を引き起こす問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

HPE Intel i40eaドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 1.13.104.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045126.compsig; cp045126.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.4.0またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、RDMA機能を有効にした後にパケットがVLANに転送されたときに見られる、トラフィックパケットがcertの失敗を引き起こす問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

HPE Intel i40enドライバー for VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.04.05 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp049457.compsig; cp049457.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン3.14.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、次の新しいサーバーをサポートしています。

- HPE ProLiant DL360 Gen10 Plusサーバー
- HPE ProLiant DL380 Gen10 Plusサーバー

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター

HPE Intel i40enドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2020.09.14 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp049456.compsig; cp049456.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン3.13.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、HPE ProLiant DL385 Gen10 Plusサーバーをサポートします

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター

HPE Intel i40enドライバーfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2020.05.29 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp049458.compsig; cp049458.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン3.12.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、次の新しいサーバーをサポートしています。

- HPE ProLiant DL20 Gen10 Plusサーバー
- HPE ProLiant ML30 Gen10 Plusサーバー

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター

HPE Intel i40eドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 2.14.13-1 (C) **(推奨)**
ファイル名: 635390-TA-256.pdf; kmod-hp-i40e-2.14.13-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-i40e-2.14.13-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.14.13-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hp-i40e-2.14.13-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意！

- これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。
- HPEは、Intel TA-256(テクニカルアドバイザリ)によって提案されたi40eドライバーv.2.14.13(またはそれ以降)を推奨します。

拡張

この製品は、次の新しいサーバーをサポートしています。

- HPE ProLiant DL360 Gen10 Plusサーバー
- HPE ProLiant DL380 Gen10 Plusサーバー

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40eドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 2.14.13-1 (B) **(推奨)**

ファイル名: 635390-TA-256.pdf; kmod-hp-i40e-2.14.13-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-hp-i40e-2.14.13-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.14.13-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hp-i40e-2.14.13-1.rhel8u3.x86_64.rpm; README

重要な注意！

- これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。
- HPEは、Intel TA-256(テクニカルアドバイザリ)によって提案されたi40eドライバーv.2.14.13(またはそれ以降)を推奨します。

拡張

この製品は、次の新しいサーバーをサポートしています。

- HPE ProLiant DL20 Gen10 Plusサーバー
- HPE ProLiant ML30 Gen10 Plusサーバー

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40eドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 2.14.13-1 (B) **(推奨)**

ファイル名: 635390-TA-256.pdf; hp-i40e-kmp-default-2.14.13_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-default-2.14.13_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.14.13_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-default-2.14.13_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意！

- これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。
- HPEは、Intel TA-256(テクニカルアドバイザリ)によって提案されたi40eドライバーv.2.14.13(またはそれ以降)を推奨します。

拡張

この製品は、次の新しいサーバーをサポートしています。

- HPE ProLiant DL20 Gen10 Plusサーバー
- HPE ProLiant ML30 Gen10 Plusサーバー

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40eドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 2.14.13-1 (B) **(推奨)**

ファイル名: 635390-TA-256.pdf; hp-i40e-kmp-default-2.14.13_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-default-2.14.13_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.14.13_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-default-2.14.13_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; README

重要な注意！

- これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。
- HPEは、Intel TA-256(テクニカルアドバイザリ)によって提案されたi40eドライバーv.2.14.13(またはそれ以降)を推奨します。

拡張

この製品は、次の新しいサーバーをサポートしています。

- HPE ProLiant DL20 Gen10 Plusサーバー
- HPE ProLiant ML30 Gen10 Plusサーバー

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel iavf ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 4.2.7-1 **(推奨)**
ファイル名: kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel8u4.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.22.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、VM LinuxのVFインターフェイスでMTUを変更した後にHyperVのPingが失われる問題に対処します
- この製品は、VFがbonding-alb/tlbモードに追加されたときに、ボンドを介したトラフィックの中断と完全なトラフィックの停止につながる可能性のある問題に対処します

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 4をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel iavfドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 4.2.7-1 **(推奨)**
ファイル名: kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.22.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、VM LinuxのVFインターフェイスでMTUを変更した後にHyperVのPingが失われる問題に対処します
- この製品は、VFがbonding-alb/tlbモードに追加されたときに、ボンドを介したトラフィックの中断と完全なトラフィックの停止につながる可能性のある問題に対処します

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i *アダプター*
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT *アダプター*
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i *アダプター*
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+*アダプター*
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+*アダプター*
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563i *アダプター*
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT *アダプター*
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+*アダプター*

HPE Intel iavfドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 4.2.7-1 **(推奨)**
ファイル名: hp-iavf-kmp-default-4.2.7_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-iavf-kmp-default-4.2.7_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.22.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、VM LinuxのVFインターフェイスでMTUを変更した後にHyperVのPingが失われる問題に対処します
- この製品は、VFがbonding-alb/tlbモードに追加されたときに、ボンドを介したトラフィックの中断と完全なトラフィックの停止につながる可能性のある問題に対処します

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel iavfドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 4.2.7-1 **(推奨)**
ファイル名: hp-iavf-kmp-default-4.2.7_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-iavf-kmp-default-4.2.7_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-iavf-kmp-default-4.2.7_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.compsig; hp-iavf-kmp-default-4.2.7_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.22.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、VM LinuxのVFインターフェイスでMTUを変更した後にHyperVのPingが失われる問題に対処します
- この製品は、VFがbonding-alb/tlbモードに追加されたときに、ボンドを介したトラフィックの中断と完全なトラフィックの停止につながる可能性のある問題に対処します

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 3をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel iavfドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 1.12.9.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045011.compsig; cp045011.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.4.0またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーではホストドライバーバージョン1.13.104.0以降が必要です。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリiavfmsg.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のHPE Intel i40eaネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

この製品は、以下のHPE Intel i40ebネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター

HPE Intel iavfドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 1.12.9.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045010.compsig; cp045010.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.4.0またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーではホストドライバーバージョン1.13.104.0以降が必要です。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリiavfmsg.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のHPE Intel i40eaネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

この製品は、以下のHPE Intel i40ebネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター

HPE Intel igbnドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.04.05 **(オプション)**
ファイル名: cp042677.compsig; cp042677.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン3.14.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、渡されたデュプレックス値の処理に関するESXiコマンドの問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel igbnドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.09.04 **(推奨)**
ファイル名: cp047110.compsig; cp047110.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for VMware*、バージョン3.15.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、TX/RXリングのハングの検出および回復手順の信頼性を向上させます。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel igbnドライバーfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.09.04 **(推奨)**
ファイル名: cp047111.compsig; cp047111.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for VMware*、バージョン3.15.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、次の新しいサーバーをサポートしています。

- HPE ProLiant DL20 Gen10 Plusサーバー
- HPE ProLiant ML30 Gen10 Plusサーバー

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel igbドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 6.7.2-2 **(推奨)**
ファイル名: kmod-hp-igb-6.7.2-2.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-igb-6.7.2-2.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.7.2-2.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hp-igb-6.7.2-2.rhel7u9.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は現在、Linuxファームウェアアップグレードユーティリティv.1.22.5をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のIntelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel igbドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 6.7.2-2 **(推奨)**
ファイル名: kmod-hp-igb-6.7.2-2.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hp-igb-6.7.2-2.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.7.2-2.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-hp-igb-6.7.2-2.rhel8u4.x86_64.rpm; README

拡張

- この製品は現在、Linuxファームウェアアップグレードユーティリティv.1.22.5をサポートしています。
- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 4をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のIntelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel igbドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 6.7.2-2 **(推奨)**
ファイル名: hp-igb-kmp-default-6.7.2_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-default-6.7.2_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は現在、Linuxファームウェアアップグレードユーティリティv.1.22.5をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のIntelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel igbドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 6.7.2-2 **(推奨)**
ファイル名: hp-igb-kmp-default-6.7.2_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-default-6.7.2_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-6.7.2_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-default-6.7.2_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.rpm; README

拡張

- この製品は現在、Linuxファームウェアアップグレードユーティリティv.1.22.5をサポートしています。
- この製品は現在、SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のIntelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel ixgbenドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.04.05 **(オプション)**
ファイル名: cp045249.compsig; cp045249.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン3.14.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター

HPE Intel ixgbenドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.04.05 **(オプション)**
ファイル名: cp045250.compsig; cp045250.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン3.13.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター

HPE Intel ixgbevfドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 4.9.3-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-ixgbevf-4.9.3-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf-4.9.3-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevf-4.9.3-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf-4.9.3-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9をサポートしています。
- この製品は、PF(物理機能)とVF(仮想機能)間の新しいメールボックス通信のサポートを追加することで信頼性を高め、未定義または障害のある動作につながる可能性のある潜在的な欠陥を取り除きます
- この製品は、新しいメールボックスAPI実装が古いドライバーとも互換性を持つように互換性を強化します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター

HPE Intel ixgbevfドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 4.9.3-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-ixgbevf-4.9.3-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf-4.9.3-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevf-4.9.3-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf-4.9.3-1.rhel8u3.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2およびRed Hat Enterprise Linux 8 Update 3をサポートしています。
- この製品は、PF(物理機能)とVF(仮想機能)間の新しいメールボックス通信のサポートを追加することで信頼性を高め、未定義または障害のある動作につながる可能性のある潜在的な欠陥を取り除きます
- この製品は、新しいメールボックスAPI実装が古いドライバーとも互換性を持つように互換性を強化します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター

HPE Intel ixgbevfドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 4.9.3-1 **(オプション)**
ファイル名: hp-ixgbevf-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、PF(物理機能)とVF(仮想機能)間の新しいメールボックス通信のサポートを追加することで信頼性を高め、未定義または障害のある動作につながる可能性のある潜在的な欠陥を取り除きます
- この製品は、新しいメールボックスAPI実装が古いドライバーとも互換性を持つように互換性を強化します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター

HPE Intel ixgbevfドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 4.9.3-1 **(オプション)**
ファイル名: hp-ixgbevf-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-default-4.9.3_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-default-4.9.3_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2をサポートしています
- この製品は、PF(物理機能)とVF(仮想機能)間の新しいメールボックス通信のサポートを追加することで信頼性を高め、未定義または障害のある動作につながる可能性のある潜在的な欠陥を取り除きます
- この製品は、新しいメールボックスAPI実装が古いドライバーとも互換性を持つように互換性を強化します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター

HPE Intel ixgbeドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 5.9.4-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-ixgbe-5.9.4-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe-5.9.4-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.9.4-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe-5.9.4-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9をサポートしています。
- この製品は、PF(物理機能)とVF(仮想機能)間の新しいメールボックス通信のサポートを追加することで信頼性を高め、未定義または障害のある動作につながる可能性のある潜在的な欠陥を取り除きます

- この製品は、新しいメールボックスAPI実装が古いドライバーとも互換性を持つように互換性を強化します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター

HPE Intel ixgbeドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 5.9.4-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-ixgbe-5.9.4-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe-5.9.4-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.9.4-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe-5.9.4-1.rhel8u3.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2およびRed Hat Enterprise Linux 8 Update 3をサポートしています。
- この製品は、PF(物理機能)とVF(仮想機能)間の新しいメールボックス通信のサポートを追加することで信頼性を高め、未定義または障害のある動作につながる可能性のある潜在的な欠陥を取り除きます
- この製品は、新しいメールボックスAPI実装が古いドライバーとも互換性を持つように互換性を強化します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター

HPE Intel ixgbeドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 5.9.4-1 **(オプション)**
ファイル名: hp-ixgbe-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、PF(物理機能)とVF(仮想機能)間の新しいメールボックス通信のサポートを追加することで信頼性を高め、未定義または障害のある動作につながる可能性のある潜在的な欠陥を取り除きます
- この製品は、新しいメールボックスAPI実装が古いドライバーとも互換性を持つように互換性を強化します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター

HPE Intel ixgbeドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 5.9.4-1 **(オプション)**
ファイル名: hp-ixgbe-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.9.4_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-default-5.9.4_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2をサポートしています
- この製品は、PF(物理機能)とVF(仮想機能)間の新しいメールボックス通信のサポートを追加することで信頼性を高め、未定義または障害のある動作につながる可能性のある潜在的な欠陥を取り除きます
- この製品は、新しいメールボックスAPI実装が古いドライバーとも互換性を持つように互換性を強化します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター

HPE Intel ixnドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 4.1.199.0 **(オプション)**
ファイル名: cp042028.compsig; cp042028.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品には、Windowsシステムアップデートでサポートされる改善が含まれています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター

HPE Intel ixnドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 4.1.197.0 (B) **(オプション)**
ファイル名: cp046115.compsig; cp046115.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.4.0またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、アップデートされた.catファイルとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター

HPE Intel ixtドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 4.1.199.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045118.compsig; cp045118.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.4.0またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター

HPE Intel ixtドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 4.1.197.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045874.compsig; cp045874.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.4.0またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

初期バージョン

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター

HPE Intel vxnドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 2.1.192.0 (B) **(オプション)**
ファイル名: cp045153.compsig; cp045153.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.4.0またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーではホストドライバーバージョン4.1.199.0以降が必要です。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHPE Intelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター

このソフトウェアは、以下のHPE Intelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター

HPE Intel vxnドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 2.1.191.0 (B) **(オプション)**
ファイル名: cp046080.compsig; cp046080.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.4.0またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーではホストドライバーバージョン4.1.179.0以降が必要です。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHPE Intelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター

このソフトウェアは、以下のHPE Intelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター

HPE Mellanox CX3ドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 5.35.12978.0 (D) **(オプション)**
ファイル名: cp040866.compsig; cp040866.exe

拡張

この製品は、現在SynergyおよびBlade Serverのサポートが削除されています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHP Mellanox CX3ネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 546SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 546FLR-SFP+アダプター
- HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター

HPE Mellanox CX3ドライバーfor Windows Server 2012 R2

バージョン: 5.35.12978.0 (B) **(オプション)**
ファイル名: cp040882.compsig; cp040882.exe

拡張

この製品は、現在SynergyおよびBlade Serverのサポートが削除されています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、下記のHPE Mellanox CX3ネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 546SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 546FLR-SFP+アダプター
- HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター

HPE Mellanox CX4LXおよびCX5ドライバー for Microsoft Windows Server 2012 R2

バージョン: 2.60.23957.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045130.compsig; cp045130.exe

修正

- この製品は、ND接続の切断中にMellanox NdStatユーティリティ(mlx5cmd -ndstat)を実行すると発生するWindows Stop Error(BSOD)に対処します。
- この製品は、INFファイルが正しくないために発生するドライバーのロードエラーを修正します。
- この製品は、WS2012R2でvSwitchを割り当てることができない問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+ アダプター
- HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter
- HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFP Adapter

HPE Mellanox CX4LXおよびCX5ドライバー for Microsoft Windows Server 2016

バージョン: 2.70.24728.0 **(推奨)**
ファイル名: cp048373.compsig; cp048373.exe

修正

- この製品は、mlx5cmdツールがVFで実行されているOSバージョンを報告する問題を修正します。
- この製品は、VFのファームウェアトレースをログに記録する(FwTracer)機能に関連するレポートが誤っている問題を修正します。
- この製品は、パッケージのダウングレードでシステムフォルダー内のmlxdevx.dllが置き換えられない問題を修正します。
- この製品は、TCP接続が切断される原因となる問題を修正します

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+ アダプター
- HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter
- HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFP Adapter

HPE Mellanox CX4LXおよびCX5ドライバー for Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 2.70.24728.0 **(推奨)**
ファイル名: cp048374.compsig; cp048374.exe

修正

- この製品は、mlx5cmdツールがVFで実行されているOSバージョンを報告する問題を修正します。
- この製品は、VFのファームウェアトレースをログに記録する(FwTracer)機能に関連するレポートが誤っている問題を修正します。
- この製品は、パッケージのダウングレードでシステムフォルダー内のmlxdevx.dllが置き換えられない問題を修正します。
- この製品は、TCP接続が切断される原因となる問題を修正します

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+ アダプター
- HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter

- HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFP Adapter

---

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバーfor Mellanox ConnectX-4, ConnectX-5 and ConnectX-6 Adapters for Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8 (x86_64)

バージョン: 5.4 **(推奨)**
ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-5.4-OFED.5.4.1.0.3.1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-5.4-OFED.5.4.1.0.3.1.rhel7u8.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-5.4-OFED.5.4.1.0.3.1.rhel7u8.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.4-OFED.5.4.1.0.3.1.rhel7u8.x86_64.rpm

重要な注意！

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ(http://downloads.linux.hpe.com/SDR/repo/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン5.4で修正されました。

- スケーラビリティをサポートするために、ファンクションリプレゼンターチャネルが4に制限されていました。ただし、SF(Scalable Function)が使用されないシナリオでは、特定の使用例で、多数のチャネルがリプレゼンターでサポートされている必要がありました。そのため、PCIデバイス(Scalable Functionのサポートなど)が有効になっている場合にのみ、リプレゼンターチャネルが4に制限されていました。
- ipv4_ihl(インターネットヘッダーの長さ)の一致は、外部ヘッダーでのみサポートされていました。
- ポップとプッシュの両方のVLANアクションで1つのカウンターを使用すると、カウンター値が正しくありませんでした。そのため、pop_vlan_action_counterとpush_vlan_action_counter用にカウンターが分割されました。
- 元の内部フレームが小さく、64バイトの最小フレームサイズに準拠するようにパディングされると、不正なL3のカプセル化解除が発生しました。
- libdat2とlibdpdkでdaplとlibmlx4が必要でした。daplとlibmlx4を削除またはアップデートするには、依存関係を削除する必要がありました。
- フォークの状況では、親/子プロセスの仮想アドレスが偶然同じである場合に、ドアベルメカニズムが正常に機能せず、アプリケーションの動作時にエラーが発生する可能性がありました。
- デバイスで同じmlx5_coreモジュールが共有されている場合に、他のデバイスによるlog_max_qpのオーバーライドが発生しました。
- チャネルが閉じて開く同期の問題(チャネル数の変更などの構成の変更時に発生する可能性があります)によって、mlx5e_select_queue関数でnullポインターの逆参照が発生する可能性がありました。
- tx-udp_tnl-csum-segmentationを有効にしても、ドライバーは影響を受けませんでした。
- 古いudevdバージョンでは、ネットワークデバイスの名前を変更するとスタックし、enp *ではなく、eth *という名前のインターフェイスが残る可能性がありました。
- ct state -trkを使用したt commitアクションを含むフローがオフロードされませんでした(つまり、table=0,ct_state=-trk,ip actions=ct(commit,table=1))。
- トンネルのカプセル化/カプセル化解除を使用したVF LAG上の接続追跡はサポートされず、トラフィックのドロップが発生していました。
- スタックサイズが1024に制限されていると、OFEDコンパイルに失敗しました。
- 2,147,483,648を超える速度/バースト値を設定すると、拒否されました。
- トンネルデバイス上でリモートミラーリングフローがオフロードされると、VFに転送されたトラフィックのカプセル化が解除されませんでした。
- VF(cat/sys/class/net/enp8s0f2/compat/devlink/vport_match_mode)でVPort一致モードを設定しようとすると、カーネルがクラッシュします。
- OVSフローがソケット直接デバイス上でオフロードされませんでした。
- VXLANが構成され、不正なルートが追加されると、システムでコールトレースがクラッシュしました。
- netdevが初めて起動する前にトラフィックが送信されると、モジュロ演算によってゼロ除算がndo_select_queueで発生し、カーネルパニックが発生する可能性がありました。
- ドライバを再起動した後に、x86ホストが猶予期間になり、単独で回復しない可能性がありました。修正の一環として、20分の猶予期間内に5回のFW_fatalリカバリが許可されます。そのため、FW_fatalレポーターでは、devlink health showコマンドの猶予期間が0と表示されます。

拡張

MLNX OFED v5.4は、以下の変更点および新機能を含みます:

ConnectX-4アダプターの場合:

- さまざまなドライバーコンポーネントをドライバーコアに統合し、モジュールのロード/アンロードシーケンスを最適化するために、補助バスを使用するようにmlx5ドライバーがアップデートされました。
- NICのWJH(What Just Happened):WJHを使用すると、ドロップされたパケットを可視化できます(つまり、ドロップカウンターの増加について通知を受信したり、ドロップされたパケットの内容を確認したり、デバッグしたりできます)。WJHはdevlinkコンテキストのサービスであり、すでにスイッチに実装されています。
- 注記:ドロップされたパケットを処理すると(可視性の目的の場合でも)、パフォーマンスが低下し、悪意のある攻撃に対してドライバーが脆弱になる可能性があります。この機能はデフォルトで無効になっています。
- サポートされているトラップ:
- VLANの不一致:既存の一般トラップDEVLINK_TRAP_GENERIC_ID_DMAC_MISMATCHトラップで不正なVLANタグを含むパケットが受信されました

- DMACの不一致:新しい一般トラップDEVLINK_TRAP_GENERIC_ID_DMAC_MISMATCHトラップで不正な宛先MACタグを含むパケットが受信されました
- カーネルULPでリラックスオーダリングを有効にするためのサポートが追加されました。リラックスオーダリングを使用すると、一部のセットアップ時にパフォーマンスが改善される可能性があります。カーネルULPではROがサポートされていることが想定されるため、ROの利点が得られるように、デフォルトで有効になっています。

ConnectX-4以上のアダプターの場合:

- MLNX_OFED 5.4 GAでは、ConnectX-4/5/6イーサネットネットワークインターフェイスに永続的な名前が付けられるようになりました。このリリース以前では、デフォルトのインターフェース名がカーネルから提供され、udevd(ethX)はそのままでした。このリリース以降では、新しいudevdルールに従ってインターフェース名が生成されます。生成された名前は予測可能になり、OFEDでインストールされたudevルールファイルに従って、udevdデーモンによってデフォルト名が予測可能な名前に自動的に変更されるようになりました。

ConnectX-5以上のアダプターの場合:

- OVS(OpenVSwitch)カーネルでテーブルごとに最大128の一致(グループ)とグループごとに16Mのエントリをサポートできるようになりました。
- ct_stateフラグ(rpl、inv、およびrel)をオフロードします。
- rplの場合、設定と未設定の両方のマッチングオフロード(つまり、+rplと-rpl)に対するサポートが追加されました。
- invおよびrelの場合、未設定オプション(つまり、-relおよび-inv)に対するサポートのみが追加されました。
- スケーラブル機能(サブ機能とも呼ばれます):この機能を使用すると、ユーザーはスケーラブル機能(RDMAやネットワークアプリケーションなど)を作成、構成、展開し、mlxdevmツールを使用してコンテナーの起動時にコンテナーに割り当てることができます。スケーラブル機能は、NIC/DPUから信頼されていないゲスト/ホストシステムに展開することもできます。これにより、コンテナーをホストシステムで実行する機能を提供する前に、NIC/DPUから機能とそのリプレゼンターを完全に構成できます。
- mlxdevmのrateコマンドを使用したスケーラブル機能QoSおよびQoSグループが追加されました。詳細については、"man mlxdevm port"を実行してください。
- サポートされているデバイス上で、シグネチャーハンドオーバーメカニズムを使用してアプリケーションレベルのデータ整合性チェックを実行できるようにする"シグネチャーAPI"。フルワイヤスピードでの転送中に、さまざまなシグネチャータイプ(CRC32やT10-DIFを含む)の計算とチェック、削除、または追加を自動的に行うことができます。
- misc5パラメータを使用したRAWトンネルヘッダーで一致を行うためのDRサポート。この機能を使用すると、ヘッダーの各ビット
- (予約フィールドを含む)で一致を行うことができます。

ConnectX-6 Dxアダプターの場合:

- DEVX API経由でQP(キューペア)をAHにマッピングすると、同じデータセンター内のDC/UD QPで複数のCCアルゴリズムを使用できるようになります。
- ソフトウェアステアリングでより適切な挿入速度がサポートされました。これには、コード内のデバッグ専用領域をスキップするマルチQPが含まれます。
- ステアリングルールのアップデート、挿入、および削除の速度が改善されました。この機能には、定義者、マルチQPアプローチ、およびより適切なメモリ使用量が含まれます。
- 重複するルールの挿入を許可または回避する機能のサポートが追加されたため、ユーザーは次の動作のいずれかを選択できるようになりました。
- 既存のルールと失敗を検出できるように、重複するルールを回避します。
- ルールのアクションをアップデートできるように、重複するルールを許可します(以前のルールが削除された場合にのみ有効になります)。デフォルトでは、重複するルールが許可されます。
- Htbleの定義された(エクスポート)サイズを使用して、定義された時間内にすべてのルールの挿入が行われ、動的な割り当ての使用回数が減るようにします。

すべてのHCAの場合:

- バージョン5.4以降では、udevルールに従って、NVIDIAアダプターから作成されたネットワークインターフェイスの名前が変更されるようにドライバーが設定されています。udevルールは"/lib/udev/rules.d"に配置され、"/etc/udev/rules.d"に同じ名前のファイルを配置すると上書きされる可能性があります。
- 例:/etc/udev/rules.d/82-net-setup-link.rules
- OvS-DPDKでは、"ovs-appctl dpctl/dump-e2e-stats"コマンドが非推奨になりました。代わりに、このコマンドは既存の"ovs-appctl dpctl/offload-stats-show -m"コマンドに統合されています(e2e-cacheが有効になっている場合)。
- OvS-DPDK ct-ct-natオフロードがデフォルトで無効になりました。
- バージョン5.4より前では、ーumad-dev-rwまたはーumad-dev-naオプションが使用された場合に、/etc/udev/rules.d/90-ib.rulesがインストールスクリプトで自動的に編集される可能性がありました。バージョン5.4以降では、(存在する場合)これらのコマンドラインオプションの設定のみが含まれる/etc/udev/rules.d/91-ib-permissions.rulesで、これらの変更が行われます。
- ibv_query_qp_data_in_order() API:このAPIを使用すると、特定のQPデータが正常であることが保証されているかどうかを確認できるため、完了のポーリングではなく、データのポーリングが有効になります。
- ethtool拡張リンク状態がmlx5eに追加されました。ethtoolを使用すると、状態のトラブルシューティング時に役立つ詳細情報を取得できます。
- すべてのPythonスクリプトとその他の一般的なスクリプトの一部がmlnxofa_カーネルパッケージから移動されました。これにより、パッケージの再構築時にそのパッケージからPythonの依存関係が削除され、再構築時にカスタムカーネルの不要なエラーが回避されました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 Update 8 (x86_64)カーネルは、次の通りです。
3.10.0-1127.el7 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバーfor Mellanox ConnectX-4, ConnectX-5 and ConnectX-6 Adapters for Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9 (x86_64)

バージョン: 5.4 **(推奨)**
ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-5.4-OFED.5.4.1.0.3.1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-5.4-

OFED.5.4.1.0.3.1.rhel7u9.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-5.4-OFED.5.4.1.0.3.1.rhel7u9.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.4-OFED.5.4.1.0.3.1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意！

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ(http://downloads.linux.hpe.com/SDR/repo/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン5.4で修正されました。

- スケーラビリティをサポートするために、ファンクションリプレゼンターチャネルが4に制限されていました。ただし、SF(Scalable Function)が使用されないシナリオでは、特定の使用例で、多数のチャネルがリプレゼンターでサポートされている必要がありました。そのため、PCIデバイス(Scalable Functionのサポートなど)が有効になっている場合にのみ、リプレゼンターチャネルが4に制限されていました。
- ipv4_ihl(インターネットヘッダーの長さ)の一致は、外部ヘッダーでのみサポートされていました。
- ポップとプッシュの両方のVLANアクションで1つのカウンターを使用すると、カウンター値が正しくありませんでした。そのため、pop_vlan_action_counterとpush_vlan_action_counter用にカウンターが分割されました。
- 元の内部フレームが小さく、64バイトの最小フレームサイズに準拠するようにパディングされると、不正なL3のカプセル化解除が発生しました。
- libdat2とlibdpdkでdaplとlibmlx4が必要でした。daplとlibmlx4を削除またはアップデートするには、依存関係を削除する必要がありました。
- フォークの状況では、親/子プロセスの仮想アドレスが偶然同じである場合に、ドアベルメカニズムが正常に機能せず、アプリケーションの動作時にエラーが発生する可能性がありました。
- デバイスで同じmlx5_coreモジュールが共有されている場合に、他のデバイスによるlog_max_qpのオーバーライドが発生しました。
- チャネルが閉じて開く同期の問題(チャネル数の変更などの構成の変更時に発生する可能性があります)によって、mlx5e_select_queue関数でnullポインターの逆参照が発生する可能性がありました。
- tx-udp_tnl-csum-segmentationを有効にしても、ドライバーは影響を受けませんでした。
- 古いudevdバージョンでは、ネットワークデバイスの名前を変更するとスタックし、enp *ではなく、eth *という名前のインターフェイスが残る可能性がありました。
- ct state -trkを使用したt commitアクションを含むフローがオフロードされませんでした(つまり、table=0,ct_state=-trk,ip actions=ct(commit,table=1))。
- トンネルのカプセル化/カプセル化解除を使用したVF LAG上の接続追跡はサポートされず、トラフィックのドロップが発生していました。
- スタックサイズが1024に制限されていると、OFEDコンパイルに失敗しました。
- 2,147,483,648を超える速度/バースト値を設定すると、拒否されました。
- トンネルデバイス上でリモートミラーリングフローがオフロードされると、VFに転送されたトラフィックのカプセル化が解除されませんでした。
- VF(cat/sys/class/net/enp8s0f2/compat/devlink/vport_match_mode)でVPort一致モードを設定しようとすると、カーネルがクラッシュします。
- OVSフローがソケット直接デバイス上でオフロードされませんでした。
- VXLANが構成され、不正なルートが追加されると、システムでコールトレースがクラッシュしました。
- netdevが初めて起動する前にトラフィックが送信されると、モジュロ演算によってゼロ除算がndo_select_queueで発生し、カーネルパニックが発生する可能性がありました。
- ドライバを再起動した後に、x86ホストが猶予期間になり、単独で回復しない可能性がありました。修正の一環として、20分の猶予期間内に5回のFW_fatalリカバリが許可されます。そのため、FW_fatalレポーターでは、devlink health showコマンドの猶予期間が0と表示されます。

拡張

MLNX OFED v5.4は、以下の変更点および新機能を含みます:

ConnectX-4アダプターの場合:

- さまざまなドライバーコンポーネントをドライバーコアに統合し、モジュールのロード/アンロードシーケンスを最適化するために、補助バスを使用するようにmlx5ドライバーがアップデートされました。
- NICのWJH(What Just Happened):WJHを使用すると、ドロップされたパケットを可視化できます(つまり、ドロップカウンターの増加について通知を受信したり、ドロップされたパケットの内容を確認したり、デバッグしたりできます)。WJHはdevlinkコンテキストのサービスであり、すでにスイッチに実装されています。
- 注記:ドロップされたパケットを処理すると(可視性の目的の場合でも)、パフォーマンスが低下し、悪意のある攻撃に対してドライバーが脆弱になる可能性があります。この機能はデフォルトで無効になっています。
- サポートされているトラップ:
- VLANの不一致:既存の一般トラップDEVLINK_TRAP_GENERIC_ID_DMAC_MISMATCHトラップで不正なVLANタグを含むパケットが受信されました
- DMACの不一致:新しい一般トラップDEVLINK_TRAP_GENERIC_ID_DMAC_MISMATCHトラップで不正な宛先MACタグを含むパケットが受信されました
- カーネルULPでリラックスオーダリングを有効にするためのサポートが追加されました。リラックスオーダリングを使用すると、一部のセットアップ時にパフォーマンスが改善される可能性があります。カーネルULPではROがサポートされていることが想定されるため、ROの利点が得られるように、デフォルトで有効になっています。

ConnectX-4以上のアダプターの場合:

- MLNX_OFED 5.4 GAでは、ConnectX-4/5/6イーサネットネットワークインターフェイスに永続的な名前が付けられるようになりました。このリリース以前では、デフォルトのインターフェース名がカーネルから提供され、udevd(ethX)はそのままでした。このリリース以降では、新しいudevdル

ールに従ってインターフェース名が生成されます。生成された名前は予測可能になり、OFEDでインストールされたudevルールファイルに従って、udevdデーモンによってデフォルト名が予測可能な名前に自動的に変更されるようになりました。

ConnectX-5以上のアダプターの場合:

- OVS(OpenVSwitch)カーネルでテーブルごとに最大128の一致(グループ)とグループごとに16Mのエントリをサポートできるようになりました。
- ct_stateフラグ(rpl、inv、およびrel)をオフロードします。
- rplの場合、設定と未設定の両方のマッチングオフロード(つまり、+rplと-rpl)に対するサポートが追加されました。
- invおよびrelの場合、未設定オプション(つまり、-relおよび-inv)に対するサポートのみが追加されました。
- スケーラブル機能(サブ機能とも呼ばれます):この機能を使用すると、ユーザーはスケーラブル機能(RDMAやネットワークアプリケーションなど)を作成、構成、展開し、mlxdevmツールを使用してコンテナーの起動時にコンテナーに割り当てることができます。スケーラブル機能は、NIC/DPUから信頼されていないゲスト/ホストシステムに展開することもできます。これにより、コンテナーをホストシステムで実行する機能を提供する前に、NIC/DPUから機能とそのリプレゼンターを完全に構成できます。
- mlxdevmのrateコマンドを使用したスケーラブル機能QoSおよびQoSグループが追加されました。詳細については、"man mlxdevm port"を実行してください。
- サポートされているデバイス上で、シグネチャーハンドオーバーメカニズムを使用してアプリケーションレベルのデータ整合性チェックを実行できるようにする"シグネチャーAPI"。フルワイヤスピードでの転送中に、さまざまなシグネチャータイプ(CRC32やT10-DIFを含む)の計算とチェック、削除、または追加を自動的に行うことができます。
- misc5パラメータを使用したRAWトンネルヘッダーで一致を行うためのDRサポート。この機能を使用すると、ヘッダーの各ビット
- (予約フィールドを含む)で一致を行うことができます。

ConnectX-6 Dxアダプターの場合:

- DEVX API経由でQP(キューペア)をAHにマッピングすると、同じデータセンター内のDC/UD QPで複数のCCアルゴリズムを使用できるようになります。
- ソフトウェアステアリングでより適切な挿入速度がサポートされました。これには、コード内のデバッグ専用領域をスキップするマルチQPが含まれます。
- ステアリングルールのアップデート、挿入、および削除の速度が改善されました。この機能には、定義者、マルチQPアプローチ、およびより適切なメモリ使用量が含まれます。
- 重複するルールの挿入を許可または回避する機能のサポートが追加されたため、ユーザーは次の動作のいずれかを選択できるようになりました。
- 既存のルールと失敗を検出できるように、重複するルールを回避します。
- ルールのアクションをアップデートできるように、重複するルールを許可します(以前のルールが削除された場合にのみ有効になります)。デフォルトでは、重複するルールが許可されます。
- Htbleの定義された(エクスポート)サイズを使用して、定義された時間内にすべてのルールの挿入が行われ、動的な割り当ての使用回数が減るようにします。

すべてのHCAの場合:

- バージョン5.4以降では、udevルールに従って、NVIDIAアダプターから作成されたネットワークインターフェイスの名前が変更されるようにドライバーが設定されています。udevルールは"/lib/udev/rules.d"に配置され、"/etc/udev/rules.d"に同じ名前のファイルを配置すると上書きされる可能性があります。
- 例:/etc/udev/rules.d/82-net-setup-link.rules
- OvS-DPDKでは、"ovs-appctl dpctl/dump-e2e-stats"コマンドが非推奨になりました。代わりに、このコマンドは既存の"ovs-appctl dpctl/offload-stats-show -m"コマンドに統合されています(e2e-cacheが有効になっている場合)。
- OvS-DPDK ct-ct-natオフロードがデフォルトで無効になりました。
- バージョン5.4より前では、ーumad-dev-rwまたはーumad-dev-naオプションが使用された場合に、/etc/udev/rules.d/90-ib.rulesがインストールスクリプトで自動的に編集される可能性がありました。バージョン5.4以降では、(存在する場合)これらのコマンドラインオプションの設定のみが含まれる/etc/udev/rules.d/91-ib-permissions.rulesで、これらの変更が行われます。
- ibv_query_qp_data_in_order() API:このAPIを使用すると、特定のQPデータが正常であることが保証されているかどうかを確認できるため、完了のポーリングではなく、データのポーリングが有効になります。
- ethtool拡張リンク状態がmlx5eに追加されました。ethtoolを使用すると、状態のトラブルシューティング時に役立つ詳細情報を取得できます。
- すべてのPythonスクリプトとその他の一般的なスクリプトの一部がmlnxofa_カーネルパッケージから移動されました。これにより、パッケージの再構築時にそのパッケージからPythonの依存関係が削除され、再構築時にカスタムカーネルの不要なエラーが回避されました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 Update 9 (x86_64)カーネルは、次の通りです。
3.10.0-1160.el7 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8 Update 3 (x86_64)

バージョン: 4.9-3.1.6.1 **(推奨)**
ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.3.1.6.1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.3.1.6.1.rhel8u3.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.3.1.6.1.rhel8u3.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.3.1.6.1.rhel8u3.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ(https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン4.9で修正されました。

- デバイスに大きな負荷がかかっているときに、IOMMUの割り当てエラーが発生しました。
- "ibv_devinfo -v"コマンドで、サポートされていても一部のMEM_WINDOW機能が出力されませんでした。

拡張

バージョン4.9には、以下の変更と新機能が追加されています。

- **ConnectX-5以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- デバッグ機能を改善するために、devlinkツールを使用して構成スペースをダンプするオプション。
- 従来のTXディスクリプター(WQE、ワークキューエレメント)は送信用の単一のパケットを記述します。XDP送信フローでのマルチパケットTX WQEというHW機能のドライバーサポートを追加しました。これにより、HWで、複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトの使用が可能になります。実際、この機能によってPCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- GENEVEのカプセル化/非カプセル化ルールのオフロード。
- XDP送信フロー用に単一のパケットではなく複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトを使用するマルチパケットTxというハードウェア機能のドライバーサポート。これにより、PCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したCT(接続追跡)ルールのアップデート。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したリモートミラーリングルールのアップデート。

- **ConnectX-4以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- 物理ポートのバッファー不足のためにドロップされた受信パケットの数をカウントする、優先順位ごとのrx_prio[p]_discards破棄カウンターを公開しました。
- MPLSタグ付きトラフィックのTSOおよびCSUMオフロード機能をレポートし、カーネルスタックでこれらのオフロードを使用できるようにします。
- mlx5eの最大結合チャネルで、ドライバーの最大結合チャネル値を64から128に増やしました(ただし、OOB値は64を超えないので注意してください)。128が上限です。ファームウェアによって構成されたコアとMSIXの数に応じて、ホストでの最大値がこれよりも下がる可能性があります。
- 次のRoCEアクセラレーターカウンターを追加しました。
  - roce_adp_retrans - RoCEトラフィックのアダプティブ再送信の数をカウントします。
  - roce_adp_retrans_to - RoCEトラフィックがアダプティブ再送信のためにタイムアウトに達した回数をカウントします。
  - roce_slow_restart - RoCEスローリスタートが使用された回数をカウントします。
  - roce_slow_restart_cnps - RoCEスローリスタートによってCNPパケットが生成された回数をカウントします。roce_slow_restart_trans - RoCEスローリスタートによって状態がスローリスタートに変更された回数をカウントします。
- ユーザーは、実験的なVerbsを使用してリラックスオーダリングアクセスフラグでメモリ領域を登録します。これにより、アーキテクチャやシナリオに応じてパフォーマンスが向上する可能性があります。

- **すべてのHCAの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- ibdev2netdevツールの出力が変更されたため、ボンディングデバイスがスレーブインターフェイスではなくボンディングを指すようになりました。
- Cookieエラーやタイムアウトなど、RXキューで発生するエラーの監視およびエラーからの回復。
- ドアベルの使用量を必要最低限に減らすことにより、GSO(Generic Segmentation Offload)ワークロードのパフォーマンスを改善しました。
- TX CQE(完了キューエントリー)の圧縮。CQEをまとめて圧縮することにより、送信PCIe帯域幅を節約します。デフォルトでは無効になっています。ethtoolのプライベートフラグで構成可能です。
- devlinkによるファームウェアバージョンのクエリ―:devlinkツールを使用して、実行中および保存されているファームウェアバージョンをクエリするオプションを追加しました。
- devlinkによるファームウェアフラッシュのアップデート:devlinkツールを使用してフラッシュ内のファームウェアイメージをアップデートするオプションを追加しました。使用法:devlink dev flash file .mfa2 このアップデートの実行方法の詳細は、MFTユーザーマニュアルの「Updating Firmware Using ethtool/devlink and .mfa2 File」セクションを参照してください。
- Rx/Txレポーターに関するエラーによってトリガーされるWQE(ワークキューエレメント)のダンプ。また、(エラーによってトリガーされない)一部のダンプは、ユーザーがdevlink healthレポーターを使用して取得できます。
- TSO、CSUM、およびRSSのGENEVEでトンネル化されたハードウェアオフロード。
- MPLSタグ付きトラフィック用のTCPセグメンテーションとチェックサムオフロードのサポート。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 8 Update 3 (x86_64)カーネルは、次のとおりです。
4.18.0-240.el8 - (x86_64)および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 12 SP4

(AMD64/EM64T)
バージョン: 4.9-3.1.6.1 **(推奨)**
ファイル名: mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.3.1.6.1.sles12sp4.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.3.1.6.1.sles12sp4.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k4.12.14_94.41-OFED.4.9.3.1.6.1.sles12sp4.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k4.12.14_94.41-OFED.4.9.3.1.6.1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意！

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ(https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン4.9で修正されました。

- デバイスに大きな負荷がかかっているときに、IOMMUの割り当てエラーが発生しました。
- "ibv_devinfo -v"コマンドで、サポートされていても一部のMEM_WINDOW機能が出力されませんでした。

拡張

バージョン4.9には、以下の変更と新機能が追加されています。

- **ConnectX-5以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- デバッグ機能を改善するために、devlinkツールを使用して構成スペースをダンプするオプション。
- 従来のTXディスクリプター(WQE、ワークキューエレメント)は送信用の単一のパケットを記述します。XDP送信フローでのマルチパケットTX WQEというHW機能のドライバーサポートを追加しました。これにより、HWで、複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトの使用が可能になります。実際、この機能によってPCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- GENEVEのカプセル化/非カプセル化ルールのオフロード。
- XDP送信フロー用に単一のパケットではなく複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトを使用するマルチパケットTxというハードウェア機能のドライバーサポート。これにより、PCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したCT(接続追跡)ルールのアップデート。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したリモートミラーリングルールのアップデート。

- **ConnectX-4以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- 物理ポートのバッファー不足のためにドロップされた受信パケットの数をカウントする、優先順位ごとのrx_prio[p]_discards破棄カウンターを公開しました。
- MPLSタグ付きトラフィックのTSOおよびCSUMオフロード機能をレポートし、カーネルスタックでこれらのオフロードを使用できるようにします。
- mlx5eの最大結合チャネルで、ドライバーの最大結合チャネル値を64から128に増やしました(ただし、OOB値は64を超えないので注意してください)。128が上限です。ファームウェアによって構成されたコアとMSIXの数に応じて、ホストでの最大値がこれよりも下がる可能性があります。
- 次のRoCEアクセラレーターカウンターを追加しました。
  - roce_adp_retrans - RoCEトラフィックのアダプティブ再送信の数をカウントします。
  - roce_adp_retrans_to - RoCEトラフィックがアダプティブ再送信のためにタイムアウトに達した回数をカウントします。
  - roce_slow_restart - RoCEスローリスタートが使用された回数をカウントします。
  - roce_slow_restart_cnps - RoCEスローリスタートによってCNPパケットが生成された回数をカウントします。roce_slow_restart_trans - RoCEスローリスタートによって状態がスローリスタートに変更された回数をカウントします。
- ユーザーは、実験的なVerbsを使用してリラックスオーダリングアクセスフラグでメモリ領域を登録します。これにより、アーキテクチャやシナリオに応じてパフォーマンスが向上する可能性があります。

- **すべてのHCAの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- ibdev2netdevツールの出力が変更されたため、ボンディングデバイスがスレーブインターフェイスではなくボンディングを指すようになりました。
- Cookieエラーやタイムアウトなど、RXキューで発生するエラーの監視およびエラーからの回復。
- ドアベルの使用量を必要最低限に減らすことにより、GSO(Generic Segmentation Offload)ワークロードのパフォーマンスを改善しました。
- TX CQE(完了キューエントリー)の圧縮。CQEをまとめて圧縮することにより、送信PCIe帯域幅を節約します。デフォルトでは無効になっています。ethtoolのプライベートフラグで構成可能です。
- devlinkによるファームウェアバージョンのクエリ―:devlinkツールを使用して、実行中および保存されているファームウェアバージョンをクエリするオプションを追加しました。
- devlinkによるファームウェアフラッシュのアップデート:devlinkツールを使用してフラッシュ内のファームウェアイメージをアップデートするオプションを追加しました。使用法:devlink dev flash file .mfa2 このアップデートの実行方法の詳細は、MFTユーザーマニュアルの「Updating Firmware Using ethtool/devlink and .mfa2 File」セクションを参照してください。

- Rx/Txレポーターに関するエラーによってトリガーされるWQE(ワークキューエレメント)のダンプ。また、(エラーによってトリガーされない)一部のダンプは、ユーザーがdevlink healthレポーターを使用して取得できます。
- TSO、CSUM、およびRSSのGENEVEでトンネル化されたハードウェアオフロード。
- MPLSタグ付きトラフィック用のTCPセグメンテーションとチェックサムオフロードのサポート。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 12 SP4(AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
4.12.14-94.41-default -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 12 SP5 (AMD64/EM64T)

バージョン: 4.9-3.1.6.1 **(推奨)**
ファイル名: mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.3.1.6.1.sles12sp5.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.3.1.6.1.sles12sp5.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k4.12.14_120-OFED.4.9.3.1.6.1.sles12sp5.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k4.12.14_120-OFED.4.9.3.1.6.1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意！

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ(https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン4.9で修正されました。

- デバイスに大きな負荷がかかっているときに、IOMMUの割り当てエラーが発生しました。
- "ibv_devinfo -v"コマンドで、サポートされていても一部のMEM_WINDOW機能が出力されませんでした。

拡張

バージョン4.9には、以下の変更と新機能が追加されています。

- **ConnectX-5以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- デバッグ機能を改善するために、devlinkツールを使用して構成スペースをダンプするオプション。
- 従来のTXディスクリプター(WQE、ワークキューエレメント)は送信用の単一のパケットを記述します。XDP送信フローでのマルチパケットTX WQEというHW機能のドライバーサポートを追加しました。これにより、HWで、複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトの使用が可能になります。実際、この機能によってPCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- GENEVEのカプセル化/非カプセル化ルールのオフロード。
- XDP送信フロー用に単一のパケットではなく複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトを使用するマルチパケットTxというハードウェア機能のドライバーサポート。これにより、PCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したCT(接続追跡)ルールのアップデート。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したリモートミラーリングルールのアップデート。

- **ConnectX-4以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- 物理ポートのバッファー不足のためにドロップされた受信パケットの数をカウントする、優先順位ごとのrx_prio[p]_discards破棄カウンターを公開しました。
- MPLSタグ付きトラフィックのTSOおよびCSUMオフロード機能をレポートし、カーネルスタックでこれらのオフロードを使用できるようにします。
- mlx5eの最大結合チャネルで、ドライバーの最大結合チャネル値を64から128に増やしました(ただし、OOB値は64を超えないので注意してください)。128が上限です。ファームウェアによって構成されたコアとMSIXの数に応じて、ホストでの最大値がこれよりも下がる可能性があります。
- 次のRoCEアクセラレーターカウンターを追加しました。
  - roce_adp_retrans - RoCEトラフィックのアダプティブ再送信の数をカウントします。
  - roce_adp_retrans_to - RoCEトラフィックがアダプティブ再送信のためにタイムアウトに達した回数をカウントします。
  - roce_slow_restart - RoCEスローリスタートが使用された回数をカウントします。
  - roce_slow_restart_cnps - RoCEスローリスタートによってCNPパケットが生成された回数をカウントします。roce_slow_restart_trans - RoCEスローリスタートによって状態がスローリスタートに変更された回数をカウントします。
- ユーザーは、実験的なVerbsを使用してリラックスオーダリングアクセスフラグでメモリ領域を登録します。これにより、アーキテクチャやシナリオに応じてパフォーマンスが向上する可能性があります。

- **すべてのHCAの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- ibdev2netdevツールの出力が変更されたため、ボンディングデバイスがスレーブインターフェイスではなくボンディングを指すようになりました。
- Cookieエラーやタイムアウトなど、RXキューで発生するエラーの監視およびエラーからの回復。
- ドアベルの使用量を必要最低限に減らすことにより、GSO(Generic Segmentation Offload)ワークロードのパフォーマンスを改善しました。
- TX CQE(完了キューエントリー)の圧縮。CQEをまとめて圧縮することにより、送信PCIe帯域幅を節約します。デフォルトでは無効になっています。ethtoolのプライベートフラグで構成可能です。
- devlinkによるファームウェアバージョンのクエリー:devlinkツールを使用して、実行中および保存されているファームウェアバージョンをクエリするオプションを追加しました。
- devlinkによるファームウェアフラッシュのアップデート:devlinkツールを使用してフラッシュ内のファームウェアイメージをアップデートするオプションを追加しました。使用法:devlink dev flash file .mfa2 このアップデートの実行方法の詳細は、MFTユーザーマニュアルの「Updating Firmware Using ethtool/devlink and .mfa2 File」セクションを参照してください。
- Rx/Txレポーターに関するエラーによってトリガーされるWQE(ワークキューエレメント)のダンプ。また、(エラーによってトリガーされない)一部のダンプは、ユーザーがdevlink healthレポーターを使用して取得できます。
- TSO、CSUM、およびRSSのGENEVEでトンネル化されたハードウェアオフロード。
- MPLSタグ付きトラフィック用のTCPセグメンテーションとチェックサムオフロードのサポート。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 12 SP5(AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
4.12.14-120-default -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet)ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9 (x86_64)

バージョン: 4.9-3.1.6.1 **(推奨)**
ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.3.1.6.1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.3.1.6.1.rhel7u9.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.3.1.6.1.rhel7u9.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.3.1.6.1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意！

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ(https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン4.9で修正されました。

- デバイスに大きな負荷がかかっているときに、IOMMUの割り当てエラーが発生しました。
- "ibv_devinfo -v"コマンドで、サポートされていても一部のMEM_WINDOW機能が出力されませんでした。

拡張

バージョン4.9には、以下の変更と新機能が追加されています。

- **ConnectX-5以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- デバッグ機能を改善するために、devlinkツールを使用して構成スペースをダンプするオプション。
- 従来のTXディスクリプター(WQE、ワークキューエレメント)は送信用の単一のパケットを記述します。XDP送信フローでのマルチパケットTX WQEというHW機能のドライバーサポートを追加しました。これにより、HWで、複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトの使用が可能になります。実際、この機能によってPCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- GENEVEのカプセル化/非カプセル化ルールのオフロード。
- XDP送信フロー用に単一のパケットではなく複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトを使用するマルチパケットTxというハードウェア機能のドライバーサポート。これにより、PCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したCT(接続追跡)ルールのアップデート。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したリモートミラーリングルールのアップデート。

- **ConnectX-4以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- 物理ポートのバッファー不足のためにドロップされた受信パケットの数をカウントする、優先順位ごとのrx_prio[p]_discards破棄カウンターを公開しました。
- MPLSタグ付きトラフィックのTSOおよびCSUMオフロード機能をレポートし、カーネルスタックでこれらのオフロードを使用できるようにします。
- mlx5eの最大結合チャネルで、ドライバーの最大結合チャネル値を64から128に増やしました(ただし、OOB値は64を超えないので注意してください)。128が上限です。ファームウェアによって構成されたコアとMSIXの数に応じて、ホストでの最大値がこれよりも下がる可能性があります。
- 次のRoCEアクセラレーターカウンターを追加しました。
  - roce_adp_retrans - RoCEトラフィックのアダプティブ再送信の数をカウントします。
  - roce_adp_retrans_to - RoCEトラフィックがアダプティブ再送信のためにタイムアウトに達した回数をカウントします。
  - roce_slow_restart - RoCEスローリスタートが使用された回数をカウントします。
  - roce_slow_restart_cnps - RoCEスローリスタートによってCNPパケットが生成された回数をカウントします。roce_slow_restart_trans - RoCEスローリスタートによって状態がスローリスタートに変更された回数をカウントします。
- ユーザーは、実験的なVerbsを使用してリラックスオーダリングアクセスフラグでメモリ領域を登録します。これにより、アーキテクチャやシナリオに応じてパフォーマンスが向上する可能性があります。

- **すべてのHCAの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- ibdev2netdevツールの出力が変更されたため、ボンディングデバイスがスレーブインターフェイスではなくボンディングを指すようになりました。
- Cookieエラーやタイムアウトなど、RXキューで発生するエラーの監視およびエラーからの回復。
- ドアベルの使用量を必要最低限に減らすことにより、GSO(Generic Segmentation Offload)ワークロードのパフォーマンスを改善しました。
- TX CQE(完了キューエントリー)の圧縮。CQEをまとめて圧縮することにより、送信PCIe帯域幅を節約します。デフォルトでは無効になっています。ethtoolのプライベートフラグで構成可能です。
- devlinkによるファームウェアバージョンのクエリ―:devlinkツールを使用して、実行中および保存されているファームウェアバージョンをクエリするオプションを追加しました。
- devlinkによるファームウェアフラッシュのアップデート:devlinkツールを使用してフラッシュ内のファームウェアイメージをアップデートするオプションを追加しました。使用法:devlink dev flash file .mfa2 このアップデートの実行方法の詳細は、MFTユーザーマニュアルの「Updating Firmware Using ethtool/devlink and .mfa2 File」セクションを参照してください。
- Rx/Txレポーターに関するエラーによってトリガーされるWQE(ワークキューエレメント)のダンプ。また、(エラーによってトリガーされない)一部のダンプは、ユーザーがdevlink healthレポーターを使用して取得できます。
- TSO、CSUM、およびRSSのGENEVEでトンネル化されたハードウェアオフロード。
- MPLSタグ付きトラフィック用のTCPセグメンテーションとチェックサムオフロードのサポート。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 Update 9 (x86_64)カーネルは、次の通りです。
3.10.0-1160.el7 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet)ドライバー for SUSE LINUX Enterprise Server 15 SP1 (AMD64/EM64T)

バージョン: 4.9 (A) **(推奨)**
ファイル名: mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.2.2.4.1.1.sles15sp1.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.2.2.4.1.1.sles15sp1.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k4.12.14_195-OFED.4.9.2.2.4.1.sles15sp1.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k4.12.14_195-OFED.4.9.2.2.4.1.sles15sp1.x86_64.rpm

重要な注意！

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ(https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン4.9で修正されました。

- EEH(拡張エラー処理)を挿入すると、次のような余分なカーネル出力が発生する可能性がある問題:"EEH: Might be infinite loop in mlx5_core driver"が修正されました。
- デフォルト以外のカーネルを備えたRPMベースのOSで、(-add-kernel-supportを使用して)インストーラーを再作成した後にレポジトリを使用すると、ドライバーが正しくインストールされませんでした。
- perftestパッケージのタイプミスで、ヘルプメッセージにGb/sとMB/sの間の変換結果が誤って表示されました(2^20ではなく20^2)。
- LAGスレーブの1つがダウンすると、LAGの非アクティブ化に失敗し、最終的に帯域幅が低下しました。
- mlx5ドライバーでは、/sys/kernel/debug/にある開いているすべてのethポートのサブディレクトリを維持します。デフォルトのネットワーク名前空間の場合、サブディレクトリ名は"eth8"のようなインターフェイスの名前です。デフォルト以外のネットワーク名前空間に移動されたネットワークインターフェイスの新しい規則では、インターフェイス名の後に"@"とポートのPCI IDが続きます。例:"eth8@0000:af:00.3"。
- 以前は、esp6_offloadモジュールが正常にロードされない場合に"openibd"スクリプトのロードに失敗していました。

- mpi-selectorsパッケージのperl-Getopt-Longシステムパッケージへの依存関係を追加しました。RPMベースのOSの最小インストールでは、mpi-selectrosをインストールすると、必須のシステムパッケージperl-Getopt-Longもインストールされます。
- 特定のまれなシナリオで、Rxページが補充されないために、同じページフラグメントが誤って2つの異なるRx記述子に割り当てられるようになりました。
- SLES15 SP1のerrataカーネルでドライバーのロードに関する問題がありました。
- TCツールを使用してヘアピンフローを追加できないヘアピン機能の問題が修正されました。
- EEHの場合、WQ(作業キュー)のフラッシュが適切に処理されませんでした。
- RMPP madを集中的に使用するアプリケーションを終了すると、まれにカーネルがクラッシュするシナリオ。
- ユーザー空間コマンドの実行と並行してAER/スロットリセットが行われると、カーネルがクラッシュする可能性のあるシナリオ。
- SwitchDevモードのPFのsysfsで欠落していたECN(Explicit Congestion Notification)構成を追加しました。
- コマンドに対するファームウェアの応答時間が非常に長くなると、タイムアウト時に一部のコマンドが失敗しました。その後、ドライバーが誤ったエントリーでタイムアウトの完了をトリガーし、ヌルポインター呼び出しトレースが発生した可能性があります。
- 次のNetDev操作を使用する古いXDP_REDIRECTインフラストラクチャを備えたカーネルのドライバーサポートを追加しました:.ndo_xdp_flushおよび.ndo_xdp_xmit。
- Open MPI RPMオプション--excludedocsを使用したときにドキュメントに関連しないファイルが削除されました。
- 以前のMLNX_OFEDバージョンの起動プロセスを維持するために、udevトリガーによる一部のモジュールの自動ロードを無効にしました。
- rdma_resolve_addr()関数でRDMA接続ID(cm_id)の参照カウント(refcount)がインクリメントされなかったために、cm_idのUse-After-Freeアクセスが発生しました。cm_idのrefcountをインクリメントするように修正が適用されました
- 2つのポートを同時にSwitchDevモードに移行したときにカーネルパニックが発生する競合状態。
- SwitchDevモードでのsysfsハードウェアカウンターへのアクセスを許可しました
- 実行対象のコアを決定するために、RXページのリサイクルフローで関数smp_processor_id()が呼び出されます。これは、NAPIコンテキストで実行するためのものです。しかし、バックポート中のバグにより、RXページのリサイクルがRQクローズフローで不要なときにも誤って呼び出されました。
- 再起動後にポートリンク状態が(管理状態の関与なしに)"アップ"に自動的に変更されました。
- SLES 11 OSで動作しているときにConnectX-3アダプターカードがフリーズしました。
- ポートスペースが小さいときに、RDMA CM(リモートダイレクトメモリアクセス通信マネージャー)接続が失敗しました。
- VxLANインターフェイスを介したOVS(Open VSwitch)オフロードおよび非オフロードによるトラフィックのミラーリングがサポートされるようになりました。注記:カーネル4.9の場合、必ず専用のOVSバージョンを使用してください。
- ボンディングデバイスがアクティブ/アクティブモードのときにVF LAGを使用した場合、fwresetを実行すると、両方のPFでトラフィックが等しくなくなり、PFが回線速度に到達しません。
- SwitchDevモードでVF(仮想機能)netdevice上にボンディングが作成された場合、VF netdeviceはリプレゼンテーションネットデバイスとして扱われます。これにより、mlx5_coreドライバーがボンディングデバイスに関連するnetdeviceイベントを受信した場合にクラッシュしました。
- VF LAGモードでの不適切なアフィニティの発生に続いて、スイッチのポートがアップ/ダウンした後にトラフィックが送信されていた問題。
- CentOS 7.2 OSでのVLAN(仮想ローカルエリアネットワーク)ヘッダーの書き換えのサポートを追加しました。

拡張

バージョン4.9では次の変更点と新機能が追加されました:

- **ConnectX-5以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- デバッグ機能を改善するために、devlinkツールを使用して構成スペースをダンプするオプション。
- 従来のTXディスクリプター(WQE、ワークキューエレメント)は送信用の単一のパケットを記述します。XDP送信フローでのマルチパケットTX WQEというHW機能のドライバーサポートを追加しました。これにより、HWで、複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトの使用が可能になります。実際、この機能によってPCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- GENEVEのカプセル化/非カプセル化ルールのオフロード。
- XDP送信フロー用に単一のパケットではなく複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトを使用するマルチパケットTxというハードウェア機能のドライバーサポート。これにより、PCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したCT(接続追跡)ルールのアップデート。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したリモートミラーリングルールのアップデート。

- **ConnectX-4以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- 物理ポートのバッファー不足のためにドロップされた受信パケットの数をカウントする、優先順位ごとのrx_prio[p]_discards破棄カウンターを公開しました。
- MPLSタグ付きトラフィックのTSOおよびCSUMオフロード機能をレポートし、カーネルスタックでこれらのオフロードを使用できるようにします。
- mlx5eの最大結合チャネルで、ドライバーの最大結合チャネル値を64から128に増やしました(ただし、OOB値は64を超えないので注意してください)。128が上限です。ファームウェアによって構成されたコアとMSIXの数に応じて、ホストでの最大値がこれよりも下がる可能性があります。
- 次のRoCEアクセラレーターカウンターを追加しました。
  - roce_adp_retrans - RoCEトラフィックのアダプティブ再送信の数をカウントします。
  - roce_adp_retrans_to - RoCEトラフィックがアダプティブ再送信のためにタイムアウトに達した回数をカウントします。
  - roce_slow_restart - RoCEスローリスタートが使用された回数をカウントします。
  - roce_slow_restart_cnps - RoCEスローリスタートによってCNPパケットが生成された回数をカウントします。roce_slow_restart_trans - RoCEスローリスタートによって状態がスローリスタートに変更された回数をカウントします。
- ユーザーは、実験的なVerbsを使用してリラックスオーダリングアクセスフラグでメモリ領域を登録します。これにより、アーキテクチャやシナリオに応じてパフォーマンスが向上する可能性があります。

- **すべてのHCAの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- ibdev2netdevツールの出力が変更されたため、ボンディングデバイスがスレーブインターフェイスではなくボンディングを指すようになりました。

- Cookieエラーやタイムアウトなど、RXキューで発生するエラーの監視およびエラーからの回復。
- ドアベルの使用量を必要最低限に減らすことにより、GSO(Generic Segmentation Offload)ワークロードのパフォーマンスを改善しました。
- TX CQE(完了キューエントリー)の圧縮。CQEをまとめて圧縮することにより、送信PCIe帯域幅を節約します。デフォルトでは無効になっています。ethtoolのプライベートフラグで構成可能です。
- devlinkによるファームウェアバージョンのクエリー:devlinkツールを使用して、実行中および保存されているファームウェアバージョンをクエリするオプションを追加しました。
- devlinkによるファームウェアフラッシュのアップデート:devlinkツールを使用してフラッシュ内のファームウェアイメージをアップデートするオプションを追加しました。使用法:devlink dev flash file .mfa2 このアップデートの実行方法の詳細は、MFTユーザーマニュアルの「Updating Firmware Using ethtool/devlink and .mfa2 File」セクションを参照してください。
- Rx/Txレポーターに関するエラーによってトリガーされるWQE(ワークキューエレメント)のダンプ。また、(エラーによってトリガーされない)一部のダンプは、ユーザーがdevlink healthレポーターを使用して取得できます。
- TSO、CSUM、およびRSSのGENEVEでトンネル化されたハードウェアオフロード。
- MPLSタグ付きトラフィック用のTCPセグメンテーションとチェックサムオフロードのサポート。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE Linux Enterprise Server 15 SP1(AMD64/EM64T)カーネルは、次のとおりです。
4.12.14-195-default -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet)ドライバー for SUSE LINUX Enterprise Server 15 SP2 (AMD64/EM64T)

バージョン: 4.9-3.1.6.1 **(推奨)**
ファイル名: mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.3.1.6.1.sles15sp2.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.3.1.6.1.sles15sp2.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k5.3.18_22-OFED.4.9.3.1.6.1.sles15sp2.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k5.3.18_22-OFED.4.9.3.1.6.1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意！

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ(https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン4.9で修正されました。

- デバイスに大きな負荷がかかっているときに、IOMMUの割り当てエラーが発生しました。
- "ibv_devinfo -v"コマンドで、サポートされていても一部のMEM_WINDOW機能が出力されませんでした。

拡張

バージョン4.9には、以下の変更と新機能が追加されています。

- **ConnectX-5以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- デバッグ機能を改善するために、devlinkツールを使用して構成スペースをダンプするオプション。
- 従来のTXディスクリプター(WQE、ワークキューエレメント)は送信用の単一のパケットを記述します。XDP送信フローでのマルチパケットTX WQEというHW機能のドライバーサポートを追加しました。これにより、HWで、複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトの使用が可能になります。実際、この機能によってPCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- GENEVEのカプセル化/非カプセル化ルールのオフロード。
- XDP送信フロー用に単一のパケットではなく複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトを使用するマルチパケットTxというハードウェア機能のドライバーサポート。これにより、PCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したCT(接続追跡)ルールのアップデート。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したリモートミラーリングルールのアップデート。

- **ConnectX-4以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- 物理ポートのバッファー不足のためにドロップされた受信パケットの数をカウントする、優先順位ごとのrx_prio[p]_discards破棄カウンターを公開しました。
- MPLSタグ付きトラフィックのTSOおよびCSUMオフロード機能をレポートし、カーネルスタックでこれらのオフロードを使用できるようにします。

- mlx5eの最大結合チャネルで、ドライバーの最大結合チャネル値を64から128に増やしました(ただし、OOB値は64を超えないので注意してください)。128が上限です。ファームウェアによって構成されたコアとMSIXの数に応じて、ホストでの最大値がこれよりも下がる可能性があります。
- 次のRoCEアクセラレーターカウンターを追加しました。
  - roce_adp_retrans - RoCEトラフィックのアダプティブ再送信の数をカウントします。
  - roce_adp_retrans_to - RoCEトラフィックがアダプティブ再送信のためにタイムアウトに達した回数をカウントします。
  - roce_slow_restart - RoCEスローリスタートが使用された回数をカウントします。
  - roce_slow_restart_cnps - RoCEスローリスタートによってCNPパケットが生成された回数をカウントします。roce_slow_restart_trans - RoCEスローリスタートによって状態がスローリスタートに変更された回数をカウントします。
- ユーザーは、実験的なVerbsを使用してリラックスオーダリングアクセスフラグでメモリ領域を登録します。これにより、アーキテクチャやシナリオに応じてパフォーマンスが向上する可能性があります。

- **すべてのHCAの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- ibdev2netdevツールの出力が変更されたため、ボンディングデバイスがスレーブインターフェイスではなくボンディングを指すようになりました。
- Cookieエラーやタイムアウトなど、RXキューで発生するエラーの監視およびエラーからの回復。
- ドアベルの使用量を必要最低限に減らすことにより、GSO(Generic Segmentation Offload)ワークロードのパフォーマンスを改善しました。
- TX CQE(完了キューエントリー)の圧縮。CQEをまとめて圧縮することにより、送信PCIe帯域幅を節約します。デフォルトでは無効になっています。ethtoolのプライベートフラグで構成可能です。
- devlinkによるファームウェアバージョンのクエリー:devlinkツールを使用して、実行中および保存されているファームウェアバージョンをクエリするオプションを追加しました。
- devlinkによるファームウェアフラッシュのアップデート:devlinkツールを使用してフラッシュ内のファームウェアイメージをアップデートするオプションを追加しました。使用法:devlink dev flash file .mfa2 このアップデートの実行方法の詳細は、MFTユーザーマニュアルの「Updating Firmware Using ethtool/devlink and .mfa2 File」セクションを参照してください。
- Rx/Txレポーターに関するエラーによってトリガーされるWQE(ワークキューエレメント)のダンプ。また、(エラーによってトリガーされない)一部のダンプは、ユーザーがdevlink healthレポーターを使用して取得できます。
- TSO、CSUM、およびRSSのGENEVEでトンネル化されたハードウェアオフロード。
- MPLSタグ付きトラフィック用のTCPセグメンテーションとチェックサムオフロードのサポート。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 15 SP2(AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
5.3.18-22-default -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet)ドライバーfor Mellanox ConnectX-4, ConnectX-5 and ConnectX-6 Adapters for SUSE LINUX Enterprise Server 12 SP5 (AMD64/EM64T)

バージョン: 5.4 **(推奨)**
ファイル名: mlnx-ofa_kernel-5.4-OFED.5.4.1.0.3.1.sles12sp5.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.4-OFED.5.4.1.0.3.1.sles12sp5.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.4_k4.12.14_120-OFED.5.4.1.0.3.1.sles12sp5.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.4_k4.12.14_120-OFED.5.4.1.0.3.1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意！

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ(http://downloads.linux.hpe.com/SDR/repo/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン5.4で修正されました。

- スケーラビリティをサポートするために、ファンクションリプレゼンターチャネルが4に制限されていました。ただし、SF(Scalable Function)が使用されないシナリオでは、特定の使用例で、多数のチャネルがリプレゼンターでサポートされている必要がありました。そのため、PCIデバイス(Scalable Functionのサポートなど)が有効になっている場合にのみ、リプレゼンターチャネルが4に制限されていました。
- ipv4_ihl(インターネットヘッダーの長さ)の一致は、外部ヘッダーでのみサポートされていました。
- ポップとプッシュの両方のVLANアクションで1つのカウンターを使用すると、カウンター値が正しくありませんでした。そのため、pop_vlan_action_counterとpush_vlan_action_counter用にカウンターが分割されました。
- 元の内部フレームが小さく、64バイトの最小フレームサイズに準拠するようにパディングされると、不正なL3のカプセル化解除が発生しました。
- libdat2とlibdpdkでdaplとlibmlx4が必要でした。daplとlibmlx4を削除またはアップデートするには、依存関係を削除する必要がありました。
- フォークの状況では、親/子プロセスの仮想アドレスが偶然同じである場合に、ドアベルメカニズムが正常に機能せず、アプリケーションの動作時にエラーが発生する可能性がありました。
- デバイスで同じmlx5_coreモジュールが共有されている場合に、他のデバイスによるlog_max_qpのオーバーライドが発生しました。
- チャネルが閉じて開く同期の問題(チャネル数の変更などの構成の変更時に発生する可能性があります)によって、mlx5e_select_queue関数でnullポインターの逆参照が発生する可能性がありました。

- tx-udp_tnl-csum-segmentationを有効にしても、ドライバーは影響を受けませんでした。
- 古いudevdバージョンでは、ネットワークデバイスの名前を変更するとスタックし、enp *ではなく、eth *という名前のインターフェイスが残る可能性がありました。
- ct state -trkを使用したt commitアクションを含むフローがオフロードされませんでした(つまり、table=0,ct_state=-trk,ip actions=ct(commit,table=1))。
- トンネルのカプセル化/カプセル化解除を使用したVF LAG上の接続追跡はサポートされず、トラフィックのドロップが発生していました。
- スタックサイズが1024に制限されていると、OFEDコンパイルに失敗しました。
- 2,147,483,648を超える速度/バースト値を設定すると、拒否されました。
- トンネルデバイス上でリモートミラーリングフローがオフロードされると、VFに転送されたトラフィックのカプセル化が解除されませんでした。
- VF(cat/sys/class/net/enp8s0f2/compat/devlink/vport_match_mode)でVPort一致モードを設定しようとすると、カーネルがクラッシュします。
- OVSフローがソケット直接デバイス上でオフロードされませんでした。
- VXLANが構成され、不正なルートが追加されると、システムでコールトレースがクラッシュしました。
- netdevが初めて起動する前にトラフィックが送信されると、モジュロ演算によってゼロ除算がndo_select_queueで発生し、カーネルパニックが発生する可能性がありました。
- ドライバを再起動した後に、x86ホストが猶予期間になり、単独で回復しない可能性がありました。修正の一環として、20分の猶予期間内に5回のFW_fatalリカバリが許可されます。そのため、FW_fatalレポーターでは、devlink health showコマンドの猶予期間が0と表示されます。

拡張

MLNX OFED v5.4は、以下の変更点および新機能を含みます:

ConnectX-4アダプターの場合:

- さまざまなドライバーコンポーネントをドライバーコアに統合し、モジュールのロード/アンロードシーケンスを最適化するために、補助バスを使用するようにmlx5ドライバーがアップデートされました。
- NICのWJH(What Just Happened):WJHを使用すると、ドロップされたパケットを可視化できます(つまり、ドロップカウンターの増加について通知を受信したり、ドロップされたパケットの内容を確認したり、デバッグしたりできます)。WJHはdevlinkコンテキストのサービスであり、すでにスイッチに実装されています。
- 注記:ドロップされたパケットを処理すると(可視性の目的の場合でも)、パフォーマンスが低下し、悪意のある攻撃に対してドライバーが脆弱になる可能性があります。この機能はデフォルトで無効になっています。
- サポートされているトラップ:
- VLANの不一致:既存の一般トラップDEVLINK_TRAP_GENERIC_ID_DMAC_MISMATCHトラップで不正なVLANタグを含むパケットが受信されました
- DMACの不一致:新しい一般トラップDEVLINK_TRAP_GENERIC_ID_DMAC_MISMATCHトラップで不正な宛先MACタグを含むパケットが受信されました
- カーネルULPでリラックスオーダリングを有効にするためのサポートが追加されました。リラックスオーダリングを使用すると、一部のセットアップ時にパフォーマンスが改善される可能性があります。カーネルULPではROがサポートされていることが想定されるため、ROの利点が得られるように、デフォルトで有効になっています。

ConnectX-4以上のアダプターの場合:

- MLNX_OFED 5.4 GAでは、ConnectX-4/5/6イーサネットネットワークインターフェイスに永続的な名前が付けられるようになりました。このリリース以前では、デフォルトのインターフェース名がカーネルから提供され、udevd(ethX)はそのままでした。このリリース以降では、新しいudevdルールに従ってインターフェース名が生成されます。生成された名前は予測可能になり、OFEDでインストールされたudevルールファイルに従って、udevdデーモンによってデフォルト名が予測可能な名前に自動的に変更されるようになりました。

ConnectX-5以上のアダプターの場合:

- OVS(OpenVSwitch)カーネルでテーブルごとに最大128の一致(グループ)とグループごとに16Mのエントリをサポートできるようになりました。
- ct_stateフラグ(rpl、inv、およびrel)をオフロードします。
- rplの場合、設定と未設定の両方のマッチングオフロード(つまり、+rplと-rpl)に対するサポートが追加されました。
- invおよびrelの場合、未設定オプション(つまり、-relおよび-inv)に対するサポートのみが追加されました。
- スケーラブル機能(サブ機能とも呼ばれます):この機能を使用すると、ユーザーはスケーラブル機能(RDMAやネットワークアプリケーションなど)を作成、構成、展開し、mlxdevmツールを使用してコンテナーの起動時にコンテナーに割り当てることができます。スケーラブル機能は、NIC/DPUから信頼されていないゲスト/ホストシステムに展開することもできます。これにより、コンテナーをホストシステムで実行する機能を提供する前に、NIC/DPUから機能とそのリプレゼンターを完全に構成できます。
- mlxdevmのrateコマンドを使用したスケーラブル機能QoSおよびQoSグループが追加されました。詳細については、"man mlxdevm port"を実行してください。
- サポートされているデバイス上で、シグネチャーハンドオーバーメカニズムを使用してアプリケーションレベルのデータ整合性チェックを実行できるようにする"シグネチャーAPI"。フルワイヤスピードでの転送中に、さまざまなシグネチャータイプ(CRC32やT10-DIFを含む)の計算とチェック、削除、または追加を自動的に行うことができます。
- misc5パラメータを使用したRAWトンネルヘッダーで一致を行うためのDRサポート。この機能を使用すると、ヘッダーの各ビット
- (予約フィールドを含む)で一致を行うことができます。

ConnectX-6 Dxアダプターの場合:

- DEVX API経由でQP(キューペア)をAHにマッピングすると、同じデータセンター内のDC/UD QPで複数のCCアルゴリズムを使用できるようになります。
- ソフトウェアステアリングでより適切な挿入速度がサポートされました。これには、コード内のデバッグ専用領域をスキップするマルチQPが含まれます。
- ステアリングルールのアップデート、挿入、および削除の速度が改善されました。この機能には、定義者、マルチQPアプローチ、およびより適切なメモリ使用量が含まれます。
- 重複するルールの挿入を許可または回避する機能のサポートが追加されたため、ユーザーは次の動作のいずれかを選択できるようになりました。
- 既存のルールと失敗を検出できるように、重複するルールを回避します。
- ルールのアクションをアップデートできるように、重複するルールを許可します(以前のルールが削除された場合にのみ有効になります)。デフォルトでは、重複するルールが許可されます。

- Htbleの定義された(エクスポート)サイズを使用して、定義された時間内にすべてのルールの挿入が行われ、動的な割り当ての使用回数が減るようにします。

すべてのHCAの場合:

- バージョン5.4以降では、udevルールに従って、NVIDIAアダプターから作成されたネットワークインターフェイスの名前が変更されるようにドライバーが設定されています。udevルールは"/lib/udev/rules.d"に配置され、"/etc/udev/rules.d"に同じ名前のファイルを配置すると上書きされる可能性があります。
- 例:/etc/udev/rules.d/82-net-setup-link.rules
- OvS-DPDKでは、"ovs-appctl dpctl/dump-e2e-stats"コマンドが非推奨になりました。代わりに、このコマンドは既存の"ovs-appctl dpctl/offload-stats-show -m"コマンドに統合されています(e2e-cacheが有効になっている場合)。
- OvS-DPDK ct-ct-natオフロードがデフォルトで無効になりました。
- バージョン5.4より前では、ーumad-dev-rwまたはーumad-dev-naオプションが使用された場合に、/etc/udev/rules.d/90-ib.rulesがインストールスクリプトで自動的に編集される可能性がありました。バージョン5.4以降では、(存在する場合)これらのコマンドラインオプションの設定のみが含まれる/etc/udev/rules.d/91-ib-permissions.rulesで、これらの変更が行われます。
- ibv_query_qp_data_in_order() API:このAPIを使用すると、特定のQPデータが正常であることが保証されているかどうかを確認できるため、完了のポーリングではなく、データのポーリングが有効になります。
- ethtool拡張リンク状態がmlx5eに追加されました。ethtoolを使用すると、状態のトラブルシューティング時に役立つ詳細情報を取得できます。
- すべてのPythonスクリプトとその他の一般的なスクリプトの一部がmlnxofa_カーネルパッケージから移動されました。これにより、パッケージの再構築時にそのパッケージからPythonの依存関係が削除され、再構築時にカスタムカーネルの不要なエラーが回避されました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 12 SP5(AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
4.12.14-120-default-(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet)ドライバーfor Mellanox ConnectX-4、ConnectX-5、ConnectX-6 Adapters for SUSE LINUX Enterprise Server 12 SP4 (AMD64/EM64T)

バージョン: 5.4 **(推奨)**
ファイル名: mlnx-ofa_kernel-5.4-OFED.5.4.1.0.3.1.sles12sp4.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.4-OFED.5.4.1.0.3.1.sles12sp4.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.4_k4.12.14_94.41-OFED.5.4.1.0.3.1.sles12sp4.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.4_k4.12.14_94.41-OFED.5.4.1.0.3.1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ(http://downloads.linux.hpe.com/SDR/repo/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン5.4で修正されました。

- スケーラビリティをサポートするために、ファンクションリプレゼンターチャネルが4に制限されていました。ただし、SF(Scalable Function)が使用されないシナリオでは、特定の使用例で、多数のチャネルがリプレゼンターでサポートされている必要がありました。そのため、PCIデバイス(Scalable Functionのサポートなど)が有効になっている場合にのみ、リプレゼンターチャネルが4に制限されていました。
- ipv4_ihl(インターネットヘッダーの長さ)の一致は、外部ヘッダーでのみサポートされていました。
- ポップとプッシュの両方のVLANアクションで1つのカウンターを使用すると、カウンター値が正しくありませんでした。そのため、pop_vlan_action_counterとpush_vlan_action_counter用にカウンターが分割されました。
- 元の内部フレームが小さく、64バイトの最小フレームサイズに準拠するようにパディングされると、不正なL3のカプセル化解除が発生しました。
- libdat2とlibdpdkでdaplとlibmlx4が必要でした。daplとlibmlx4を削除またはアップデートするには、依存関係を削除する必要がありました。
- フォークの状況では、親/子プロセスの仮想アドレスが偶然同じである場合に、ドアベルメカニズムが正常に機能せず、アプリケーションの動作時にエラーが発生する可能性がありました。
- デバイスで同じmlx5_coreモジュールが共有されている場合に、他のデバイスによるlog_max_qpのオーバーライドが発生しました。
- チャネルが閉じて開く同期の問題(チャネル数の変更などの構成の変更時に発生する可能性があります)によって、mlx5e_select_queue関数でnullポインターの逆参照が発生する可能性がありました。
- tx-udp_tnl-csum-segmentationを有効にしても、ドライバーは影響を受けませんでした。
- 古いudevdバージョンでは、ネットワークデバイスの名前を変更するとスタックし、enp *ではなく、eth *という名前のインターフェイスが残る可能性がありました。
- ct state -trkを使用したt commitアクションを含むフローがオフロードされませんでした(つまり、table=0,ct_state=-trk,ip actions=ct(commit,table=1))。
- トンネルのカプセル化/カプセル化解除を使用したVF LAG上の接続追跡はサポートされず、トラフィックのドロップが発生していました。
- スタックサイズが1024に制限されていると、OFEDコンパイルに失敗しました。
- 2,147,483,648を超える速度/バースト値を設定すると、拒否されました。
- トンネルデバイス上でリモートミラーリングフローがオフロードされると、VFに転送されたトラフィックのカプセル化が解除されませんでした。

- VF(cat/sys/class/net/enp8s0f2/compat/devlink/vport_match_mode)でVPort一致モードを設定しようとすると、カーネルがクラッシュします。
- OVSフローがソケット直接デバイス上でオフロードされませんでした。
- VXLANが構成され、不正なルートが追加されると、システムでコールトレースがクラッシュしました。
- netdevが初めて起動する前にトラフィックが送信されると、モジュロ演算によってゼロ除算がndo_select_queueで発生し、カーネルパニックが発生する可能性がありました。
- ドライバを再起動した後に、x86ホストが猶予期間になり、単独で回復しない可能性がありました。修正の一環として、20分の猶予期間内に5回のFW_fatalリカバリが許可されます。そのため、FW_fatalレポーターでは、devlink health showコマンドの猶予期間が0と表示されます。

拡張

MLNX OFED v5.4は、以下の変更点および新機能を含みます:

ConnectX-4アダプターの場合:

- さまざまなドライバーコンポーネントをドライバーコアに統合し、モジュールのロード/アンロードシーケンスを最適化するために、補助バスを使用するようにmlx5ドライバーがアップデートされました。
- NICのWJH(What Just Happened):WJHを使用すると、ドロップされたパケットを可視化できます(つまり、ドロップカウンターの増加について通知を受信したり、ドロップされたパケットの内容を確認したり、デバッグしたりできます)。WJHはdevlinkコンテキストのサービスであり、すでにスイッチに実装されています。
- 注記:ドロップされたパケットを処理すると(可視性の目的の場合でも)、パフォーマンスが低下し、悪意のある攻撃に対してドライバーが脆弱になる可能性があります。この機能はデフォルトで無効になっています。
- サポートされているトラップ:
- VLANの不一致:既存の一般トラップDEVLINK_TRAP_GENERIC_ID_DMAC_MISMATCHトラップで不正なVLANタグを含むパケットが受信されました
- DMACの不一致:新しい一般トラップDEVLINK_TRAP_GENERIC_ID_DMAC_MISMATCHトラップで不正な宛先MACタグを含むパケットが受信されました
- カーネルULPでリラックスオーダリングを有効にするためのサポートが追加されました。リラックスオーダリングを使用すると、一部のセットアップ時にパフォーマンスが改善される可能性があります。カーネルULPではROがサポートされていることが想定されるため、ROの利点が得られるように、デフォルトで有効になっています。

ConnectX-4以上のアダプターの場合:

- MLNX_OFED 5.4 GAでは、ConnectX-4/5/6イーサネットネットワークインターフェイスに永続的な名前が付けられるようになりました。このリリース以前では、デフォルトのインターフェース名がカーネルから提供され、udevd(ethX)はそのままでした。このリリース以降では、新しいudevdルールに従ってインターフェース名が生成されます。生成された名前は予測可能になり、OFEDでインストールされたudevルールファイルに従って、udevdデーモンによってデフォルト名が予測可能な名前に自動的に変更されるようになりました。

ConnectX-5以上のアダプターの場合:

- OVS(OpenVSwitch)カーネルでテーブルごとに最大128の一致(グループ)とグループごとに16Mのエントリをサポートできるようになりました。
- ct_stateフラグ(rpl、inv、およびrel)をオフロードします。
- rplの場合、設定と未設定の両方のマッチングオフロード(つまり、+rplと-rpl)に対するサポートが追加されました。
- invおよびrelの場合、未設定オプション(つまり、-relおよび-inv)に対するサポートのみが追加されました。
- スケーラブル機能(サブ機能とも呼ばれます):この機能を使用すると、ユーザーはスケーラブル機能(RDMAやネットワークアプリケーションなど)を作成、構成、展開し、mlxdevmツールを使用してコンテナーの起動時にコンテナーに割り当てることができます。スケーラブル機能は、NIC/DPUから信頼されていないゲスト/ホストシステムに展開することもできます。これにより、コンテナーをホストシステムで実行する機能を提供する前に、NIC/DPUから機能とそのリプレゼンターを完全に構成できます。
- mlxdevmのrateコマンドを使用したスケーラブル機能QoSおよびQoSグループが追加されました。詳細については、"man mlxdevm port"を実行してください。
- サポートされているデバイス上で、シグネチャーハンドオーバーメカニズムを使用してアプリケーションレベルのデータ整合性チェックを実行できるようにする"シグネチャーAPI"。フルワイヤスピードでの転送中に、さまざまなシグネチャータイプ(CRC32やT10-DIFを含む)の計算とチェック、削除、または追加を自動的に行うことができます。
- misc5パラメータを使用したRAWトンネルヘッダーで一致を行うためのDRサポート。この機能を使用すると、ヘッダーの各ビット
- (予約フィールドを含む)で一致を行うことができます。

ConnectX-6 Dxアダプターの場合:

- DEVX API経由でQP(キューペア)をAHにマッピングすると、同じデータセンター内のDC/UD QPで複数のCCアルゴリズムを使用できるようになります。
- ソフトウェアステアリングでより適切な挿入速度がサポートされました。これには、コード内のデバッグ専用領域をスキップするマルチQPが含まれます。
- ステアリングルールのアップデート、挿入、および削除の速度が改善されました。この機能には、定義者、マルチQPアプローチ、およびより適切なメモリ使用量が含まれます。
- 重複するルールの挿入を許可または回避する機能のサポートが追加されたため、ユーザーは次の動作のいずれかを選択できるようになりました。
- 既存のルールと失敗を検出できるように、重複するルールを回避します。
- ルールのアクションをアップデートできるように、重複するルールを許可します(以前のルールが削除された場合にのみ有効になります)。デフォルトでは、重複するルールが許可されます。
- Htbleの定義された(エクスポート)サイズを使用して、定義された時間内にすべてのルールの挿入が行われ、動的な割り当ての使用回数が減るようにします。

すべてのHCAの場合:

- バージョン5.4以降では、udevルールに従って、NVIDIAアダプターから作成されたネットワークインターフェイスの名前が変更されるようにドライバーが設定されています。udevルールは"/lib/udev/rules.d"に配置され、"/etc/udev/rules.d"に同じ名前のファイルを配置すると上書きされる可能性があります。
- 例:/etc/udev/rules.d/82-net-setup-link.rules

- OvS-DPDKでは、"ovs-appctl dpctl/dump-e2e-stats"コマンドが非推奨になりました。代わりに、このコマンドは既存の"ovs-appctl dpctl/offload-stats-show -m"コマンドに統合されています(e2e-cacheが有効になっている場合)。
- OvS-DPDK ct-ct-natオフロードがデフォルトで無効になりました。
- バージョン5.4より前では、ーumad-dev-rwまたはーumad-dev-naオプションが使用された場合に、/etc/udev/rules.d/90-ib.rulesがインストールスクリプトで自動的に編集される可能性がありました。バージョン5.4以降では、(存在する場合)これらのコマンドラインオプションの設定のみが含まれる/etc/udev/rules.d/91-ib-permissions.rulesで、これらの変更が行われます。
- ibv_query_qp_data_in_order() API:このAPIを使用すると、特定のQPデータが正常であることが保証されているかどうかを確認できるため、完了のポーリングではなく、データのポーリングが有効になります。
- ethtool拡張リンク状態がmlx5eに追加されました。ethtoolを使用すると、状態のトラブルシューティング時に役立つ詳細情報を取得できます。
- すべてのPythonスクリプトとその他の一般的なスクリプトの一部がmlnxofa_カーネルパッケージから移動されました。これにより、パッケージの再構築時にそのパッケージからPythonの依存関係が削除され、再構築時にカスタムカーネルの不要なエラーが回避されました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 12 SP4(AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
4.12.14-94.41-default -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE(RDMA over Converged Ethernet)Driver for Mellanox ConnectX-4、ConnectX-5、ConnectX-6 Adapters for Red Hat Enterprise Linux 8 Update 3 (x86_64)

バージョン: 5.4 **(推奨)**
ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-5.4-OFED.5.4.1.0.3.1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-5.4-OFED.5.4.1.0.3.1.rhel8u3.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-5.4-OFED.5.4.1.0.3.1.rhel8u3.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.4-OFED.5.4.1.0.3.1.rhel8u3.x86_64.rpm

重要な注意！

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ(https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン5.4で修正されました。

- スケーラビリティをサポートするために、ファンクションリプレゼンターチャネルが4に制限されていました。ただし、SF(Scalable Function)が使用されないシナリオでは、特定の使用例で、多数のチャネルがリプレゼンターでサポートされている必要がありました。そのため、PCIデバイス(Scalable Functionのサポートなど)が有効になっている場合にのみ、リプレゼンターチャネルが4に制限されていました。
- ipv4_ihl(インターネットヘッダーの長さ)の一致は、外部ヘッダーでのみサポートされていました。
- ポップとプッシュの両方のVLANアクションで1つのカウンターを使用すると、カウンター値が正しくありませんでした。そのため、pop_vlan_action_counterとpush_vlan_action_counter用にカウンターが分割されました。
- 元の内部フレームが小さく、64バイトの最小フレームサイズに準拠するようにパディングされると、不正なL3のカプセル化解除が発生しました。
- libdat2とlibdpdkでdaplとlibmlx4が必要でした。daplとlibmlx4を削除またはアップデートするには、依存関係を削除する必要がありました。
- フォークの状況では、親/子プロセスの仮想アドレスが偶然同じである場合に、ドアベルメカニズムが正常に機能せず、アプリケーションの動作時にエラーが発生する可能性がありました。
- デバイスで同じmlx5_coreモジュールが共有されている場合に、他のデバイスによるlog_max_qpのオーバーライドが発生しました。
- チャネルが閉じて開く同期の問題(チャネル数の変更などの構成の変更時に発生する可能性があります)によって、mlx5e_select_queue関数でnullポインターの逆参照が発生する可能性がありました。
- tx-udp_tnl-csum-segmentationを有効にしても、ドライバーは影響を受けませんでした。
- 古いudevdバージョンでは、ネットワークデバイスの名前を変更するとスタックし、enp *ではなく、eth *という名前のインターフェイスが残る可能性がありました。
- ct state -trkを使用したt commitアクションを含むフローがオフロードされませんでした(つまり、table=0,ct_state=-trk,ip actions=ct(commit,table=1))。
- トンネルのカプセル化/カプセル化解除を使用したVF LAG上の接続追跡はサポートされず、トラフィックのドロップが発生していました。
- スタックサイズが1024に制限されていると、OFEDコンパイルに失敗しました。
- 2,147,483,648を超える速度/バースト値を設定すると、拒否されました。
- トンネルデバイス上でリモートミラーリングフローがオフロードされると、VFに転送されたトラフィックのカプセル化が解除されませんでした。
- VF(cat/sys/class/net/enp8s0f2/compat/devlink/vport_match_mode)でVPort一致モードを設定しようとすると、カーネルがクラッシュします。
- OVSフローがソケット直接デバイス上でオフロードされませんでした。
- VXLANが構成され、不正なルートが追加されると、システムでコールトレースがクラッシュしました。
- netdevが初めて起動する前にトラフィックが送信されると、モジュロ演算によってゼロ除算がndo_select_queueで発生し、カーネルパニックが発生する可能性がありました。
- ドライバを再起動した後に、x86ホストが猶予期間になり、単独で回復しない可能性がありました。修正の一環として、20分の猶予期間内に5回のFW_fatalリカバリが許可されます。そのため、FW_fatalレポーターでは、devlink health showコマンドの猶予期間が0と表示されます。

拡張

MLNX OFED v5.4は、以下の変更点および新機能を含みます:

ConnectX-4アダプターの場合:

- さまざまなドライバーコンポーネントをドライバーコアに統合し、モジュールのロード/アンロードシーケンスを最適化するために、補助バスを使用するようにmlx5ドライバーがアップデートされました。
- NICのWJH(What Just Happened):WJHを使用すると、ドロップされたパケットを可視化できます(つまり、ドロップカウンターの増加について通知を受信したり、ドロップされたパケットの内容を確認したり、デバッグしたりできます)。WJHはdevlinkコンテキストのサービスであり、すでにスイッチに実装されています。
- 注記:ドロップされたパケットを処理すると(可視性の目的の場合でも)、パフォーマンスが低下し、悪意のある攻撃に対してドライバーが脆弱になる可能性があります。この機能はデフォルトで無効になっています。
- サポートされているトラップ:
- VLANの不一致:既存の一般トラップDEVLINK_TRAP_GENERIC_ID_DMAC_MISMATCHトラップで不正なVLANタグを含むパケットが受信されました
- DMACの不一致:新しい一般トラップDEVLINK_TRAP_GENERIC_ID_DMAC_MISMATCHトラップで不正な宛先MACタグを含むパケットが受信されました
- カーネルULPでリラックスオーダリングを有効にするためのサポートが追加されました。リラックスオーダリングを使用すると、一部のセットアップ時にパフォーマンスが改善される可能性があります。カーネルULPではROがサポートされていることが想定されるため、ROの利点が得られるように、デフォルトで有効になっています。

ConnectX-4以上のアダプターの場合:

- MLNX_OFED 5.4 GAでは、ConnectX-4/5/6イーサネットネットワークインターフェイスに永続的な名前が付けられるようになりました。このリリース以前では、デフォルトのインターフェース名がカーネルから提供され、udevd(ethX)はそのままでした。このリリース以降では、新しいudevdルールに従ってインターフェース名が生成されます。生成された名前は予測可能になり、OFEDでインストールされたudevルールファイルに従って、udevdデーモンによってデフォルト名が予測可能な名前に自動的に変更されるようになりました。

ConnectX-5以上のアダプターの場合:

- OVS(OpenVSwitch)カーネルでテーブルごとに最大128の一致(グループ)とグループごとに16Mのエントリをサポートできるようになりました。
- ct_stateフラグ(rpl、inv、およびrel)をオフロードします。
- rplの場合、設定と未設定の両方のマッチングオフロード(つまり、+rplと-rpl)に対するサポートが追加されました。
- invおよびrelの場合、未設定オプション(つまり、-relおよび-inv)に対するサポートのみが追加されました。
- スケーラブル機能(サブ機能とも呼ばれます):この機能を使用すると、ユーザーはスケーラブル機能(RDMAやネットワークアプリケーションなど)を作成、構成、展開し、mlxdevmツールを使用してコンテナーの起動時にコンテナーに割り当てることができます。スケーラブル機能は、NIC/DPUから信頼されていないゲスト/ホストシステムに展開することもできます。これにより、コンテナーをホストシステムで実行する機能を提供する前に、NIC/DPUから機能とそのリプレゼンターを完全に構成できます。
- mlxdevmのrateコマンドを使用したスケーラブル機能QoSおよびQoSグループが追加されました。詳細については、"man mlxdevm port"を実行してください。
- サポートされているデバイス上で、シグネチャーハンドオーバーメカニズムを使用してアプリケーションレベルのデータ整合性チェックを実行できるようにする"シグネチャーAPI"。フルワイヤスピードでの転送中に、さまざまなシグネチャータイプ(CRC32やT10-DIFを含む)の計算とチェック、削除、または追加を自動的に行うことができます。
- misc5パラメータを使用したRAWトンネルヘッダーで一致を行うためのDRサポート。この機能を使用すると、ヘッダーの各ビット
- (予約フィールドを含む)で一致を行うことができます。

ConnectX-6 Dxアダプターの場合:

- DEVX API経由でQP(キューペア)をAHにマッピングすると、同じデータセンター内のDC/UD QPで複数のCCアルゴリズムを使用できるようになります。
- ソフトウェアステアリングでより適切な挿入速度がサポートされました。これには、コード内のデバッグ専用領域をスキップするマルチQPが含まれます。
- ステアリングルールのアップデート、挿入、および削除の速度が改善されました。この機能には、定義者、マルチQPアプローチ、およびより適切なメモリ使用量が含まれます。
- 重複するルールの挿入を許可または回避する機能のサポートが追加されたため、ユーザーは次の動作のいずれかを選択できるようになりました。
- 既存のルールと失敗を検出できるように、重複するルールを回避します。
- ルールのアクションをアップデートできるように、重複するルールを許可します(以前のルールが削除された場合にのみ有効になります)。デフォルトでは、重複するルールが許可されます。
- Htbleの定義された(エクスポート)サイズを使用して、定義された時間内にすべてのルールの挿入が行われ、動的な割り当ての使用回数が減るようにします。

すべてのHCAの場合:

- バージョン5.4以降では、udevルールに従って、NVIDIAアダプターから作成されたネットワークインターフェイスの名前が変更されるようにドライバーが設定されています。udevルールは"/lib/udev/rules.d"に配置され、"/etc/udev/rules.d"に同じ名前のファイルを配置すると上書きされる可能性があります。
- 例:/etc/udev/rules.d/82-net-setup-link.rules
- OvS-DPDKでは、"ovs-appctl dpctl/dump-e2e-stats"コマンドが非推奨になりました。代わりに、このコマンドは既存の"ovs-appctl dpctl/offload-stats-show -m"コマンドに統合されています(e2e-cacheが有効になっている場合)。
- OvS-DPDK ct-ct-natオフロードがデフォルトで無効になりました。
- バージョン5.4より前では、—umad-dev-rwまたは—umad-dev-naオプションが使用された場合に、/etc/udev/rules.d/90-ib.rulesがインストールスクリプトで自動的に編集される可能性がありました。バージョン5.4以降では、(存在する場合)これらのコマンドラインオプションの設定のみが含まれる/etc/udev/rules.d/91-ib-permissions.rulesで、これらの変更が行われます。
- ibv_query_qp_data_in_order() API:このAPIを使用すると、特定のQPデータが正常であることが保証されているかどうかを確認できるため、完了のポーリングではなく、データのポーリングが有効になります。
- ethtool拡張リンク状態がmlx5eに追加されました。ethtoolを使用すると、状態のトラブルシューティング時に役立つ詳細情報を取得できます。

- すべてのPythonスクリプトとその他の一般的なスクリプトの一部がmlnxofa_カーネルパッケージから移動されました。これにより、パッケージの再構築時にそのパッケージからPythonの依存関係が削除され、再構築時にカスタムカーネルの不要なエラーが回避されました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 8 Update 3(x86_64)カーネルは、次の通りです。
4.18.0-240.el8 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE(RDMA over Converged Ethernet)ドライバーfor Mellanox ConnectX-4, ConnectX-5 and ConnectX-6 Adapters for Red Hat Enterprise Linux 8 Update 4 (x86_64)

バージョン: 5.4 **(推奨)**
ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-5.4-OFED.5.4.1.0.3.1.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-5.4-OFED.5.4.1.0.3.1.rhel8u4.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-5.4-OFED.5.4.1.0.3.1.rhel8u4.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.4-OFED.5.4.1.0.3.1.rhel8u4.x86_64.rpm

重要な注意！

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ(https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン5.4で修正されました。

- スケーラビリティをサポートするために、ファンクションリプレゼンターチャネルが4に制限されていました。ただし、SF(Scalable Function)が使用されないシナリオでは、特定の使用例で、多数のチャネルがリプレゼンターでサポートされている必要がありました。そのため、PCIデバイス(Scalable Functionのサポートなど)が有効になっている場合にのみ、リプレゼンターチャネルが4に制限されていました。
- ipv4_ihl(インターネットヘッダーの長さ)の一致は、外部ヘッダーでのみサポートされていました。
- ポップとプッシュの両方のVLANアクションで1つのカウンターを使用すると、カウンター値が正しくありませんでした。そのため、pop_vlan_action_counterとpush_vlan_action_counter用にカウンターが分割されました。
- 元の内部フレームが小さく、64バイトの最小フレームサイズに準拠するようにパディングされると、不正なL3のカプセル化解除が発生しました。
- libdat2とlibdpdkでdaplとlibmlx4が必要でした。daplとlibmlx4を削除またはアップデートするには、依存関係を削除する必要がありました。
- フォークの状況では、親/子プロセスの仮想アドレスが偶然同じである場合に、ドアベルメカニズムが正常に機能せず、アプリケーションの動作時にエラーが発生する可能性がありました。
- デバイスで同じmlx5_coreモジュールが共有されている場合に、他のデバイスによるlog_max_qpのオーバーライドが発生しました。
- チャネルが閉じて開く同期の問題(チャネル数の変更などの構成の変更時に発生する可能性があります)によって、mlx5e_select_queue関数でnullポインターの逆参照が発生する可能性がありました。
- tx-udp_tnl-csum-segmentationを有効にしても、ドライバーは影響を受けませんでした。
- 古いudevdバージョンでは、ネットワークデバイスの名前を変更するとスタックし、enp *ではなく、eth *という名前のインターフェイスが残る可能性がありました。
- ct state -trkを使用したt commitアクションを含むフローがオフロードされませんでした(つまり、table=0,ct_state=-trk,ip actions=ct(commit,table=1))。
- トンネルのカプセル化/カプセル化解除を使用したVF LAG上の接続追跡はサポートされず、トラフィックのドロップが発生していました。
- スタックサイズが1024に制限されていると、OFEDコンパイルに失敗しました。
- 2,147,483,648を超える速度/バースト値を設定すると、拒否されました。
- トンネルデバイス上でリモートミラーリングフローがオフロードされると、VFに転送されたトラフィックのカプセル化が解除されませんでした。
- VF(cat/sys/class/net/enp8s0f2/compat/devlink/vport_match_mode)でVPort一致モードを設定しようとすると、カーネルがクラッシュします。
- OVSフローがソケット直接デバイス上でオフロードされませんでした。
- VXLANが構成され、不正なルートが追加されると、システムでコールトレースがクラッシュしました。
- netdevが初めて起動する前にトラフィックが送信されると、モジュロ演算によってゼロ除算がndo_select_queueで発生し、カーネルパニックが発生する可能性がありました。
- ドライバを再起動した後に、x86ホストが猶予期間になり、単独で回復しない可能性がありました。修正の一環として、20分の猶予期間内に5回のFW_fatalリカバリが許可されます。そのため、FW_fatalレポーターでは、devlink health showコマンドの猶予期間が0と表示されます。

拡張

MLNX OFED v5.4は、以下の変更点および新機能を含みます:

ConnectX-4アダプターの場合:

- さまざまなドライバーコンポーネントをドライバーコアに統合し、モジュールのロード/アンロードシーケンスを最適化するために、補助バスを使用するようにmlx5ドライバーがアップデートされました。

- NICのWJH(What Just Happened):WJHを使用すると、ドロップされたパケットを可視化できます(つまり、ドロップカウンターの増加について通知を受信したり、ドロップされたパケットの内容を確認したり、デバッグしたりできます)。WJHはdevlinkコンテキストのサービスであり、すでにスイッチに実装されています。
- 注記:ドロップされたパケットを処理すると(可視性の目的の場合でも)、パフォーマンスが低下し、悪意のある攻撃に対してドライバーが脆弱になる可能性があります。この機能はデフォルトで無効になっています。
- サポートされているトラップ:
- VLANの不一致:既存の一般トラップDEVLINK_TRAP_GENERIC_ID_DMAC_MISMATCHトラップで不正なVLANタグを含むパケットが受信されました
- DMACの不一致:新しい一般トラップDEVLINK_TRAP_GENERIC_ID_DMAC_MISMATCHトラップで不正な宛先MACタグを含むパケットが受信されました
- カーネルULPでリラックスオーダリングを有効にするためのサポートが追加されました。リラックスオーダリングを使用すると、一部のセットアップ時にパフォーマンスが改善される可能性があります。カーネルULPではROがサポートされていることが想定されるため、ROの利点が得られるように、デフォルトで有効になっています。

ConnectX-4以上のアダプターの場合:

- MLNX_OFED 5.4 GAでは、ConnectX-4/5/6イーサネットネットワークインターフェイスに永続的な名前が付けられるようになりました。このリリース以前では、デフォルトのインターフェース名がカーネルから提供され、udevd(ethX)はそのままでした。このリリース以降では、新しいudevdルールに従ってインターフェース名が生成されます。生成された名前は予測可能になり、OFEDでインストールされたudevルールファイルに従って、udevdデーモンによってデフォルト名が予測可能な名前に自動的に変更されるようになりました。

ConnectX-5以上のアダプターの場合:

- OVS(OpenVSwitch)カーネルでテーブルごとに最大128の一致(グループ)とグループごとに16Mのエントリをサポートできるようになりました。
- ct_stateフラグ(rpl、inv、およびrel)をオフロードします。
- rplの場合、設定と未設定の両方のマッチングオフロード(つまり、+rplと-rpl)に対するサポートが追加されました。
- invおよびrelの場合、未設定オプション(つまり、-relおよび-inv)に対するサポートのみが追加されました。
- スケーラブル機能(サブ機能とも呼ばれます):この機能を使用すると、ユーザーはスケーラブル機能(RDMAやネットワークアプリケーションなど)を作成、構成、展開し、mlxdevmツールを使用してコンテナーの起動時にコンテナーに割り当てることができます。スケーラブル機能は、NIC/DPUから信頼されていないゲスト/ホストシステムに展開することもできます。これにより、コンテナーをホストシステムで実行する機能を提供する前に、NIC/DPUから機能とそのリプレゼンターを完全に構成できます。
- mlxdevmのrateコマンドを使用したスケーラブル機能QoSおよびQoSグループが追加されました。詳細については、"man mlxdevm port"を実行してください。
- サポートされているデバイス上で、シグネチャーハンドオーバーメカニズムを使用してアプリケーションレベルのデータ整合性チェックを実行できるようにする"シグネチャーAPI"。フルワイヤスピードでの転送中に、さまざまなシグネチャータイプ(CRC32やT10-DIFを含む)の計算とチェック、削除、または追加を自動的に行うことができます。
- misc5パラメータを使用したRAWトンネルヘッダーで一致を行うためのDRサポート。この機能を使用すると、ヘッダーの各ビット
- (予約フィールドを含む)で一致を行うことができます。

ConnectX-6 Dxアダプターの場合:

- DEVX API経由でQP(キューペア)をAHにマッピングすると、同じデータセンター内のDC/UD QPで複数のCCアルゴリズムを使用できるようになります。
- ソフトウェアステアリングでより適切な挿入速度がサポートされました。これには、コード内のデバッグ専用領域をスキップするマルチQPが含まれます。
- ステアリングルールのアップデート、挿入、および削除の速度が改善されました。この機能には、定義者、マルチQPアプローチ、およびより適切なメモリ使用量が含まれます。
- 重複するルールの挿入を許可または回避する機能のサポートが追加されたため、ユーザーは次の動作のいずれかを選択できるようになりました。
- 既存のルールと失敗を検出できるように、重複するルールを回避します。
- ルールのアクションをアップデートできるように、重複するルールを許可します(以前のルールが削除された場合にのみ有効になります)。デフォルトでは、重複するルールが許可されます。
- Htbleの定義された(エクスポート)サイズを使用して、定義された時間内にすべてのルールの挿入が行われ、動的な割り当ての使用回数が減るようにします。

すべてのHCAの場合:

- バージョン5.4以降では、udevルールに従って、NVIDIAアダプターから作成されたネットワークインターフェイスの名前が変更されるようにドライバーが設定されています。udevルールは"/lib/udev/rules.d"に配置され、"/etc/udev/rules.d"に同じ名前のファイルを配置すると上書きされる可能性があります。
- 例:/etc/udev/rules.d/82-net-setup-link.rules
- OvS-DPDKでは、"ovs-appctl dpctl/dump-e2e-stats"コマンドが非推奨になりました。代わりに、このコマンドは既存の"ovs-appctl dpctl/offload-stats-show -m"コマンドに統合されています(e2e-cacheが有効になっている場合)。
- OvS-DPDK ct-ct-natオフロードがデフォルトで無効になりました。
- バージョン5.4より前では、ーumad-dev-rwまたはーumad-dev-naオプションが使用された場合に、/etc/udev/rules.d/90-ib.rulesがインストールスクリプトで自動的に編集される可能性がありました。バージョン5.4以降では、(存在する場合)これらのコマンドラインオプションの設定のみが含まれる/etc/udev/rules.d/91-ib-permissions.rulesで、これらの変更が行われます。
- ibv_query_qp_data_in_order() API:このAPIを使用すると、特定のQPデータが正常であることが保証されているかどうかを確認できるため、完了のポーリングではなく、データのポーリングが有効になります。
- ethtool拡張リンク状態がmlx5eに追加されました。ethtoolを使用すると、状態のトラブルシューティング時に役立つ詳細情報を取得できます。
- すべてのPythonスクリプトとその他の一般的なスクリプトの一部がmlnxofa_カーネルパッケージから移動されました。これにより、パッケージの再構築時にそのパッケージからPythonの依存関係が削除され、再構築時にカスタムカーネルの不要なエラーが回避されました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 8 Update 4 (x86_64)カーネルは、次のとおりです。
4.18.0-296.el8 - (x86_64)および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE(RDMA over Converged Ethernet)ドライバーfor Mellanox ConnectX-4、ConnectX-5、ConnectX-6 Adapters for SUSE LINUX Enterprise Server 15 SP2 (AMD64/EM64T)

バージョン: 5.4 **(推奨)**
ファイル名: mlnx-ofa_kernel-5.4-OFED.5.4.1.0.3.1.sles15sp2.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.4-OFED.5.4.1.0.3.1.sles15sp2.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.4_k5.3.18_22-OFED.5.4.1.0.3.1.sles15sp2.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.4_k5.3.18_22-OFED.5.4.1.0.3.1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意！

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ(https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン5.4で修正されました。

- スケーラビリティをサポートするために、ファンクションリプレゼンターチャネルが4に制限されていました。ただし、SF(Scalable Function)が使用されないシナリオでは、特定の使用例で、多数のチャネルがリプレゼンターでサポートされている必要がありました。そのため、PCIデバイス(Scalable Functionのサポートなど)が有効になっている場合にのみ、リプレゼンターチャネルが4に制限されていました。
- ipv4_ihl(インターネットヘッダーの長さ)の一致は、外部ヘッダーでのみサポートされていました。
- ポップとプッシュの両方のVLANアクションで1つのカウンターを使用すると、カウンター値が正しくありませんでした。そのため、pop_vlan_action_counterとpush_vlan_action_counter用にカウンターが分割されました。
- 元の内部フレームが小さく、64バイトの最小フレームサイズに準拠するようにパディングされると、不正なL3のカプセル化解除が発生しました。
- libdat2とlibdpdkでdaplとlibmlx4が必要でした。daplとlibmlx4を削除またはアップデートするには、依存関係を削除する必要がありました。
- フォークの状況では、親/子プロセスの仮想アドレスが偶然同じである場合に、ドアベルメカニズムが正常に機能せず、アプリケーションの動作時にエラーが発生する可能性がありました。
- デバイスで同じmlx5_coreモジュールが共有されている場合に、他のデバイスによるlog_max_qpのオーバーライドが発生しました。
- チャネルが閉じて開く同期の問題(チャネル数の変更などの構成の変更時に発生する可能性があります)によって、mlx5e_select_queue関数でnullポインターの逆参照が発生する可能性がありました。
- tx-udp_tnl-csum-segmentationを有効にしても、ドライバーは影響を受けませんでした。
- 古いudevdバージョンでは、ネットワークデバイスの名前を変更するとスタックし、enp *ではなく、eth *という名前のインターフェイスが残る可能性がありました。
- ct state -trkを使用したt commitアクションを含むフローがオフロードされませんでした(つまり、table=0,ct_state=-trk,ip actions=ct(commit,table=1))。
- トンネルのカプセル化/カプセル化解除を使用したVF LAG上の接続追跡はサポートされず、トラフィックのドロップが発生していました。
- スタックサイズが1024に制限されていると、OFEDコンパイルに失敗しました。
- 2,147,483,648を超える速度/バースト値を設定すると、拒否されました。
- トンネルデバイス上でリモートミラーリングフローがオフロードされると、VFに転送されたトラフィックのカプセル化が解除されませんでした。
- VF(cat/sys/class/net/enp8s0f2/compat/devlink/vport_match_mode)でVPort一致モードを設定しようとすると、カーネルがクラッシュします。
- OVSフローがソケット直接デバイス上でオフロードされませんでした。
- VXLANが構成され、不正なルートが追加されると、システムでコールトレースがクラッシュしました。
- netdevが初めて起動する前にトラフィックが送信されると、モジュロ演算によってゼロ除算がndo_select_queueで発生し、カーネルパニックが発生する可能性がありました。
- ドライバを再起動した後に、x86ホストが猶予期間になり、単独で回復しない可能性がありました。修正の一環として、20分の猶予期間内に5回のFW_fatalリカバリが許可されます。そのため、FW_fatalレポーターでは、devlink health showコマンドの猶予期間が0と表示されます。

拡張

MLNX OFED v5.4は、以下の変更点および新機能を含みます:

ConnectX-4アダプターの場合:

- さまざまなドライバーコンポーネントをドライバーコアに統合し、モジュールのロード/アンロードシーケンスを最適化するために、補助バスを使用するようにmlx5ドライバーがアップデートされました。
- NICのWJH(What Just Happened):WJHを使用すると、ドロップされたパケットを可視化できます(つまり、ドロップカウンターの増加について通知を受信したり、ドロップされたパケットの内容を確認したり、デバッグしたりできます)。WJHはdevlinkコンテキストのサービスであり、すでにスイッチに実装されています。
- 注記:ドロップされたパケットを処理すると(可視性の目的の場合でも)、パフォーマンスが低下し、悪意のある攻撃に対してドライバーが脆弱になる可能性があります。この機能はデフォルトで無効になっています。
- サポートされているトラップ:
- VLANの不一致:既存の一般トラップDEVLINK_TRAP_GENERIC_ID_DMAC_MISMATCHトラップで不正なVLANタグを含むパケットが受信されました

- DMACの不一致:新しい一般トラップDEVLINK_TRAP_GENERIC_ID_DMAC_MISMATCHトラップで不正な宛先MACタグを含むパケットが受信されました
- カーネルULPでリラックスオーダリングを有効にするためのサポートが追加されました。リラックスオーダリングを使用すると、一部のセットアップ時にパフォーマンスが改善される可能性があります。カーネルULPではROがサポートされていることが想定されるため、ROの利点が得られるように、デフォルトで有効になっています。

ConnectX-4以上のアダプターの場合:

- MLNX_OFED 5.4 GAでは、ConnectX-4/5/6イーサネットネットワークインターフェイスに永続的な名前が付けられるようになりました。このリリース以前では、デフォルトのインターフェース名がカーネルから提供され、udevd(ethX)はそのままでした。このリリース以降では、新しいudevdルールに従ってインターフェース名が生成されます。生成された名前は予測可能になり、OFEDでインストールされたudevルールファイルに従って、udevdデーモンによってデフォルト名が予測可能な名前に自動的に変更されるようになりました。

ConnectX-5以上のアダプターの場合:

- OVS(OpenVSwitch)カーネルでテーブルごとに最大128の一致(グループ)とグループごとに16Mのエントリをサポートできるようになりました。
- ct_stateフラグ(rpl、inv、およびrel)をオフロードします。
- rplの場合、設定と未設定の両方のマッチングオフロード(つまり、+rplと-rpl)に対するサポートが追加されました。
- invおよびrelの場合、未設定オプション(つまり、-relおよび-inv)に対するサポートのみが追加されました。
- スケーラブル機能(サブ機能とも呼ばれます):この機能を使用すると、ユーザーはスケーラブル機能(RDMAやネットワークアプリケーションなど)を作成、構成、展開し、mlxdevmツールを使用してコンテナーの起動時にコンテナーに割り当てることができます。スケーラブル機能は、NIC/DPUから信頼されていないゲスト/ホストシステムに展開することもできます。これにより、コンテナーをホストシステムで実行する機能を提供する前に、NIC/DPUから機能とそのリプレゼンターを完全に構成できます。
- mlxdevmのrateコマンドを使用したスケーラブル機能QoSおよびQoSグループが追加されました。詳細については、"man mlxdevm port"を実行してください。
- サポートされているデバイス上で、シグネチャーハンドオーバーメカニズムを使用してアプリケーションレベルのデータ整合性チェックを実行できるようにする"シグネチャーAPI"。フルワイヤスピードでの転送中に、さまざまなシグネチャータイプ(CRC32やT10-DIFを含む)の計算とチェック、削除、または追加を自動的に行うことができます。
- misc5パラメータを使用したRAWトンネルヘッダーで一致を行うためのDRサポート。この機能を使用すると、ヘッダーの各ビット
- (予約フィールドを含む)で一致を行うことができます。

ConnectX-6 Dxアダプターの場合:

- DEVX API経由でQP(キューペア)をAHにマッピングすると、同じデータセンター内のDC/UD QPで複数のCCアルゴリズムを使用できるようになります。
- ソフトウェアステアリングでより適切な挿入速度がサポートされました。これには、コード内のデバッグ専用領域をスキップするマルチQPが含まれます。
- ステアリングルールのアップデート、挿入、および削除の速度が改善されました。この機能には、定義者、マルチQPアプローチ、およびより適切なメモリ使用量が含まれます。
- 重複するルールの挿入を許可または回避する機能のサポートが追加されたため、ユーザーは次の動作のいずれかを選択できるようになりました。
- 既存のルールと失敗を検出できるように、重複するルールを回避します。
- ルールのアクションをアップデートできるように、重複するルールを許可します(以前のルールが削除された場合にのみ有効になります)。デフォルトでは、重複するルールが許可されます。
- Htbleの定義された(エクスポート)サイズを使用して、定義された時間内にすべてのルールの挿入が行われ、動的な割り当ての使用回数が減るようにします。

すべてのHCAの場合:

- バージョン5.4以降では、udevルールに従って、NVIDIAアダプターから作成されたネットワークインターフェイスの名前が変更されるようにドライバーが設定されています。udevルールは"/lib/udev/rules.d"に配置され、"/etc/udev/rules.d"に同じ名前のファイルを配置すると上書きされる可能性があります。
- 例:/etc/udev/rules.d/82-net-setup-link.rules
- OvS-DPDKでは、"ovs-appctl dpctl/dump-e2e-stats"コマンドが非推奨になりました。代わりに、このコマンドは既存の"ovs-appctl dpctl/offload-stats-show -m"コマンドに統合されています(e2e-cacheが有効になっている場合)。
- OvS-DPDK ct-ct-natオフロードがデフォルトで無効になりました。
- バージョン5.4より前では、ーumad-dev-rwまたはーumad-dev-naオプションが使用された場合に、/etc/udev/rules.d/90-ib.rulesがインストールスクリプトで自動的に編集される可能性がありました。バージョン5.4以降では、(存在する場合)これらのコマンドラインオプションの設定のみが含まれる/etc/udev/rules.d/91-ib-permissions.rulesで、これらの変更が行われます。
- ibv_query_qp_data_in_order() API:このAPIを使用すると、特定のQPデータが正常であることが保証されているかどうかを確認できるため、完了のポーリングではなく、データのポーリングが有効になります。
- ethtool拡張リンク状態がmlx5eに追加されました。ethtoolを使用すると、状態のトラブルシューティング時に役立つ詳細情報を取得できます。
- すべてのPythonスクリプトとその他の一般的なスクリプトの一部がmlnxofa_カーネルパッケージから移動されました。これにより、パッケージの再構築時にそのパッケージからPythonの依存関係が削除され、再構築時にカスタムカーネルの不要なエラーが回避されました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 15 SP2(AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
5.3.18-22-default -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE(RDMA over Converged Ethernet)ドライバーfor Mellanox ConnectX-4、ConnectX-5、ConnectX-6 Adapters for SUSE LINUX Enterprise Server 15 SP3 (AMD64/EM64T)

バージョン: 5.4 **(推奨)**
ファイル名: mlnx-ofa_kernel-5.4-OFED.5.4.1.0.3.1.sles15sp3.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.4-OFED.5.4.1.0.3.1.sles15sp3.x86_64.rpm; mlnx-

ofa_kernel-kmp-default-5.4_k5.3.18_57-OFED.5.4.1.0.3.1.sles15sp3.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.4_k5.3.18_57-OFED.5.4.1.0.3.1.sles15sp3.x86_64.rpm

重要な注意！

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ(https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン5.4で修正されました。

- スケーラビリティをサポートするために、ファンクションリプレゼンターチャネルが4に制限されていました。ただし、SF(Scalable Function)が使用されないシナリオでは、特定の使用例で、多数のチャネルがリプレゼンターでサポートされている必要がありました。そのため、PCIデバイス(Scalable Functionのサポートなど)が有効になっている場合にのみ、リプレゼンターチャネルが4に制限されていました。
- ipv4_ihl(インターネットヘッダーの長さ)の一致は、外部ヘッダーでのみサポートされていました。
- ポップとプッシュの両方のVLANアクションで1つのカウンターを使用すると、カウンター値が正しくありませんでした。そのため、pop_vlan_action_counterとpush_vlan_action_counter用にカウンターが分割されました。
- 元の内部フレームが小さく、64バイトの最小フレームサイズに準拠するようにパディングされると、不正なL3のカプセル化解除が発生しました。
- libdat2とlibdpdkでdaplとlibmlx4が必要でした。daplとlibmlx4を削除またはアップデートするには、依存関係を削除する必要がありました。
- フォークの状況では、親/子プロセスの仮想アドレスが偶然同じである場合に、ドアベルメカニズムが正常に機能せず、アプリケーションの動作時にエラーが発生する可能性がありました。
- デバイスで同じmlx5_coreモジュールが共有されている場合に、他のデバイスによるlog_max_qpのオーバーライドが発生しました。
- チャネルが閉じて開く同期の問題(チャネル数の変更などの構成の変更時に発生する可能性があります)によって、mlx5e_select_queue関数でnullポインターの逆参照が発生する可能性がありました。
- tx-udp_tnl-csum-segmentationを有効にしても、ドライバーは影響を受けませんでした。
- 古いudevdバージョンでは、ネットワークデバイスの名前を変更するとスタックし、enp *ではなく、eth *という名前のインターフェイスが残る可能性がありました。
- ct state -trkを使用したt commitアクションを含むフローがオフロードされませんでした(つまり、table=0,ct_state=-trk,ip actions=ct(commit,table=1))。
- トンネルのカプセル化/カプセル化解除を使用したVF LAG上の接続追跡はサポートされず、トラフィックのドロップが発生していました。
- スタックサイズが1024に制限されていると、OFEDコンパイルに失敗しました。
- 2,147,483,648を超える速度/バースト値を設定すると、拒否されました。
- トンネルデバイス上でリモートミラーリングフローがオフロードされると、VFに転送されたトラフィックのカプセル化が解除されませんでした。
- VF(cat/sys/class/net/enp8s0f2/compat/devlink/vport_match_mode)でVPort一致モードを設定しようとすると、カーネルがクラッシュします。
- OVSフローがソケット直接デバイス上でオフロードされませんでした。
- VXLANが構成され、不正なルートが追加されると、システムでコールトレースがクラッシュしました。
- netdevが初めて起動する前にトラフィックが送信されると、モジュロ演算によってゼロ除算がndo_select_queueで発生し、カーネルパニックが発生する可能性がありました。
- ドライバを再起動した後に、x86ホストが猶予期間になり、単独で回復しない可能性がありました。修正の一環として、20分の猶予期間内に5回のFW_fatalリカバリが許可されます。そのため、FW_fatalレポーターでは、devlink health showコマンドの猶予期間が0と表示されます。

拡張

MLNX OFED v5.4は、以下の変更点および新機能を含みます:

ConnectX-4アダプターの場合:

- さまざまなドライバーコンポーネントをドライバーコアに統合し、モジュールのロード/アンロードシーケンスを最適化するために、補助バスを使用するようにmlx5ドライバーがアップデートされました。
- NICのWJH(What Just Happened):WJHを使用すると、ドロップされたパケットを可視化できます(つまり、ドロップカウンターの増加について通知を受信したり、ドロップされたパケットの内容を確認したり、デバッグしたりできます)。WJHはdevlinkコンテキストのサービスであり、すでにスイッチに実装されています。
- 注記:ドロップされたパケットを処理すると(可視性の目的の場合でも)、パフォーマンスが低下し、悪意のある攻撃に対してドライバーが脆弱になる可能性があります。この機能はデフォルトで無効になっています。
- サポートされているトラップ:
- VLANの不一致:既存の一般トラップDEVLINK_TRAP_GENERIC_ID_DMAC_MISMATCHトラップで不正なVLANタグを含むパケットが受信されました
- DMACの不一致:新しい一般トラップDEVLINK_TRAP_GENERIC_ID_DMAC_MISMATCHトラップで不正な宛先MACタグを含むパケットが受信されました
- カーネルULPでリラックスオーダリングを有効にするためのサポートが追加されました。リラックスオーダリングを使用すると、一部のセットアップ時にパフォーマンスが改善される可能性があります。カーネルULPではROがサポートされていることが想定されるため、ROの利点が得られるように、デフォルトで有効になっています。

ConnectX-4以上のアダプターの場合:

- MLNX_OFED 5.4 GAでは、ConnectX-4/5/6イーサネットネットワークインターフェイスに永続的な名前が付けられるようになりました。このリリース以前では、デフォルトのインターフェース名がカーネルから提供され、udevd(ethX)はそのままでした。このリリース以降では、新しいudevdル

ールに従ってインターフェース名が生成されます。生成された名前は予測可能になり、OFEDでインストールされたudevルールファイルに従って、udevdデーモンによってデフォルト名が予測可能な名前に自動的に変更されるようになりました。

ConnectX-5以上のアダプターの場合:

- OVS(OpenVSwitch)カーネルでテーブルごとに最大128の一致(グループ)とグループごとに16Mのエントリをサポートできるようになりました。
- ct_stateフラグ(rpl、inv、およびrel)をオフロードします。
- rplの場合、設定と未設定の両方のマッチングオフロード(つまり、+rplと-rpl)に対するサポートが追加されました。
- invおよびrelの場合、未設定オプション(つまり、-relおよび-inv)に対するサポートのみが追加されました。
- スケーラブル機能(サブ機能とも呼ばれます):この機能を使用すると、ユーザーはスケーラブル機能(RDMAやネットワークアプリケーションなど)を作成、構成、展開し、mlxdevmツールを使用してコンテナーの起動時にコンテナーに割り当てることができます。スケーラブル機能は、NIC/DPUから信頼されていないゲスト/ホストシステムに展開することもできます。これにより、コンテナーをホストシステムで実行する機能を提供する前に、NIC/DPUから機能とそのリプレゼンターを完全に構成できます。
- mlxdevmのrateコマンドを使用したスケーラブル機能QoSおよびQoSグループが追加されました。詳細については、"man mlxdevm port"を実行してください。
- サポートされているデバイス上で、シグネチャーハンドオーバーメカニズムを使用してアプリケーションレベルのデータ整合性チェックを実行できるようにする"シグネチャーAPI"。フルワイヤスピードでの転送中に、さまざまなシグネチャータイプ(CRC32やT10-DIFを含む)の計算とチェック、削除、または追加を自動的に行うことができます。
- misc5パラメータを使用したRAWトンネルヘッダーで一致を行うためのDRサポート。この機能を使用すると、ヘッダーの各ビット
- (予約フィールドを含む)で一致を行うことができます。

ConnectX-6 Dxアダプターの場合:

- DEVX API経由でQP(キューペア)をAHにマッピングすると、同じデータセンター内のDC/UD QPで複数のCCアルゴリズムを使用できるようになります。
- ソフトウェアステアリングでより適切な挿入速度がサポートされました。これには、コード内のデバッグ専用領域をスキップするマルチQPが含まれます。
- ステアリングルールのアップデート、挿入、および削除の速度が改善されました。この機能には、定義者、マルチQPアプローチ、およびより適切なメモリ使用量が含まれます。
- 重複するルールの挿入を許可または回避する機能のサポートが追加されたため、ユーザーは次の動作のいずれかを選択できるようになりました。
- 既存のルールと失敗を検出できるように、重複するルールを回避します。
- ルールのアクションをアップデートできるように、重複するルールを許可します(以前のルールが削除された場合にのみ有効になります)。デフォルトでは、重複するルールが許可されます。
- Htbleの定義された(エクスポート)サイズを使用して、定義された時間内にすべてのルールの挿入が行われ、動的な割り当ての使用回数が減るようにします。

すべてのHCAの場合:

- バージョン5.4以降では、udevルールに従って、NVIDIAアダプターから作成されたネットワークインターフェイスの名前が変更されるようにドライバーが設定されています。udevルールは"/lib/udev/rules.d"に配置され、"/etc/udev/rules.d"に同じ名前のファイルを配置すると上書きされる可能性があります。
- 例:/etc/udev/rules.d/82-net-setup-link.rules
- OvS-DPDKでは、"ovs-appctl dpctl/dump-e2e-stats"コマンドが非推奨になりました。代わりに、このコマンドは既存の"ovs-appctl dpctl/offload-stats-show -m"コマンドに統合されています(e2e-cacheが有効になっている場合)。
- OvS-DPDK ct-ct-natオフロードがデフォルトで無効になりました。
- バージョン5.4より前では、ーumad-dev-rwまたはーumad-dev-naオプションが使用された場合に、/etc/udev/rules.d/90-ib.rulesがインストールスクリプトで自動的に編集される可能性がありました。バージョン5.4以降では、(存在する場合)これらのコマンドラインオプションの設定のみが含まれる/etc/udev/rules.d/91-ib-permissions.rulesで、これらの変更が行われます。
- ibv_query_qp_data_in_order() API:このAPIを使用すると、特定のQPデータが正常であることが保証されているかどうかを確認できるため、完了のポーリングではなく、データのポーリングが有効になります。
- ethtool拡張リンク状態がmlx5eに追加されました。ethtoolを使用すると、状態のトラブルシューティング時に役立つ詳細情報を取得できます。
- すべてのPythonスクリプトとその他の一般的なスクリプトの一部がmlnxofa_カーネルパッケージから移動されました。これにより、パッケージの再構築時にそのパッケージからPythonの依存関係が削除され、再構築時にカスタムカーネルの不要なエラーが回避されました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 15 SP3(AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
5.3.18-46-default -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEマルチファンクションドライバー for VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.09.04 **(推奨)**
ファイル名: cp047112.compsig; cp047112.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

これらのドライバーとともに使用する場合は、*Arrowhead*アダプター用*HPE QLogic FastLinQ*ファームウェアパッケージ、バージョン8.55.27以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、トラフィックの実行中にVMkernelログのフラッディングが発生する問題を修正します。

拡張

この製品は、ファームウェアとドライバー間の通信のサポートを追加することにより、信頼性を向上させます。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEマルチファンクションドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.04.05 **(オプション)**
ファイル名: cp046222.compsig; cp046222.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic FastLinQ Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン4.13.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、MSI-X割り込みベクトルの不足によってPurple Screen of Death(PSOD)が発生する問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEマルチファンクションドライバーfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.09.04 **(推奨)**
ファイル名: cp047113.compsig; cp047113.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

これらのドライバーとともに使用する場合は、*Arrowhead*アダプター用*HPE QLogic FastLinQ*ファームウェアパッケージ、バージョン8.55.27以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、トラフィックの実行中にVMkernelログのフラッディングが発生する問題を修正します。

拡張

この製品は、ファームウェアとドライバー間の通信のサポートを追加することにより、信頼性を向上させます。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbE マルチファンクションドライバーfor Windows Server x64 Editions

バージョン: 7.13.206.0 **(推奨)**
ファイル名: cp047060.compsig; cp047060.exe

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.5.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、NPAR SRIOV-EPモードを有効にしてアップグレードしているときにシステムがクラッシュする問題を修正します。
- この製品は、WS2022 PCS構成でWindows NDISドライバーのBSODが発生する問題を修正します。

拡張

この製品は、Microsoft Windows Server 2022をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 7.14.80-6 **(推奨)**
ファイル名: netxtreme2-kmp-default-7.14.80_k5.3.18_22-6.sles15sp2.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-default-7.14.80_k5.3.18_22-6.sles15sp2.x86_64.rpm; netxtreme2-kmp-default-7.14.80_k5.3.18_57-6.sles15sp3.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-default-7.14.80_k5.3.18_57-6.sles15sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux x86_64*、バージョン2.29.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、Linuxドライバーが単一の仮想機能上に272の仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)を作成し、閉じた後でインターフェイスを有効にすると、仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)リソースのアカウンティングが発生する問題に対処します。

拡張

- この製品は現在、ethtoolへのMDI(Medium Dependent Interface)/MDIX(Medium Dependent Interface Crossover)接続ステータスをサポートしています。
- この製品は現在、ユニキャスト高精度時間プロトコル(PTP)パケットのタイムスタンプをサポートしています。
- この製品は現在、SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 7.14.80-6 **(推奨)**

ファイル名: kmod-netxtreme2-7.14.80-6.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2-7.14.80-6.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-netxtreme2-7.14.80-6.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2-7.14.80-6.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux x86_64*、バージョン2.29.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、Linuxドライバーが単一の仮想機能上に272の仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)を作成し、閉じた後でインターフェイスを有効にすると、仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)リソースのアカウンティングが発生する問題に対処します。

拡張

- この製品は現在、ethtoolへのMDI(Medium Dependent Interface)/MDIX(Medium Dependent Interface Crossover)接続ステータスをサポートしています。
- この製品は現在、ユニキャスト高精度時間プロトコル(PTP)パケットのタイムスタンプをサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 7.14.80-6 **(推奨)**

ファイル名: kmod-netxtreme2-7.14.80-6.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2-7.14.80-6.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-netxtreme2-7.14.80-6.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2-7.14.80-6.rhel8u4.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux x86_64*、バージョン2.29.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、Linuxドライバーが単一の仮想機能上に272の仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)を作成し、閉じた後でインターフェイスを有効にすると、仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)リソースのアカウンティングが発生する問題に対処します。

拡張

- この製品は現在、ethtoolへのMDI(Medium Dependent Interface)/MDIX(Medium Dependent Interface Crossover)接続ステータスをサポートしています。
- この製品は現在、ユニキャスト高精度時間プロトコル(PTP)パケットのタイムスタンプをサポートしています。
- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 4をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 7.14.80-6 **(推奨)**

ファイル名: netxtreme2-kmp-default-7.14.80_k4.12.14_120-6.sles12sp5.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-default-7.14.80_k4.12.14_120-

6.sles12sp5.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux x86_64*、バージョン2.29.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、Linuxドライバーが単一の仮想機能上に272の仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)を作成し、閉じた後でインターフェイスを有効にすると、仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)リソースのアカウンティングが発生する問題に対処します。

拡張

- この製品は現在、ethtoolへのMDI(Medium Dependent Interface)/MDIX(Medium Dependent Interface Crossover)接続ステータスをサポートしています。
- この製品は現在、ユニキャスト高精度時間プロトコル(PTP)パケットのタイムスタンプをサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.09.04 **(推奨)**
ファイル名: cp047117.compsig; cp047117.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバーでの使用に、*HPE QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for VMware*、バージョン1.29.0以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

- この製品は、データログの照合メカニズムを強化します。
- この製品は現在、ESXi 7.0 U3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R 10GBASE-T 2ポートコンバージドネットワークアダプター

---

net-mstカーネルモジュールドライバーコンポーネント for VMware ESXi 6.5および6.7

バージョン: 2020.11.11 (A) **(推奨)**
ファイル名: cp048358.compsig; cp048358.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。HPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

NA

拡張

NMSTバージョン4.12.0.105

このバージョンでは、次のアダプターのサポートが追加されます。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4121A-XCHTアダプター(部品番号:P21930-B21)
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター(部品番号:P11341-B21)
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX512F-ACHTアダプター(部品番号:P13188-B21)
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター(部品番号:P10112-B21)
- HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター(部品番号:P21927-B21)
- HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター(部品番号:P06154-B21)
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター(部品番号:P06250-B21)
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター(部品番号:P06251-B21)
- HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートMCX653105A-HDAT QSFP56 x16アダプター(部品番号:P23664-B21)
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートMCX653105A-ECAT QSFP56 x16アダプター(部品番号:P23665-B21)
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートMCX653106A-ECAT QSFP56 x16アダプター(部品番号:P23666-B21)
- HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター(部品番号:P25960-B21)

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
764282-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1350110023
764283-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1360110017
764284-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター	HP_1370110017
P24837-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 642SFP28アダプター	HPE0000000054
P11338-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター	HP_1200111023
764285-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1380110017
764286-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1390110023
825110-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter	HP_2180110032
825111-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター	HP_2190110032
872726-B21	HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター	HPE0000000009
879482-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター	HPE0000000022
868779-B21	HPE Synergy 6410C 25/50Gb Ethernetアダプター	HPE0000000006
779793-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター	HP_2420110034
P21927-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター	MT_0000000417
P10112-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター	MT_0000000241
P13188-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACHTアダプター	MT_0000000416
P11341-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター	MT_0000000238
P21930-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター	MT_0000000414
874253-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター	HPE0000000014
P25960-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター	MT_0000000437
P06154-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000034
P06250-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000035
P06251-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000036
P23664-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートMCX653105A-HDAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000451
P23665-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートMCX653105A-ECAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000452
P23666-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートMCX653106A-ECAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000453
P10180-B21	Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56アダプターfor HPE	MT_0000000435
P31246-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポートQSFP28 PCIe3 x16 MCX515A-CCATアダプター	MT_0000000591
P31323-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653435A-HDAIアダプター	MT_0000000592
P31348-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653436A-HDAIアダプター	MT_0000000593
P31324-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653106A-HDATアダプター	MT_0000000594

---

net-mstカーネルモジュールドライバーコンポーネントfor VMware ESXi 7.0

バージョン: 2020.11.11 (A) **(推奨)**

ファイル名: cp048360.compsig; cp048360.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。HPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

NA

修正

NMSTバージョン 4.14.3.3

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
764282-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1350110023
764283-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1360110017
764284-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター	HP_1370110017
P24837-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 642SFP28アダプター	HPE0000000054
P11338-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター	HP_1200111023
764285-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1380110017
764286-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1390110023
825110-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter	HP_2180110032
825111-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター	HP_2190110032
872726-B21	HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター	HPE0000000009
879482-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター	HPE0000000022
868779-B21	HPE Synergy 6410C 25/50Gb Ethernetアダプター	HPE0000000006
779793-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター	HP_2420110034
P21927-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター	MT_0000000417
P10112-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター	MT_0000000241
P13188-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACHTアダプター	MT_0000000416
P11341-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター	MT_0000000238
P21930-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター	MT_0000000414
874253-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター	HPE0000000014
P25960-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター	MT_0000000437
P06154-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000034
P06250-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000035
P06251-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000036
P23664-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートMCX653105A-HDAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000451
P23665-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートMCX653105A-ECAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000452
P23666-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートMCX653106A-ECAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000453
P10180-B21	Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56アダプターfor HPE	MT_0000000435
P31246-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポートQSFP28 PCIe3 x16 MCX515A-CCATアダプター	MT_0000000591
P31323-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653435A-HDAIアダプター	MT_0000000592
P31348-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653436A-HDAIアダプター	MT_0000000593
P31324-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653106A-HDATアダプター	MT_0000000594

---

nmlx4_enドライバーコンポーネント for VMware 6.5

バージョン: 2020.11.11 **(推奨)**
ファイル名: cp046261.compsig; cp046261.zip

重要な注意！

既知の問題点:

- ConnectX-3 Pro 10Gアダプターカードでは、"esxcli network nic get"コマンド実行時に40Gの速度のサポートが間違って報告されます。
- ポートがDOWNしている場合、管理インターフェイスの"ポートタイプ"フィールドは、デバイスがサポートするポートタイプの1つを次の順序で示します。TP, FIBER, DA, NONE。ポートが複数のケーブルタイプをサポートしている場合、上記のリストの最初のタイプが表示されます。
- ポートがUPの場合、管理インターフェイスのポートタイプフィールド(nmlx_en_MgmtIFPortType)は、サポートされているすべてのタイプのうち現在接続されているものを示します。

- 管理インターフェイスのポートタイプフィールドは、SFP-to-RJ45ケーブルをFIBERとして報告します。
- 管理インターフェイスの自動ネゴシエーションフィールドは、"esxcli network nic get -n vmnicX"フィールド"Pause Autonegotiate"に相当します。

ESXi 6.5ドライバーバージョン3.16.11.10のリリースノートについて詳しくは、以下のリンクを参照してください:
https://www.mellanox.com/page/products_dyn?product_family=29&mtag=vmware_driver

拡張

バージョン3.16.70.2の変更および新機能:

- ネットワークアダプターのトラフィックが停止する問題を解決しました。
- LACP(リンクアグリゲーション制御プロトコル)bondingプロトコルを破壊した内部マルチキャストループバックの問題を修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
764282-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1350110023
764283-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1360110017
764284-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター	HP_1370110017
764285-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1380110017
764286-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1390110023
779793-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023)
779799-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004

---

nmlx4_enドライバーコンポーネント for VMware 7.0

バージョン: 2020.11.11 (A) **(推奨)**
ファイル名: cp047457.compsig; cp047457.zip

重要な注意！

既知の問題点:

- ConnectX-3 Pro 10Gアダプターカードでは、"esxcli network nic get"コマンド実行時に40Gの速度のサポートが間違って報告されます。
- ポートがDOWNしている場合、管理インターフェイスの"ポートタイプ"フィールドは、デバイスがサポートするポートタイプの1つを次の順序で示します。TP, FIBER, DA, NONE。ポートが複数のケーブルタイプをサポートしている場合、上記のリストの最初のタイプが表示されます。
- ポートがUPの場合、管理インターフェイスのポートタイプフィールド(nmlx_en_MgmtIFPortType)は、サポートされているすべてのタイプのうち現在接続されているものを示します。
- 管理インターフェイスのポートタイプフィールドは、SFP-to-RJ45ケーブルをFIBERとして報告します。
- 管理インターフェイスの自動ネゴシエーションフィールドは、"esxcli network nic get -n vmnicX"フィールド"Pause Autonegotiate"に相当します。

ESXi 6.5ドライバーバージョン3.19.70.1のリリースノートについて詳しくは、以下のリンクを参照してください:
https://www.mellanox.com/page/products_dyn?product_family=29&mtag=vmware_driver

修正

バージョン3.19.70.1には修正は含まれていません:

拡張

バージョン3.19.70.1の変更および新機能:

- ネットワークアダプターのトラフィックが停止する問題を解決しました。
- LACP(リンクアグリゲーション制御プロトコル)bondingプロトコルを破壊した内部マルチキャストループバックの問題を修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
764282-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1350110023
764283-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1360110017
764284-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター	HP_1370110017
764285-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1380110017
764286-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1390110023
779793-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023)
779799-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004

---

nmlx4_enドライバーコンポーネント for VMware ESXi 6.7

バージョン: 2020.11.11 **(推奨)**
ファイル名: cp046262.compsig; cp046262.zip

重要な注意！

バージョン3.17.70.1での既知の問題:

- ConnectX-3 Pro 10Gアダプターカードでは、"esxcli network nic get"コマンド実行時に40Gの速度のサポートが間違って報告されます。
- ポートがDOWNしている場合、管理インターフェイスのポートタイプフィールド(nmlx_en_MgmtIFPortType)は、デバイスがサポートするポートタイプの1つを次の順序で示します。TP, FIBER, DA, NONE。ケーブルが複数のタイプをサポートしている場合、上記のリストの最初のタイプが表示されます。
- ポートがUPの場合、管理インターフェイスのポートタイプフィールド(nmlx_en_MgmtIFPortType)は、サポートされているすべてのタイプのうち現在接続されているものを示します。
- 管理インターフェイスのポートタイプフィールド(nmlx_en_MgmtIFPortType)は、SFP-to-RJ45ケーブルをFIBERとして報告します。
- 管理インターフェイスの自動ネゴシエーションフィールド(nmlx_en_MgmtIFAutoNegMode)は、"esxcli network nic get -n vmnicX"フィールド"Pause Autonegotiate"に相当します。

拡張

バージョン3.17.70.1の変更点および新機能:

- アダプターカードのPSIDがPrivstats(プライベート統計)に表示されるようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
764282-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1350110023
764283-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1360110017
764284-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター	HP_1370110017
764285-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1380110017
764286-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1390110023
779793-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023)
779799-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004

---

nmlx5_enドライバーコンポーネント for VMware 6.5

バージョン: 2021.04.15 **(推奨)**
ファイル名: cp047577.compsig; cp047577.zip

重要な注意！

バージョン4.16.71.1での既知の問題:

- 確立されたアクティブなRDMA接続(QP)の最大数は現在5000です。
- ETS値を0に設定すると、WQEタイムアウトが発生することがあります。
- リアクションポイントプロトコルのECN調整パラメーターinitialAlphaValueは変更できません。
- ECN統計カウンターaccumulatorsPeriodとecnMarkedRoce-Packetsには誤った値が表示され、クリアすることはできません。
- ハードウェアは、最大256バイトのヘッダーのみをオフロードできます。
- "esxcli network sriovnic vf stats"コマンドはサポートされていません。
- 同じHCA上の異なるポートに接続されたPV機能とSR-IOV VF間でトラフィックを送信することはできません。
- vSphere Clientの"ゲストMTU変更を許可する"オプションを設定する機能は現在機能していません。SR-IOVのゲストMTUの変更は許可されますが、ポートのMTUには影響を与えず、ゲストのMTUはPF MTUと同じままです。
- Geneveの長さのサポートは56バイトに制限されています。オプションの長さが56バイトを超える受信パケットは廃棄されます。
- ConnectX-4/ConnectX-4 Lxの古いファームウェアのバージョンとの相互作用により、以下の内部ファームウェアエラーが発生する可能性があります。
  - デバイスの状態が損なわれる
  - synd 0x1: ファームウェアの内部エラー
  - extSync 0x94ee
- 'esxcli mellanox uplink link info -u 'コマンドは、'Auto negotiation'機能を常に'true'としてレポートします。
- Wake-on-LANは、無効なパラメーターが提供されたときには通知しません。
- ネストされたESXiが正しく機能しない可能性があります。
- デバイスRSSは、ブロードキャストトラフィックで十分なRXリングにトラフィックをハッシュすることに失敗します。
- ストレス状態では'ウォッチドッグ'が現れ、アップリンクがアップしたり、ダウンしたりします。
- VXLANインターフェイスを介したVGTトラフィックは現在サポートされていません。
- SMP MAD(ibnetdiscover、sminfo、iblinkinfo、smpdump、ibqueryerr、ibdiagnet、smpquery)は、VFではサポートされていません。
- max_vfsモジュールのパラメーター範囲は"0-128"ですが、ファームウェアの制限により、単一ポートごとにサポートされるVFは次のとおりです:
  - ConnectX-4: 最大127
  - ConnectX-5: 最大63

修正

以下の問題点がバージョン4.16.71.1で修正されました。

- "esxcli network sriovnic vf stats"コマンドはサポートされていませんでした。vmknicでこのコマンドを実行すると、障害メッセージが表示されました。

拡張

Smartコンポーネントバージョン2021.04.15の変更点と新機能:

- 以下のアダプターのサポートを追加しました。
  - HPE Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 MCX623105AS-VDATアダプター(HPE部品番号:P10180-B21)

バージョン4.16.71.1の新機能および変更:

- ネットワークアダプターが必要とする電力がPCIeスロットで利用可能な電力よりも高い場合、イベントが送信されて管理者に通知されます。
- Differentiated Services Code Point(DSCP)の信頼と、RoCEトラフィックのデフォルト値の設定のサポート。
- ユーザーが仮想関数カウンターごとにクエリできるようにする新しいカウンター。
- ソフトウェア受信バッファーが不足していることを示すRXバッファー不足カウンター。
- 特定のRoCEバージョンを強制するためのモジュールパラメーター。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
764282-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1350110023
764283-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1360110017
764284-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター	HP_1370110017
P24837-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 642SFP28アダプター	HPE0000000054
P11338-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター	HP_1200111023
764285-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1380110017
764286-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1390110023
825110-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter	HP_2180110032
825111-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター	HP_2190110032
872726-B21	HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター	HPE0000000009
879482-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター	HPE0000000022
868779-B21	HPE Synergy 6410C 25/50Gb Ethernetアダプター	HPE0000000006
779793-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター	HP_2420110034
P21927-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター	MT_0000000417
P10112-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター	MT_0000000241
P13188-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACHTアダプター	MT_0000000416
P11341-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター	MT_0000000238
P21930-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター	MT_0000000414
874253-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター	HPE0000000014
P25960-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター	MT_0000000437
P06154-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000034
P06250-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000035
P06251-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000036
P23664-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートMCX653105A-HDAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000451
P23665-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートMCX653105A-ECAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000452
P23666-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートMCX653106A-ECAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000453
P10180-B21	Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56アダプターfor HPE	MT_0000000435
P31246-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポートQSFP28 PCIe3 x16 MCX515A-CCATアダプター	MT_0000000591
P31323-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653435A-HDAIアダプター	MT_0000000592
P31348-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653436A-HDAIアダプター	MT_0000000593
P31324-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653106A-HDATアダプター	MT_0000000594

---

nmlx5_enドライバーコンポーネント for VMware 6.7

バージョン: 2021.04.15 **(推奨)**
ファイル名: cp047576.compsig; cp047576.zip

重要な注意！

バージョン4.17.71.1での既知の問題:

- リアクションポイントプロトコルのECN調整パラメーターinitialAlphaValueは変更できません。
- ENSが有効にされている場合、SRI-OVはサポートされません。
- 確立されたアクティブなRDMA接続(QP)の最大数は現在5000です。
- ENS(拡張ネットワークスタック)は現在、ConnectX-6 Dxアダプターカードでサポートされていません。
- ETS値を0に設定すると、WQEタイムアウトが発生することがあります。
- PSODは、ENS VMK上のvMotion中に発生する場合があります。
- ENS DVSからのENSアップリンク切断中に、キューがまだ割り当てられていること、または要求されたキューが使用されていないことに関する以下のエラーメッセージが表示される場合があります。
- ドライバーのライブアンロードはサポートされていません。これを行うと、max_vfsパラメーターが設定されている場合にPSODが発生する可能性があります。
- ECN統計カウンターaccumulatorsPeriodとecnMarkedRoce-Packetsには誤った値が表示され、クリアすることはできません。
- RSSの最大値は、CPUコアの数よりも少なくなければなりません。
- ハードウェアは、最大256Bのヘッダーのみをオフロードできます。
- "esxcli network sriovnic vf stats"コマンドはサポートされていません。vmknicでこのコマンドを実行すると、障害メッセージが表示されます。
- 同じHCAの異なるポートに接続されているPVとSR-IOV VFの間にトラフィックはありません。
- vSphere Clientの"ゲストMTU変更を許可する"オプションを設定する機能は現在機能していません。SR-IOVのゲストMTUの変更は許可されますが、ポートのMTUには影響を与えず、ゲストのMTUはPF MTUと同じままです。
- ゲストにIB PCIパススルーデバイスまたはIB VFが割り当てられている場合、ゲスト用のVMware Toolsネットワーク情報が正しくない可能性があります。これは、インターフェイスやIPなどのゲストネットワーキング情報をvCenterに表示する方法に影響します。
- パススルーモードのvmnicsでの操作はサポートされていません。
- 'esxcli mellanox uplink link info -u 'コマンドは、'Auto negotiation'機能を常に'true'としてレポートします。
- SMP MAD(ibnetdiscover、sminfo、iblinkinfo、smpdump、ibqueryerr、ibdiagnet、smpquery)は、VFではサポートされていません。
- Wake-on-LANは、無効なパラメーターが提供されたときには通知しません。
- ネストされたESXiが正しく機能しない可能性があります。
- デバイスRSSは、ブロードキャストトラフィックで十分なRXリングにトラフィックをハッシュすることに失敗します。
- ストレス状態では'ウォッチドッグ'が現れ、アップリンクがアップしたり、ダウンしたりします。
- ENS DVSからのENSアップリンク切断中に、キューがまだ割り当てられていること、または要求されたキューが使用されていないことに関する以下のエラーメッセージが表示される場合があります。"ドライバーは*OS*の問題をカバーしているため、メッセージは情報提供のみを目的としています。"
- max_vfsモジュールのパラメーター範囲は"0-128"ですが、ファームウェアの制限により、単一ポートデバイスごとにサポートされるVFは次のとおりです:
  - ConnectX-4: 最大127
  - ConnectX-5: 最大127

ESXi 6.7ドライバーバージョン4.17.70.1のリリースノートについて詳しくは、以下のリンクを参照してください:
https://www.mellanox.com/page/products_dyn?product_family=29&mtag=vmware_driver

修正

以下の問題点がバージョン4.17.71.1で修正されました。

- "esxcli network sriovnic vf stats"コマンドはサポートされていませんでした。このコマンドを"vmknic"で実行すると、エラーメッセージが表示されました。
- 内側のパケットとしてのIPv6はサポートされていませんでした。

拡張

Smartコンポーネントバージョン2021.04.15の変更点と新機能:

- 以下のアダプターのサポートを追加しました。
  - HPE Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 MCX623105AS-VDATアダプター(HPE部品番号:P10180-B21)

バージョン4.17.71.1の新機能および変更:

- 電力制限のためにリンクをシャットダウンするオプションを無効にしました。
- Differentiated Services Code Point(DSCP)の信頼と、RoCEトラフィックのデフォルト値の設定のサポート。
- ユーザーが仮想関数カウンターごとにクエリできるようにする新しいカウンター。
- ソフトウェア受信バッファーが不足していることを示すRXバッファー不足カウンター。
- 特定のRoCEバージョンを強制するためのモジュールパラメーター。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
764282-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1350110023
764283-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1360110017
764284-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター	HP_1370110017
P24837-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 642SFP28アダプター	HPE0000000054

P11338-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター	HP_1200111023
764285-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1380110017
764286-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1390110023
825110-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter	HP_2180110032
825111-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター	HP_2190110032
872726-B21	HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター	HPE0000000009
879482-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター	HPE0000000022
868779-B21	HPE Synergy 6410C 25/50Gb Ethernetアダプター	HPE0000000006
779793-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター	HP_2420110034
P21927-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター	MT_0000000417
P10112-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター	MT_0000000241
P13188-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACHTアダプター	MT_0000000416
P11341-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター	MT_0000000238
P21930-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター	MT_0000000414
874253-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター	HPE0000000014
P25960-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター	MT_0000000437
P06154-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000034
P06250-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000035
P06251-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000036
P23664-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートMCX653105A-HDAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000451
P23665-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートMCX653105A-ECAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000452
P23666-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートMCX653106A-ECAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000453
P10180-B21	Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56アダプターfor HPE	MT_0000000435
P31246-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポートQSFP28 PCIe3 x16 MCX515A-CCATアダプター	MT_0000000591
P31323-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653435A-HDAIアダプター	MT_0000000592
P31348-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653436A-HDAIアダプター	MT_0000000593
P31324-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653106A-HDATアダプター	MT_0000000594

---

nmlx5_enドライバーコンポーネントfor VMware 7.0 U2

バージョン: 2021.04.21 **(推奨)**
ファイル名: cp047641.compsig; cp047641.zip

重要な注意！

重要:バージョン4.21.71.1はESXi 7.0 U2をサポートします。

バージョン4.21.71.101での既知の問題:

- アップリンク値とVF MTU値の不一致により、CQEでエラーが発生する場合があります。
  回避策:アップリンクとVF MTUの値を揃えます。
- sriov_mc_isolationモジュールパラメーターを有効にすると、vmknicおよびエミュレートされたNICのマルチキャストとIPv6トラフィックが失われる場合があります。
  回避策:モジュールパラメーターを設定解除するか、0に設定します。
- RDMAは、ENS(Enhanced Network Stack)モデル2を使用するハイパーバイザーではサポートされていません。
- vSphere Clientの"ゲストMTU変更を許可する"オプションを設定する機能は現在機能していません。SR-IOVのゲストMTUの変更は許可されますが、ポートのMTUには影響を与えず、ゲストのMTUはPF MTUと同じままです。
- ECN(明示的輻輳通知)統計カウンターaccumulatorsPeriodおよびecnMarkedRocePacketsに誤った値が表示され、クリアできません。
- リアクションポイントプロトコルのECN調整パラメーターinitialAlphaValueは変更できません。
- ポートがダウンしてリブートが実行された後、カードの速度がゼロのままです。
- 名前空間の使用時に、vMotionの後にRoCEトラフィックが失敗する場合があります。
- レガシーSR-IOVはモデル1ではサポートされていません。
- ENSモード時にスケジューラをHCLKに変更するとトラフィックが失われる場合があります。
- 'esxcli mellanox uplink link info -u'コマンドで、'Auto negotiation'機能が常に'true'とレポートされます。
- SMP MAD(ibnetdiscover、sminfo、iblinkinfo、smpdump、ibqueryerr、ibdiagnet、smpquery)は、VFではサポートされていません。
- max_vfsモジュールのパラメーター範囲は"0-128"ですが、ファームウェアの制限により、単一ポートデバイスごとにサポートされるVFは次のとおりです:
  - ConnectX-4 / ConnectX-5:最大127

修正

バージョン4.21.71.101に含まれる修正点:

- VMware Update Managerでは、バージョン管理スキームが古いメタデータxmlとのバンドルが受け入れられないため、このツールとの互換性の問題を修正しました。メタデータxmlに新しいバージョン管理スキームが含まれるようになりました。

拡張

Smartコンポーネントバージョン2021.04.21には、以下の変更と新機能が含まれます。

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - vSan over RDMA。
  - ENSモデル0のための受信側スケーリング(RSS)。
  - 200GbEのリンク速度。
  - ConnectX-6 Lxデバイス。
  - RDMAネットワークを介した最大10K接続の拡張サポート
  - ハードウェアオフロードを使用したData Center Bridging Capability Exchange(DCBX)プロトコル。
  - SR-IOVインターフェイスへのマルチキャストトラフィックを分離するためのsriov_mc_isolationモジュールパラメーター。デフォルト値はOFFです。
  - ens_fallback_modelは、OSからENSモデルを照会するためのオプションがサポートされていない場合のデフォルトのフォールバックモードを設定します。デフォルトはモデル1です。

バージョン4.21.71.101の新機能および変更:

- SR-IOV InfiniBandはGAレベルです。

- メモリ制約を下げるために、supported_num_portsのデフォルト値を1にアップデートしました。
  注記:ユーザーは、システムにインストールされているポートの数に対応する値を設定する必要があります。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
764282-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1350110023
764283-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1360110017
764284-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター	HP_1370110017
P24837-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 642SFP28アダプター	HPE0000000054
P11338-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター	HP_1200111023
764285-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1380110017
764286-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1390110023
825110-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter	HP_2180110032
825111-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター	HP_2190110032
872726-B21	HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター	HPE0000000009
879482-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター	HPE0000000022
868779-B21	HPE Synergy 6410C 25/50Gb Ethernetアダプター	HPE0000000006
779793-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター	HP_2420110034
P21927-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター	MT_0000000417
P10112-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター	MT_0000000241
P13188-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACHTアダプター	MT_0000000416
P11341-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター	MT_0000000238
P21930-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター	MT_0000000414
874253-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター	HPE0000000014
P25960-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター	MT_0000000437
P06154-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000034
P06250-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000035
P06251-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000036
P23664-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートMCX653105A-HDAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000451
P23665-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートMCX653105A-ECAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000452
P23666-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートMCX653106A-ECAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000453
P10180-B21	Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56アダプターfor HPE	MT_0000000435
P31246-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポートQSFP28 PCIe3 x16 MCX515A-CCATアダプター	MT_0000000591
P31323-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653435A-HDAIアダプター	MT_0000000592
P31348-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653436A-HDAIアダプター	MT_0000000593
P31324-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653106A-HDATアダプター	MT_0000000594

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 218.0.7.0 **(オプション)**

ファイル名: libbnxt_re-218.0.7.0-rhel7u8.x86_64.compsig; libbnxt_re-218.0.7.0-rhel7u8.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for Red Hat Enterprise Linux 7*、バージョン1.10.2-218.0.65.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

この製品は、rdma-core v29(rdmaユーザースペースアプリケーション)をサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー

バージョン: 8.55.14.0-2 **(推奨)**

ファイル名: kmod-qlgc-fastlinq-8.55.14.0-2.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-qlgc-fastlinq-8.55.14.0-2.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-qlgc-fastlinq-8.55.14.0-2.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-qlgc-fastlinq-8.55.14.0-2.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*Arrowheadアダプター用HPE QLogic FastLinQ*ファームウェアパッケージ、バージョン8.55.27以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、Kubernetesコンテナオーケストレーションシステムで10GbEアダプターにDNS解決の問題が発生する問題に対処します
- この製品は、HPE SDFlexシステムで複数回のPCIeエラーインジェクションの後にシステムがクラッシュする問題に対処します
- この製品は、イーサーネットのデータレート制限が仮想機能(VF)で機能しない問題に対処します。
- この製品は、msixベクトルが仮想機能(VF)に要求された数に満たなくなるとシステムがクラッシュする問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-T コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 218.0.7.0 **(オプション)**

ファイル名: libbnxt_re-218.0.7.0-rhel8u2.x86_64.compsig; libbnxt_re-218.0.7.0-rhel8u2.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for Red Hat Enterprise Linux 8*、バージョン1.10.2-218.0.65.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 3用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 218.0.7.0 **(オプション)**
ファイル名: libbnxt_re-218.0.7.0-rhel8u3.x86_64.compsig; libbnxt_re-218.0.7.0-rhel8u3.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for Red Hat Enterprise Linux 8*、バージョン1.10.2-218.0.65.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

拡張

最初のリリースです。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

Red Hat Enterprise Linux 8用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー

バージョン: 8.55.14.0-2 **(推奨)**
ファイル名: kmod-qlgc-fastlinq-8.55.14.0-2.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-qlgc-fastlinq-8.55.14.0-2.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-qlgc-fastlinq-8.55.14.0-2.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-qlgc-fastlinq-8.55.14.0-2.rhel8u4.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*Arrowheadアダプター用HPE QLogic FastLinQ*ファームウェアパッケージ、バージョン8.55.27以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、Kubernetesコンテナオーケストレーションシステムで10GbEアダプターにDNS解決の問題が発生する問題に対処します
- この製品は、HPE SDFlexシステムで複数回のPCIeエラーインジェクションの後にシステムがクラッシュする問題に対処します

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 4をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-T コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4(AMD64/EM64T)向けのHPE Mellanox MFTドライバーおよびFirmware Tools

バージョン: 4.17 **(推奨)**

ファイル名: kernel-mft-mlnx-kmp-default-4.17.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; kernel-mft-mlnx-kmp-default-4.17.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; mft-4.17.0-106.sles12sp4.x86_64.compsig; mft-4.17.0-106.sles12sp4.x86_64.rpm

修正

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート向けのMFT前提条件のRPM。

拡張

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート向けのMFT前提条件のRPM。

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 218.0.7.0 **(オプション)**
ファイル名: libbnxt_re-218.0.7.0-sles12sp4.x86_64.compsig; libbnxt_re-218.0.7.0-sles12sp4.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for SUSE Linux Enterprise Server 12*、バージョン1.10.2-218.0.65.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

この製品は、rdma-core v29(rdmaユーザースペースアプリケーション)をサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 218.0.7.0 **(オプション)**
ファイル名: libbnxt_re-218.0.7.0-sles12sp5.x86_64.compsig; libbnxt_re-218.0.7.0-sles12sp5.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for SUSE Linux Enterprise Server 12*、バージョン1.10.2-218.0.65.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

この製品は、rdma-core v29(rdmaユーザースペースアプリケーション)をサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー

バージョン: 8.55.14.0-2 **(推奨)**
ファイル名: qlgc-fastlinq-kmp-default-8.55.14.0_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.compsig; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.55.14.0_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*Arrowhead*アダプター用*HPE QLogic FastLinQ*ファームウェアパッケージ、バージョン8.55.27以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、Kubernetesコンテナオーケストレーションシステムで10GbEアダプターにDNS解決の問題が発生する問題に対処します
- この製品は、HPE SDFlexシステムで複数回のPCIeエラーインジェクションの後にシステムがクラッシュする問題に対処します

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-T コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 218.0.7.0 **(オプション)**
ファイル名: libbnxt_re-218.0.7.0-sles15sp2.x86_64.compsig; libbnxt_re-218.0.7.0-sles15sp2.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for SUSE Linux Enterprise Server 15*、バージョン1.10.2-218.0.65.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

拡張

最初のリリースです

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー

バージョン: 8.55.14.0-2 **(推奨)**
ファイル名: qlgc-fastlinq-kmp-default-8.55.14.0_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.compsig; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.55.14.0_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.rpm; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.55.14.0_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.compsig; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.55.14.0_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*Arrowhead*アダプター用*HPE QLogic FastLinQ*ファームウェアパッケージ、バージョン8.55.27以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、Kubernetesコンテナオーケストレーションシステムで10GbEアダプターにDNS解決の問題が発生する問題に対処します
- この製品は、HPE SDFlexシステムで複数回のPCIeエラーインジェクションの後にシステムがクラッシュする問題に対処します

拡張

この製品は現在、SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-T コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

VMware ESXi 6.5および6.7 MSTドライバーオフラインバンドル for Mellanoxアダプター

バージョン: 4.12.0.105 **(推奨)**
ファイル名: MLNX-NMST-ESX-6.5.0-4.12.0.105.zip

拡張

VM65/67 nmst 4.12.0.105

VMware vSphere 6.5用HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー

バージョン: 2021.09.04 **(推奨)**
ファイル名: cp047871.compsig; cp047871.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバーでの使用に、*HPE QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for VMwar*e、バージョン1.29.0で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、データログの照合メカニズムを強化します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R 10GBASE-T 2ポートコンバージドネットワークアダプター

VMware vSphere 6.7用HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー

バージョン: 2021.09.04 **(推奨)**
ファイル名: cp047116.compsig; cp047116.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバーでの使用に、*HPE QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for VMwar*e、バージョン1.29.0で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、データログの照合メカニズムを強化します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R 10GBASE-T 2ポートコンバージドネットワークアダプター

Windows Server x64 Edition用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー

バージョン: 8.58.16.0 **(推奨)**
ファイル名: cp047061.compsig; cp047061.exe

重要な注意！

これらドライバーとともに使用する場合は、*Arrowhead*アダプター用*HPE QLogic FastLinQ*ファームウェアパッケージ、バージョン8.55.27以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、NPARモードのMOSでRoCE + L2トラフィックが発生する問題を修正します
- この製品は、重いPAUSE/優先順位ベースのフロー制御(PFC)下で送信する場合の問題を修正します
- この製品は、VF RDMAトラフィックの実行中にVMをオフにする問題を修正します
- この製品は、オーバーナイトスイッチポートでVF RoCEトラフィックを実行しているときにイエローバンが発生する問題を修正します。
- この製品は、iSCSIの列挙を使用してドライバーをインストールする際の問題を修正します。

拡張

この製品は、Microsoft Windows Server 2022をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-T コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

ドライバー - ストレージ

先頭

Dynamic SmartアレイB140iコントローラードライバーfor 64ビットMicrosoft Windows Server 2012/2012 R2/2016/2019 Editions

バージョン: 62.16.2.64 **(推奨)**
ファイル名: cp042594.exe

修正

- SWH RAIDで構成されたM.2 SSDドライブでSCSIバスリセットにつながるRAIDスタックタイムアウトと過度の読み取り/書き込みコマンドタイムアウトを引き起こす可能性のあるNCQおよび非NCQコマンドで致命的なエラーが報告されたAHCIのSATLエラー処理を修正しました

ドライバー - ストレージコントローラー

先頭

HPE Dynamic Smart Array B140i SATA RAID Controller Driver for SUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit)

バージョン: 1.2.10-196 **(推奨)**
ファイル名: hpdsa-kmp-default-1.2.10-196.sles12sp4.x86_64.compsig; hpdsa-kmp-default-1.2.10-196.sles12sp4.x86_64.rpm; hpdsa-kmp-default-1.2.10-196.sles12sp5.x86_64.compsig; hpdsa-kmp-default-1.2.10-196.sles12sp5.x86_64.rpm

拡張

ドライバーバージョンをSLES15に合わせました

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit)カーネルは、次の通りです。
4.4.21-69-default - SUSE LINUX Enterpriseサーバー12 (64-bit) SP2 plus future errata。
-SUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit) SP3 plusおよび今後のerrata。

HPE Dynamic Smartアレイ B140i コントローラードライバー for VMware vSphere 6.7 (ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2021.09.01 **(推奨)**
ファイル名: cp048935.compsig; cp048935.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

SWH RAIDで構成されたM.2 SSDドライブでSCSIバスリセットにつながるRAIDスタックタイムアウトと過度の読み取り/書き込みコマンドタイムアウトを引き起こす可能性のあるNCQおよび非NCQコマンドで致命的なエラーが報告されたAHCIのSATLエラー処理を修正しました

拡張

.

HPE Dynamic SmartアレイB140iコントローラードライバーfor VMware vSphere 6.5(ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2021.09.01 **(推奨)**
ファイル名: cp048936.compsig; cp048936.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

SWH RAIDで構成されたM.2 SSDドライブでSCSIバスリセットにつながるRAIDスタックタイムアウトと過度の読み取り/書き込みコマンドタイムアウトを引き起こす可能性のあるNCQおよび非NCQコマンドで致命的なエラーが報告されたAHCIのSATLエラー処理を修正しました

HPE Dynamic Smartアレイコントローラードライバー for VMware vSphere 6.5 (バンドルファイル)

バージョン: 6.0.0.76-1 **(推奨)**
ファイル名: hpdsa-6.0.0.76-1-offline_bundle-18283990.zip

修正

SWH RAIDで構成されたM.2 SSDドライブでSCSIバスリセットにつながるRAIDスタックタイムアウトと過度の読み取り/書き込みコマンドタイムアウトを引き起こす可能性のあるNCQおよび非NCQコマンドで致命的なエラーが報告されたAHCIのSATLエラー処理を修正しました

拡張

最初のビルド

HPE H2xx SAS/SATAホストバスアダプタードライバーfor 64-bit Microsoft Windows Server 2016 Edition

バージョン: 2.68.64.2 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp037731.exe

重要な注意！

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

拡張

- Smart Update Managerとの統合を強化しました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません

HPE H2xx SAS/SATAホストバスアダプタードライバーfor Microsoft Windows Server 2012 R2 64-bit Editions

バージョン: 2.68.64.1 (B) **(オプション)**
ファイル名: cp032453.exe

拡張

バージョン 2.68.64.1(B)に実施された変更:

- Service Pack for ProLiantをバージョン2017.07.0.へ
  注:システムが以前にドライバーバージョン2.68.64.1 にアップデートされている場合、2.68.64.1(B)にアップデートする必要はありません。

バージョン2.68.64.1の機能改善/新しい機能:

- Windows 8.1およびWindows Server 2012R2へのサポートをビルドスクリプトに追加しました。
- Add build support for new 新しいWindowsイベントロギングにビルドサポートを追加しました。
- ビルドの間のデフォルトドライバー・ビルドパラメーターの自動選択にサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

HPE ProLiant Smartアレイ HPCISSS3コントローラードライバー for 64ビットMicrosoft Windows Server 2012 R2/2016/2019 Editions

バージョン: 106.26.0.64 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048869.compsig; cp048869.exe

修正

システムは、メモリ割り当ての問題により、ホットリプレースの実行中にBSODを表示する可能性があります

拡張

- Microsoft Windows Server 2012をサポート対象OSから削除

HPE ProLiant Smartアレイコントローラードライバー for VMware vSphere 6.5 (バンドルファイル)

バージョン: 0072.0.149 **(推奨)**
ファイル名: VMW-ESX-6.5.0-nhpsa-65.0072.0.149-offline_bundle-17204132.zip

修正

このリリースには以下の修正が含まれています。

- キューでハングした失敗したTURコマンドを修正
- 壊れた内部コマンド予約を修正
- 新しいバージョン番号スキームのアップデート
- 一般的な無害なエラーに関する詳細なエラーメッセージを修正

- 失敗した論理ボリュームがオフライン状態で適切に処理されていません。
- 一部のエラー状態では、SCSIセンスとステータスの戻り値が正しくありません。
- ホットプラグのリカバリ中に表示される「使用不可」ステータスが正しくありません。
- 一部のドライバーログメッセージで表示されるターゲットIDが正しくありません。

HPE ProLiant Smartアレイコントローラードライバー for VMware vSphere 6.5(ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2021.01.01 **(推奨)**
ファイル名: cp042874.compsig; cp042874.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

このリリースには以下の修正が含まれています。

- キューでハングした失敗したTURコマンドを修正
- 壊れた内部コマンド予約を修正
- 新しいバージョン番号スキームのアップデート
- 一般的な無害なエラーに関する詳細なエラーメッセージを修正

- 失敗した論理ボリュームがオフライン状態で適切に処理されていません。
- 一部のエラー状態では、SCSIセンスとステータスの戻り値が正しくありません。
- ホットプラグのリカバリ中に表示される「使用不可」ステータスが正しくありません。
- 一部のドライバーログメッセージで表示されるターゲットIDが正しくありません。

HPE ProLiant Smartアレイコントローラードライバーfor VMware vSphere 6.7 (ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2021.01.01 **(推奨)**
ファイル名: cp042875.compsig; cp042875.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

このリリースには以下の修正が含まれています。

- キューでハングした失敗したTURコマンドを修正
- 壊れた内部コマンド予約を修正
- 新しいバージョン番号スキームのアップデート
- 一般的な無害なエラーに関する詳細なエラーメッセージを修正

- 失敗した論理ボリュームがオフライン状態で適切に処理されていません。
- 一部のエラー状態では、SCSIセンスとステータスの戻り値が正しくありません。
- ホットプラグのリカバリ中に表示される「使用不可」ステータスが正しくありません。
- 一部のドライバーログメッセージで表示されるターゲットIDが正しくありません。

HPE ProLiant Smartアレイコントローラードライバーfor VMware vSphere 6.7 (バンドルファイル)

バージョン: 0072.0.149 **(推奨)**
ファイル名: HPE-nhpsa_67.0072.0.149-1OEM.670.0.0.8169922-offline_bundle-17300270.zip

修正

このリリースには以下の修正が含まれています。

- キューでハングした失敗したTURコマンドを修正
- 壊れた内部コマンド予約を修正
- 新しいバージョン番号スキームのアップデート
- 一般的な無害なエラーに関する詳細なエラーメッセージを修正

- 失敗した論理ボリュームがオフライン状態で適切に処理されていません。
- 一部のエラー状態では、SCSIセンスとステータスの戻り値が正しくありません。
- ホットプラグのリカバリ中に表示される「使用不可」ステータスが正しくありません。
- 一部のドライバーログメッセージで表示されるターゲットIDが正しくありません。

Red Hat Enterprise Linux 7(64-bit)用HPE Dynamic SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラードライバー

バージョン: 1.2.10-196 **(推奨)**
ファイル名: kmod-hpdsa-1.2.10-196.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hpdsa-1.2.10-196.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hpdsa-1.2.10-196.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hpdsa-1.2.10-196.rhel7u9.x86_64.rpm

拡張

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9のサポートを追加

Red Hat Enterprise Linux 7(64-bit)用HPE H2xx SAS/SATAバスアダプタードライバー

バージョン: 15.10.09.00-2 **(推奨)**
ファイル名: kmod-mpt2sas-15.10.07.00-3.rhel7u5.x86_64.compsig; kmod-mpt2sas-15.10.07.00-3.rhel7u5.x86_64.rpm; kmod-mpt2sas-15.10.09.00-2.rhel7u6.x86_64.compsig; kmod-mpt2sas-15.10.09.00-2.rhel7u6.x86_64.rpm

拡張

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 6のサポートを追加しました

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

3.10.0-693.el7- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4 (64-bit)およびfuture errata kernels for update 4.
3.10.0-862.el7- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 5 (64-bit)およびUpdate 5用の今後のerrataカーネル。

注記:このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

Red Hat Enterprise Linux 7(64-bit)用HPE ProLiant Smartアレイコントローラー(64-bit)ドライバー

バージョン: 3.4.20-208 **(推奨)**
ファイル名: kmod-hpsa-3.4.20-208.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hpsa-3.4.20-208.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hpsa-3.4.20-208.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hpsa-3.4.20-208.rhel7u9.x86_64.rpm

拡張

ドライバーバージョンをRHEL8に合わせました

Red Hat Enterprise Linux 8(64-bit)用HPE Dynamic SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラードライバー

バージョン: 1.2.10-196 **(推奨)**
ファイル名: kmod-hpdsa-1.2.10-196.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hpdsa-1.2.10-196.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hpdsa-1.2.10-196.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-hpdsa-1.2.10-196.rhel8u4.x86_64.rpm

拡張

Red Hat Enterprise Linux 8.4のサポートを追加しました。

Red Hat Enterprise Linux 8(64-bit)用HPE ProLiant Smartアレイコントローラー(64-bit)ドライバー

バージョン: 3.4.20-208 **(推奨)**
ファイル名: kmod-hpsa-3.4.20-208.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hpsa-3.4.20-208.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hpsa-3.4.20-208.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-hpsa-3.4.20-208.rhel8u4.x86_64.rpm

拡張

Red Hat Enterprise Linux 8.4のサポートを追加しました。

SUSE LINUX Enterprise Server 12(64-bit)用HPE ProLiant Smartアレイコントローラー(64-bit)ドライバー

バージョン: 3.4.20-188 (B) **(推奨)**
ファイル名: hpsa-kmp-default-3.4.20-188.sles12sp4.x86_64.compsig; hpsa-kmp-default-3.4.20-188.sles12sp4.x86_64.rpm; hpsa-kmp-default-3.4.20-188.sles12sp5.x86_64.compsig; hpsa-kmp-default-3.4.20-188.sles12sp5.x86_64.rpm

修正

- SuSE Linux Enterprise Server 12 SP5のサポートを追加
- Linux SLES12 SP5でのセキュアブートハングの問題を修正するためのPKCS署名プロセスが追加されました

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterpriseサーバー 12 (64-bit)カーネルは、次の通りです。
4.4.21-69-default - SUSE LINUX Enterpriseサーバー12 (64-bit) SP2 plus future errata。
4.4.73-5.1 - SUSE LINUX Enterpriseサーバー12 (64-bit) SP3 plus future errata。

SUSE LINUX Enterprise Server 15(64-bit)用HPE Dynamic SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラードライバー

バージョン: 1.2.10-196 **(推奨)**
ファイル名: hpdsa-kmp-default-1.2.10-196.sles15sp2.x86_64.compsig; hpdsa-kmp-default-1.2.10-196.sles15sp2.x86_64.rpm; hpdsa-kmp-default-1.2.10-196.sles15sp3.x86_64.compsig; hpdsa-kmp-default-1.2.10-196.sles15sp3.x86_64.rpm

拡張

SuSE Linux Enterprise Server 15 SP3のサポートを追加

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterpriseサーバー15(64-bit)カーネルは、次の通りです。
4.12.14-23 - SUSE LINUX Enterpriseサーバー15 (64-bit) SP3 plus future errata。

default - SUSE LINUX Enterprise Server 15 (64-bit) SP1および今後のerrata

---

SUSE LINUX Enterprise Server 15(64-bit)用HPE ProLiant Smartアレイコントローラー(64-bit)ドライバー

バージョン: 3.4.20-210 (B) **(推奨)**
ファイル名: hpsa-kmp-default-3.4.20-210.sles15sp2.x86_64.compsig; hpsa-kmp-default-3.4.20-210.sles15sp2.x86_64.rpm; hpsa-kmp-default-3.4.20-210.sles15sp3.x86_64.compsig; hpsa-kmp-default-3.4.20-210.sles15sp3.x86_64.rpm

拡張

SuSE Linux Enterprise Server 15 SP3のサポートを追加

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterpriseサーバー15(64-bit)カーネルは、次の通りです。
4.12.14-23 - SUSE LINUX Enterpriseサーバー15 (64-bit) SP3 plus future errata。

default - SUSE LINUX Enterprise Server 15 (64-bit) SP1および今後のerrata。

SUSE LINUX Enterrise Server 12(64-bit)用HPE H2xx SAS/SATAバスアダプタードライバー

バージョン: 15.10.09.00-1 **(推奨)**
ファイル名: lsi-mpt2sas-kmp-default-15.10.09.00-1.sles12sp4.x86_64.compsig; lsi-mpt2sas-kmp-default-15.10.09.00-1.sles12sp4.x86_64.rpm

拡張

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4のサポートを追加しました

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit)カーネルは、次の通りです。
-SUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit) SP4とさらに将来のerrata。

注記:このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

VMware vSphere 6.7用HPE Dynamic Smartアレイコントローラードライバー(バンドルファイル)

バージョン: 6.0.0.76-1 **(推奨)**
ファイル名: hpdsa-6.0.0.76-1-offline_bundle-18283990.zip

修正

SWH RAIDで構成されたM.2 SSDドライブでSCSIバスリセットにつながるRAIDスタックタイムアウトと過度の読み取り/書き込みコマンドタイムアウトを引き起こす可能性のあるNCQおよび非NCQコマンドで致命的なエラーが報告されたAHCIのSATLエラー処理を修正しました

拡張

最初のビルド

---

vSphere 6.5用HPE H2xx SAS/SATAホストバスアダプター(64-bi)ドライバー

バージョン: 15.10.07.00-1 (A) **(オプション)**
ファイル名: mpt2sas-15.10.07.00-esxi5.5-4778920.zip

修正

バージョン15.10.07.00-1(A)実施された変更:

- Service Pack for ProLiantをバージョン2017.07.0.へ
  注:システムが以前にドライバーバージョン15.10.07.00-1にアップデートされている場合、15.10.07.00-1(A)にアップデートする必要はありません。

バージョン15.10.07.00-1で解決した問題:

- VMware vSphere 6.5.ののドライブのインストールに関するマイナートラブルを修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

注:HPE H221ホストバスアダプターは、Gen9サーバーのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしていません。

vSphere 6.5用HPE H2xx SAS/SATAホストバスアダプター(64-bi)ドライバー(ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2017.01.20 (A) **(オプション)**
ファイル名: cp032277.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

バージョン2017.01.20(A)実施された変更:

- Service Pack for ProLiantをバージョン2017.07.0.へ
  注:システムが以前にコンポーネントバージョン2017.01.20にアップデートされている場合、2017.01.20(A)にアップデートする必要はありません。

バージョン2017.01.20で解決した問題:

- VMware vSphere 6.5.ののドライブのインストールに関するマイナートラブルを修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

注:HPE H221ホストバスアダプターは、Gen9サーバーのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしていません。

ドライバー - ストレージファイバーチャネルおよびチャイバーチャネルオーバーイーサーネット 先頭

HPE Blade Storageメザニンファイバーチャネルオーバーイーサーネットアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバー - Microsoft Windows Server 2012R2/2016

バージョン: 12.0.1192.0 **(推奨)**
ファイル名: cp048530.compsig; cp048530.exe

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

ドライバーバージョン12.0.1192.0にアップデートしました

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。 rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを抽出し、その後Emulexインストーラーを抽出することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

```
brcmdrvr-fcoe-version.exe /q2 extract=2
```

抽出されたファイルは次に置かれます。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version
```

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 たとえば、以下のようになります。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version¥x64¥win2012
```

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Storageメザニンファイバーチャネルオーバーイーサーネットアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバー - Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 12.0.1192.0 **(推奨)**
ファイル名: cp048529.compsig; cp048529.exe

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

ドライバーバージョン12.0.1192.0にアップデートしました

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。 rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを抽出し、その後Emulexインストーラーを抽出することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

brcmdrvr-fcoe-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 たとえば、以下のようになります。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version¥x64¥win2012

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Storage ファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2012R2

バージョン: 9.4.1.20 **(推奨)**
ファイル名: cp049108.compsig; cp049108.exe

重要な注意！

リリースノート:
HPE QLogicアダプターリリースノート

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- "fwload"レジストリパラメーターを削除しました。
- リンクアップ/ダウンメッセージがWindowsシステムイベントログに記録されないことがあるという望ましくない動作を修正しました。
- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)統計のレポートに関する望ましくない動作を修正しました。
- "SCSI Check Condition"コマンドまたはケーブルプルが発生するとテープドライブへの接続が回復しない可能性があるという望ましくない動作を修正しました。

- シャットダウン中にサーバーでBlue Screen Of Death(BSOD)0x0000009fメッセージが発生する可能性があるという望ましくない動作を修正しました。これは以下で説明されています。アドバイザリ:HPEホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2016/2019 Hyper-V環境を実行し、QLogic Storportドライバーv9.4.2.20を使用する特定のHPE HBAが組み込まれているHPEプラットフォームで、Bug Check 0x9Fイベントが発生することがある

拡張

以下を追加しました。

- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)輻輳管理アルゴリズムを改善しました。

バージョン9.4.1.20にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2012R2

バージョン: 12.8.334.6 **(推奨)**
ファイル名: cp049104.compsig; cp049104.exe

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

ドライバーバージョン12.8.334.6にアップデートしました

rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを抽出し、その後Emulexインストーラーを抽出することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

```
elxdrvr-fc-version.exe /q2 extract=2
```

抽出されたファイルは次に置かれます。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version
```

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 たとえば、以下のようになります。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019
```

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2012R2

バージョン: 12.8.334.6 **(推奨)**
ファイル名: cp049106.compsig; cp049106.exe

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

ドライバーバージョン12.8.334.6にアップデートしました

rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを抽出し、その後Emulexインストーラーを抽出することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

elxdrvr-fc-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 たとえば、以下のようになります。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2016

バージョン: 12.8.351.7 **(推奨)**
ファイル名: cp048601.compsig; cp048601.exe

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

ドライバーバージョン12.8.351.7にアップデートしました

rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを抽出し、その後Emulexインストーラーを抽出することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

elxdrvr-fc-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 たとえば、以下のようになります。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 12.8.351.7 **(推奨)**
ファイル名: cp048600.compsig; cp048600.exe

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

ドライバーバージョン12.8.351.7にアップデートしました

rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを抽出し、その後Emulexインストーラーを抽出することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

elxdrvr-fc-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 たとえば、以下のようになります。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2016

バージョン: 9.4.5.20 **(推奨)**

ファイル名: cp048729.compsig; cp048729.exe

重要な注意！

リリースノート:
HPE QLogicアダプターリリースノート

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- "fwload"レジストリパラメーターを削除しました。
- リンクアップ/ダウンメッセージがWindowsシステムイベントログに記録されないことがあるという望ましくない動作を修正しました。
- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)統計のレポートに関する望ましくない動作を修正しました。
- "SCSI Check Condition"コマンドまたはケーブルプルが発生するとテープドライブへの接続が回復しない可能性があるという望ましくない動作を修正しました。
- シャットダウン中にサーバーでBlue Screen Of Death(BSOD)0x0000009fメッセージが発生する可能性があるという望ましくない動作を修正しました。これは以下で説明されています。アドバイザリ:HPEホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2016/2019 Hyper-V環境を実行し、QLogic Storportドライバーv9.4.2.20を使用する特定のHPE HBAが組み込まれているHPEプラットフォームで、Bug Check 0x9Fイベントが発生することがある

拡張

以下を追加しました。

- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)輻輳管理アルゴリズムを改善しました。

バージョン9.4.5.20にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 9.4.5.20 **(推奨)**
ファイル名: cp048730.compsig; cp048730.exe

重要な注意！

リリースノート:
HPE QLogicアダプターリリースノート

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- "fwload"レジストリパラメーターを削除しました。
- リンクアップ/ダウンメッセージがWindowsシステムイベントログに記録されないことがあるという望ましくない動作を修正しました。
- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)統計のレポートに関する望ましくない動作を修正しました。
- "SCSI Check Condition"コマンドまたはケーブルプルが発生するとテープドライブへの接続が回復しない可能性があるという望ましくない動作を修正しました。
- シャットダウン中にサーバーでBlue Screen Of Death(BSOD)0x0000009fメッセージが発生する可能性があるという望ましくない動作を修正しました。これは以下で説明されています。アドバイザリ:HPEホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2016/2019 Hyper-V環境を実行し、QLogic Storportドライバーv9.4.2.20を使用する特定のHPE HBAが組み込まれているHPEプラットフォームで、Bug Check 0x9Fイベントが発生することがある

拡張

以下を追加しました。

- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)輻輳管理アルゴリズムを改善しました。

バージョン9.4.5.20にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8Gbシングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8Gbデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16Gbデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16Gbシングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルオーバーイーサーネットアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2012R2/2016

バージョン: 12.0.1192.0 **(推奨)**
ファイル名: cp048542.compsig; cp048542.exe

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

ドライバーバージョン12.0.1192.0にアップデートしました

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。 rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを抽出し、その後Emulexインストーラーを抽出することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

```
brcmdrvr-fcoe-version.exe /q2 extract=2
```

抽出されたファイルは次に置かれます。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version
```

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 たとえば、以下のようになります。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version¥x64¥win2012
```

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター

HPE Storageファイバーチャネルオーバーイーサーネットアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 12.0.1192.0 **(推奨)**
ファイル名: cp048541.compsig; cp048541.exe

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

ドライバーバージョン12.0.1192.0にアップデートしました

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。 rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを抽出し、その後Emulexインストーラーを抽出することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

```
brcmdrvr-fcoe-version.exe /q2 extract=2
```

抽出されたファイルは次に置かれます。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version
```

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 たとえば、以下のようになります。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version¥x64¥win2012
```

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター

HPE Storageメザニンファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2016

バージョン: 12.8.351.7 **(推奨)**
ファイル名: cp048582.compsig; cp048582.exe

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

ドライバーバージョン12.8.351.7にアップデートしました

rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを抽出し、その後Emulexインストーラーを抽出することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

```
elxdrvr-fc-version.exe /q2 extract=2
```

抽出されたファイルは次に置かれます。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version
```

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 たとえば、以下のようになります。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HPE Storageメザニンファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 12.8.351.7 **(推奨)**
ファイル名: cp048581.compsig; cp048581.exe

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

ドライバーバージョン12.8.351.7にアップデートしました

rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを抽出し、その後Emulexインストーラーを抽出することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

elxdrvr-fc-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 たとえば、以下のようになります。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HPE Storageメザニンファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2012R2

バージョン: 9.4.1.20 **(推奨)**
ファイル名: cp049109.compsig; cp049109.exe

重要な注意！

リリースノート:
HPE QLogicアダプターリリースノート

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- "fwload"レジストリパラメーターを削除しました。
- リンクアップ/ダウンメッセージがWindowsシステムイベントログに記録されないことがあるという望ましくない動作を修正しました。
- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)統計のレポートに関する望ましくない動作を修正しました。
- "SCSI Check Condition"コマンドまたはケーブルプルが発生するとテープドライブへの接続が回復しない可能性があるという望ましくない動作を修正しました。
- シャットダウン中にサーバーでBlue Screen Of Death(BSOD)0x0000009fメッセージが発生する可能性があるという望ましくない動作を修正しました。これは以下で説明されています。アドバイザリ:HPEホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2016/2019 Hyper-V環境を実行し、

QLogic Storportドライバーv9.4.2.20を使用する特定のHPE HBAが組み込まれているHPEプラットフォームで、Bug Check 0x9Fイベントが発生することがある

拡張

以下を追加しました。

- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)輻輳管理アルゴリズムを改善しました。

バージョン9.4.1.20にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

HPE Storageメザニンファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2016

バージョン: 9.4.5.20 **(推奨)**
ファイル名: cp048716.compsig; cp048716.exe

重要な注意！

リリースノート:
HPE QLogicアダプターリリースノート

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- "fwload"レジストリパラメーターを削除しました。
- リンクアップ/ダウンメッセージがWindowsシステムイベントログに記録されないことがあるという望ましくない動作を修正しました。
- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)統計のレポートに関する望ましくない動作を修正しました。
- "SCSI Check Condition"コマンドまたはケーブルプルが発生するとテープドライブへの接続が回復しない可能性があるという望ましくない動作を修正しました。
- シャットダウン中にサーバーでBlue Screen Of Death(BSOD)0x0000009fメッセージが発生する可能性があるという望ましくない動作を修正しました。これは以下で説明されています。アドバイザリ:HPEホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2016/2019 Hyper-V環境を実行し、QLogic Storportドライバーv9.4.2.20を使用する特定のHPE HBAが組み込まれているHPEプラットフォームで、Bug Check 0x9Fイベントが発生することがある

拡張

以下を追加しました。

- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)輻輳管理アルゴリズムを改善しました。

バージョン9.4.5.20にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

HPE Storageメザニンファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 9.4.5.20 **(推奨)**
ファイル名: cp048717.compsig; cp048717.exe

重要な注意！

リリースノート:
HPE QLogicアダプターリリースノート

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- "fwload"レジストリパラメーターを削除しました。
- リンクアップ/ダウンメッセージがWindowsシステムイベントログに記録されないことがあるという望ましくない動作を修正しました。
- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)統計のレポートに関する望ましくない動作を修正しました。
- "SCSI Check Condition"コマンドまたはケーブルプルが発生するとテープドライブへの接続が回復しない可能性があるという望ましくない動作を修正しました。
- シャットダウン中にサーバーでBlue Screen Of Death(BSOD)0x0000009fメッセージが発生する可能性があるという望ましくない動作を修正しました。これは以下で説明されています。アドバイザリ:HPEホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2016/2019 Hyper-V環境を実行し、QLogic Storportドライバーv9.4.2.20を使用する特定のHPE HBAが組み込まれているHPEプラットフォームで、Bug Check 0x9Fイベントが発生することがある

拡張

以下を追加しました。

- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)輻輳管理アルゴリズムを改善しました。

バージョン9.4.5.20にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8 Serverファイバーチャネルオーバーイーサーネット(FCoE)ドライバーキットfor HPE Storage Emulex(BRCM)コンバージドネットワークアダプターおよびメザニンコンバージドネットワークアダプター(CNA)

バージョン: 12.0.1342.0 **(推奨)**
ファイル名: kmod-brcmfcoe-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-brcmfcoe-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

拡張

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.8.528.7 **(推奨)**
ファイル名: kmod-elx-lpfc-12.8.528.7-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-elx-lpfc-12.8.528.7-1.rhel7u8.x86_64.rpm

重要な注意！

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

拡張

ドライバーバージョン12.8.528.7にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPEファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 10.02.01.00.a14-k1 **(推奨)**
ファイル名: kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.01.00.a14_k1-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.01.00.a14_k1-1.rhel7u8.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

注記:

1. QLogicドライバーのベース名は、"qlgc"に変更されています。"hpqlgc"ドライバーからのアップデートがサポートされています。

2. セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

拡張

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16GbファイバーチャネルホストバスアダプターfoR c-Class BladeSystem

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32GbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプターHPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9 Serverファイバーチャネルオーバーイーサーネット(FCoE)ドライバーキットfor HPE Storage Emulex(BRCM)コンバージドネットワークアダプターおよびメザニンコンバージドネットワークアダプター(CNA)

バージョン: 12.0.1342.0 **(推奨)**
ファイル名: kmod-brcmfcoe-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-brcmfcoe-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

拡張

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.8.528.7 **(推奨)**
ファイル名: kmod-elx-lpfc-12.8.528.7-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-elx-lpfc-12.8.528.7-1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意！

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

拡張

ドライバーバージョン12.8.528.7にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPEファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 10.02.01.00.a14-k1 **(推奨)**
ファイル名: kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.01.00.a14_k1-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.01.00.a14_k1-1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

注記:

1. QLogicドライバーのベース名は、"qlgc"に変更されています。"hpqlgc"ドライバーからのアップデートがサポートされています。

2. セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

拡張

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16GbファイバーチャネルホストバスアダプターFor c-Class BladeSystem

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 3 Serverファイバーチャネルオーバーイーサーネット(FCoE)ドライバーキットfor HPE Storage Emulex(BRCM)コンバージドネットワークアダプターおよびメザニンコンバージドネットワークアダプター(CNA)

バージョン: 12.0.1342.0 **(推奨)**
ファイル名: kmod-brcmfcoe-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-brcmfcoe-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

拡張

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 3 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.8.528.7 **(推奨)**
ファイル名: kmod-elx-lpfc-12.8.528.7-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-elx-lpfc-12.8.528.7-1.rhel8u3.x86_64.rpm

拡張

ドライバーバージョン12.8.528.7にアップデートしました

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 4 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.8.528.7 **(推奨)**
ファイル名: kmod-elx-lpfc-12.8.528.7-1.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-elx-lpfc-12.8.528.7-1.rhel8u4.x86_64.rpm

拡張

以下のサポートを追加しました。

- RHEL 8.4のサポートを追加しました

ドライバーバージョン12.8.528.7にアップデートしました

SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5ファイバーチャネルオーバーイーサーネット(FCoE)ドライバーキットfor HPE Storage Emulex(BRCM)コンバージドネットワークアダプターおよびメザニンコンバージドネットワークアダプター(CNA)

バージョン: 12.0.1342.0 **(推奨)**
ファイル名: brcmfcoe-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; brcmfcoe-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

拡張

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.8.528.7 **(推奨)**
ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-12.8.528.7_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-12.8.528.7_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意！

同じドライバーバージョンの書き換えは、–reinstallオプションを使用して実行する必要があります

例:rpm –Uvh elx-lpfc-kmp-default-..x86_64.rpm –reinstall

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

拡張

ドライバーバージョン12.8.528.7にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPEファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 10.02.01.00.a14-k1 **(推奨)**
ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.01.00.a14_k1_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.01.00.a14_k1_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

注記:

1. QLogicドライバーのベース名は、"qlgc"に変更されています。"hpqlgc"ドライバーからのアップデートがサポートされています。

2. 同じドライバーバージョンの書き換えは、–forceまたは--replacepkgsと--nodepsオプションを使用して実行する必要があります

例:rpm –Uvh kmod-qla2xxx-..x86_64.rpm –force --nodeps

rpm –Uvh kmod-qla2xxx-..x86_64.rpm –replacepkgs --nodeps

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640

3. セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

拡張

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8Gbシングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8Gbデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16Gbデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16Gbシングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2ファイバーチャネルオーバーイーサーネット(FCoE)ドライバーキットfor HPE Storage Emulex(BRCM)コンバージドネットワークアダプターおよびメザニンコンバージドネットワークアダプター(CNA)

バージョン: 12.0.1342.0 **(推奨)**
ファイル名: brcmfcoe-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; brcmfcoe-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

拡張

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.8.528.7 **(推奨)**
ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-12.8.528.7_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-12.8.528.7_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意！

同じドライバーバージョンの書き換えは、–reinstallオプションを使用して実行する必要があります

例:rpm –Uvh elx-lpfc-kmp-default-..x86_64.rpm –reinstall

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

拡張

ドライバーバージョン12.8.528.7にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPEファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 10.02.01.00.a14-k1 **(推奨)**
ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.01.00.a14_k1_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.01.00.a14_k1_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意！

注記:

1. 同じドライバーバージョンの書き換えは、–forceまたは--replacepkgsと--nodepsオプションを使用して実行する必要があります

例:rpm –Uvh kmod-qla2xxx-..x86_64.rpm –force --nodeps

rpm –Uvh kmod-qla2xxx-..x86_64.rpm –replacepkgs --nodeps

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640

2. セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

拡張

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16GbファイバーチャネルホストバスアダプターFor c-Class BladeSystem

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32GbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプターHPE SN1600Q 32GbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプターHPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 3ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.8.528.7 **(推奨)**
ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-12.8.528.7_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-12.8.528.7_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm

重要な注意！

同じドライバーバージョンの書き換えは、–reinstallオプションを使用して実行する必要があります

例:rpm –Uvh elx-lpfc-kmp-default-..x86_64.rpm –reinstall

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

拡張

以下のサポートを追加しました。

- S:ES 15 SP3のサポートを追加しました

ドライバーバージョン12.8.528.7にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8Gbシングルポートpcieファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8Gbデュアルポートpcieファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPEファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 3ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 10.02.01.00.a14-k1 **(推奨)**
ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.01.00.a14_k1_k5.3.18_57-4.sles15sp3.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.01.00.a14_k1_k5.3.18_57-4.sles15sp3.x86_64.rpm

重要な注意!

注記:

1. 同じドライバーバージョンの書き換えは、–forceまたは--replacepkgsと--nodepsオプションを使用して実行する必要があります

   例:rpm –Uvh kmod-qla2xxx-..x86_64.rpm –force --nodeps

rpm –Uvh kmod-qla2xxx-..x86_64.rpm –replacepkgs --nodeps

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640

2.　セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

拡張

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16GbファイバーチャネルホストバスアダプターFor c-Class BladeSystem

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32GbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプターHPE SN1600Q 32GbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプターHPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

ドライバー - システム

先頭

HPE Persistent Memoryドライバーfor Microsoft Windows Server 2012 R2および2016

バージョン: 3.0.2.0 **(推奨)**
ファイル名: cp042922.compsig; cp042922.exe

重要な注意！

このSmartコンポーネントバージョン3.0.2.0には、HPE NVMバスドライバーHpeNvmBus.sysバージョン3.0.2.0およびHPE NVMディスクドライバーHpeNvmDisk0101バージョン3.0.2.0が含まれています。

拡張

これらのNVDIMMドライバーはMicrosoft Windows Server 2012 R2および2016を実行する限定されたHPEサーバー上での不揮発性メモリに関するサポートを可能にします。

- WS2012R2およびWS2016ゲストでHyper-V Server 2019によって提供されるMicrosoft仮想NVDIMM(別名vNVDIMM)のサポートを追加しました。
- WS2012R2およびWS2016で、HPE Persistent Memoryデバイス(Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載)のサポートを追加しました。
- HPE 16GB NVDIMMデバイスWS2012R2上のサポートを追加しました。
- ブロックセクターサイズを512バイトから4096バイトに変更しました。古いデータを保存する必要がある場合には、アクセスできないようにしてバックアップしなければなりません。

HPEサーバー上のPersistent Memoryに関する詳しい情報については、下記のリンクを参照願います。

- https://www.hpe.com/us/en/servers/persistent-memory.html(英語)
- https://persistentmemory.hpe.com/windows/nvdimm (英語)

ドライバー - システムマネジメント

先頭

HPE ProLiant Gen9チップセット識別子 for Windows Server 2012 R2からServer 2019

バージョン: 10.1.17969.8134 **(オプション)**
ファイル名: cp040885.exe

拡張

- このコンポーネントでサポートされているデバイスについて、インテルから入手可能な最新バージョンと一致するようにアップデートされました。
- プロダクションService Pack for ProLiant のオペレーティングシステムのサポートを合わせるため、Windows Server 2012を削除しました。

---

iLO 3/4チャネルインターフェースドライバー for Windows Server 2008 および Windows Server 2012 R2

バージョン: 3.30.0.0 **(オプション)**
ファイル名: cp029394.exe

重要な注意！

ProLiant Support Packバージョン9.00がリリースされたときに、チャネルインターフェイスドライバーが独自のコンポーネントに分割されました。 以前、ドライバーは、*iLO 3* マネジメントコントローラードライバーパッケージのコンポーネントの一部でした。

修正

ドライバーを再起動した場合、ドライバーで作成された作業項目が適切に終了していることを確認してください

---

iLO 4チャネルインターフェイスドライバー for Windows Server 2012 および Windows Server 2012 R2

バージョン: 4.0.0.0 **(オプション)**
ファイル名: cp035107.exe

重要な注意！

ProLiant Support Packバージョン9.00がリリースされたときに、チャネルインターフェイスドライバーが独自のコンポーネントに分割されました。 以前、ドライバーは、*iLO 3* マネジメントコントローラードライバーパッケージのコンポーネントの一部でした。

拡張

プロダクションService Pack for ProLiantを使用して、システムとオペレーティングシステムの連携をサポートします。

- Windows Server 2008およびWindows Server 2008 R2のサポートが削除されました。
- iLO 3のサポートが削除されました。
- HP ProLiant G7およびHP ProLiant Gen8システムのサポートが削除されました。

---

iLO 4チャネルインターフェイスドライバー for Windows Server 2012 および Windows Server 2012 R2

バージョン: 4.1.0.0 **(推奨)**
ファイル名: cp039984.exe

重要な注意！

ProLiant Support Packバージョン9.00がリリースされたときに、チャネルインターフェイスドライバーが独自のコンポーネントに分割されました。 以前、ドライバーは、*iLO 3* マネジメントコントローラードライバーパッケージのコンポーネントの一部でした。

修正

Windowsがドライバーをアンロードせずに再起動した場合に発生する可能性があるWindowsバグチェック0x50(PAGE_FAULT_IN_NONPAGED_AREA)を修正しました。

---

iLO 4チャネルインターフェースドライバー for Windows Server 2016 および Windows Server 2019

バージョン: 4.0.0.0 **(オプション)**
ファイル名: cp035108.exe

拡張

Windows Server 2019のサポートを追加しました。

iLO 4チャネルインターフェースドライバー for Windows Server 2016 および Windows Server 2019

バージョン: 4.1.0.0 **(推奨)**
ファイル名: cp039985.exe

修正

Windowsがドライバーをアンロードせずに再起動した場合に発生する可能性があるWindowsバグチェック0x50(PAGE_FAULT_IN_NONPAGED_AREA)を修正しました。

iLO 4マネジメントコントローラードライバーパッケージfor Windows Server 2012および2012 R2

バージョン: 4.0.0.0 **(オプション)**
ファイル名: cp035109.exe

事前要件

このコンポーネントの前に*HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver for Windows Server 2008 to Server 2012 R2*(バージョン3.4.0.0以降)をインストールする必要があります。チャネルインターフェイスドライバーは、以前はこのコンポーネントに含まれていましたが、現在は別々にインストールされます。

拡張

プロダクションService Pack for ProLiantを使用して、システムとオペレーティングシステムの連携をサポートします。

- Windows Server 2008およびWindows Server 2008 R2のサポートが削除されました。
- iLO 3のサポートが削除されました。
- HP ProLiant G7およびHP ProLiant Gen8システムのサポートが削除されました。

iLO 4マネジメントコントローラードライバーパッケージfor Windows Server 2016および2019

バージョン: 4.0.0.0 (B) **(オプション)**
ファイル名: cp037927.exe

事前要件

このコンポーネントの前に*HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver for Windows Server 2016*(バージョン3.4.0.0以降)をインストールする必要があります。

修正

Windows Device Guardが有効になっているときのコンポーネントのインストールの失敗(エラーメッセージ"The iLO 4 Core Driver must be installed before installing this package")を修正しました。

ドライバー - ビデオ

先頭

Matrox G200eHビデオコントローラードライバー for Windows Server 2012および2012 R2

バージョン: 9.15.1.224 **(オプション)**
ファイル名: cp038691.exe

修正

- ドライバーバージョン9.15.1.184および9.15.1.218で解像度の変更時に発生する可能性がある、画面がランダムに破損する問題を修正します。
- Windowsディスプレイ診断ツール(dispdiag.exe)の実行時に発生する可能性のあるディスプレイのフリーズを修正します。

Windows Server 2016および2019用Matrox G200eHビデオコントローラードライバー

バージョン: 9.15.1.224 **(オプション)**
ファイル名: cp038692.exe

修正

- ドライバーバージョン9.15.1.184および9.15.1.218で解像度の変更時に発生する可能性がある、画面がランダムに破損する問題を修正します。
- Windowsディスプレイ診断ツール(dispdiag.exe)の実行時に発生する可能性のあるディスプレイのフリーズを修正します。

ファームウェア - ブレードインフラストラクチャ

先頭

HPE BladeSystem c-Class Virtual Connectファームウェア、Ethernet plus 8 Gb 20ポートおよび8/16 Gb 24ポートFC Editionコンポーネント for Linux

バージョン: 4.85 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-vceth-4.85-1.1.x86_64.rpm

事前要件

『HPE Virtual Connectリリースノート』のバージョン4.85には、前提条件が含まれていて、次のURLにあります:http://www.hpe.com/info/vc/manuals

修正

バージョン4.85で解決した問題のリストは、http://www.hpe.com/info/vc/manualsにあるHPE Virtual Connectリリースノートに記載されています。

拡張

バージョン4.85での機能強化のリストは、http://www.hpe.com/info/vc/manualsにあるHPE Virtual Connectリリースノートに記載されています。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE Virtual Connect FlexFabric 10Gb/24ポートモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect 8Gb 24ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE バーチャルコネクト 8Gb 20ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE バーチャルコネクト Flex-10/10Dモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect FlexFabric-20/40 F8モジュールfor HPE BladeSystem c-Class

HPE バーチャルコネクト 16Gb 24ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

---

HPE BladeSystem c-Class Virtual Connectファームウェア、Ethernet plus 8Gb 20ポートおよび8/16 Gb 24ポートFC Editionコンポーネントfor Windows

バージョン: 4.85 **(推奨)**
ファイル名: cp043332.exe

事前要件

HPE Virtual Connectリリースノートのバージョン4.85には、前提条件が含まれていて、次のURLにあります:http://www.hpe.com/info/vc/manuals

修正

バージョン4.85で解決した問題のリストは、http://www.hpe.com/info/vc/manualsにあるHPE Virtual Connectリリースノートに記載されています。

拡張

バージョン4.85での機能強化のリストは、http://www.hpe.com/info/vc/manualsにあるHPE Virtual Connectリリースノートに記載されています。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE Virtual Connect FlexFabric 10Gb/24ポートモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect 8Gb 24ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE バーチャルコネクト 8Gb 20ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE バーチャルコネクト Flex-10/10Dモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect FlexFabric-20/40 F8モジュールfor HPE BladeSystem c-Class

HPE バーチャルコネクト 16Gb 24ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

---

オンラインHP 6Gb SAS BLスイッチファームウェア Smart Component for Linux (x86/x64)

バージョン: 4.3.6.0 (B) **(オプション)**
ファイル名: RPMS/i586/firmware-solex6gb-solex-4.3.6.0-2.1.i586.rpm

重要な注意!

注記:システムが以前にバージョン4.3.6.0にアップデートされている場合、4.3.6.0(B)にアップデートする必要はありません。

拡張

- SUSE LINUX Enterprise Server 15 OSのサポートを追加しました。

オンラインHPE 6 Gb SAS BLスイッチファームウェアSmart Component for Windows (x86/x64)

バージョン: 4.3.6.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp038273.exe

拡張

- Smart Update Managerとの統合を強化しました

オンラインHPE BladeSystem c-Class Onboard Administratorファームウェアコンポーネント for Linux

バージョン: 4.97 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-oa-4.97-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

重要な注意

- **ファームウェアアップグレード**
  - OA 4.50のリリースを開始するにあたって、ファームウェアのイメージの信頼性を強化するために標準化されたコード署名と認証のメカニズムが導入されています。
  - ファームウェアのROMイメージを使用している顧客がOAをアップグレードすることに関して
    - ファームウェアバージョンが3.50以前のOAに関して, まずOAを3.50にアップグレードし、それからOA 4.50以降へのアップグレードを続けます。
  - Smart コンポーネントを使用している顧客がOAをアップグレードすることに関して
    - HPE Smart コンポーネントに依存するOAファームウェアのアップグレードメカニズム(例:EFM)は、この変更に影響を受けません。SmartコンポーネントはOA 4.50以降へのアップグレードを行う前に、OA 3.50への中間アップグレードを行います。
- **EFM**
  - OAは4 GB以下のサイズのSPP ISOイメージだけをサポートします。エンクロージャーDVD形式で直接 保存されているか、付随したUSBキーか、特定のURL経由で遠隔でマウントされているかのどれかとなります。もしISOイメージが4 GBを越える場合、CLI SHOW FIRMWARE MANAGEMENTコマンドはISO URLステータスを"Invalid URL"と表示します。
  - SPP ISOイメージが4 GB以上である場合、OA EFMブレードファームウェアのアップデートプロセスには不要なコンポーネントを除外したカスタムISOイメージを作成する必要があります。 カスタムISOには、少なくともHPE ProLiant BLシリーズのサーバー用ファームウェアコンポーネントだけは含める必要があります。(カスタムISO画像を作成するためにHPE SUMを使用しているときは、コンポーネントの種類としてファームウェアを選択し、サーバーの種類としてHPE ProLiant BLシリーズを選択してください。)OA EFM機能に交換性があるカスタムISO画像の作成の情報については、『*HPE BladeSystem Onboard Administrator*ユーザーガイド』をご覧ください。HP SUMに関する詳しい情報はHPE Smart Update Managerのオンラインヘルプまたは次で見つけることができます。https://www.hpe.com/servers/hpsum/documentation
- **FIPS**
  - Onboard Administrator 4.71は、http://csrc.nist.gov/groups/STM/cmvp/documents/140-1/140InProcess.pdfにある140-2 In Process Listで参照されるようにFIPS認定です。
- **IPv6**
  - DHCPv6の有効化またはSLAACエンクロージャーIPv6設定の有効化がOnboard Administrator上で無効にされている場合、それらそれぞれの構成に基づいて、これらのアドレスが自動的に期限切れになるまで、エンクロージャー内のiLOのそれぞれのDHCPv6またはSLAACアドレスは保持されます。 iLOのマニュアルリセットはすぐにこれらのアドレスを解放します。

事前要件

OAのWebインターフェイスにアクセスするには、のIPアドレスと、互換性のあるWebブラウザーを用意する必要があります。アプリケーションには、

HTTPS(SSL/TLSで暗号化されたセッションでやり取りされるHTTPパケット)でアクセスする必要があります。

OAのWebインターフェイスには、JavaScript 1.3またはこれに相当するものをサポートするXSLT対応ブラウザーが必要です。

以下では、サポートされているブラウザーを示します。

• Microsoft Internet Explorer 11

• Mozilla Firefox 67.0.4(64ビット)

• Google Chrome 77.0.3865.90 (Official Build) (64ビット)

修正

全般

- 異なるSSHセッションから同時にUPDATE ILO cliコマンドを実行すると、一部のコマンドが操作不能になるという問題に対処しました
- IPv6環境でのSETSERVER DVD CONNECTcliコマンドの使用に関する問題を修正しました。
- System Rom RBSUでのブレードのProduct IDアップデートがOnboard Administratorに反映されない問題に対処しました。
- フラッシュからの証明書読み取り操作を利用して、証明書読み取りの失敗を最小限に抑えます。
- EngineBootカウントの増分時にEngineTimeがリセットされなかったSNMPv3プロトコルの問題を修正しました。
- ブレード検出の失敗に関連する問題に対処しました
- DHE暗号を使用してOnboard Administratorとの通信を確立できないSmart Componentの問題を修正しました。
- ECDSA暗号の有効化/無効化機能に関連する問題に対処しました。
- 構成スクリプトにSSH暗号リストを追加しました

- エンクロージャーが静的IP構成用に構成されている場合、IPv4 DynamicDNSを有効にできないOnboard Administrator GUIの問題を修正しました。
- CLIコマンドSETSSL_SESSIONTIMEOUTおよびSETSECURESHでのヘルプメッセージ表示の問題を修正しました。
- トラップレシーバーの追加/削除のためにEngineBootカウントが2つ増加するSNMPの問題に対処しました。
- 言語パックがOnboard Administratorにアップロードされたときに発生する問題をオンラインヘルプ(OLH)ページに表示する問題を修正しました。

セキュリティ

以下のセキュリティの脆弱性が修正されました:

- Onboard AdministratorのWebサーバーの応答が拡張され、X-Content-Type-Optionsセキュリティヘッダーが含まれるようになりました。
- CVE-2011-3026-libpng:ヒープバッファオーバーフロー
- CVE-2018-1000517-BusyBoxwgetバージョンにバッファオーバーフローの脆弱性が含まれています
- CVE-2020-1971-EDIPARTYNAME NULLポインターの逆参照
- CVE-2020-15861-Net-SNMPで権限昇格が可能
- CVE-2020-15862-Net-SNMPは、rootとして任意のコマンドを実行する機能を提供します。
- CVE-2019-20892 –SNMPv3が一括リクエストの問題を取得

問題点および解決策

ブラウザー

- OA GUIはChromeのバージョン43.0.2357.10から44.0.2383ではアクセスできません。この問題は、Chrome(またはWebKit)の"回帰"によって発生しています。FirefoxやInternet Explorerなどの代わりのブラウザーを使用するか、別のバージョンのChromeを試す必要があります。
- iLOホスト名を使用したOAからのSSO-to-iLO接続は、Windows 8のMicrosoft Internet Explorer 11で失敗します。Internet Explorer 10またはInternet Explorer 11を備えたWindows 8システムでは、OA Web GUIセッションがIPアドレスの代わりにホスト名を使用してロードされている場合、OA Web GUIからSSOを使用してiLOウィンドウを開こうとすると、目的の新しいウィンドウではなくOA Web GUIウィンドウにiLOページが読み込まれる可能性があります。この問題はInternet Explorerのバグであると判断され、Internet Explorerの将来のリリースまたはアップデートで修正される予定です。この問題を回避するには、IPアドレスを使用してOA Web GUIをロードするか、Internet Explorerの設定で適切なゾーンの保護モードをオフにします。この問題はInternet Explorerブラウザーのみで発生します。

FIPS

2048ビット未満のサイズの証明書は、OA 4.20以降のOAファームウェアによって強制されるFIPS要件に準拠していません。OAファームウェアバージョン4.40以降を実行しているOAがFIPSモードON/DEBUGで動作し、以前のバージョンのOAファームウェアを実行しているときにインストールされた1024ビットのLDAP証明書で構成されている場合、非準拠の証明書が存在するためにFIPSモードON/DEBUGは劣化状態で動作しているとみなされます。このFIPS-劣化モードで動作している間に、OA GUIのネットワークアクセス>FIPSタブからFIPSモードをオフに設定しようとすると失敗し、選択したFIPSモードが既に有効になっているというエラーメッセージが表示されます。非準拠の証明書が削除されると、FIPS-劣化モードの動作ステータスはクリアされ、FIPSモードはGUIインターフェイスから正常にOFFに設定できます。OA CLIコマンドSET FIPS MODE OFFを使用すると、OAにインストールされている非準拠の1024ビットLDAP証明書を使用しても、FIPSモードをオフに設定できます。

IRC

Gen10 Blade用の.net IRCコンソールを開くことができない、Gen9 Bladeも同じ問題があります。JavaアプレットとWebstartはロードされますが、仮想メディアのマウントは失敗します。回避策として、ターミナルクライアントにインストールされているIRCアプリケーション(HPE Lights-Outスタンドアロンリモートコンソール)を使用してIRCを起動することです。

EFM

Gen 10 BladeでEFMを使用するには、HPSUM 8.0.0でカスタムSPP ISOを作成する際にオプション/フィルター"*Make Bootable ISO file*"と"*Enclosure Firmware Management*"を選択してください。詳しくは、HPE SUM 8.0.0ユーザーガイドを参照してください。

CAC

- CACモードのSSHでは、TelnetおよびXML応答プロトコルは無効になります。
- リンクされたエンクロージャーがCACモードになっている場合、リンクされたエンクロージャーのログインは動作しません。
- サービスアカウントの詳細を正確に指定しないと、証明書を使用したLDAPユーザーのログインは失敗します。
- CACの使用を開始する前にリカバリプランを立てることを強くお勧めします。 OA設定で問題が起こった場合、OAをシリアルポートまたはInsight Displayパネルおよび USB KEYからリカバリできる場合があります。いずれの方法もOAへの物理アクセスが必要です。 ただし、LCD PINが設定されている(または忘れた)場合、およびローカルアカウントが無効になっているかCACが正しく設定されていない場合、リカバリする唯一の方法はシリアルポート経由です。OAの復旧が必要な最も一般的な状況を2つ挙げると、LDAPが無効なローカルアカウントで誤って設定されている場合と、CACが証明書にアクセスしないよう設定されている場合です。

設定可能なSSHポート番号

スタンバイOAが4.85未満のファームウェアバージョンを実行していて、アクティブOAのファームウェア同期機能を使用してファームウェアバージョンが4.85以上にアップデートした場合、ファームウェアのアップデートおよびスタンバイOAの再起動後、SSHポートは構成されたポート番号で開きません。回避策は、スタンバイOAを再起動することです。SSHポートは、次回起動時に設定されたポートで開きます。SSH ポートがアクティブOAのデフォルトポート22で構成されている場合は、この問題が発生しません。

Smart コンポーネント

OAがFIPSONまたはFIPSTOP-SECRETモードであり、使用する暗号のいずれかである場合　Diffie-Hellman(DH)キーが有効になっていると、OA Smart Component 4.96以前のバージョンを使用したファームウェアのアップグレードまたはダウングレードが失敗し、次のエラーが発生する場合があります。

Error: 1013: クライアントは、Onboard Administratorに接続できません。ターゲットアドレスが正しく、お使いのシステムからアクセスできることを確認してください。

FIPSまたは

TLS_DHE_RSA_WITH_3DES_EDE_CBC_SHA
TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA25
TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA256

FIPS TOP-SECRET

TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384

Smartを介してOAのアップグレードまたはダウングレードを実行すると、同じエラーが発生する可能性があります

Update Manager(SUM)の結果、SUMに次のエラーメッセージが表示されます。

コンポーネント　パッケージ　展開ステータス　ログ

---

cpC39063　オンラインHPE BladeSystem c-Class Onboard Administrator for Windows　アップデートでエラーが返されました。　ログの参照

この障害が発生すると、OAスマートコンポーネントのログファイルに次のメッセージが表示されます。

Error: 1013: クライアントは、Onboard Administratorに接続できません。

ターゲットアドレスが正しく、お使いのシステムからアクセスできることを確認してください。

この問題の回避策は、DHキーを使用するすべての暗号を無効にして、ファームウェアのアップグレードまたはダウングレードを再実行することです。

暗号の無効化は、CLIコマンドDISABLE SSLCIPHERまたはGUIを使用して実行できます。 ファームウェアのアップグレードまたはダウングレードが完了すると、無効にされた暗号を再度有効にすることができます。

iLOファームウェアのアップデート

UPDATE ILOコマンドは、OAバージョン4.90および4.90未満でiLO5ファームウェアバージョン2.10以降のアップデートに失敗します。この問題は、iLO5ファームウェアバージョン2.10に新しい署名が導入されたことが原因で発生します。

回避策は、OAファームウェアを4.95にアップデートしてから、UPDATE ILOコマンドを試すことです。この問題はOAバージョンでは発生しません　4.70以降

拡張

Onboard Administrator 4.97は、以下の機能強化に対するサポートを提供します:

ハードウェアの追加

- なし

特徴**: 追加と変更**

全般

- 新しい機能がSNMPに追加され、v1 / v2cプロトコルの有効化/無効化オプションをサポートします。
- 緊急ブレーキ(eブレーキ)がアクティブ化および非アクティブ化されたイベント用に、新しいSNMPトラップが追加されました。

- 新しいNIDECファンのファームウェアアップデートのサポートが追加されました。
- ファームウェアバージョン1.8をサポートするように拡張されたPowerPICファームウェアアップデート。
- Onboard Administrator GUIで、iLO HTML5 IRC コンソールのサポートが追加されました。

セキュリティ

- SSHには、キー交換(KEX)アルゴリズムの有効化/無効化をサポートする新機能が追加されています。

オンラインHPE BladeSystem c-Class Onboard Administratorファームウェアコンポーネント for Windows

バージョン: 4.97 **(推奨)**
ファイル名: cp046217.exe

重要な注意！

重要な注意

- **ファームウェアアップグレード**
  - OA 4.50のリリースを開始するにあたって、ファームウェアのイメージの信頼性を強化するために標準化されたコード署名と認証のメカニズムが導入されています。
  - ファームウェアのROMイメージを使用している顧客がOAをアップグレードすることに関して
    - ファームウェアバージョンが3.50以前のOAに関して, まずOAを3.50にアップグレードし、それからOA 4.50以降へのアップグレードを続けます。
  - Smart コンポーネントを使用している顧客がOAをアップグレードすることに関して
    - HPE Smart コンポーネントに依存するOAファームウェアのアップグレードメカニズム(例:EFM)は、この変更に影響を受けません。SmartコンポーネントはOA 4.50以降へのアップグレードを行う前に、OA 3.50への中間アップグレードを行います。
- **EFM**
  - OAは4 GB以下のサイズのSPP ISOイメージだけをサポートします。エンクロージャーDVD形式で直接 保存されているか、付随したUSBキーか、特定のURL経由で遠隔でマウントされているかのどれかとなります。もしISOイメージが4 GBを越える場合、CLI SHOW FIRMWARE MANAGEMENTコマンドはISO URLステータスを"Invalid URL"と表示します。
  - SPP ISOイメージが4 GB以上である場合、OA EFMブレードファームウェアのアップデートプロセスには不要なコンポーネントを除外したカスタムISOイメージを作成する必要があります。 カスタムISOには、少なくともHPE ProLiant BLシリーズのサーバー用ファームウェアコンポーネントだけは含める必要があります。(カスタムISO画像を作成するためにHPE SUMを使用しているときは、コンポーネントの種類としてファームウェアを選択し、サーバーの種類としてHPE ProLiant BLシリーズを選択してください。)OA EFM機能に交換性があるカスタムISO画像の作成の情報については、『*HPE BladeSystem Onboard Administrator*ユーザーガイド』をご覧ください。HP SUMに関する詳しい情報はHPE Smart Update Managerのオンラインヘルプまたは次で見つけることができます。https://www.hpe.com/servers/hpsum/documentation
- **FIPS**
  - Onboard Administrator 4.71は、http://csrc.nist.gov/groups/STM/cmvp/documents/140-1/140InProcess.pdfにある140-2 In Process Listで参照されるようにFIPS認定です。
- **IPv6**
  - DHCPv6の有効化またはSLAACエンクロージャーIPv6設定の有効化がOnboard Administrator上で無効にされている場合、それらそれぞれの構成に基づいて、これらのアドレスが自動的に期限切れになるまで、エンクロージャー内のiLOのそれぞれのDHCPv6またはSLAACアドレスは保持されます。 iLOのマニュアルリセットはすぐにこれらのアドレスを解放します。

事前要件

OAのWebインターフェイスにアクセスするには、のIPアドレスと、互換性のあるWebブラウザーを用意する必要があります。アプリケーションには、

HTTPS(SSL/TLSで暗号化されたセッションでやり取りされるHTTPパケット)でアクセスする必要があります。

OAのWebインターフェイスには、JavaScript 1.3またはこれに相当するものをサポートするXSLT対応ブラウザーが必要です。

以下では、サポートされているブラウザーを示します。

• Microsoft Internet Explorer 11

• Mozilla Firefox 67.0.4(64ビット)

• Google Chrome 77.0.3865.90 (Official Build) (64ビット)

修正

全般

- 異なるSSHセッションから同時にUPDATE ILO cliコマンドを実行すると、一部のコマンドが操作不能になるという問題に対処しました
- IPv6環境でのSETSERVER DVD CONNECTcliコマンドの使用に関する問題を修正しました。
- System Rom RBSUでのブレードのProductIDアップデートがOnboard Administratorに反映されない問題に対処しました。
- フラッシュからの証明書読み取り操作を利用して、証明書読み取りの失敗を最小限に抑えます。
- EngineBootカウントの増分時にEngineTimeがリセットされなかったSNMPv3プロトコルの問題を修正しました。
- ブレード検出の失敗に関連する問題に対処しました
- DHE暗号を使用してOnboard Administratorとの通信を確立できないSmart Componentの問題を修正しました。
- ECDSA暗号の有効化/無効化機能に関連する問題に対処しました。
- 構成スクリプトにSSH暗号リストを追加しました
- エンクロージャーが静的IP構成用に構成されている場合、IPv4 DynamicDNSを有効にできないOnboard Administrator GUIの問題を修正しました。

- CLIコマンドSETSSL_SESSIONTIMEOUTおよびSETSECURESHでのヘルプメッセージ表示の問題を修正しました。
- トラップレシーバーの追加/削除のためにEngineBootカウントが2つ増加するSNMPの問題に対処しました。
- 言語パックがOnboard Administratorにアップロードされたときに発生する問題をオンラインヘルプ(OLH)ページに表示する問題を修正しました。

セキュリティ

以下のセキュリティの脆弱性が修正されました:

- Onboard AdministratorのWebサーバーの応答が拡張され、X-Content-Type-Optionsセキュリティヘッダーが含まれるようになりました。
- CVE-2011-3026-libpng:ヒープバッファオーバーフロー
- CVE-2018-1000517-BusyBoxwgetバージョンにバッファオーバーフローの脆弱性が含まれています
- CVE-2020-1971-EDIPARTYNAMENULLポインターの逆参照
- CVE-2020-15861-Net-SNMPで権限昇格が可能
- CVE-2020-15862-Net-SNMPは、rootとして任意のコマンドを実行する機能を提供します。
- CVE-2019-20892 –SNMPv3が一括リクエストの問題を取得

問題点および解決策

ブラウザー

- OA GUIはChromeのバージョン43.0.2357.10から44.0.2383ではアクセスできません。この問題は、Chrome(またはWebKit)の"回帰"によって発生しています。FirefoxやInternet Explorerなどの代わりのブラウザーを使用するか、別のバージョンのChromeを試す必要があります。
- iLOホスト名を使用したOAからのSSO-to-iLO接続は、Windows 8のMicrosoft Internet Explorer 11で失敗します。Internet Explorer 10またはInternet Explorer 11を備えたWindows 8システムでは、OA Web GUIセッションがIPアドレスの代わりにホスト名を使用してロードされている場合、OA Web GUIからSSOを使用してiLOウィンドウを開こうとすると、目的の新しいウィンドウではなくOA Web GUIウィンドウにiLOページが読み込まれる可能性があります。この問題はInternet Explorerのバグであると判断され、Internet Explorerの将来のリリースまたはアップデートで修正される予定です。この問題を回避するには、IPアドレスを使用してOA Web GUIをロードするか、Internet Explorerの設定で適切なゾーンの保護モードをオフにします。この問題はInternet Explorerブラウザーのみで発生します。

FIPS

2048ビット未満のサイズの証明書は、OA 4.20以降のOAファームウェアによって強制されるFIPS要件に準拠していません。OAファームウェアバージョン4.40以降を実行しているOAがFIPSモードON/DEBUGで動作し、以前のバージョンのOAファームウェアを実行しているときにインストールされた1024ビットのLDAP証明書で構成されている場合、非準拠の証明書が存在するためにFIPSモードON/DEBUGは劣化状態で動作しているとみなされます。このFIPS-劣化モードで動作している間に、OA GUIのネットワークアクセス>FIPSタブからFIPSモードをオフに設定しようとすると失敗し、選択したFIPSモードが既に有効になっているというエラーメッセージが表示されます。非準拠の証明書が削除されると、FIPS-劣化モードの動作ステータスはクリアされ、FIPSモードはGUIインターフェイスから正常にOFFに設定できます。OA CLIコマンドSET FIPS MODE OFFを使用すると、OAにインストールされている非準拠の1024ビットLDAP証明書を使用しても、FIPSモードをオフに設定できます。

IRC

Gen10 Blade用の.net IRCコンソールを開くことができない、Gen9 Bladeも同じ問題があります。JavaアプレットとWebstartはロードされますが、仮想メディアのマウントは失敗します。回避策として、ターミナルクライアントにインストールされているIRCアプリケーション(HPE Lights-Outスタンドアロンリモートコンソール)を使用してIRCを起動することです。

EFM

Gen 10 BladeでEFMを使用するには、HPSUM 8.0.0でカスタムSPP ISOを作成する際にオプション/フィルター"*Make Bootable ISO file*"と"*Enclosure Firmware Management*"を選択してください。詳しくは、HPE SUM 8.0.0ユーザーガイドを参照してください。

CAC

- CACモードのSSHでは、TelnetおよびXML応答プロトコルは無効になります。
- リンクされたエンクロージャーがCACモードになっている場合、リンクされたエンクロージャーのログインは動作しません。
- サービスアカウントの詳細を正確に指定しないと、証明書を使用したLDAPユーザーのログインは失敗します。
- CACの使用を開始する前にリカバリプランを立てることを強くお勧めします。 OA設定で問題が起こった場合、OAをシリアルポートまたはInsight Displayパネルおよび USB KEYからリカバリできる場合があります。いずれの方法もOAへの物理アクセスが必要です。 ただし、LCD PINが設定されている(または忘れた)場合、およびローカルアカウントが無効になっているかCACが正しく設定されていない場合、リカバリする唯一の方法はシリアルポート経由です。OAの復旧が必要な最も一般的な状況を2つ挙げると、LDAPが無効なローカルアカウントで誤って設定されている場合と、CACが証明書にアクセスしないよう設定されている場合です。

設定可能なSSHポート番号

スタンバイOAが4.85未満のファームウェアバージョンを実行していて、アクティブOAのファームウェア同期機能を使用してファームウェアバージョンが4.85以上にアップデートした場合、ファームウェアのアップデートおよびスタンバイOAの再起動後、SSHポートは構成されたポート番号で開きません。回避策は、スタンバイOAを再起動することです。SSHポートは、次回起動時に設定されたポートで開きます。SSH ポートがアクティブOAのデフォルトポート22で構成されている場合は、この問題が発生しません。

Smart コンポーネント

OAがFIPSONまたはFIPSTOP-SECRETモードであり、使用する暗号のいずれかである場合　Diffie-Hellman(DH)キーが有効になっている場合、OA Smart Component 4.96以前のバージョンを使用したファームウェアのアップグレードまたはダウングレードは、次のエラーで失敗する可能性があります。

Error: 1013: クライアントは、Onboard Administratorに接続できません。ターゲットアドレスが正しく、お使いのシステムからアクセスできることを確認してください。

FIPSまたは

TLS_DHE_RSA_WITH_3DES_EDE_CBC_SHA
TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA25
TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA256

FIPS TOP-SECRET

TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384

Smartを介してOAのアップグレードまたはダウングレードを実行すると、同じエラーが発生する可能性があります

Update Manager(SUM)の結果、SUMに次のエラーメッセージが表示されます。

コンポーネント　パッケージ　展開ステータス　ログ

---

cpC39063　オンラインHPE BladeSystem c-Class Onboard Administrator for Windows　アップデートでエラーが返されました。　ログの参照

この障害が発生すると、OAスマートコンポーネントのログファイルに次のメッセージが表示されます。

Error: 1013: クライアントは、Onboard Administratorに接続できません。

ターゲットアドレスが正しく、お使いのシステムからアクセスできることを確認してください。

この問題の回避策は、DHキーを使用するすべての暗号を無効にして、ファームウェアのアップグレードまたはダウングレードを再実行することです。

暗号の無効化は、CLIコマンドDISABLE SSLCIPHERまたはGUIを使用して実行できます。 ファームウェアのアップグレードまたはダウングレードが完了すると、無効にされた暗号を再度有効にすることができます。

iLOファームウェアのアップデート

UPDATE ILOコマンドは、OAバージョン4.90および4.90未満でiLO5ファームウェアバージョン2.10以降のアップデートに失敗します。この問題は、iLO5ファームウェアバージョン2.10に新しい署名が導入されたことが原因で発生します。

回避策は、OAファームウェアを4.95にアップデートしてから、UPDATE ILOコマンドを試すことです。この問題はOAバージョン4.95以降では発生しません。

拡張

Onboard Administrator 4.97は、以下の機能強化に対するサポートを提供します:

ハードウェアの追加

- なし

特徴**: 追加と変更**

全般

- 新しい機能がSNMPに追加され、v1 / v2cプロトコルの有効化/無効化オプションをサポートします。
- 緊急ブレーキ(eブレーキ)がアクティブ化および非アクティブ化されたイベント用に、新しいSNMPトラップが追加されました。
- 新しいNIDECファンのファームウェアアップデートのサポートが追加されました。
- ファームウェアバージョン1.8をサポートするように拡張されたPowerPICファームウェアアップデート。

- Onboard Administrator GUIで、iLO HTML5 IRCコンソールのサポートが追加されました。

セキュリティ

- SSHには、キー交換(KEX)アルゴリズムの有効化/無効化をサポートする新機能が追加されています。

ファームウェア - Lights-Outマネジメント

先頭

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE Integrated Lights-Out 4

バージョン: 2.78 **(クリティカル)**
ファイル名: CP046465.scexe; RPMS/i386/firmware-ilo4-2.78-1.1.i386.rpm

重要な注意！

IPv6ネットワーク通信(専用ネットワーク接続のみ)
サポートされているネットワークの機能
IPv6静的アドレス割り当て
IPv6 SLAACアドレス割り当て
IPv6スタティックルート割り当て
IPv6静的デフォルトゲートウェイ入力
DHCPv6ステートフルアドレス割り当て
DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP設定
統合リモートコンソール
OAシングルサインオン
HP-SIMシングルサインオン
Webサーバー
SSHサーバー
SNTPクライアント
DDNSクライアント
RIBCL over IPv6
SNMP
アラートメール
リモートSyslog
WinDBGサポート
IPv6接続を経由したCPQLOCFGおよびHPLOMIG
スクリプト化可能な仮想メディア
CLI/RIBCL Key Import over IPv6
LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証
iLO連携
本リリースにおいてIPv6によりサポートされないネットワークの機能
共有ネットワークポート接続経由のIPv6
IPMI
NETBIOS-WINS
Enterprise Secure Key Manager(ESKM)サポート
組み込みリモートサポート (ERS)

事前要件

Hewlett Packard Enterpriseでは、最良のパフォーマンスを得るために次のバージョン以上のiLOユーティリティを推奨します。

- RESTfulインターフェイスツール(iLOREST)2.3
- HPQLOCFG v5.2
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプルバンドル5.10.0
- HPONCFG Windows 5.3.0
- HPONCFG Linux 5.4.0
- LOCFG v5.10.0
- HPLOMIG 5.2.0

修正

-IMLは、サーバーの再起動後にのみD3000のファンモジュールが失敗したと報告します
-システム電源障害検出などの重大なイベント用にeRSサービスイベントが追加されました
-セキュリティの修正
-Webインターフェイスを強化するためのコンテンツセキュリティポリシー(CSP)が追加されました
-ユーザー制御データの入力検証の強化

- 複数のセキュリティ脆弱性の修正

拡張

-Jqueryライブラリを3.5.1にアップデートしました
-OpensslライブラリをOpenSSL 1.0.2xにアップデートしました

-重要なイベントの汎用サービスイベント1000をサポートするようにeRSが拡張されました

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi -HPE Integrated Lights-Out 4

バージョン: 2.78 **(クリティカル)**
ファイル名: CP046464.compsig; CP046464.zip

重要な注意！

IPv6ネットワーク通信(専用ネットワーク接続のみ)
サポートされているネットワークの機能
IPv6静的アドレス割り当て
IPv6 SLAACアドレス割り当て
IPv6静的ルート割り当て
IPv6静的デフォルトゲートウェイ入力
DHCPv6ステートフルアドレス割り当て
DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP設定
Integrated Remote Console (統合リモートコンソール)。
OAシングルサインオン
HP-SIMシングルサインオン
Webサーバー
SSHサーバー
SNTPクライアント
DDNSクライアント
RIBCL over IPv6
SNMP
アラートメール
リモートSyslog
WinDBGサポート
IPv6接続を経由したCPQLOCFGおよびHPLOMIG
スクリプト化可能な仮想メディア
CLI/RIBCL Key Import over IPv6
LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証
iLO連携
本リリースにおいてIPv6によりサポートされないネットワークの機能
共有ネットワークポート接続経由のIPv6
IPMI
NETBIOS-WINS
Enterprise Secure Key Manager(ESKM)サポート
組み込みリモートサポート (ERS)

事前要件

Hewlett Packard Enterpriseでは、最良のパフォーマンスを得るために次のバージョン以上のiLOユーティリティを推奨します。

- RESTfulインターフェイスツール(iLOREST)2.3
- HPQLOCFG v5.2
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプルバンドル5.10.0
- HPONCFG Windows 5.3.0
- HPONCFG Linux 5.4.0
- LOCFG v5.10.0
- HPLOMIG 5.2.0

修正

-IMLは、サーバーの再起動後にのみD3000のファンモジュールが失敗したと報告します
-システム電源障害検出などの重大なイベント用にeRSサービスイベントが追加されました
-セキュリティの修正
-Webインターフェイスを強化するためのコンテンツセキュリティポリシー(CSP)が追加されました
-ユーザー制御データの入力検証の強化

- 複数のセキュリティ脆弱性の修正

拡張

-Jqueryライブラリを3.5.1にアップデートしました
-OpensslライブラリをOpenSSL 1.0.2xにアップデートしました
-重要なイベントの汎用サービスイベント1000をサポートするようにeRSが拡張されました

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64- HPE Integrated Lights-Out 4

バージョン: 2.78 **(クリティカル)**
ファイル名: cp046467.exe

重要な注意！

IPv6ネットワーク通信(専用ネットワーク接続のみ)
サポートされているネットワークの機能
IPv6静的アドレス割り当て
IPv6 SLAACアドレス割り当て
IPv6静的経路割り当て
IPv6静的デフォルトゲートウェイ入力
DHCPv6ステートフルアドレス割り当て
DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP設定
内蔵リモートコンソール
OAシングルサインオン
HPE-SIMシングルサインオン
Webサーバー
SSHサーバー
SNTPクライアント
DDNSクライアント
RIBCL over IPv6
SNMP
アラートメール
リモートSyslog
WinDBGサポート
IPv6接続を経由したCPQLOCFGおよびHPLOMIG
スクリプト化可能な仮想メディア
CLI/RIBCL Key Import over IPv6
LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証
iLO連携
本リリースにおいてIPv6によりサポートされないネットワークの機能
共有ネットワークポート接続経由のIPv6
IPMI
NETBIOS-WINS
Enterprise Secure Key Manager(ESKM)サポート
組み込みリモートサポート (ERS)

事前要件

Hewlett Packard Enterpriseでは、最良のパフォーマンスを得るために次のバージョン以上のiLOユーティリティを推奨します。

- RESTfulインターフェイスツール(iLOREST)2.3
- HPQLOCFG v5.2
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプルバンドル5.10.0
- HPONCFG Windows 5.3.0
- HPONCFG Linux 5.4.0
- LOCFG v5.10.0
- HPLOMIG 5.2.0

修正

-IMLは、サーバーの再起動後にのみD3000のファンモジュールが失敗したと報告します
-システム電源障害検出などの重大なイベント用にeRSサービスイベントが追加されました
-セキュリティの修正
-Webインターフェイスを強化するためのコンテンツセキュリティポリシー(CSP)が追加されました
-ユーザー制御データの入力検証の強化

- 複数のセキュリティ脆弱性の修正

拡張

-Jqueryライブラリを3.5.1にアップデートしました
-OpensslライブラリをOpenSSL 1.0.2xにアップデートしました
-重要なイベントの汎用サービスイベント1000をサポートするようにeRSが拡張されました

ファームウェア - ネットワーク

先頭

HPE Blade Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux

バージョン: 1.2.3 **(オプション)**
ファイル名: firmware-nic-intel-bl-1.2.3-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-intel-bl-1.2.3-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

HPEでは、このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel ixgbe Drivers for Linux*、バージョン5.9.4以降を推奨しています。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8および9をサポートします。
この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2および3をサポートしています。
この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5をサポートしています。
この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions

バージョン: 1.0.5.2 **(オプション)**
ファイル名: cp047539.compsig; cp047539.exe

重要な注意！

HPEでは、このファームウェアとともに使用する場合は、ご使用のシステムに適用可能な次のドライバーのいずれかを推奨しています:

- *HPE Blade Intel ixn Driver for Windows Server 2016*、バージョン4.1.199.0以降
- *HPE Blade Intel ixn Driver for Windows Server 2019*、バージョン4.1.197.0(B)以降

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、Windows Server 2012 R2をサポートしなくなりました。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor VMware

バージョン: 1.2.3 **(オプション)**
ファイル名: CP045076.compsig; CP045076.zip

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel ixgben*ドライバー *for VMware*、バージョン2020.12.09以降を推奨しています。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

この製品は現在、VMware vSphere 7.0 U1をサポートしています。
この製品は現在、VMware vSphere 6.7 U3をサポートしています。
この製品は現在、VMware vSphere 6.5 U3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 1.5.2 **(オプション)**
ファイル名: CP047647.compsig; CP047647.zip

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbE*マルチファンクションドライバー*for VMware*、バージョン2021.09.01以降を推奨しています。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、iSCSI機能ポートの最大伝送ユニット(MTU)の値がAHSログで0バイトと表示される問題に対処します。

拡張

この製品は現在、VMware ESXi 7.0 U3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions

バージョン: 1.0.5.3 **(オプション)**
ファイル名: cp047538.compsig; cp047538.exe

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2 10/20GbE*マルチファンクションドライバー*for Windows Server x64 Editions*、バージョン7.13.206.0以降を推奨しています。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、iSCSI機能ポートの最大伝送ユニット(MTU)の値がAHSログで0バイトと表示される問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Linux

バージョン: 1.5.2 **(オプション)**
ファイル名: firmware-nic-qlogic-nx2-bl-1.5.2-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-qlogic-nx2-bl-1.5.2-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

このパッケージのファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2 10/20GbE Multifunction Drivers for Linux*、バージョン7.14.80-5以降を推奨しています。

事前要件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサーネットポートをアップ(*ifup ethX* または*ifconfig ethX up*)している必要があります。

修正

この製品は、iSCSI機能ポートの最大伝送ユニット(MTU)の値がAHSログで0バイトと表示される問題に対処します。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 8 Update 4をサポートします。
この製品は現在、SuSE Linux Enterprise Server 15 SP3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Bladeファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンコンバージドネットワークアダプター - Microsoft Windows Server 2012R2(x64)

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: cp049112.compsig; cp049112.exe

重要な注意！

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントが開発用のSUMで識別される前に、HPEで提供しているEmulex NICドライバーをインストールする必要があります。最新のドライバーは、HPE.com Webサイト:http://www.hpe.com/から入手できます。

CoE/iSCSI OOBドライバーおよびFCoEイネーブルメントキットは、www.hpe.com/jp/servers/spp_dlのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Bladeファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンコンバージドネットワークアダプター - Microsoft Windows Server

2016/2019(x64)

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: cp048528.compsig; cp048528.exe

重要な注意！

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントが開発用のSUMで識別される前に、HPEで提供しているEmulex NICドライバーをインストールする必要があります。最新のドライバーは、HPE.com Webサイト:http://www.hpe.com/から入手できます。

CoE/iSCSI OOBドライバーおよびFCoEイネーブルメントキットは、www.hpe.com/jp/servers/spp_dlのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

ファイバーチャネルおよびコンバージドネットワークアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。 これは、コンバージドネットワークアダプターアップデートコンポーネントです。

CNA(XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Bladeファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンコンバージドネットワークアダプター - VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: CP048524.compsig; CP048524.zip

重要な注意！

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

CNA(XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Bladeファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンコンバージドネットワークアダプター - VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: CP048525.compsig; CP048525.zip

重要な注意！

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

CNA(XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eファームウェアパッケージfor BCM5741xアダプター

バージョン: 218.0.166000 **(推奨)**
ファイル名: bcm218.0.166000.Optimized.pup.fwpkg

修正

- この製品は、ファミリファームウェアバージョンのヘルプ文字列の変更に対処します。
- この製品は、RBSUでのLLDP機能オプションの命名とDCBプロトコルオプションの対話性の強化に対処します。
- この製品は、RedFishを介してクエリを実行する際のMACアドレスの不足に関する問題に対処します。
- この製品は、Microsoft Windows(R)でアダプターのファームウェアバージョンを認識できないという問題に対処します。
- この製品は、SUSE Linux Enterprise Serverのインストール中にPCIeエラーを受け取る問題に対処します。
- この製品は、UDPマルチキャストアプリケーションの開始/停止時にパケットが欠落する問題に対処します。
- この製品は、POST中にHPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプターでリンクが稼働しない問題に対処します。

拡張

初期バージョン

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NX1オンライン ファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 1.28.6 **(オプション)**
ファイル名: CP045013.compsig; CP045013.zip

重要な注意！

このソフトウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンを含むコンボイメージv20.18.31が含まれています:

NIC	ブートコードバージョン	PXEバージョン	NCSIバージョン	UEFIバージョン	CCMバージョン
HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)	2.10	21.6.0	1.5.27	21.6.12	218.0.10.0
HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE) HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター	1.46	21.6.0	1.5.27	21.6.12	218.0.10.0
HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8) HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター	1.40	21.6.0	1.5.27	21.6.12	218.0.10.0

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

- この製品は、AHSログの情報不足に関する問題に対処します。
- この製品は、ウォームリブート後のPOST中に断続的に発生したRSODの問題に対処します。
- この製品は、ファミリファームウェアバージョンのヘルプ文字列の変更に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 332Tアダプター

HPE Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 2.27.6 **(オプション)**
ファイル名: firmware-nic-broadcom-2.27.6-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-broadcom-2.27.6-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom tg3 Ethernet*ドライバー、バージョン3.139b以降を推奨しています。

事前要件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサーネットポートをアップ(*ifup ethX*、*ifconfig ethX up*、または*wicked ifup ethX*)している必要があります。

ローカルシステムが、インターフェイスを起動するようにネットワーク構成ファイルを作成するために必要な、アダプターのネットワークインターフェイスを構成しない場合。
- たとえばsles15sp1で、/etc/sysconfig/network/の下にifcfg-ethXファイルを作成すること。

修正

- この製品は、AHSログの情報不足に関する問題に対処します。
- この製品は、ウォームリブート後のPOST中に断続的に発生したRSODの問題に対処します。
- この製品は、ファミリファームウェアバージョンのヘルプ文字列の変更に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 332Tアダプター

HPE Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition

バージョン: 5.2.4.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045014.compsig; cp045014.exe

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NX1 1Gb*ドライバー*for Windows Server x64 Edition*、バージョン214.0.0.6以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンを含むコンボイメージv20.18.31が含まれています:

NIC	ブートコードバージョン	PXEバージョン	NCSIバージョン	UEFIバージョン	CCMバージョン
HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)	2.10	21.6.0	1.5.27	21.6.12	218.0.10.0
HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE) HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター	1.46	21.6.0	1.5.27	21.6.12	218.0.10.0
HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8) HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター	1.40	21.6.0	1.5.27	21.6.12	218.0.10.0

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

- この製品は、AHSログの情報不足に関する問題に対処します。
- この製品は、ウォームリブート後のPOST中に断続的に発生したRSODの問題に対処します。
- この製品は、ファミリファームウェアバージョンのヘルプ文字列の変更に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 332Tアダプター

HPE Intelオンライン ファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 3.15.5 **(推奨)**
ファイル名: CP047025.compsig; CP047025.zip

重要な注意！

このソフトウェアパッケージは、以下にリストされるサポートされるネットワークアダプターの次のファームウェアのバージョンを含みます:

NIC	EEPROM/NVMバージョン	OROMバージョン	シングルNVMバージョン
HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター	8000106F	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター	80001147	1.2836.0	N/A

NIC	EEPROM/NVMバージョン	OROMバージョン	シングルNVMバージョン
HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター	80000D00	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366i通信ボード	80000EBF	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター	8000105E	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター	80001148	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター	80001146	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター	800027FA	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター	800027F8	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター	800027FB	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLR-SFP+アダプター	80000838	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター	80000835	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター	80000636	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター	800005B6	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター	800027FC	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター	800027F8	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター	800027F8	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター	800035C0	1.1375.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター	80009655	1.2836.0	10.54.7
HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター	8000137D	1.2836.0	10.54.4
HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター	800095AA	1.2836.0	10.54.7
HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター	8000137C	1.2836.0	10.54.4

コンボイメージv1.2836.0は以下を含みます:ブートエージェント:1GbE - v1.5.88、10GbE - v2.4.44、40GbE - v1.1.18 &UEFIドライバー:1GbE - v9.4.06、10GbE - v7.8.13、40GbE - v4.4.12

コンボイメージv1.1375.0は以下を含みます: ブートエージェント:1GbE - v1.5.72、10GbE - v2.3.46、40GbE - v1.0.21 &UEFIドライバー: 1GbE - v6.9.13、10GbE - v5.0.20、40GbE - v1.5.14

シングルNVMバージョンは、以前に使用されていたバージョンEEPROM/NVMまたはOROMバージョンの代わりに統合されたバージョンを表す新しいファームウェア形式です。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

この製品は現在、VMware ESXi 7.0 U3をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター

HPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 1.22.6 **(推奨)**
ファイル名: firmware-nic-intel-1.22.6-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-intel-1.22.6-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

HPEは、このファームウェアで使用するために、ご使用のデバイスに適用可能な次のドライバーの少なくとも1つをお勧めします:

- Linux用HPE Intel igbドライバー、バージョン6.7.2以降
- Linux用HPE Intel ixgbeドライバー、バージョン5.12.5以降
- Linux用HPE Intel i40eドライバー、バージョン2.16.11以降

事前要件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサーネットポートをアップ(*ifup ethX*、*ifconfig ethX up*、または*wicked ifup ethX*)している必要があります。

ローカルシステムが、インターフェイスを起動するようにネットワーク構成ファイルを作成するために必要な、アダプターのネットワークインターフェイスを構成しない場合。

- たとえばsles15sp1で、/etc/sysconfig/network/の下にifcfg-ethXファイルを作成すること。

拡張

この製品は現在、Red Hat Enterprise Linux 8 Update 4およびSUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター

HPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition

バージョン: 5.2.5.0 **(推奨)**
ファイル名: cp047026.compsig; cp047026.exe

重要な注意！

このソフトウェアパッケージは、以下にリストされるサポートされるネットワークアダプターの次のファームウェアのバージョンを含みます:

NIC	EEPROM/NVMバージョン	OROMバージョン	シングルNVMバージョン
HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター	8000106F	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター	80001147	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター	80000D00	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366i通信ボード	80000EBF	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター	8000105E	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター	80001148	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター	80001146	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター	800027FA	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター	800027F8	1.2836.0	N/A

NIC	EEPROM/NVMバージョン	OROMバージョン	シングルNVMバージョン
HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター	800027FB	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLR-SFP+アダプター	80000838	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター	80000835	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター	80000636	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター	800005B6	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター	800027FC	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター	800027F8	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター	800027F8	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター	800035C0	1.1375.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター	80009655	1.2836.0	10.54.7
HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター	8000137D	1.2836.0	10.54.4
HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター	800095AA	1.2836.0	10.54.7
HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター	8000137C	1.2836.0	10.54.4

コンボイメージv1.2836.0は以下を含みます:ブートエージェント:1GbE - v1.5.88、10GbE - v2.4.44、40GbE - v1.1.18 &UEFIドライバー:1GbE - v9.4.06、10GbE - v7.8.13、40GbE - v4.4.12

コンボイメージv1.1375.0は以下を含みます: ブートエージェント:1GbE - v1.5.72、10GbE - v2.3.46、40GbE - v1.0.21 &UEFIドライバー: 1GbE - v6.9.13、10GbE - v5.0.20、40GbE - v1.5.14

シングルNVMバージョンは、以前に使用されていたバージョンEEPROM/NVMまたはOROMバージョンの代わりに統合されたバージョンを表す新しいファームウェア形式です。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、Windows Server 2012 R2をサポートしなくなりました。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター

HPE Mellanox Ethernetアダプター専用のオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(ESXi 6.5)

バージョン: 1.0.10 **(推奨)**
ファイル名: CP046583.compsig; CP046583.zip

重要な注意！

FWバージョン2.42.5000 での既知の問題:

- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。

- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、PFがVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- 前のGAにダウングレードするにはサーバーのリブートが必要です。v2.30.8000以降のバージョンから2.30.8000より前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernet アダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、後者の値が使用されるべきです。
- SBRはConnectX®-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SR-IOVがVPIカードで有効になっている場合、RH6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- アドバンストステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
- MFTツールは、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアダウングレードメッセージ ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT 3.0.0-3を使用する場合
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを使用する場合、RM＃DMFSを有効にしないでください
- RM#VPD読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
- SymbolErrorCounterの増加 ポート1 FDRとポート2 40Gを使用してVPIモードで動作すると、エラーカウンターが誤動作して急激に増加します
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
- PXE (レガシー)をG9サーバーで稼働中のRSOD。これはPXEブートに失敗し、BIOSがHDDからブートするときにのみ起こります。現在BIOSの修正は保留中です。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
- IPv6上でのRDPは、現在機能しません。
- Sniffer QP では、"push to that rule"と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリブートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx-4_en_get_drvinfo() のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- 832298: ibdumpを実行しているとき、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされます。
- AHSが誤ったMTUサイズをレポートします
- RM#846523: ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファーに反映されません。

FWバージョン14.22.1414での既知の問題:

- フックで負の温度を設定すると、PLDMセンサー読み取りコマンドを実行しているときに誤ったセンサー状態がレポートされます。
- ヘルスカウンターが10msごとでなく50msごとに大きくなります。
- mlxconfigツールが、既存の拡張ROMイメージだけを表示するのでなく、可能なすべての拡張ROMイメージを表示します。
- nic_receive_steering_discard コマンドを実行しているとき、イーサーネットマルチキャストループバックパケットがカウントされません(ローカルループバックパケットでなくても)。
- デュアルポートVHCAが非ネイティブポートでRoCEパケットを送信し、パケットが系列のvport FDBに到達すると、パケットソースvportが一致するルールで不一致が起きる場合があります。

FWバージョン12.22.1414での既知の問題:

- フックで負の温度を設定すると、PLDMセンサー読み取りコマンドを実行しているときに誤ったセンサー状態がレポートされます。
- まれに、署名がされた再送信/パケット損失が原因でエラーが発生し、接続が終了することがあります。
- ヘルスカウンターが10msごとでなく50msごとに大きくなります。
- mlxconfigツールが、既存の拡張ROMイメージだけを表示するのでなく、可能なすべての拡張ROMイメージを表示します。
- nic_receive_steering_discard コマンドを実行しているとき、イーサーネットマルチキャストループバックパケットがカウントされません(ローカルループバックパケットでなくても)。
- デュアルポートVHCAが非ネイティブポートでRoCEパケットを送信し、パケットが系列のvport FDBに到達すると、パケットソースvportが一致するルールで不一致が起きる場合があります。
- DC CNAKストレステスト中に、DC CNAKタイムアウト(CNAKドロップ)が発生することがあります。

FWバージョン16.22.1414での既知の問題:

- フックで負の温度を設定すると、PLDMセンサー読み取りコマンドを実行しているときに誤ったセンサー状態がレポートされます。
- ヘルスカウンターが10msごとでなく50msごとに大きくなります。

修正

ファームウェアバージョン2.42.5044に含まれる修正点:

- ファームウェアがlink_downイベントを検出することを妨げることで、IBボンドインターフェイスがフェイルオーバーモードになることを妨げる問題。

以下の問題点がバージョン14.31.1200で修正されました:

- TX PRBSは再構成しても変更されず、すべてのPRBSモードがテストモードで有効になりました。
- 分散されるストライド受信WQEよりもパケットが大きい場合、致命的なエラーが発生し、最終的にHCAが応答しない状態になりました。
- リソース番号の割り当てを解除するときにリソース番号のサイズ(64ビットの数値)が32ビットの数値で上書きされ、上位ビットが消去されました。

バージョン14.31.1200に含まれる追加の修正点:

- QSFPモジュールのレート選択メカニズムが修正されました。
- "パッシブ"ケーブルの分類の問題がより堅牢になるように修正されました。
- リンクではないシナリオで設定されるように、静的設定でレートテーブルを初期化しました。

以下の問題点がバージョン16.31.1014で修正されました:

- TX PRBSは再構成しても変更されず、すべてのPRBSモードがテストモードで有効になりました。
- デバイスで1024個の関数を開こうとしたときに発生したアサートで、関数の最大数は1023でした。
- ROCE_ACCL tx_windowが有効になっている場合に、E2Eクレジットを使用する(SRQに接続されておらず、トラフィックの送受信を行う)RCQPに関連するパフォーマンスの問題が発生することがあります。
- 分散されるストライド受信WQEよりもパケットが大きい場合、致命的なエラーが発生し、最終的にHCAが応答しない状態になりました。
- RXパイプがハングする原因となったまれな問題。
- リソース番号の割り当てを解除するときにリソース番号のサイズ(64ビットの数値)が32ビットの数値で上書きされ、上位ビットが消去されました。
- CRT_DCRのインデックスが1 << 21より大きい場合、CRT_SW_RESERVEDのアドレスと衝突することがありました。
- VFレートリミッターが設定されているときにTXキューが応答しない状態になる原因となった問題。

バージョン16.31.1014に含まれる追加の修正点:

- すべてのポートがIBの場合、CNPカウンター"rp_cnp_ignored"(OOS(アウトオブシーケンス)によってトリガーされる)を無効にしました。
- TMP421センサーの温度レポートを修正しました。
- QSFPモジュールのレート選択メカニズムが修正されました。
- "パッシブ"ケーブルの分類の問題がより堅牢になるように修正されました。
- リンクではないシナリオで設定されるように、静的設定でレートテーブルを初期化しました。

拡張

次のデバイスのファームウェアが2.42.5044にアップデートされます:

779799-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター)
779793-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.31.1200にアップデートされます:

817749-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.31.1200にアップデートされます:
817753-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート640SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.31.1014にアップデートされます:

874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1ポート842QSFP28アダプター)

バージョン14.31.1200の新機能および変更:

- 特定のFinisarモジュールのポートごとのNVconfig:特定のFinisarモジュールにポートごとのNVconfigを新しく追加しました。この新しいNVconfigは、ポートをANモードで動作するように設定し、モジュールをDMEなしに設定します。この変更によって速度ロジックは影響を受けず、FECロジック(FECオーバーライド)のみが影響を受けます。
  注記:ポートが起動しない場合は、強制モードに切り替えてください。

バージョン16.31.1014の新機能および変更:

- NICスケジューリング機能のサポートは、非特権機能では無効になっています。
- 新しいNC-SIコマンドget_debug_infoを実装して、NC-SIプロトコルを介してmstdumpを取得し、何らかの理由でPCIリンクに障害が発生した場合にデバイスをデバッグします。
- UEFI HIIシステム設定を介したNICおよびRDMA(ポート/パーティション)の有効化/無効化のサポートが追加されました。
  注記:このオプションで設定した値は、イーサーネットモード時のみ有効になります。
- VFあたりのMSIXの最大数を127に増やしました。
- 非対称MSIX構成。この機能により、物理PCI機能ごとに異なる数のMSIXベクトルを
  使用してデバイスを構成できます。
  この機能を使用するには、次の手順に従ってください。
  - NUM_PF_MSIX_VALIDをクリアして、グローバル対称MSIX構成を無効にします。
  - PF_NUM_PF_MSIX_VALIDを設定して、物理機能ごとの非対称MSIX構成を有効にします。
  - 物理PCI機能ごとにPF_NUM_PF_MSIXを構成します。
- IBモードでのRDMAパーティショニングとRDMAカウンターのサポート。
- QPを照会し、プロセス/ライブラリがARが有効になったことを検出できるようにするための新しいビット("data_in_order")が追加されました。
- GENEVEハードウェアオフロードとICMPをサポートする新しいフレックスパーサー。
- 非page-supplier-FLR関数が開始されると、ファームウェアはページサプライヤへのページイベントをトリガーして、FLR関数のためにすべてのページを返す必要があることを示します。

ページは、MANAGE_PAGESコマンドをファームウェアに発行せずに、ドライバーによってカーネルに返されます。
- UMEM(ユーザーメモリ)でリソースを作成するためにUID0を有効にしました。
- 生のIBL2QPを介して、ソフトウェア(すべてのヘッダーを含む)との間でネイティブIBパケットを送受信します。
- IBポート上のRX RDMA NICフローテーブル。これで、ソフトウェアは、DLIDとに従ってネイティブIBパケットを生のIB受信キューに誘導できます。
  DQPN。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	InfiniBandカードタイプ	PSID
779793-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28 アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034
868779-B21	HPE Synergy 6410C 25/50Gb Ethernetアダプター	HPE0000000006
874253-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター	HPE0000000014

HPE Mellanox Ethernetアダプター専用のオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(ESXi 6.7)

バージョン: 1.0.6 **(推奨)**
ファイル名: CP046584.compsig; CP046584.zip

修正

ファームウェアバージョン2.42.5044に含まれる修正点:

- ファームウェアがlink_downイベントを検出することを妨げることで、IBボンドインターフェイスがフェイルオーバーモードになることを妨げる問題。

以下の問題点がバージョン14.31.1200で修正されました:

- TX PRBSは再構成しても変更されず、すべてのPRBSモードがテストモードで有効になりました。
- 分散されるストライド受信WQEよりもパケットが大きい場合、致命的なエラーが発生し、最終的にHCAが応答しない状態になりました。
- リソース番号の割り当てを解除するときにリソース番号のサイズ(64ビットの数値)が32ビットの数値で上書きされ、上位ビットが消去されました。

バージョン14.31.1200に含まれる追加の修正点:

- QSFPモジュールのレート選択メカニズムが修正されました。
- "パッシブ"ケーブルの分類の問題がより堅牢になるように修正されました。
- リンクではないシナリオで設定されるように、静的設定でレートテーブルを初期化しました。

以下の問題点がバージョン16.31.1014で修正されました:

- TX PRBSは再構成しても変更されず、すべてのPRBSモードがテストモードで有効になりました。
- デバイスで1024個の関数を開こうとしたときに発生したアサートで、関数の最大数は1023でした。
- ROCE_ACCL tx_windowが有効になっている場合に、E2Eクレジットを使用する(SRQに接続されておらず、トラフィックの送受信を行う)RCQPに関連するパフォーマンスの問題が発生することがあります。
- 分散されるストライド受信WQEよりもパケットが大きい場合、致命的なエラーが発生し、最終的にHCAが応答しない状態になりました。
- RXパイプがハングする原因となったまれな問題。
- リソース番号の割り当てを解除するときにリソース番号のサイズ(64ビットの数値)が32ビットの数値で上書きされ、上位ビットが消去されました。
- CRT_DCRのインデックスが1 << 21より大きい場合、CRT_SW_RESERVEDのアドレスと衝突することがありました。
- VFレートリミッターが設定されているときにTXキューが応答しない状態になる原因となった問題。

バージョン16.31.1014に含まれる追加の修正点:

- すべてのポートがIBの場合、CNPカウンター"rp_cnp_ignored"(OOS(アウトオブシーケンス)によってトリガーされる)を無効にしました。
- TMP421センサーの温度レポートを修正しました。
- QSFPモジュールのレート選択メカニズムが修正されました。
- "パッシブ"ケーブルの分類の問題がより堅牢になるように修正されました。
- リンクではないシナリオで設定されるように、静的設定でレートテーブルを初期化しました。

拡張

次のデバイスのファームウェアが2.42.5044にアップデートされます:

779799-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター)
779793-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.31.1200にアップデートされます:

817749-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.31.1200にアップデートされます:
817753-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート640SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.31.1014にアップデートされます:

874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1ポート842QSFP28アダプター)

バージョン14.31.1200の新機能および変更:

- 特定のFinisarモジュールのポートごとのNVconfig:特定のFinisarモジュールにポートごとのNVconfigを新しく追加しました。この新しいNVconfigは、ポートをANモードで動作するように設定し、モジュールをDMEなしに設定します。この変更によって速度ロジックは影響を受けず、FECロジック(FECオーバーライド)のみが影響を受けます。
  注記:ポートが起動しない場合は、強制モードに切り替えてください。

バージョン16.31.1014の新機能および変更:

- NICスケジューリング機能のサポートは、非特権機能では無効になっています。
- 新しいNC-SIコマンドget_debug_infoを実装して、NC-SIプロトコルを介してmstdumpを取得し、何らかの理由でPCIリンクに障害が発生した場合にデバイスをデバッグします。
- UEFI HIIシステム設定を介したNICおよびRDMA(ポート/パーティション)の有効化/無効化のサポートが追加されました。
  注記:このオプションで設定した値は、イーサーネットモード時のみ有効になります。
- VFあたりのMSIXの最大数を127に増やしました。
- 非対称MSIX構成。この機能により、物理PCI機能ごとに異なる数のMSIXベクトルを
  使用してデバイスを構成できます。
  この機能を使用するには、次の手順に従ってください。
  - NUM_PF_MSIX_VALIDをクリアして、グローバル対称MSIX構成を無効にします。
  - PF_NUM_PF_MSIX_VALIDを設定して、物理機能ごとの非対称MSIX構成を有効にします。
  - 物理PCI機能ごとにPF_NUM_PF_MSIXを構成します。
- IBモードでのRDMAパーティショニングとRDMAカウンターのサポート。
- QPを照会し、プロセス/ライブラリがARが有効になったことを検出できるようにするための新しいビット("data_in_order")が追加されました。
- GENEVEハードウェアオフロードとICMPをサポートする新しいフレックスパーサー。
- 非page-supplier-FLR関数が開始されると、ファームウェアはページサプライヤへのページイベントをトリガーして、FLR関数のためにすべてのページを返す必要があることを示します。
  ページは、MANAGE_PAGESコマンドをファームウェアに発行せずに、ドライバーによってカーネルに返されます。
- UMEM(ユーザーメモリ)でリソースを作成するためにUID0を有効にしました。
- 生のIBL2QPを介して、ソフトウェア(すべてのヘッダーを含む)との間でネイティブIBパケットを送受信します。
- IBポート上のRX RDMA NICフローテーブル。これで、ソフトウェアは、DLIDとに従ってネイティブIBパケットを生のIB受信キューに誘導できます。
  DQPN。

HPE Mellanox Ethernetアダプター専用のオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(ESXi 7.0)

バージョン: 1.0.2 **(推奨)**
ファイル名: CP046592.compsig; CP046592.zip

修正

ファームウェアバージョン2.42.5044に含まれる修正点:

- ファームウェアがlink_downイベントを検出することを妨げることで、IBボンドインターフェイスがフェイルオーバーモードになることを妨げる問題。

以下の問題点がバージョン14.31.1200で修正されました:

- TX PRBSは再構成しても変更されず、すべてのPRBSモードがテストモードで有効になりました。
- 分散されるストライド受信WQEよりもパケットが大きい場合、致命的なエラーが発生し、最終的にHCAが応答しない状態になりました。
- リソース番号の割り当てを解除するときにリソース番号のサイズ(64ビットの数値)が32ビットの数値で上書きされ、上位ビットが消去されました。

バージョン14.31.1200に含まれる追加の修正点:

- QSFPモジュールのレート選択メカニズムが修正されました。
- "パッシブ"ケーブルの分類の問題がより堅牢になるように修正されました。
- リンクではないシナリオで設定されるように、静的設定でレートテーブルを初期化しました。

以下の問題点がバージョン16.31.1014で修正されました:

- TX PRBSは再構成しても変更されず、すべてのPRBSモードがテストモードで有効になりました。
- デバイスで1024個の関数を開こうとしたときに発生したアサートで、関数の最大数は1023でした。
- ROCE_ACCL tx_windowが有効になっている場合に、E2Eクレジットを使用する(SRQに接続されておらず、トラフィックの送受信を行う)RCQPに関連するパフォーマンスの問題が発生することがあります。
- 分散されるストライド受信WQEよりもパケットが大きい場合、致命的なエラーが発生し、最終的にHCAが応答しない状態になりました。
- RXパイプがハングする原因となったまれな問題。
- リソース番号の割り当てを解除するときにリソース番号のサイズ(64ビットの数値)が32ビットの数値で上書きされ、上位ビットが消去されました。
- CRT_DCRのインデックスが1 << 21より大きい場合、CRT_SW_RESERVEDのアドレスと衝突することがありました。
- VFレートリミッターが設定されているときにTXキューが応答しない状態になる原因となった問題。

バージョン16.31.1014に含まれる追加の修正点:

- すべてのポートがIBの場合、CNPカウンター"rp_cnp_ignored"(OOS(アウトオブシーケンス)によってトリガーされる)を無効にしました。
- TMP421センサーの温度レポートを修正しました。
- QSFPモジュールのレート選択メカニズムが修正されました。

- "パッシブ"ケーブルの分類の問題がより堅牢になるように修正されました。
- リンクではないシナリオで設定されるように、静的設定でレートテーブルを初期化しました。

拡張

次のデバイスのファームウェアが2.42.5044にアップデートされます:

779799-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター)
779793-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.31.1200にアップデートされます:

817749-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.31.1200にアップデートされます:
817753-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート640SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.31.1014にアップデートされます:

874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1ポート842QSFP28アダプター)

バージョン14.31.1200の新機能および変更:

- 特定のFinisarモジュールのポートごとのNVconfig:特定のFinisarモジュールにポートごとのNVconfigを新しく追加しました。この新しいNVconfigは、ポートをANモードで動作するように設定し、モジュールをDMEなしに設定します。この変更によって速度ロジックは影響を受けず、FECロジック(FECオーバーライド)のみが影響を受けます。
  注記:ポートが起動しない場合は、強制モードに切り替えてください。

バージョン16.31.1014の新機能および変更:

- NICスケジューリング機能のサポートは、非特権機能では無効になっています。
- 新しいNC-SIコマンドget_debug_infoを実装して、NC-SIプロトコルを介してmstdumpを取得し、何らかの理由でPCIリンクに障害が発生した場合にデバイスをデバッグします。
- UEFI HIIシステム設定を介したNICおよびRDMA(ポート/パーティション)の有効化/無効化のサポートが追加されました。
  注記:このオプションで設定した値は、イーサーネットモード時のみ有効になります。
- VFあたりのMSIXの最大数を127に増やしました。
- 非対称MSIX構成。この機能により、物理PCI機能ごとに異なる数のMSIXベクトルを
  使用してデバイスを構成できます。
  この機能を使用するには、次の手順に従ってください。
  - NUM_PF_MSIX_VALIDをクリアして、グローバル対称MSIX構成を無効にします。
  - PF_NUM_PF_MSIX_VALIDを設定して、物理機能ごとの非対称MSIX構成を有効にします。
  - 物理PCI機能ごとにPF_NUM_PF_MSIXを構成します。
- IBモードでのRDMAパーティショニングとRDMAカウンターのサポート。
- QPを照会し、プロセス/ライブラリがARが有効になったことを検出できるようにするための新しいビット("data_in_order")が追加されました。
- GENEVEハードウェアオフロードとICMPをサポートする新しいフレックスパーサー。
- 非page-supplier-FLR関数が開始されると、ファームウェアはページサプライヤへのページイベントをトリガーして、FLR関数のためにすべてのページを返す必要があることを示します。
  ページは、MANAGE_PAGESコマンドをファームウェアに発行せずに、ドライバーによってカーネルに返されます。
- UMEM(ユーザーメモリ)でリソースを作成するためにUID0を有効にしました。
- 生のIBL2QPを介して、ソフトウェア(すべてのヘッダーを含む)との間でネイティブIBパケットを送受信します。
- IBポート上のRX RDMA NICフローテーブル。これで、ソフトウェアは、DLIDとに従ってネイティブIBパケットを生のIB受信キューに誘導できます。
  DQPN。

HPE QLogic NX2オンライン ファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 1.29.3 **(推奨)**
ファイル名: CP046935.compsig; CP046935.zip

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、HPE QLogic NX2 10/20GbE Multifunction Drivers for VMware、バージョン2021.09.04以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンを含むコンボイメージv7.18.82が含まれています:

NIC	ブートコードバージョン	PXEバージョン	UEFIバージョン	iSCSIバージョン	FCoEバージョン	CCMバージョン	L2バージョン
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター	7.16.03	7.14.13	8.9.0	該当なし	該当なし	7.14.4	7.12.25
HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター	7.16.03	7.14.13	8.9.0	7.14.0	7.14.3	7.14.4	7.12.25

HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター							

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

- この製品は、複数のアダプターが存在する場合のメモリ使用量のメカニズムを強化します
- この製品は現在、VMware ESXi 7.0 U3をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 2.29.2 **(推奨)**
ファイル名: firmware-nic-qlogic-nx2-2.29.2-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-qlogic-nx2-2.29.2-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

このパッケージのファームウェアとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2 10/20GbE Multifunction Drivers for Linux*、バージョン 7.14.80以降を推奨しています。

事前要件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサーネットポートをアップ(*ifup ethX*、*ifconfig ethX up*、または*wicked ifup ethX*)している必要があります。

ローカルシステムが、インターフェイスを起動するようにネットワーク構成ファイルを作成するために必要な、アダプターのネットワークインターフェイスを構成しない場合。
- たとえばsles15sp1で、/etc/sysconfig/network/の下にifcfg-ethXファイルを作成すること。

拡張

この製品は現在、Red Hat Enterprise Linux 8 Update 4およびSUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition

バージョン: 5.2.5.0 **(推奨)**
ファイル名: cp046936.compsig; cp046936.exe

重要な注意！

HPEは、このファームウェアで使用するために、ご使用のデバイスに適用可能な次のドライバーの少なくとも1つをお勧めします:

- *HPE QLogic NX2 10/20GbE*マルチファンクションドライバー*for Windows Server x64 Editions*、バージョン7.13.206.0以降

このソフトウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンを含むコンボイメージv7.18.82が含まれています:

NIC	ブートコードバージョン	PXEバージョン	UEFIバージョン	iSCSIバージョン	FCoEバージョン	CCMバージョン	L2バージョン
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター	7.16.03	7.14.13	8.9.0	該当なし	該当なし	7.14.4	7.12.25
HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター	7.16.03	7.14.13	8.9.0	7.14.0	7.14.3	7.14.4	7.12.25

ユーザーがコンボイメージのバージョンを確認できるのは、対話型モードのファームウェアアップデート、またはサポートされているアダプター上でHPESUM/SPPを使用してファームウェアをアップデートしている間だけです。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

この製品は、Microsoft Windows Server 2022をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexコンバージドネットワークアダプター - Microsoft Windows Server 2012R2(x64)

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: cp049111.compsig; cp049111.exe

重要な注意！

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントが開発用のSUMで識別される前に、HPEで提供しているEmulex NICドライバーをインストールする必要があります。最新のドライバーは、HPE.com Webサイト:http://www.hpe.com/から入手できます。

CoE/iSCSI OOBドライバーおよびFCoEイネーブルメントキットは、www.hpe.com/jp/servers/spp_dlのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

CNA(XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexコンバージドネットワークアダプター - Microsoft Windows Server 2016/2019(x64)

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: cp048540.compsig; cp048540.exe

重要な注意！

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントが開発用のSUMで識別される前に、HPEで提供しているEmulex NICドライバーをインストールする必要があります。最新のドライバーは、HPE.com Webサイト:http://www.hpe.com/から入手できます。

CoE/iSCSI OOBドライバーおよびFCoEイネーブルメントキットは、www.hpe.com/jp/servers/spp_dlのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexコンバージドネットワークアダプターfor Linux (x64)

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-cna-emulex-2021.10.01-1.5.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-cna-emulex-2021.10.01-1.5.x86_64.rpm

重要な注意！

このコンポーネントはRHEL7u8、RHEL7u9、RHEL8u3、SLES12SP5、SLES15SP2の各OSでのみサポートされています。

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

OOB NICドライバーは、www.hpe.com/jp/servers/spp_dlのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

追加の要件:

ファームウェアアップデートキットのインストール前にターゲット環境にlibsysfsまたはsysfsutilsパッケージをインストールしておく必要があります。存在していない場合、libsysfsまたはsysfsutilsパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。

コンポーネントがEmulex HBA/CNAを検出できるようにするために32-bit netlink library (libnl.so) がインストールされている環境が必要です
フラッシュエンジンを動作させるためにsyslogデーモンが実行されている環境が必要です

注記:FCoE/iSCSIプロトコルをサポートするデバイス上でプロトコルを有効にするには、適切なEmulex FCoE/iSCSIドライバーをインストールしてください。 また、FCoEプロトコルは、HPE Emulexイネーブルメントキットがインストールされている必要があります。 また、ドライバーおよびイネーブルメントキットは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dlのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

イネーブルメントキットは、OSインストールメディアからlibHBAAPIパッケージをインストールしたターゲット環境を必要とします。

FCoEドライバーキットをインストールし、再起動してからイネーブルメントキットをインストールします。

拡張

ファイバーチャネルおよびコンバージドネットワークアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。 これは、コンバージドネットワークアダプターアップデートコンポーネントです。

このコンポーネントはRHEL7u8、RHEL7u9、RHEL8u3、SLES12SP5、SLES15SP2の各OSでのみサポートされています。

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor VMware vSphere 6.5用Emulexコンバージドネットワークアダプター

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: CP048536.compsig; CP048536.zip

重要な注意！

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor VMware vSphere 6.7用Emulexコンバージドネットワークアダプター

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: CP048537.compsig; CP048537.zip

重要な注意！

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1345.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター

Online Firmware Upgrade Utility (ESXi 6.7) for HPE Mellanox VPI (Ethernet and Infiniband mode) devices on VMware ESXi 6.7

バージョン: 1.0.5 **(推奨)**
ファイル名: CP045903.compsig; CP045903.zip

重要な注意！

ファームウェアバージョン2.42.5000、2.42.5056、2.42.5700での既知の問題:

- QSFP(Quad Small Form-factor Pluggable)モジュールRTXM320-581を使用して、ファームウェアのアップグレード/ダウングレードを有効にするためにドライバーの再起動を実行したとき、リンクが使用可能になりません。
  回避策: サーバーを再起動します。
- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、パケットフィルター(PF)がVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。
  回避策: サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernetアダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。
  回避策: ファブリック/ドライバーユーティリティによって返されたGUID値を使用してください(0xffffではなく)。
- SBRはConnectX-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SRIOVがVPIカードで有効になっている場合、RHEL6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- **回避策:**[IB_TAB]で"do_- sense=false"パラメーターを設定してください。
- アドバンストステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
  回避策:BIOSのSR-IOVを有効にします。
- Mellanox Firmware Tool(MFT)は、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
  回避策:MFTコマンドを使用してセマフォをクリアします:'flint -clear_semaphore'
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3を使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。You are trying to override configurable FW by non-configurable FW. If you continue, old FW configurations will be cleared, do you want to continue ? (y/n) [n] : y You are trying to restore default configuration, do you want to continue ? (y/n) [n] : y.
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください
- ConnectX®-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためConnectX®-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
  回避策:デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。
- VPD(仮想プライベートデータベース)の読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
  回避策:それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。
- port1 FDRおよびport2 40Gで仮想パス識別子(VPI)モードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
  回避策:1. スイッチからケーブルを抜きます。2. ドライバーを再起動します。3. 適切なツールを使用して、プロトコルを変更します。

- アダプターカードMCX349A-XCCNは、特定のスイッチでリンクアップ時間が数秒間長くなることがあります。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、ethtoolの "identify"コマンド(ethtool -p/--identify)に応答しません。
- IPv6上でのリモートデスクトッププロトコル(RDP)は、現在機能しません。
  回避策:ソフトウェアのデフォルトのRoCEモードをRoCE v2(RoCEを使用していない場合も)に設定します
- Sniffer QPでは、"push to that rule"と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリブートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx4_en_get_drvinfo()のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- ibdumpを実行するときは、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされます。
- ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファーに反映されません。
- アダプターカードは、C7000エンクロージャー内の40GE対応スイッチポートで、10Gリンクを立ち上げることができません。スイッチポートが許可する場合、1Gリンクのみを立ち上げることができます。
- プライマリI2CバスでI2Cヘッダーを介したMTUSB通信は、live-fishモードのみでサポートされます

修正

バージョン2.42.5000での修正:

- PortRcvPktsカウンターはリセット後にクリアされませんでした。
- 10個を超える仮想ファンクションがFLRを実行し、完了タイムアウト値が16ミリ秒より小さい範囲に構成されている場合に、仮想ファンクション(VF)の構成サイクルでシステムのタイムアウトが発生する問題。
- ドライバーを(別のスレッドから)並行して再起動しているときに、"mlxfwtop –d mt4103_pci_cr0"を実行した場合、サーバーがハングしてNMIになります。この場合、デバイスのダウンストリームブリッジは完了タイムアウトエラーを報告しました。
- bmc_rebootの実行後にBMCがIPv6でpingを受信できなかったflow_steeringの問題。
- HCAを閉じている間、RXパケットは存在しなかったリソースへの不正アクセスを引き起こし、その結果QPCGWまたはiriscがスタックしました。
- ポートがActiveやArmedの状態でない場合に、マスターMLIDとLIDが0または0xFFFFである問題。
- ibdumpがすべてのMADパケットをキャプチャーできない問題。
- 再起動後にリンクアップしませんでした。
- sw_resetの実行中に到着したPCIeコンフィギュレーションサイクルが2つの完了を生成する原因となる、まれな問題を修正しました。
- iniファイル内にdisable_stat-ic_steering_iniフィールドを追加したときに、スクラッチパッドでのこのフィールドのメモリ割り当ての問題により、ネットワークコントローラーサイドバンドインターフェイス(NC-SI)が動作しなくなる問題。

バージョン2.42.5056での修正:

- VPIアダプターデバイスでポートがInfiniBandとして構成されている場合に、UEFIブートからOSブートへのハンドオーバーで無効なI/Oアドレスからの読み取りの結果として発生する問題を修正しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5000にアップデートされます。
764282-B21
764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5056にアップデートされます。
764283-B21
764284-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5700にアップデートされます:
764285-B21

ファームウェアバージョン2.42.5000での新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 新しいTLV: CX3_GLOBAL_CONFを使用して、mlxconfig構成を介して着信パケットのタイムスタンプを有効または無効にします。
  - ユーザーMAC構成。
  - ドライバーのリセット前に自動的にmstdumpを収集します。
  - TPT(iron)からDEAD_IRISC(plastic)を検出し、アサートを発生させるメカニズム。
  - user_mtuのサイズをファームウェアに示す"set port"コマンドに新しいフィールドの追加。
- コマンドタイムアウトの場合のデバッグ機能が向上しました。

ファームウェアバージョン2.42.5700の新機能および変更。

- mlx_cmd_get_mlx_link_statusコマンドの戻り値を、Ethernetアダプターカードで"Link Type = Ethernet"を返すように変更しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるデバイス

HPE部品番号	デバイス名	PSID
764282-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター	HPE_1350110023
764283-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター	HPE_1360110017
764284-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター	HPE_1370110017

764285-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HPE_1380110017
764286-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HPE_1390110023

Online Firmware Upgrade Utility (Linux x86_64) for HPE Intel OPA adapters

バージョン: 1.9.2 **(推奨)**
ファイル名: firmware-nic-intel-opa-hfi-1.9.2-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-intel-opa-hfi-1.9.2-1.1.x86_64.rpm

修正

以下の問題がバージョン1.9.2で修正されました。

- SLES 15カーネル設定のため、HFIドライバーがロードされている間はhfi1_epromは機能しません。ツールとドライバーは相互に排他的です。

拡張

バージョン1.9.2の変更点および主な新しい機能:

- hfi1_eprom **v10_9_2_0_0**を追加しました。
- Loader ROM **HfiPcieGen3Loader_1.9.2.0.0.rom**およびドライバーEFI **HfiPcieGen3_1.9.2.0.0.efi**が追加されました。

Online Firmware Upgrade Utility (Linux x86_64) for HPE Mellanox IB only ConnectX4 device on Linux x86_64 platform

バージョン: 1.0.8 **(推奨)**
ファイル名: firmware-nic-mellanox-ib-cx4-cx5-1.0.8-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-mellanox-ib-cx4-cx5-1.0.8-1.1.x86_64.rpm

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.26.1040にアップデートされました:

843400-B21 (HPE Apollo A10 InfiniBand EDR (100Gb) 2ポートアダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.26.1040にアップデートされます。

872723-B21(HPE Apollo InfiniBand EDR 100Gb 2ポート841zメザニンアダプター)
872725-B21(HPE InfiniBand EDR 100Gb 1ポート841QSFP28アダプター)

ファームウェアバージョン12.26.1040および16.26.1040の新機能および変更:

- ICMDコマンドを使用して、cmdifと同様の診断カウンターを処理することにより、ファームウェアを有効にしました。これらはvsecスペースを介して呼び出すことができます。カウンターの値は、トレーサー経由でのみ返されます。ICMD Query Capsはサポートを示し、サポートされているカウンターのリストを公開します。
- ユーザーコンテキストオブジェクト(DEVX)は、ユーザーごとのコンテナー化されたサンドボックスであり、一般オブジェクトコマンド、UMEMおよびUCTXコンテキストを使用してPRMコマンドに安全にアクセスします。この機能で許可される機能は、ユーザーの権限によって異なります。
  次の機能は引き続きカーネルによって管理されます。
  - リソースのクリーニング
  - UCTXスタンピング
  - これらのUCTXからの物理アドレスとIRQのブロック
- コマンドインターフェイスを使用した、DEVXユーザーへのサポートされている関連および非関連の非同期イベントの報告のサポートが追加されました。
- Zero-Touch-RoCE機能を使用する場合は、ユーザーがデバッグ目的でZero-Touch-RoCEカウンターを使用できるようになりました。
- このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。 Mellanoxでは、デバイスファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスファームウェアをこのリリースにアップグレードすることを推奨しています。

ファームウェアバージョン16.26.1040の変更および新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - MKEYおよびUMEMのアドレス変換サービス(ATS)のサポート。
  - 仮想機能(VF)の重要製品データ(VPD)の公開。
  - ヘアピンドロップカウンター。
  - DevXを操作するためのヘアピンとTM RNDV QP。
  - eSwitch/Forwarding Table(FDB)のソフトウェア管理ステアリングテーブルの作成。

Online Firmware Upgrade Utility (Windows x64) for HPE Mellanox IB only ConnectX4 device on Windows x86_64 platform

バージョン: 1.0.0.8 **(推奨)**
ファイル名: cp047567.compsig; cp047567.exe

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.26.1040にアップデートされました:

843400-B21 (HPE Apollo A10 InfiniBand EDR (100Gb) 2ポートアダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.26.1040にアップデートされます。

872723-B21(HPE Apollo InfiniBand EDR 100Gb 2ポート841zメザニンアダプター)
872725-B21(HPE InfiniBand EDR 100Gb 1ポート841QSFP28アダプター)

ファームウェアバージョン12.26.1040および16.26.1040の新機能および変更:

- ICMDコマンドを使用して、cmdifと同様の診断カウンターを処理することにより、ファームウェアを有効にしました。これらはvsecスペースを介して呼び出すことができます。カウンターの値は、トレーサー経由でのみ返されます。ICMD Query Capsはサポートを示し、サポートされているカウンターのリストを公開します。
- ユーザーコンテキストオブジェクト(DEVX)は、ユーザーごとのコンテナー化されたサンドボックスであり、一般オブジェクトコマンド、UMEMおよびUCTXコンテキストを使用してPRMコマンドに安全にアクセスします。この機能で許可される機能は、ユーザーの権限によって異なります。
  次の機能は引き続きカーネルによって管理されます。
  - リソースのクリーニング
  - UCTXスタンピング
  - これらのUCTXからの物理アドレスとIRQのブロック
- コマンドインターフェイスを使用した、DEVXユーザーへのサポートされている関連および非関連の非同期イベントの報告のサポートが追加されました。
- Zero-Touch-RoCE機能を使用する場合は、ユーザーがデバッグ目的でZero-Touch-RoCEカウンターを使用できるようになりました。
- このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。 Mellanoxでは、デバイスファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスファームウェアをこのリリースにアップグレードすることを推奨しています。

ファームウェアバージョン16.26.1040の変更および新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - MKEYおよびUMEMのアドレス変換サービス(ATS)のサポート。
  - 仮想機能(VF)の重要製品データ(VPD)の公開。
  - ヘアピンドロップカウンター。
  - DevXを操作するためのヘアピンとTM RNDV QP。
  - eSwitch/Forwarding Table(FDB)のソフトウェア管理ステアリングテーブルの作成。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.5) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) デバイス - VMware ESXi 6.5

バージョン: 1.0.7 **(推奨)**
ファイル名: CP045902.compsig; CP045902.zip

重要な注意！

ファームウェアバージョン2.42.5000、2.42.5056、2.42.5700での既知の問題:

- QSFP(Quad Small Form-factor Pluggable)モジュールRTXM320-581を使用して、ファームウェアのアップグレード/ダウングレードを有効にするためにドライバーの再起動を実行したとき、リンクが使用可能になりません。
  回避策: サーバーを再起動します。
- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、パケットフィルター(PF)がVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。
  回避策: サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernetアダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。
  回避策: ファブリック/ドライバーユーティリティによって返されたGUID値を使用してください(0xffffではなく)。
- SBRはConnectX-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SRIOVがVPIカードで有効になっている場合、RHEL6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- **回避策:**[IB_TAB]で"do_- sense=false"パラメーターを設定してください。
- アドバンストステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
  回避策:BIOSのSR-IOVを有効にします。
- Mellanox Firmware Tool(MFT)は、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
  回避策:MFTコマンドを使用してセマフォをクリアします:'flint -clear_semaphore'
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3を使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。You are trying to override configurable FW by non-configurable FW. If you continue, old FW configurations will be cleared, do you want to continue ? (y/n) [n] : y You are trying to restore default configuration, do you want to continue ? (y/n) [n] : y.
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください

- ConnectX®-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためConnectX®-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
  回避策:デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。
- VPD(仮想プライベートデータベース)の読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
  回避策:それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。
- port1 FDRおよびport2 40Gで仮想パス識別子(VPI)モードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
  回避策:1. スイッチからケーブルを抜きます。2. ドライバーを再起動します。3. 適切なツールを使用して、プロトコルを変更します。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、特定のスイッチでリンクアップ時間が数秒間長くなることがあります。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、ethtoolの "identify"コマンド(ethtool -p/--identify)に応答しません。
- IPv6上でのリモートデスクトッププロトコル(RDP)は、現在機能しません。
  回避策:ソフトウェアのデフォルトのRoCEモードをRoCE v2(RoCEを使用していない場合も)に設定します
- Sniffer QPでは、"push to that rule"と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリブートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx4_en_get_drvinfo()のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- ibdumpを実行するときは、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされます。
- ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファーに反映されません。
- アダプターカードは、C7000エンクロージャー内の40GE対応スイッチポートで、10Gリンクを立ち上げることができません。スイッチポートが許可する場合、1Gリンクのみを立ち上げることができます。
- プライマリI2CバスでI2Cヘッダーを介したMTUSB通信は、live-fishモードのみでサポートされます

修正

バージョン2.42.5000での修正:

- PortRcvPktsカウンターはリセット後にクリアされませんでした。
- 10個を超える仮想ファンクションがFLRを実行し、完了タイムアウト値が16ミリ秒より小さい範囲に構成されている場合に、仮想ファンクション(VF)の構成サイクルでシステムのタイムアウトが発生する問題。
- ドライバーを(別のスレッドから)並行して再起動しているときに、"mlxfwtop –d mt4103_pci_cr0"を実行した場合、サーバーがハングしてNMIになります。この場合、デバイスのダウンストリームブリッジは完了タイムアウトエラーを報告しました。
- bmc_rebootの実行後にBMCがIPv6でpingを受信できなかったflow_steeringの問題。
- HCAを閉じている間、RXパケットは存在しなかったリソースへの不正アクセスを引き起こし、その結果QPCGWまたはiriscがスタックしました。
- ポートがActiveやArmedの状態でない場合に、マスターMLIDとLIDが0または0xFFFFである問題。
- ibdumpがすべてのMADパケットをキャプチャーできない問題。
- 再起動後にリンクアップしませんでした。
- sw_resetの実行中に到着したPCIeコンフィギュレーションサイクルが2つの完了を生成する原因となる、まれな問題を修正しました。
- iniファイル内にdisable_stat-ic_steering_iniフィールドを追加したときに、スクラッチパッドでのこのフィールドのメモリ割り当ての問題により、ネットワークコントローラーサイドバンドインターフェイス(NC-SI)が動作しなくなる問題。

バージョン2.42.5056での修正:

- VPIアダプターデバイスでポートがInfiniBandとして構成されている場合に、UEFIブートからOSブートへのハンドオーバーで無効なI/Oアドレスからの読み取りの結果として発生する問題を修正しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5000にアップデートされます。
764282-B21
764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5056にアップデートされます。
764283-B21
764284-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5700にアップデートされます:
764285-B21

ファームウェアバージョン2.42.5000での新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 新しいTLV: CX3_GLOBAL_CONFを使用して、mlxconfig構成を介して着信パケットのタイムスタンプを有効または無効にします。
  - ユーザーMAC構成。
  - ドライバーのリセット前に自動的にmstdumpを収集します。
  - TPT(iron)からDEAD_IRISC(plastic)を検出し、アサートを発生させるメカニズム。
  - user_mtuのサイズをファームウェアに示す"set port"コマンドに新しいフィールドの追加。
- コマンドタイムアウトの場合のデバッグ機能が向上しました。

ファームウェアバージョン2.42.5700の新機能および変更。

- mlx_cmd_get_mlx_link_statusコマンドの戻り値を、Ethernetアダプターカードで"Link Type = Ethernet"を返すように変更しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるデバイス

HPE部品番号	デバイス名	PSID
764282-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター	HPE_1350110023
764283-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター	HPE_1360110017
764284-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター	HPE_1370110017
764285-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HPE_1380110017
764286-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HPE_1390110023

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 7.0) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) デバイス - VMware ESXi 7.0

バージョン: 1.0.1 **(推奨)**
ファイル名: CP045904.compsig; CP045904.zip

重要な注意！

ファームウェアバージョン2.42.5000、2.42.5056、2.42.5700での既知の問題:

- QSFP(Quad Small Form-factor Pluggable)モジュールRTXM320-581を使用して、ファームウェアのアップグレード/ダウングレードを有効にするためにドライバーの再起動を実行したとき、リンクが使用可能になりません。
  回避策: サーバーを再起動します。
- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、パケットフィルター(PF)がVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。
  回避策: サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernetアダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。
  回避策: ファブリック/ドライバーユーティリティによって返されたGUID値を使用してください(0xffffではなく)。
- SBRはConnectX-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SRIOVがVPIカードで有効になっている場合、RHEL6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- **回避策:**[IB_TAB]で"do_- sense=false"パラメーターを設定してください。
- アドバンストステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
  回避策:BIOSのSR-IOVを有効にします。
- Mellanox Firmware Tool(MFT)は、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
  回避策:MFTコマンドを使用してセマフォをクリアします:'flint -clear_semaphore'
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3を使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。You are trying to override configurable FW by non-configurable FW. If you continue, old FW configurations will be cleared, do you want to continue ? (y/n) [n] : y You are trying to restore default configuration, do you want to continue ? (y/n) [n] : y.
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください
- ConnectX®-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためConnectX®-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
  回避策:デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。
- VPD(仮想プライベートデータベース)の読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
  回避策:それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。
- port1 FDRおよびport2 40Gで仮想パス識別子(VPI)モードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
  回避策:1. スイッチからケーブルを抜きます。2. ドライバーを再起動します。3. 適切なツールを使用して、プロトコルを変更します。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、特定のスイッチでリンクアップ時間が数秒間長くなることがあります。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、ethtoolの "identify"コマンド(ethtool -p/--identify)に応答しません。
- IPv6上でのリモートデスクトッププロトコル(RDP)は、現在機能しません。
  回避策:ソフトウェアのデフォルトのRoCEモードをRoCE v2(RoCEを使用していない場合も)に設定します
- Sniffer QPでは、"push to that rule"と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。

- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリブートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx4_en_get_drvinfo()のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- ibdumpを実行するときは、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされます。
- ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファーに反映されません。
- アダプターカードは、C7000エンクロージャー内の40GE対応スイッチポートで、10Gリンクを立ち上げることができません。スイッチポートが許可する場合、1Gリンクのみを立ち上げることができます。
- プライマリI2CバスでI2Cヘッダーを介したMTUSB通信は、live-fishモードのみでサポートされます

修正

バージョン2.42.5000での修正:

- PortRcvPktsカウンターはリセット後にクリアされませんでした。
- 10個を超える仮想ファンクションがFLRを実行し、完了タイムアウト値が16ミリ秒より小さい範囲に構成されている場合に、仮想ファンクション(VF)の構成サイクルでシステムのタイムアウトが発生する問題。
- ドライバーを(別のスレッドから)並行して再起動しているときに、"mlxfwtop –d mt4103_pci_cr0"を実行した場合、サーバーがハングしてNMIになります。この場合、デバイスのダウンストリームブリッジは完了タイムアウトエラーを報告しました。
- bmc_rebootの実行後にBMCがIPv6でpingを受信できなかったflow_steeringの問題。
- HCAを閉じている間、RXパケットは存在しなかったリソースへの不正アクセスを引き起こし、その結果QPCGWまたはiriscがスタックしました。
- ポートがActiveやArmedの状態でない場合に、マスターMLIDとLIDが0または0xFFFFである問題。
- ibdumpがすべてのMADパケットをキャプチャーできない問題。
- 再起動後にリンクアップしませんでした。
- sw_resetの実行中に到着したPCIeコンフィギュレーションサイクルが2つの完了を生成する原因となる、まれな問題を修正しました。
- iniファイル内にdisable_stat-ic_steering_iniフィールドを追加したときに、スクラッチパッドでのこのフィールドのメモリ割り当ての問題により、ネットワークコントローラーサイドバンドインターフェイス(NC-SI)が動作しなくなる問題。

バージョン2.42.5056での修正:

- VPIアダプターデバイスでポートがInfiniBandとして構成されている場合に、UEFIブートからOSブートへのハンドオーバーで無効なI/Oアドレスからの読み取りの結果として発生する問題を修正しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5000にアップデートされます。
764282-B21
764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5056にアップデートされます。
764283-B21
764284-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5700にアップデートされます:
764285-B21

ファームウェアバージョン2.42.5000での新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 新しいTLV: CX3_GLOBAL_CONFを使用して、mlxconfig構成を介して着信パケットのタイムスタンプを有効または無効にします。
  - ユーザーMAC構成。
  - ドライバーのリセット前に自動的にmstdumpを収集します。
  - TPT(iron)からDEAD_IRISC(plastic)を検出し、アサートを発生させるメカニズム。
  - user_mtuのサイズをファームウェアに示す"set port"コマンドに新しいフィールドの追加。
- コマンドタイムアウトの場合のデバッグ機能が向上しました。

ファームウェアバージョン2.42.5700の新機能および変更。

- mlx_cmd_get_mlx_link_statusコマンドの戻り値を、Ethernetアダプターカードで"Link Type = Ethernet"を返すように変更しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるデバイス

HPE部品番号	デバイス名	PSID
764282-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター	HPE_1350110023
764283-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター	HPE_1360110017
764284-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター	HPE_1370110017
764285-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HPE_1380110017
764286-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HPE_1390110023

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Linux x86_64) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfiniband モード)デバイス - Linux x86_64プラットフォーム

バージョン: 1.0.12 **(推奨)**
ファイル名: firmware-hca-mellanox-vpi-eth-ib-1.0.12-1.1.x86_64.compsig; firmware-hca-mellanox-vpi-eth-ib-1.0.12-1.1.x86_64.rpm

修正

バージョン2.42.5000での修正:

- PortRcvPktsカウンターはリセット後にクリアされませんでした。
- 10個を超える仮想ファンクションがFLRを実行し、完了タイムアウト値が16ミリ秒より小さい範囲に構成されている場合に、仮想ファンクション(VF)の構成サイクルでシステムのタイムアウトが発生する問題。
- ドライバーを(別のスレッドから)並行して再起動しているときに、"mlxfwtop –d mt4103_pci_cr0"を実行した場合、サーバーがハングしてNMIになります。この場合、デバイスのダウンストリームブリッジは完了タイムアウトエラーを報告しました。
- bmc_rebootの実行後にBMCがIPv6でpingを受信できなかったflow_steeringの問題。
- HCAを閉じている間、RXパケットは存在しなかったリソースへの不正アクセスを引き起こし、その結果QPCGWまたはiriscがスタックしました。
- ポートがActiveやArmedの状態でない場合に、マスターMLIDとLIDが0または0xFFFFである問題。
- ibdumpがすべてのMADパケットをキャプチャーできない問題。
- 再起動後にリンクアップしませんでした。
- sw_resetの実行中に到着したPCIeコンフィギュレーションサイクルが2つの完了を生成する原因となる、まれな問題を修正しました。
- iniファイル内にdisable_stat-ic_steering_iniフィールドを追加したときに、スクラッチパッドでのこのフィールドのメモリ割り当ての問題により、ネットワークコントローラーサイドバンドインターフェイス(NC-SI)が動作しなくなる問題。

バージョン2.42.5056での修正:

- VPIアダプターデバイスでポートがInfiniBandとして構成されている場合に、UEFIブートからOSブートへのハンドオーバーで無効なI/Oアドレスからの読み取りの結果として発生する問題を修正しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5000にアップデートされます。
764282-B21
764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5056にアップデートされます。
764283-B21
764284-B21
764285-B21

ファームウェアバージョン2.42.5000での新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 新しいTLV: CX3_GLOBAL_CONFを使用して、mlxconfig構成を介して着信パケットのタイムスタンプを有効または無効にします。
  - ユーザーMAC構成。
  - ドライバーのリセット前に自動的にmstdumpを収集します。
  - TPT(iron)からDEAD_IRISC(plastic)を検出し、アサートを発生させるメカニズム。
  - user_mtuのサイズをファームウェアに示す"set port"コマンドに新しいフィールドの追加。
- コマンドタイムアウトの場合のデバッグ機能が向上しました。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Windows x64) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfiniband モード)デバイス - Windows x86_64プラットフォーム

バージョン: 1.0.0.12 **(推奨)**
ファイル名: cp045905.compsig; cp045905.exe

修正

バージョン2.42.5000での修正:

- PortRcvPktsカウンターはリセット後にクリアされませんでした。
- 10個を超える仮想ファンクションがFLRを実行し、完了タイムアウト値が16ミリ秒より小さい範囲に構成されている場合に、仮想ファンクション(VF)の構成サイクルでシステムのタイムアウトが発生する問題。
- ドライバーを(別のスレッドから)並行して再起動しているときに、"mlxfwtop –d mt4103_pci_cr0"を実行した場合、サーバーがハングしてNMIになります。この場合、デバイスのダウンストリームブリッジは完了タイムアウトエラーを報告しました。
- bmc_rebootの実行後にBMCがIPv6でpingを受信できなかったflow_steeringの問題。
- HCAを閉じている間、RXパケットは存在しなかったリソースへの不正アクセスを引き起こし、その結果QPCGWまたはiriscがスタックしました。
- ポートがActiveやArmedの状態でない場合に、マスターMLIDとLIDが0または0xFFFFである問題。
- ibdumpがすべてのMADパケットをキャプチャーできない問題。
- 再起動後にリンクアップしませんでした。
- sw_resetの実行中に到着したPCIeコンフィギュレーションサイクルが2つの完了を生成する原因となる、まれな問題を修正しました。
- iniファイル内にdisable_stat-ic_steering_iniフィールドを追加したときに、スクラッチパッドでのこのフィールドのメモリ割り当ての問題により、ネットワークコントローラーサイドバンドインターフェイス(NC-SI)が動作しなくなる問題。

バージョン2.42.5056での修正:

- VPIアダプターデバイスでポートがInfiniBandとして構成されている場合に、UEFIブートからOSブートへのハンドオーバーで無効なI/Oアドレスからの読み取りの結果として発生する問題を修正しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5000にアップデートされます。

764282-B21
764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5056にアップデートされます。

764283-B21
764284-B21
764285-B21

ファームウェアバージョン2.42.5000での新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 新しいTLV: CX3_GLOBAL_CONFを使用して、mlxconfig構成を介して着信パケットのタイムスタンプを有効または無効にします。
  - ユーザーMAC構成。
  - ドライバーのリセット前に自動的にmstdumpを収集します。
  - TPT(iron)からDEAD_IRISC(plastic)を検出し、アサートを発生させるメカニズム。
  - user_mtuのサイズをファームウェアに示す"set port"コマンドに新しいフィールドの追加。
- コマンドタイムアウトの場合のデバッグ機能が向上しました。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64) for HPE Mellanox Ethernetアダプター専用

バージョン: 1.0.14 **(推奨)**
ファイル名: firmware-nic-mellanox-ethernet-only-1.0.14-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-mellanox-ethernet-only-1.0.14-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

ファームウェアアップグレードユーティリティは、Mellanox Ethernet専用NICアダプター用に2つのパッケージに分割されました。1つはSynergyプラットフォームをサポートし、もう1つはProLiantおよびApolloプラットフォームをサポートします。このパッケージは、ProLiantおよびApolloサーバー上でMellanox Ethernet専用NICアダプターをサポートします。

FWバージョン2.42.5044での既知の問題:

- QSFPモジュールRTXM320-581を使用して、ファームウェアのアップグレード/ダウングレードを有効にするためにドライバーの再起動を実行した場合、リンクが使用可能になりません。
- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、PFがVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- 前のGAにダウングレードするにはサーバーのリブートが必要です。v2.30.8000以降のバージョンから2.30.8000より前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernet アダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、後者の値が使用されるべきです。
- SBRはConnectX®-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SR-IOVがVPIカードで有効になっている場合、RH6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- アドバンストステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
- MFTツールは、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアダウングレードメッセージ ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT 3.0.0-3を使用する場合
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを使用する場合、RM＃DMFSを有効にしないでください
- RM#VPD読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
- SymbolErrorCounterの増加 ポート1 FDRとポート2 40Gを使用してVPIモードで動作すると、エラーカウンターが誤動作して急激に増加します
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
- PXE(レガシー)をG9サーバーで稼働中のRSOD。これはPXEブートに失敗し、BIOSがHDDからブートするときにのみ起こります。現在BIOSの修正は保留中です。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
- IPv6上でのRDPは、現在機能しません。
- Sniffer QP では、"push to that rule"と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、2番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。

- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリブートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx-4_en_get_drvinfo() のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- 832298: ibdumpを実行しているとき、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされます。
- AHSが誤ったMTUサイズをレポートします
- RM#846523: ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファーに反映されません。

FWバージョン14.29.1016および16.29.1016での既知の問題:

- 以前のリリースから現在のリリースにアップデートする場合、1秒未満のファームウェアアップデート(高速リセットフロー)はサポートされません。これを行うと、ネットワーク切断イベントが発生する可能性があります。
  回避策:ファームウェアのアップグレード/ダウングレードには完全なリセットフローを使用します。
- PCIeレイテンシが高い(2us以上)システムでは、帯域幅が低くなる可能性があります。
  回避策: そのような問題が観察された場合:
  - 高いレイテンシを克服するためにZTTを有効にします。mlxconfig -d set ZERO_TOUCH_TUNING_ENABLE=1を実行します
  - 変更を有効にするために、ファームウェアのリセットまたは電源再投入を行います
- ステアリングダンプの制限事項は以下のとおりです。
  - ConnectX-5アダプターカードでのみサポートされます
  - バージョン(FW/Stelib/MFT)とデバイスタイプをstelibに渡す必要があります
  - 再フォーマットはサポートされていません
  - 高度なマルチポート機能はサポートされていません -LAG/ROCE_AFFILIATION/MPFS_LB/ESW_LB(vhca<->ワイヤーのトラフィックのみ)
    - サポートされているパケットタイプ:
    - レイヤー2 Eth
    - レイヤー3 IPv4/Ipv6/Grh
    - レイヤー4 TCP/UDP/Bth/GreV0/GreV1
    - トンネリングVXLAN/Geneve/GREv0/Mpls
  - FlexParserプロトコルはサポートされていません(AliVxlan/VxlanGpeなど)。
  - x86でのみコンパイルできます
- カードが2つのポートをサポートし、各ポートの各PFが同時に発生しない場合、輻輳制御が正しく機能しない可能性があります。

FWバージョン14.29.1016での既知の問題:

- "高速FWリセット"を使用している場合、以前のファームウェアバージョンから14.29.1000にアップグレードすると、パフォーマンスが低下する可能性があります。

FWバージョン16.29.1016での既知の問題:

- PER_PF_NUM_SF=1(PFごとの構成がSFに使用される)の場合、PF用に構成されたSFの数が0(PF_TOTAL_SF=0)の場合、ファームウェアは誤ってBAR2をサイズ128KBで開きます。
- LAGが構成されている場合、マルチAPP QoSはサポートされません。
- アダプターカードのレベルスケジューリングを構成する場合、デフォルトのrate_limitおよびデフォルトのbw_shareを使用して構成されているQoSツリーリーフ(QUEUE_GROUP)は、リーフの祖先によって課せられたQoS制限に従わない場合があります。
  回避策:このようなケースを防ぐには、リーフのQoS属性max_average_bwまたはbw_shareの少なくとも1つを構成します。
- タグマッチングRNDVおよびNVMEエミュレーションが期待どおりに動作していないことがありました。

事前要件

ConnectX4/ConnectX5ファームウェアバージョン14.28.1002/16.28.1002では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

バージョン2.42.5044で提出された修正:

- ファームウェアがlink_downイベントを検出することを妨げることで、IBボンドインターフェイスがフェイルオーバーモードになることを妨げる問題。

以下の問題点がバージョン14.29.1016で修正されました:

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- ヘッダーサイズの問題やチェックの失敗が原因でパケットがドロップされる問題。この問題は、VFによってwqe_inline_header_modeの入力に誤ったヘッダーサイズ値が設定されるLinuxの問題が原因で発生しました。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。
- 速度の変更またはポート状態の変更がトリガーされたときに、ファームウェアセマフォの1つを解放できないため、デバイスがdead IRISCになる問題。

以下の問題点がバージョン16.29.1016で修正されました:

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- svlan/cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
- 以前は失敗していたODPページをカウントするためのeth_wqe_too_smallカウンター。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下する問題。

- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。
- マルチホストおよびソケットダイレクトアダプターカードのシャーシマネージャーの計算により、シャーシマネージャーBMCによるNC-SIコマンドの実行が可能になります。現在、BMCの数に関係なく、シャーシマネージャーはインデックス0のBMCとしてカウントされます。
- 速度の変更またはポート状態の変更がトリガーされたときに、ファームウェアセマフォの1つを解放できないため、デバイスがdead IRISCになる問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5044にアップデートされます。

779799-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター)
779793-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.29.1016にアップデートされました:

817749-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.29.1016にアップデートされました:
817753-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.29.1016にアップデートされました:

874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1-port 842QSFP28アダプター)

バージョン14.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとの新しいカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- cq_overrunカウンター:このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。
- 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

バージョン16.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- "InfiniBand "プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- Advanced Steering Operation(ASO)を利用するためのフロー計測のHWサポート。 HWフローメーターは、FWフロー計測と比較して、より高いスケール、精度、およびパフォーマンスを可能にします。
- VFの信頼レベル。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- 2つの新しいMini CQEフォーマット:フロータグレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE、l3_l4_infoレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- ステアリングDPハッシュフローグループ。
- イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとの新しいカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- アダプターカードがシステムから消えないようにするためのPCIe Rxの変更。
- ignore_flow_levelは、TRUST LEVELアクセスレジストリによって有効化されるようになりました。
- cq_overrunカウンター。このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。
- [ベータ] 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。しました。
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
779793-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023)
779799-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28アダプター	HP_2420110034
874253-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポート842QSFP28アダプター	HPE0000000014

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Windows x64) for HPE Mellanox Ethernetアダプター専用

バージョン: 1.0.0.15 **(推奨)**
ファイル名: cp046585.compsig; cp046585.exe

重要な注意！

FWバージョン2.42.5000 での既知の問題:

- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、PFがVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- 前のGAにダウングレードするにはサーバーのリブートが必要です。v2.30.8000以降のバージョンから2.30.8000より前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernet アダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、後者の値が使用されるべきです。
- SBRはConnectX®-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SR-IOVがVPIカードで有効になっている場合、RH6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- アドバンストステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
- MFTツールは、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアダウングレードメッセージ ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT 3.0.0-3を使用する場合
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを使用する場合、RM＃DMFSを有効にしないでください
- RM#VPD読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
- SymbolErrorCounterの増加 ポート1 FDRとポート2 40Gを使用してVPIモードで動作すると、エラーカウンターが誤動作して急激に増加します
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
- PXE (レガシー)をG9サーバーで稼働中のRSOD。これはPXEブートに失敗し、BIOSがHDDからブートするときにのみ起こります。現在BIOSの修正は保留中です。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
- IPv6上でのRDPは、現在機能しません。
- Sniffer QP では、"push to that rule"と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリブートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx-4_en_get_drvinfo() のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- 832298: ibdumpを実行しているとき、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされます。
- AHSが誤ったMTUサイズをレポートします
- RM#846523: ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファーに反映されません。

FWバージョン14.22.1414での既知の問題:

- フックで負の温度を設定すると、PLDMセンサー読み取りコマンドを実行しているときに誤ったセンサー状態がレポートされます。
- ヘルスカウンターが10msごとでなく50msごとに大きくなります。
- mlxconfigツールが、既存の拡張ROMイメージだけを表示するのでなく、可能なすべての拡張ROMイメージを表示します。
- nic_receive_steering_discard コマンドを実行しているとき、イーサーネットマルチキャストループバックパケットがカウントされません(ローカルループバックパケットでなくても)。
- デュアルポートVHCAが非ネイティブポートでRoCEパケットを送信し、パケットが系列のvport FDBに到達すると、パケットソースvportが一致するルールで不一致が起きる場合があります。

FWバージョン12.22.1414での既知の問題:

- フックで負の温度を設定すると、PLDMセンサー読み取りコマンドを実行しているときに誤ったセンサー状態がレポートされます。
- まれに、署名がされた再送信/パケット損失が原因でエラーが発生し、接続が終了することがあります。
- ヘルスカウンターが10msごとでなく50msごとに大きくなります。
- mlxconfigツールが、既存の拡張ROMイメージだけを表示するのでなく、可能なすべての拡張ROMイメージを表示します。
- nic_receive_steering_discard コマンドを実行しているとき、イーサーネットマルチキャストループバックパケットがカウントされません(ローカルループバックパケットでなくても)。
- デュアルポートVHCAが非ネイティブポートでRoCEパケットを送信し、パケットが系列のvport FDBに到達すると、パケットソースvportが一致するルールで不一致が起きる場合があります。
- DC CNAKストレステスト中に、DC CNAKタイムアウト(CNAKドロップ)が発生することがあります。

FWバージョン16.22.1414での既知の問題:

- フックで負の温度を設定すると、PLDMセンサー読み取りコマンドを実行しているときに誤ったセンサー状態がレポートされます。
- ヘルスカウンターが10msごとでなく50msごとに大きくなります。

修正

ファームウェアバージョン2.42.5044に含まれる修正点:

- ファームウェアがlink_downイベントを検出することを妨げることで、IBボンドインターフェイスがフェイルオーバーモードになることを妨げる問題。

以下の問題点がバージョン14.31.1200で修正されました:

- TX PRBSは再構成しても変更されず、すべてのPRBSモードがテストモードで有効になりました。
- 分散されるストライド受信WQEよりもパケットが大きい場合、致命的なエラーが発生し、最終的にHCAが応答しない状態になりました。
- リソース番号の割り当てを解除するときにリソース番号のサイズ(64ビットの数値)が32ビットの数値で上書きされ、上位ビットが消去されました。

バージョン14.31.1200に含まれる追加の修正点:

- QSFPモジュールのレート選択メカニズムが修正されました。
- "パッシブ"ケーブルの分類の問題がより堅牢になるように修正されました。
- リンクではないシナリオで設定されるように、静的設定でレートテーブルを初期化しました。

以下の問題点がバージョン16.31.1014で修正されました:

- TX PRBSは再構成しても変更されず、すべてのPRBSモードがテストモードで有効になりました。
- デバイスで1024個の関数を開こうとしたときに発生したアサートで、関数の最大数は1023でした。
- ROCE_ACCL tx_windowが有効になっている場合に、E2Eクレジットを使用する(SRQに接続されておらず、トラフィックの送受信を行う)RCQPに関連するパフォーマンスの問題が発生することがあります。
- 分散されるストライド受信WQEよりもパケットが大きい場合、致命的なエラーが発生し、最終的にHCAが応答しない状態になりました。
- RXパイプがハングする原因となったまれな問題。
- リソース番号の割り当てを解除するときにリソース番号のサイズ(64ビットの数値)が32ビットの数値で上書きされ、上位ビットが消去されました。
- CRT_DCRのインデックスが1 << 21より大きい場合、CRT_SW_RESERVEDのアドレスと衝突することがありました。
- VFレートリミッターが設定されているときにTXキューが応答しない状態になる原因となった問題。

バージョン16.31.1014に含まれる追加の修正点:

- すべてのポートがIBの場合、CNPカウンター"rp_cnp_ignored"(OOS(アウトオブシーケンス)によってトリガーされる)を無効にしました。
- TMP421センサーの温度レポートを修正しました。
- QSFPモジュールのレート選択メカニズムが修正されました。
- "パッシブ"ケーブルの分類の問題がより堅牢になるように修正されました。
- リンクではないシナリオで設定されるように、静的設定でレートテーブルを初期化しました。

拡張

次のデバイスのファームウェアが2.42.5044にアップデートされます:

779799-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター)
779793-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.31.1200にアップデートされます:

817749-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.31.1200にアップデートされます:
817753-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート640SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.31.1014にアップデートされます:

874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1ポート842QSFP28アダプター)

バージョン14.31.1200の新機能および変更:

- 特定のFinisarモジュールのポートごとのNVconfig:特定のFinisarモジュールにポートごとのNVconfigを新しく追加しました。この新しいNVconfigは、ポートをANモードで動作するように設定し、モジュールをDMEなしに設定します。この変更によって速度ロジックは影響を受けず、FECロジック(FECオーバーライド)のみが影響を受けます。
  注記:ポートが起動しない場合は、強制モードに切り替えてください。

バージョン16.31.1014の新機能および変更:

- NICスケジューリング機能のサポートは、非特権機能では無効になっています。
- 新しいNC-SIコマンドget_debug_infoを実装して、NC-SIプロトコルを介してmstdumpを取得し、何らかの理由でPCIリンクに障害が発生した場合にデバイスをデバッグします。
- UEFI HIIシステム設定を介したNICおよびRDMA(ポート/パーティション)の有効化/無効化のサポートが追加されました。
  注記:このオプションで設定した値は、イーサーネットモード時のみ有効になります。
- VFあたりのMSIXの最大数を127に増やしました。
- 非対称MSIX構成。この機能により、物理PCI機能ごとに異なる数のMSIXベクトルを
  使用してデバイスを構成できます。
  この機能を使用するには、次の手順に従ってください。
  - NUM_PF_MSIX_VALIDをクリアして、グローバル対称MSIX構成を無効にします。
  - PF_NUM_PF_MSIX_VALIDを設定して、物理機能ごとの非対称MSIX構成を有効にします。
  - 物理PCI機能ごとにPF_NUM_PF_MSIXを構成します。
- IBモードでのRDMAパーティショニングとRDMAカウンターのサポート。
- QPを照会し、プロセス/ライブラリがARが有効になったことを検出できるようにするための新しいビット("data_in_order")が追加されました。
- GENEVEハードウェアオフロードとICMPをサポートする新しいフレックスパーサー。

- 非page-supplier-FLR関数が開始されると、ファームウェアはページサプライヤへのページイベントをトリガーして、FLR関数のためにすべてのページを返す必要があることを示します。
  ページは、MANAGE_PAGESコマンドをファームウェアに発行せずに、ドライバーによってカーネルに返されます。
- UMEM(ユーザーメモリ)でリソースを作成するためにUID0を有効にしました。
- 生のIBL2QPを介して、ソフトウェア(すべてのヘッダーを含む)との間でネイティブIBパケットを送受信します。
- IBポート上のRX RDMA NICフローテーブル。これで、ソフトウェアは、DLIDとに従ってネイティブIBパケットを生のIB受信キューに誘導できます。
  DQPN。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	InfiniBandカードタイプ	PSID
779793-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28 アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034
868779-B21	HPE Synergy 6410C 25/50Gb Ethernetアダプター	HPE0000000006
874253-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター	HPE0000000014

ファームウェア - PCIe NVMeストレージディスク

先頭

Linux用オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネント(x64)- MK000400KWDUK、VK000480KWDUE、MK000800KWDUL、VK000960KWDUF、MK001600KWDUN、およびVK001920KWDUHドライブ

バージョン: HPK4 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b45e49679c-HPK4-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b45e49679c-HPK4-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

VMware ESXi用オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネント - VS000480KWDUP、VS000960KWDUQ、MS000400KWDUR、およびMS000800KWDUTドライブ

バージョン: HPK4 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP048484.compsig; CP048484.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - ET000750KWJTF、EO000750KWTXC、およびEO000375KWJUCドライブ

バージョン: 4ICSHPK4 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c4355d15c4-4ICSHPK4-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c4355d15c4-4ICSHPK4-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - KCD6XVUL800G、KCD6XVUL1T60、KCD6XVUL3T20、KCD6XVUL6T40、KCD6XVUL12T8、KCD6XLUL960G、KCD6XLUL1T92、KCD6XLUL3T84、KCD6XLUL7T68、KCD6XLUL15T3ドライブ

バージョン: GPK3 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6fc985bd3b-GPK3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6fc985bd3b-GPK3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - KCM6XVUL800G、KCM6XVUL1T60、KCM6XVUL3T20、KCM6XVUL6T40、KCM6XRUL960G、KCM6XRUL1T92、KCM6XRUL3T84、KCM6XRUL7T68ドライブ

バージョン: GPK3 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3815d4b024-GPK3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3815d4b024-GPK3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - LO0400KEFJQ、LO0800KEFJR、LO1600KEFJT、LO2000KEFJU、LT0800KEXVA、LT1600KEXVB、およびLT2000KEXVCドライブ

バージョン: HPK4 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d64642c780-HPK4-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d64642c780-HPK4-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MO001600KWVNB、MO003200KWVNC、MO006400KWVND、MT001600KWSTB、MT003200KWSTC、およびMT006400KWSTDドライブ

バージョン: HPK3 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cea219e4b1-HPK3-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cea219e4b1-HPK3-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MO001600KWZQPおよびMO003200KWZQQドライブ

バージョン: HPK5 (D) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95b6ae2e85-HPK5-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95b6ae2e85-HPK5-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 最適化されたTオフセット設定。
- MQES設定を8192に変更します。
- LEDの動作のずれた仕様の問題を修正しました。
- 4つ以上のSSDがインストールされている場合のパフォーマンス低下の問題を修正しました。
- ドライブが低電力アイドルモードに頻繁に出入りしないようにするためのアイドル電力管理の修正。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00112800en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MT001600KWHAC、MT003200KWHAD、およびMT006400KWHAEドライブ

バージョン: HPS1 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8e8ddc5265-HPS1-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8e8ddc5265-HPS1-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MZPLJ1T6HBJR-000H3、MZPLJ3T2HBJR-000H3、およびMZPLJ6T4HALA-000H3ドライブ

バージョン: EPK75H3Q (B) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6628fce235-EPK75H3Q-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6628fce235-EPK75H3Q-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- アイドル電源モードでの誤ったUECCの問題を修正しました。
- 古いファームウェアダウンロードブロッキング(EPK70H3Q～EPK74H3Q)。
- ファームウェアは、各レーンのTXデータアライメントのオプションから変更されます。
- PCIe構成の読み取り操作時に、TLP完了後に割り込みをクリアするようにファームウェアが変更されました。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00113342en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MZXL5800HBHQ-000H3、 MZXL51T6HBJR-000H3、MZXL53T2HBLS-000H3、MZXL56T4HALA-000H3、MZXL512THALA-000H3、 MZXL5960HBHQ-000H3、MZXL51T9HBJR-000H3、MZXL53T8HBLS-000H3、MZXL57T6HALA-000H3および MZXL515THALA-00H3ドライブ

バージョン: MPK75H5Q (C) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e320db791d-MPK75H5Q-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e320db791d-MPK75H5Q-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- アイドル電源モードでの誤ったUECCの問題を修正しました(12.8TBおよび15.36TBのみ)。
- PHYオプションを実行するPCLKを適用すると、レーン0が欠落している場合にPLLクロックの無効化を回避できます。
- 古いファームウェアダウンロードのブロック。
- ファームウェアは、各レーンのTXデータアライメントのオプションから変更されます。

- PCIe構成の読み取り操作時に、TLP完了後に割り込みをクリアするようにファームウェアが変更されました。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00113342en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO000960KXAVL、VO001920KXAVP、VO003840KXAVQ、VO007680KXAVR、MO000800KXAVN、MO001600KXAVT、MO003200KXAVU、MO006400KXAVVドライブ

バージョン: HPK3 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-035a863453-HPK3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-035a863453-HPK3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアリリースには、前回のファームウェアリリース以降に累積されたさまざまなドライブ相互運用性の機能強化とコード修正のほか、HPEの要求に応じてMCTP over PCIe VDM機能を無効にする変更、およびIntel Ice LakeベースのGen10 Plus DL360プラットフォームとの互換性向上のためのPHY設定の変更が含まれています。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00115201en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO001000KWJSE、VO002000KWJSF、VO004000KWJSH、VT004000KWJSU、MO001600KWJSN、およびMO003200KWJSQドライブ

バージョン: 4ICDHPK1 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1656c1b14a-4ICDHPK1-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1656c1b14a-4ICDHPK1-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアは、特定の条件またはワークロード中にドライブが無効になり機能しなくなる可能性を修正します。
- ドライブをファームウェアバージョンHPK1にアップグレードした後、ファームウェアバージョンHPK0にダウングレードできません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO001920KWVMT、VO003840KWVMU、およびVO007680KWVMVドライブ

バージョン: HPK3 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-fe9c474847-HPK3-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-fe9c474847-HPK3-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO001920KWZQRおよびVO003840KWZQTドライブ

バージョン: HPK5 (D) **(クリティカル)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2af7385a1e-HPK5-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2af7385a1e-HPK5-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 最適化されたTオフセット設定。
- MQES設定を8192に変更します。
- LEDの動作のずれた仕様の問題を修正しました。
- 4つ以上のSSDがインストールされている場合のパフォーマンス低下の問題を修正しました。
- ドライブが低電力アイドルモードに頻繁に出入りしないようにするためのアイドル電力管理の修正。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00112800en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO002000KWVVC、VO004000KWVUR、MO001600KWVUU、MO003200KWVUV、およびMO006400KWVVAドライブ

バージョン: 4ICRHPK3 (C) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-92d876cfea-4ICRHPK3-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-92d876cfea-4ICRHPK3-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPEのファームウェアバージョンが4ICRHPK3より前のSSDに影響し、SSDの故障が発生した後、4,700時間の動作からSSDもデータも復旧できない可能性があります。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00111900en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO0400KEFJB、VO1200KEFJC、およびVO2000KEFJDドライブ

バージョン: HPK4 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9a826ccd8a-HPK4-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9a826ccd8a-HPK4-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VS000480KWDUP、VS000960KWDUQ、MS000400KWDUR、およびMS000800KWDUTドライブ

バージョン: HPK4 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95a2e5abcb-HPK4-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95a2e5abcb-HPK4-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- MK000800KWWFE、MK001600KWWFF、MK003200KWWFH、MK006400KWWFK、VK000960KWWFL、VK001920KWWFN、VK003840KWWFP、およびVK007680KWWFQドライブ

バージョン: HPK3 (F) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-54addf5312-HPK3-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-54addf5312-HPK3-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このFWの変更により、iLOバージョン2.30で見られたMCTP VDMコンプライアンスの問題が解決されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00111061en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- MO0400KEFHN、MO0800KEFHP、MO1600KEFHQ、MO2000KEFHR、MT0800KEXUU、およびMT1600KEXUVドライブ

バージョン: HPK4 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2a5b65f157-HPK4-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2a5b65f157-HPK4-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO001600KWZQPおよびMO003200KWZQQドライブ

バージョン: HPK5 (C) **(クリティカル)**
ファイル名: CP048472.compsig; CP048472.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 最適化されたTオフセット設定。
- MQES設定を8192に変更します。
- LEDの動作のずれた仕様の問題を修正しました。
- 4つ以上のSSDがインストールされている場合のパフォーマンス低下の問題を修正しました。
- ドライブが低電力アイドルモードに頻繁に出入りしないようにするためのアイドル電力管理の修正。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00112800en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO001920KWZQRおよびVO003840KWZQTドライブ

バージョン: HPK5 (C) **(クリティカル)**
ファイル名: CP048473.compsig; CP048473.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 最適化されたTオフセット設定。
- MQES設定を8192に変更します。
- LEDの動作のずれた仕様の問題を修正しました。
- 4つ以上のSSDがインストールされている場合のパフォーマンス低下の問題を修正しました。
- ドライブが低電力アイドルモードに頻繁に出入りしないようにするためのアイドル電力管理の修正。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00112800en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - ET000750KWJTF、EO000750KWTXC、およびEO000375KWJUCドライブ

バージョン: 4ICSHPK4 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048513.compsig; CP048513.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - KCD6XVUL800G、KCD6XVUL1T60、KCD6XVUL3T20、KCD6XVUL6T40、KCD6XVUL12T8、KCD6XLUL960G、KCD6XLUL1T92、KCD6XLUL3T84、KCD6XLUL7T68、KCD6XLUL15T3ドライブ

バージョン: GPK3 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP049279.compsig; CP049279.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - KCM6XVUL800G、KCM6XVUL1T60、KCM6XVUL3T20、KCM6XVUL6T40、KCM6XRUL960G、KCM6XRUL1T92、KCM6XRUL3T84、KCM6XRUL7T68ドライブ

バージョン: GPK3 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP049284.compsig; CP049284.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - LO0400KEFJQ、LO0800KEFJR、LO1600KEFJT、LO2000KEFJU、LT0800KEXVA、LT1600KEXVB、およびLT2000KEXVCドライブ

バージョン: HPK4 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045718.compsig; CP045718.zip

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK000400KWDUK、VK000480KWDUE、

MK000800KWDUL、VK000960KWDUF、MK001600KWDUN、およびVK001920KWDUHドライブ
バージョン: HPK4 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP048486.compsig; CP048486.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK000800KWWFE、MK001600KWWFF、MK003200KWWFH、MK006400KWWFK、 VK000960KWWFL、VK001920KWWFN、 VK003840KWWFPおよびVK007860KWWFQドライブ
バージョン: HPK3 (C) **(クリティカル)**
ファイル名: CP048467.compsig; CP048467.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このFWの変更により、iLOバージョン2.30で見られたMCTP VDMコンプライアンスの問題が解決されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00111061en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO001600KWVNB、MO003200KWVNC、MO006400KWVND、MT001600KWSTB、MT003200KWSTC、およびMT006400KWSTDドライブ
バージョン: HPK3 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048478.compsig; CP048478.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO0400KEFHN、MO0800KEFHP、MO1600KEFHQ、MO2000KEFHR、MT0800KEXUUおよびMT1600KEXUVドライブ
バージョン: HPK4 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP048489.compsig; CP048489.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MT001600KWHAC、MT003200KWHADおよびMT006400KWHAEドライブ
バージョン: HPS1 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP048488.compsig; CP048488.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MZXL5800HBHQ-000H3、 MZXL51T6HBJR-000H3、MZXL53T2HBLS-000H3、MZXL56T4HALA-000H3、MZXL512THALA-000H3、 MZXL5960HBHQ-000H3、MZXL51T9HBJR-000H3、MZXL53T8HBLS-000H3、MZXL57T6HALA-000H3および MZXL515THALA-00H3ドライブ

バージョン: MPK75H5Q (B) **(クリティカル)**
ファイル名: CP048456.compsig; CP048456.zip

修正

- アイドル電源モードでの誤ったUECCの問題を修正しました(12.8TBおよび15.36TBのみ)。
- PHYオプションを実行するPCLKを適用すると、レーン0が欠落している場合にPLLクロックの無効化を回避できます。
- 古いファームウェアダウンロードのブロック。
- ファームウェアは、各レーンのTXデータアライメントのオプションから変更されます。
- PCIe構成の読み取り操作時に、TLP完了後に割り込みをクリアするようにファームウェアが変更されました。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00113342en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO000960KXAVL、VO001920KXAVP、VO003840KXAVQ、VO007680KXAVR、MO000800KXAVN、MO001600KXAVT、MO003200KXAVU、MO006400KXAVVドライブ

バージョン: HPK3 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: CP049302.compsig; CP049302.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアリリースには、前回のファームウェアリリース以降に累積されたさまざまなドライブ相互運用性の機能強化とコード修正のほか、HPEの要求に応じてMCTP over PCIe VDM機能を無効にする変更、およびIntel Ice LakeベースのGen10 Plus DL360プラットフォームとの互換性向上のためのPHY設定の変更が含まれています。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00115201en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO001000KWJSE、VO002000KWJSF、VO004000KWJSH、VT004000KWJSU、MO001600KWJSN、およびMO003200KWJSQドライブ

バージョン: 4ICDHPK1 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048471.compsig; CP048471.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアは、特定の条件またはワークロード中にドライブが無効になり機能しなくなる可能性を修正します。
- ドライブをファームウェアバージョンHPK1にアップグレードした後、ファームウェアバージョンHPK0にダウングレードできません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO002000KWVVC、VO004000KWVUR、

MO001600KWVUU、MO003200KWVUV、およびMO006400KWVVAドライブ

バージョン: 4ICRHPK3 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: CP048511.compsig; CP048511.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPEのファームウェアバージョンが4ICRHPK3より前のSSDに影響し、SSDの故障が発生した後、4,700時間の動作からSSDもデータも復旧できない可能性があります。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00111900en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO0400KEFJB、VO1200KEFJC、およびVO2000KEFJDドライブ

バージョン: HPK4 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045719.compsig; CP045719.zip

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi (x64) - VO001920KWVMT、VO003840KWVMU、およびVO007680KWVMVドライブ

バージョン: HPK3 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048469.compsig; CP048469.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - ET000750KWJTF、EO000750KWTXCおよびEO000375KWJUCドライブ

バージョン: 4ICSHPK4 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048692.compsig; cp048692.exe; cp048692.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - KCD6XVUL800G、KCD6XVUL1T60、KCD6XVUL3T20、KCD6XVUL6T40、KCD6XVUL12T8、KCD6XLUL960G、KCD6XLUL1T92、KCD6XLUL3T84、KCD6XLUL7T68、KCD6XLUL15T3ドライブ

バージョン: GPK3 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp049282.compsig; cp049282.exe; cp049282.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - KCM6XVUL800G、KCM6XVUL1T60、KCM6XVUL3T20、KCM6XVUL6T40、KCM6XRUL960G、KCM6XRUL1T92、KCM6XRUL3T84、KCM6XRUL7T68ドライブ

バージョン: GPK3 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp049285.compsig; cp049285.exe; cp049285.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - LO0400KEFJQ、LO0800KEFJR、LO1600KEFJT、LO2000KEFJU、LT0800KEXVA、LT1600KEXVB、およびLT2000KEXVCドライブ

バージョン: HPK4 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp048428.compsig; cp048428.exe; cp048428.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MO001600KWVNB、MO003200KWVNC、MO006400KWVND、MT001600KWSTB、MT003200KWSTC、およびMT006400KWSTDドライブ

バージョン: HPK3 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048684.compsig; cp048684.exe; cp048684.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MO001600KWZQPおよびMO003200KWZQQドライブ

バージョン: HPK5 (C) **(クリティカル)**
ファイル名: cp048685.compsig; cp048685.exe; cp048685.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 最適化されたTオフセット設定。
- MQES設定を8192に変更します。
- LEDの動作のずれた仕様の問題を修正しました。
- 4つ以上のSSDがインストールされている場合のパフォーマンス低下の問題を修正しました。
- ドライブが低電力アイドルモードに頻繁に出入りしないようにするためのアイドル電力管理の修正。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00112800en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MT001600KWHAC、MT003200KWHAD、およびMT006400KWHAEドライブ

バージョン: HPS1 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp048480.compsig; cp048480.exe; cp048480.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MZXL5800HBHQ-000H3、MZXL51T6HBJR-000H3、MZXL53T2HBLS-000H3、MZXL56T4HALA-000H3、MZXL512THALA-000H3、 MZXL5960HBHQ-000H3、MZXL51T9HBJR-000H3、MZXL53T8HBLS-000H3、MZXL57T6HALA-000H3および MZXL515THALA-0ドライブ

バージョン: MPK75H5Q (B) **(クリティカル)**
ファイル名: cp048464.compsig; cp048464.exe; cp048464.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- アイドル電源モードでの誤ったUECCの問題を修正しました(12.8TBおよび15.36TBのみ)。
- PHYオプションを実行するPCLKを適用すると、レーン0が欠落している場合にPLLクロックの無効化を回避できます。
- 古いファームウェアダウンロードのブロック。
- ファームウェアは、各レーンのTXデータアライメントのオプションから変更されます。
- PCIe構成の読み取り操作時に、TLP完了後に割り込みをクリアするようにファームウェアが変更されました。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00113342en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO000960KXAVL、VO001920KXAVP、VO003840KXAVQ、VO007680KXAVR、MO000800KXAVN、MO001600KXAVT、MO003200KXAVU、MO006400KXAVVドライブ

バージョン: HPK3 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: cp049303.compsig; cp049303.exe; cp049303.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアリリースには、前回のファームウェアリリース以降に累積されたさまざまなドライブ相互運用性の機能強化とコード修正のほか、HPEの要求に応じてMCTP over PCIe VDM機能を無効にする変更、およびIntel Ice LakeベースのGen10 Plus DL360プラットフォームとの互換性向上のためのPHY設定の変更が含まれています。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00115201en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO001000KWJSE、VO002000KWJSF、VO004000KWJSH、VT004000KWJSU、MO001600KWJSN、およびMO003200KWJSQドライブ

バージョン: 4ICDHPK1 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: cp048438.compsig; cp048438.exe; cp048438.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアは、特定の条件またはワークロード中にドライブが無効になり機能しなくなる可能性を修正します。
- ドライブをファームウェアバージョンHPK1にアップグレードした後、ファームウェアバージョンHPK0にダウングレードできません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO001920KWVMT、VO003840KWVMU、およびVO007680KWVMVドライブ

バージョン: HPK3 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048462.compsig; cp048462.exe; cp048462.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO001920KWZQRおよびVO003840KWZQTドライブ

バージョン: HPK5 (C) **(クリティカル)**
ファイル名: cp048687.compsig; cp048687.exe; cp048687.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 最適化されたTオフセット設定。
- MQES設定を8192に変更します。
- LEDの動作のずれた仕様の問題を修正しました。
- 4つ以上のSSDがインストールされている場合のパフォーマンス低下の問題を修正しました。
- ドライブが低電力アイドルモードに頻繁に出入りしないようにするためのアイドル電力管理の修正。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00112800en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO002000KWVVC、VO004000KWVUR、MO001600KWVUU、MO003200KWVUV、およびMO006400KWVVAドライブ

バージョン: 4ICRHPK3 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: cp048693.compsig; cp048693.exe; cp048693.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPEのファームウェアバージョンが4ICRHPK3より前のSSDに影響し、SSDの故障が発生した後、4,700時間の動作からSSDもデータも復旧できない可能性があります。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00111900en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VS000480KWDUP、VS000960KWDUQ、MS000400KWDUR、およびMS000800KWDUTドライブ

バージョン: HPK4 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp048487.compsig; cp048487.exe; cp048487.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MK000400KWDUK、VK000480KWDUE、MK000800KWDUL、VK000960KWDUF、MK001600KWDUN、およびVK001920KWDUHドライブ

バージョン: HPK4 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp048479.compsig; cp048479.exe; cp048479.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MK000800KWWFE、MK001600KWWFF、MK003200KWWFH、MK006400KWWFK、VK000960KWWFL、VK001920KWWFN、VK003840KWWFP、およびVK007680KWWFQドライブ

バージョン: HPK3 (C) **(クリティカル)**
ファイル名: cp048463.compsig; cp048463.exe; cp048463.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このFWの変更により、iLOバージョン2.30で見られたMCTP VDMコンプライアンスの問題が解決されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00111061en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MO0400KEFHN、MO0800KEFHP、MO1600KEFHQ、MO2000KEFHR、MT0800KEXUU、およびMT1600KEXUVドライブ

バージョン: HPK4 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp048475.compsig; cp048475.exe; cp048475.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- VO0400KEFJB、VO1200KEFJC、およびVO2000KEFJDドライブ

バージョン: HPK4 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp048476.compsig; cp048476.exe; cp048476.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMeSSDフラッシュコンポーネントfor VMwareESXi - MZPLJ1T6HBJR-000H3、MZPLJ3T2HBJR-000H3、およびMZPLJ6T4HALA-000H3ドライブ

バージョン: EPK75H3Q (B) **(クリティカル)**
ファイル名: CP048458.compsig; CP048458.zip

修正

- アイドル電源モードでの誤ったUECCの問題を修正しました。
- 古いファームウェアダウンロードブロッキング(EPK70H3Q～EPK74H3Q)。
- ファームウェアは、各レーンのTXデータアライメントのオプションから変更されます。
- PCIe構成の読み取り操作時に、TLP完了後に割り込みをクリアするようにファームウェアが変更されました。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00113342en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMeSSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MZPLJ1T6HBJR-000H3、MZPLJ3T2HBJR-000H3、およびMZPLJ6T4HALA-000H3ドライブ

バージョン: EPK75H3Q (B) **(クリティカル)**
ファイル名: cp048301.compsig; cp048301.exe; cp048301.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- アイドル電源モードでの誤ったUECCの問題を修正しました。
- 古いファームウェアダウンロードブロッキング(EPK70H3Q～EPK74H3Q)。
- ファームウェアは、各レーンのTXデータアライメントのオプションから変更されます。
- PCIe構成の読み取り操作時に、TLP完了後に割り込みをクリアするようにファームウェアが変更されました。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00113342en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

ファームウェア - パワーマネジメント

先頭

オンラインROMフラッシュ for Linux - Power Management Controller

バージョン: 4.1 (E) **(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-powerpic-dl580-4.1-5.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意:

Ver. 4.1 (E)はファームウェアRPMインストールコマンド名の"cpqsetup"から"hpsetup"への変更を含んでいて、機能的にVer. 4.1と同等です。ファームウェアをバージョン4.1にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンEにアップグレードする必要はありません。

提供名:

Power Management Controller

リリースバージョン:

4.1 (E)

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

以前のリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

ファームウェアの関連性:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

インストール手順が完了すると、スマートコンポーネントが不必要なリブートを促します。アップデートの効果とハードウェアの安定を得るために、インストール後のリブートは必要ありません。

事前要件

このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver"がインストールされて実行されている必要があります。ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。
「The software is not supported for installation on this system.
You must install the iLO Channel Interface driver to use this component.」

拡張

重要な注意:

バージョン4.1 (E)は、"cpqsetup"から"hpsetup"へのファームウェアRPMインストールコマンド名の変更を含んでいて、機能的にバージョン4.1と同じです。ファームウェアをバージョン4.1にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンEにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

既知の問題点:

インストール手順が完了すると、スマートコンポーネントが不必要なリブートを促します。 アップデートの効果とハードウェアの安定を得るために、インストール後のリブートは必要ありません。

オンラインROMフラッシュ for Linux - アドバンスト消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen9サーバー

バージョン: 1.0.9 (J) **(オプション)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-powerpic-gen9-1.0.9-10.1.i386.rpm

重要な注意！

重要な注意:

Ver 1.0.9(J)には、コンポーネントのパッケージングに対する更新が含まれており、機能的にver 1.0.9と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.9にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(J)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

アドバンストパワーキャッピングマイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen9サーバー

リリースバージョン:

1.0.9

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.0.7

以前のリビジョン:

1.0.7

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

最小消費電力上限値が特定のシステムで誤って計算されていた問題に対処しました。この修正により、POST中の最小上限値設定の正確さが向上します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver"がインストールされて実行されている必要があります。ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。
「The software is not supported for installation on this system.
You must install the iLO Channel Interface driver to use this component."

修正

重要な注意:

Ver 1.0.9(J)には、コンポーネントのパッケージングに対する更新が含まれており、機能的にver 1.0.9と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.9にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(J)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

最小消費電力上限値が特定のシステムで誤って計算されていた問題に対処しました。この修正により、POST中の最小上限値設定の正確さが向上します。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュ for VMware ESXi - Power Management Controller

バージョン: 4.1 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP026094.zip

重要な注意！

重要な注意:

Ver. 4.1 (E)はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 4.1と同等です。 ファームウェアをバージョン4.1にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンEにアップグレードする必要はありません。

提供名:

Power Management Controller

リリースバージョン:

4.1(E)

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

以前のリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

ファームウェアの関連性:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

インストール手順が完了すると、スマートコンポーネントが不必要なリブートを促します。 アップデートの効果とハードウェアの安定を得るために、インストール後のリブートは必要ありません。

事前要件

このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver"がインストールされて実行されている必要があります。ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。

「The software is not supported for installation on this system.
You must install the iLO Channel Interface driver to use this component.」

拡張

重要な注意:

Ver. 4.1 (E)はコンポーネントパッケージのアップデートを含んでいて、機能的にVer. 4.1と同等です。 ファームウェアをバージョン4.1にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンEにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの関連性:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

既知の問題点:

インストール手順が完了すると、スマートコンポーネントが不必要なリブートを促します。 アップデートの効果とハードウェアの安定を得るために、インストール後のリブートは必要ありません。

オンラインROMフラッシュ for VMware ESXi - アドバンスト消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen9サーバー

バージョン: 1.0.9 (K) **(オプション)**
ファイル名: CP047167.compsig; CP047167.zip

重要な注意！

重要な注意:

Ver 1.0.9(K)には、コンポーネントのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.0.9と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.9にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンKにアップグレードする必要はありません。

提供名:

アドバンスト消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen9サーバー

リリースバージョン:

1.0.9

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.0.7

以前のリビジョン:

1.0.7

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題:

最小消費電力上限値が特定のシステムで誤って計算されていた問題に対処しました。この修正により、POST中の最小上限値設定の正確さが向上します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。

ESXi 5.1、5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

ESXi 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

ESXi 6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

Ver 1.0.9(K)には、コンポーネントのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.0.9と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.9にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンKにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

最小消費電力上限値が特定のシステムで誤って計算されていた問題に対処しました。この修正により、POST中の最小上限値設定の正確さが向上します。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュ for Windows x64 - アドバンスト消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen9サーバー

バージョン: 1.0.9(I) **(オプション)**
ファイル名: cp037781.exe

重要な注意！

重要な注意:

Ver 1.0.9(I)には、コンポーネントのパッケージングに対する更新が含まれており、機能的にver 1.0.9と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.9にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(I)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

アドバンストパワーキャッピングマイクロコントローラーファームウェアfor HPE ProLiant Gen9サーバー

リリースバージョン:

1.0.9

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.0.7

以前のリビジョン:

1.0.7

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

最小消費電力上限値が特定のシステムで誤って計算されていた問題に対処しました。この修正により、POST中の最小上限値設定の正確さが向上します。

既知の問題点:

なし

事前要件

このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"Windows向けHPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver"がインストールされて実行されている必要があります。 ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。
「The software is not supported for installation on this system.
You must install the iLO Channel Interface driver to use this component.」

修正

重要な注意:

Ver 1.0.9(I)には、コンポーネントのパッケージングに対する更新が含まれており、機能的にver 1.0.9と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.9にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(I)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

最小消費電力上限値が特定のシステムで誤って計算されていた問題に対処しました。この修正により、POST中の最小上限値設定の正確さが向上します。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュ for Windows x64 - Power Management Controller for HPE ProLiant DL580 Gen9/Gen8サーバー

バージョン: 4.1 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp037764.exe

重要な注意！

重要な注意:

4.1 (F)は、Smart Update Managerを使用してMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加しました。 機能的にバージョン4.1と同等です。 ファームウェアをバージョン4.1にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(F)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

Power Management Controller

リリースバージョン:

4.1(F)

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

以前のリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

インストール手順が完了すると、スマートコンポーネントが不必要なリブートを促します。アップデートの効果とハードウェアの安定を得るために、インストール後のリブートは必要ありません。

事前要件

このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"Windows向けHPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver"がインストールされて実行されている必要があります。ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。
「The software is not supported for installation on this system.
You must install the iLO Channel Interface driver to use this component.」

拡張

重要な注意:

4.1 (F)は、Smart Update Managerを使用してMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加しました。 機能的にバージョン4.1と同等です。 ファームウェアをバージョン4.1にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(F)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

既知の問題点:

インストール手順が完了すると、スマートコンポーネントが不必要なリブートを促します。アップデートの効果とハードウェアの安定を得るために、インストール後のリブートは必要ありません。

ファームウェア - SASストレージディスク

先頭

オンライン HDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - VO000960JWTBK、VO001920JWTBL、VO003840JWTBN、VO007680JWTBP、MO000400JWTBQ、MO000800JWTBR、MO001600JWTBT、MO003200JWTBU、MO006400JWTCD、EO000400JWTBV、EO000800JWTCA、EO001600JWTCB ドライブ

バージョン: HPD9 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP049147.compsig; CP049147.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンライン HDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO000960JWTBK、VO001920JWTBL、VO003840JWTBN、VO007680JWTBP、 MO000400JWTBQ、MO000800JWTBR、MO001600JWTBT、MO003200JWTBU、 MO006400JWTCD、EO000400JWTBV、EO000800JWTCA、EO001600JWTCBドライブ

バージョン: HPD9 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9ad359dac1-HPD9-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9ad359dac1-HPD9-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンライン HDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO000960JWTBK、VO001920JWTBL、VO003840JWTBN、VO007680JWTBP、MO000400JWTBQ、MO000800JWTBR、MO001600JWTBT、MO003200JWTBU、MO006400JWTCD、EO000400JWTBV、EO000800JWTCA、EO001600JWTCB ドライブ

バージョン: HPD9 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp049146.compsig; cp049146.exe; cp049146.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EG000600JWEBHおよびEG000300JWEBFドライブ

バージョン: HPD5 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aa9e289524-HPD5-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aa9e289524-HPD5-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EG001800JWJNRおよびEG002400JWJNTドライブ

バージョン: HPD6 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b1c9eaf74c-HPD6-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b1c9eaf74c-HPD6-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG001800JWJNLおよびEG002400JWJNNドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP049141.compsig; CP049141.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MO0200JEFNV、MO0400JEFPA、MO0800JEFPB、MO1600JEFPC、EO0200JEFPD、EO0400JEFPE、およびEO0800JEFPFドライブ

バージョン: HPD3 (I) **(推奨)**

ファイル名: CP048401.compsig; CP048401.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG0300FCSPH、EG0450FCSPK、EG0600FCSPL、およびEG0900FCSPNドライブ

バージョン: HPD2 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP048255.compsig; CP048255.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000600JWEBHおよびEG000300JWEBFドライブ

バージョン: HPD5 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp049346.compsig; cp049346.exe; cp049346.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- VO000480JWDAR、VO000960JWDAT、VO001920JWDAUおよびVO003840JWDAVドライブ

バージョン: HPD8 (D) **(クリティカル)**
ファイル名: cp044739.compsig; cp044739.exe; cp044739.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for ESXi - MB014000JWRTH、MB012000JWRTFおよびMB010000JWRTEドライブ

バージョン: HPD2 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP048340.compsig; CP048340.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EK0800JVYPN、EO1600JVYPP、MK0800JVYPQ、およびMO1600JVYPRドライブ

バージョン: HPD7 (D) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-481c8ea9a7-HPD7-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-481c8ea9a7-HPD7-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD7以前のHPEファームウェアバージョンを使用しているSSDに影響を与え、40,000時間(つまり、4年、205日16時間)の動作でSSDの障害が発生すると、SSDの障害が発生した後、SSDもデータも回復できなくなります。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00097382en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB004000JWWQB、MB002000JWWQA、およびMB001000JWWPVドライブ

バージョン: HPD6 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-adb3ab8147-HPD6-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-adb3ab8147-HPD6-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB008000JWWQPおよびMB006000JWWQNドライブ

バージョン: HPD6 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ae6b41e855-HPD6-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ae6b41e855-HPD6-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB6000JEQUV およびMB8000JEQVAドライブ

バージョン: HPDB (I) **(推奨)**
ファイル名: CP048378.compsig; CP048378.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - VO000960RWUEV、VO001920RWUFA、VO003840RWUFB、VO007680RWUFC、VO000960RWUFD、VO001920RWUFE およびVO003840RWUFFドライブ

バージョン: HPD6 **(クリティカル)**
ファイル名: CP049363.compsig; CP049363.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- PMICビジーの問題の発生確率を低減しました。
- ドライブの電源投入時のシステムデータエラーを修正しました。
- PLP操作が開始されると、4KBのアラインされていないホスト書き込み領域に対する待機中のUnmap要求がキャンセルされ、PLPを正しく完了できるようになります。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG000600JWEBHおよびEG000300JWEBFドライブ

バージョン: HPD5 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP049345.compsig; CP049345.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG000600JWFUVおよびEG001200JWFVAドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048250.compsig; CP048250.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG000600JWJNPおよびEG001200JWJNQドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048251.compsig; CP048251.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG001800JWJNRおよびEG002400JWJNTドライブ

バージョン: HPD6 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048254.compsig; CP048254.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG0300JEHLV、EG0600JEHMA、EG0900JEHMB、およびEG1200JEHMCドライブ

バージョン: HPD5 (J) **(推奨)**
ファイル名: CP048261.compsig; CP048261.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH000300JWCPK、EH000600JWCPL、およびEH000900JWCPNドライブ

バージョン: HPD7 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048286.compsig; CP048286.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH000600JWCPFおよびEH000900JWCPHドライブ

バージョン: HPD9 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048272.compsig; CP048272.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH000900JWHPKおよびEH000600JWHPHドライブ

バージョン: HPD7 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP049135.compsig; CP049135.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュするこ

とだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH0300JDYTH、EH0450JDYTK、およびEH0600JDYTLドライブ

バージョン: HPD6 (J) **(推奨)**
ファイル名: CP048292.compsig; CP048292.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EO000400JWDKP、EO000800JWDKQ、EO001600JWDKR、MO000400JWDKU、MO000800JWDKV、MO001600JWDLA および MO003200JWDLBドライブ

バージョン: HPD2 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP048297.compsig; CP048297.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB002000JWFVNおよびMB004000JWFVPドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048318.compsig; CP048318.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB2000JFEMLおよびMB4000JFEMNドライブ

バージョン: HPD6 (I) **(クリティカル)**
ファイル名: CP048361.compsig; CP048361.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、緊急の電源オフの改善も含まれます。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB2000JFEPAおよびMB4000JFEPBドライブ

バージョン: HPD5 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP048362.compsig; CP048362.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB4000JEFNCおよびMB6000JEFNDドライブ

バージョン: HPD9 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP048367.compsig; CP048367.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB4000JEQNLおよびMB6000JEQNNドライブ

バージョン: HPDB (I) **(推奨)**
ファイル名: CP048368.compsig; CP048368.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - VO007680JWCNKおよびVO015300JWCNLドライブ

バージョン: HPD8 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: CP048415.compsig; CP048415.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi -MB004000JWFVKおよびMB006000JWFVLドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048320.compsig; CP048320.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi -VK000960JWSSQ、 VK001920JWSSR、VK003840JWSST、VK007680JWSSUおよびVO015300JWSSVドライブ

バージョン: HPD8 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: CP048446.compsig; CP048446.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EK0800JVYPN、EO1600JVYPP、MK0800JVYPQ、およびMO1600JVYPRドライブ

バージョン: HPD7 (D) **(クリティカル)**
ファイル名: cp048651.compsig; cp048651.exe; cp048651.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD7以前のHPEファームウェアバージョンを使用しているSSDに影響を与え、40,000時間(つまり、4年、205日16時間)の動作でSSDの障害が発生すると、SSDの障害が発生した後、SSDもデータも回復できなくなります。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00097382en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB004000JWWQB、MB002000JWWQA、およびMB001000JWWPVドライブ

バージョン: HPD6 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048653.compsig; cp048653.exe; cp048653.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB008000JWWQPおよびMB006000JWWQNドライブ

バージョン: HPD6 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048649.compsig; cp048649.exe; cp048649.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB008000JWWQPおよびMB006000JWWQNドライブ

バージョン: HPD6 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048426.compsig; CP048426.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB004000JWKGU ドライブ

バージョン: HPD2 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2c27a7a9a4-HPD2-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2c27a7a9a4-HPD2-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB006000JWKGN ドライブ

バージョン: HPD2 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a886842a99-HPD2-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a886842a99-HPD2-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB008000JWRTD ドライブ

バージョン: HPD2 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8b26d1ef02-HPD2-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8b26d1ef02-HPD2-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO000960RWUEV、VO001920RWUFA、VO003840RWUFB、VO007680RWUFC、VO000960RWUFD、VO001920RWUFE およびVO003840RWUFFドライブ

バージョン: HPD6 **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8fafc9efb2-HPD6-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8fafc9efb2-HPD6-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- PMICビジーの問題の発生確率を低減しました。
- ドライブの電源投入時のシステムデータエラーを修正しました。
- PLP操作が開始されると、4KBのアラインされていないホスト書き込み領域に対する待機中のUnmap要求がキャンセルされ、PLPを正しく完了できるようになります。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000300JWBHRドライブ

バージョン: HPD5 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2e4c61fc63-HPD5-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2e4c61fc63-HPD5-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000300JWFVBドライブ

バージョン: HPD3 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c5cd837c29-HPD3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c5cd837c29-HPD3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000300JWSJP、EG000600JWJNHおよびEG001200JWJNKドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-24fe569b72-HPD4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-24fe569b72-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000600JWFUVおよびEG001200JWFVAドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f0c91d2fe3-HPD4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f0c91d2fe3-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000600JWJNPおよびEG001200JWJNQドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bdfb8e99d9-HPD4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bdfb8e99d9-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG001800JWFVCドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-693b9a2853-HPD4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-693b9a2853-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG001800JWJNLおよびEG002400JWJNNドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-852266afdf-HPD4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-852266afdf-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG0300JEHLV、EG0600JEHMA、EG0900JEHMB、およびEG1200JEHMCドライブ

バージョン: HPD5 (I) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-31f91b8622-HPD5-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-31f91b8622-HPD5-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG0300JFCKA、EG0600JEMCV、EG0900JFCKB、およびEG1200JEMDAドライブ

バージョン: HPD6 (I) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ac3fda26eb-HPD6-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ac3fda26eb-HPD6-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG0600JETKA、EG0900JETKBおよびEG1200JETKCドライブ

バージョン: HPD8 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7505dfb5ae-HPD8-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7505dfb5ae-HPD8-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG1800JEHMDドライブ

バージョン: HPD6 (I) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8a2c06af48-HPD6-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8a2c06af48-HPD6-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG1800JEMDBドライブ

バージョン: HPD5 (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a38b25661-HPD5-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a38b25661-HPD5-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG1800JFHMHドライブ

バージョン: HPD8 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7fc5497116-HPD8-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7fc5497116-HPD8-

2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EH0600JDYTNドライブ

バージョン: HPD7 (H) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f3faa195ff-HPD7-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f3faa195ff-HPD7-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 古くなったデータが誤ってキャッシュから使用されるというデータ整合性のリスクを修正します。
- アライメントされていない重複書き込み読み取り操作で古いデータが返されるデータ整合性に関するリスクが修正されます。
- 不完全なデータが読み取られる可能性がある、回復されたエラーが発生した場合の順次読み取りおよび書き込みワークロード中のデータ整合性リスクを修正します。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EO000400JWDKP、EO000800JWDKQ、EO001600JWDKR、MO000400JWDKU、MO000800JWDKV、MO001600JWDLA、およびMO003200JWDLBドライブ

バージョン: HPD2 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5dcf26fa42-HPD2-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5dcf26fa42-HPD2-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB002000JWFVNおよびMB004000JWFVP ドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d7af557f47-HPD4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d7af557f47-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB004000JWFVKおよびMB006000JWFVLドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f6d00bd17e-HPD4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f6d00bd17e-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB008000JWJRQおよびMB006000JWJRPドライブ

バージョン: HPD9 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-faf39e0ff7-HPD9-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-faf39e0ff7-HPD9-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアリリースは、コマンドタイムアウトに対する追加の保護を提供します。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00117258en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB010000JWAYKおよびMB008000JWAYHドライブ

バージョン: HPD6 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6ec35faf90-HPD6-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6ec35faf90-HPD6-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB012000JWDFDドライブ

バージョン: HPD3 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aaf1014ede-HPD3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aaf1014ede-HPD3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB014000JWRTH、MB012000JWRTFおよびMB010000JWRTE ドライブ

バージョン: HPD2 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-10385ef3e6-HPD2-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-10385ef3e6-HPD2-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB014000JWTFDおよびMB012000JWTFCドライブ

バージョン: HPD8 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-4ba9615f90-HPD8-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-4ba9615f90-HPD8-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアリリースは、コマンドタイムアウトに対する追加の保護を提供します。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00117258en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB014000JWUDBドライブ

バージョン: HPD3 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cfd7436fcc-HPD3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cfd7436fcc-HPD3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB016000JWXKHドライブ

バージョン: HPD9 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8a0371a425-HPD9-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8a0371a425-HPD9-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB016000JXLBAおよびMB018000JXLAUドライブ

バージョン: HPD2 **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d550523365-HPD2-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d550523365-HPD2-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- VENDOR IDENTIFICATIONフィールドが "HP "から "HPE "に変更、および信頼性が向上しました。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB1000JVYZL、MB2000JVYZN、MB3000JVYZP、およびMB4000JVYZQドライブ

バージョン: HPD3 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b85516c7d2-HPD3-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b85516c7d2-HPD3-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000JFDSLおよびMB4000JFDSNドライブ

バージョン: HPD4 (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-46fc43ab26-HPD4-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-46fc43ab26-HPD4-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000JFEMLおよびMB4000JFEMNドライブ

バージョン: HPD6 (H) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-624b75c7e2-HPD6-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-624b75c7e2-HPD6-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、緊急の電源オフの改善も含まれます。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000JFEPAおよびMB4000JFEPBドライブ

バージョン: HPD5 (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-326de7c0f2-HPD5-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-326de7c0f2-HPD5-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000JEFNCおよびMB6000JEFNDドライブ

バージョン: HPD9 (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-af802bb412-HPD9-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-af802bb412-HPD9-

8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000JEQNLおよびMB6000JEQNNドライブ

バージョン: HPDB (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2cfaac41db-HPDB-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2cfaac41db-HPDB-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000JEXYAおよびMB6000JEXYBドライブ

バージョン: HPD9 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0f923833e9-HPD9-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0f923833e9-HPD9-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000JEQUVおよびMB8000JEQVAドライブ

バージョン: HPDB (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-df22f7effd-HPDB-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-df22f7effd-HPDB-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000JVYYVドライブ

バージョン: HPD2 (H) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0595c2a887-HPD2-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0595c2a887-HPD2-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000JVYZDおよびMB4000JVYZCドライブ

バージョン: HPD4 (F) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e800e8d3b9-HPD4-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e800e8d3b9-HPD4-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB8000JFECQドライブ

バージョン: HPD7 (G) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-252770cdda-HPD7-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-252770cdda-HPD7-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MM1000JEFRBおよびMM2000JEFRCドライブ

バージョン: HPD9 (B) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b04257b77b-HPD9-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b04257b77b-HPD9-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MM1000JFJTHおよびMM002000JWCNFドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-fa46c607d6-HPD4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-fa46c607d6-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MO000400JWUFT、MO000800JWUFU、MO001600JWUFV、MO003200JWUGA、MO006400JWUGB、EO000400JWUGC、EO000800JWUGD、およびEO001600JWUGEドライブ

バージョン: HPD3 (C) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ef93133161-HPD3-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ef93133161-HPD3-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MO0200JEFNV、MO0400JEFPA、MO0800JEFPB、MO1600JEFPC、EO0200JEFPD、EO0400JEFPE、およびEO0800JEFPFドライブ

バージョン: HPD3 (H) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-71af849f3b-HPD3-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-71af849f3b-HPD3-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MO0400JFFCF、 MO0800JFFCH、MO1600JFFCK、およびMO3200JFFCLドライブ

バージョン: HPD9 (D) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-edf6dcd906-HPD9-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-edf6dcd906-HPD9-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK0400JEABD、VK0800JEABEおよびVO1600JEABFドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8a7ecf7465-HPD4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8a7ecf7465-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 電源オン時間が70,000hrsを超えた場合、PM2Rは次の電源サイクルの後にハードウェアエラー(04/4C/A8)を報告し、Read/Writeコマンドを受け付けません。この修正により、ワークロードログの読み取り処理の最大登録数が70,000に達したときに、ストレージの場所の報告がアップデートされます。最後に登録された70,000番目のストレージの場所が、次の(70,001番目の)ストレージの場所として読み取られるように修正されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00111296en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO000800JWZJP、VO001600JWZJQ、VO003200JWZJRおよびVO006400JWZJTドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a07a420ed1-HPD4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a07a420ed1-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO007680JWCNKおよびVO015300JWCNLドライブ

バージョン: HPD8 (D) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-4c048aaeb0-HPD8-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-4c048aaeb0-HPD8-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO0480JFDGT、VO0960JFDGU、VO1920JFDGV、およびVO3840JFDHAドライブ

バージョン: HPD9 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8ed8893abd-HPD9-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8ed8893abd-HPD9-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO1920JEUQQドライブ

バージョン: HPD3 (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5d9e841607-HPD3-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5d9e841607-HPD3-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64)- EG0300FCSPH、EG0450FCSPK、EG0600FCSPL、およびEG0900FCSPNドライブ

バージョン: HPD2 (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7c1a1734f9-HPD2-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7c1a1734f9-HPD2-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフライ

ンでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) -VK000960JWSSQ、 VK001920JWSSR、VK003840JWSST、VK007680JWSSUおよびVO015300JWSSVドライブ

バージョン: HPD8 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1e51a57347-HPD8-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1e51a57347-HPD8-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64)- VO000480JWDAR、VO000960JWDAT、VO001920JWDAUおよびVO003840JWDAVドライブ

バージョン: HPD8 (D) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2eb810cdd7-HPD8-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2eb810cdd7-HPD8-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH000300JWCPK、EH000600JWCPLおよびEH000900JWCPNドライブ

バージョン: HPD7 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3d97759111-HPD7-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3d97759111-HPD7-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH000600JWCPFおよびEH000900JWCPHドライブ

バージョン: HPD9 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a05f29cef3-HPD9-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a05f29cef3-HPD9-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH000900JWHPKおよびEH000600JWHPHドライブ

バージョン: HPD7 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c7df7ceedb-HPD7-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c7df7ceedb-HPD7-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH000900JWHPP、EH000600JWHPNおよびEH000300JWHPLドライブ

バージョン: HPD7 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8d68452816-HPD7-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8d68452816-HPD7-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH0300JDXBA、EH0450JDXBBおよびEH0600JDXBCドライブ

バージョン: HPD5 (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1cbab97ff0-HPD5-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1cbab97ff0-HPD5-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH0300JDYTH、EH0450JDYTKおよびEH0600JDYTLドライブ

バージョン: HPD6 (I) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b9340d29be-HPD6-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b9340d29be-HPD6-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH0300JEDHC、EH0450JEDHDおよびEH0600JEDHEドライブ

バージョン: HPD4 (I) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8c4a212ff9-HPD4-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8c4a212ff9-HPD4-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EO000400PXDBQ、EO000800PXDCK、EO001600PXDCH、MO000800PXDBP、MO001600PXDCC、MO003200PXDCD、MO006400PXDCE、VO000960PXDBN、VO001920PXDBR、VO003840PXDBT、VO007680PXDBU、およびVO015300PXDBVドライブ

バージョン: HPD1 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-42aff4675b-HPD1-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-42aff4675b-HPD1-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュするこ

とだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - MB010000JWZHA、MB012000JWZHB、MB014000JWZHC、およびMB016000JWZHEドライブ

バージョン: HPD2 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cf0b6cabe1-HPD2-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cf0b6cabe1-HPD2-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- MO000800JXBEV、MO001600JXBFP、MO003200JXBFQ、MO006400JXBFR、MO000960JXBFA、MO001920JXBFT、MO003840JXBFU、MO007680JXBGA、MO015360JXBFV、EO000400JXBEU、EO000800JXBFLおよびEO001600JXBFNドライブ

バージョン: HPD1 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-24384980ec-HPD1-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-24384980ec-HPD1-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- VO000960JWZJF、VO001920JWZJH、VO003840JWZJK、VO007680JWZJLおよびVO015360JWZJNドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-35fd24601f-HPD4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-35fd24601f-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)-MO000400JWFWN、MO000800JWFWP、MO001600JWFWQ、MO003200JWFWR、MO000960JWFWT、MO001920JWFWUおよびMO003840JWFWVドライブ

バージョン: HPD5 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b8a60fbe9a-HPD5-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b8a60fbe9a-HPD5-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG000300JWBHRドライブ

バージョン: HPD5 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048248.compsig; CP048248.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG000300JWFVBドライブ

バージョン: HPD3 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048245.compsig; CP048245.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG000300JWSJP、EG000600JWJNHおよびEG001200JWJNKドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP049144.compsig; CP049144.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG001800JWFVC ライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048253.compsig; CP048253.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG0300JFCKA、EG0600JEMCV、EG0900JFCKB、およびEG1200JEMDAドライブ

バージョン: HPD6 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP048263.compsig; CP048263.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG0600JETKA、EG0900JETKB、およびEG1200JETKCドライブ

バージョン: HPD8 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048264.compsig; CP048264.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG1800JEHMDドライブ

バージョン: HPD6 (J) **(推奨)**
ファイル名: CP048265.compsig; CP048265.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG1800JEMDBドライブ

バージョン: HPD5 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP048266.compsig; CP048266.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG1800JFHMHドライブ

バージョン: HPD8 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048270.compsig; CP048270.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH000900JWHPP、EH000600JWHPNおよびEH000300JWHPLドライブ

バージョン: HPD7 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP049136.compsig; CP049136.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH0300JDXBA、EH0450JDXBB、およびEH0600JDXBCドライブ

バージョン: HPD5 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP048291.compsig; CP048291.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH0300JEDHC、EH0450JEDHD、およびEH0600JEDHEドライブ

バージョン: HPD4 (J) **(推奨)**
ファイル名: CP048293.compsig; CP048293.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH0600JDYTNドライブ

バージョン: HPD7 (H) **(クリティカル)**
ファイル名: CP048294.compsig; CP048294.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 古くなったデータが誤ってキャッシュから使用されるというデータ整合性のリスクを修正します。
- アライメントされていない重複書き込み読み取り操作で古いデータが返されるデータ整合性に関するリスクが修正されます。
- 不完全なデータが読み取られる可能性がある、回復されたエラーが発生した場合の順次読み取りおよび書き込みワークロード中のデータ整合性リスクを修正します。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EK0800JVYPN、EO1600JVYPP、MK0800JVYPQ、およびMO1600JVYPRドライブ

バージョン: HPD7 (D) **(クリティカル)**
ファイル名: CP048429.compsig; CP048429.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD7以前のHPEファームウェアバージョンを使用しているSSDに影響を与え、40,000時間(つまり、4年、205日16時間)の動作でSSDの障害が発生すると、SSDの障害が発生した後、SSDもデータも回復できなくなります。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00097382en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EO000400PXDBQ、EO000800PXDCK、EO001600PXDCH、MO000800PXDBP、MO001600PXDCC、MO003200PXDCD、MO006400PXDCE、VO000960PXDBN、VO001920PXDBR、VO003840PXDBT、VO007680PXDBU、およびVO015300PXDBVドライブ

バージョン: HPD1 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP049165.compsig; CP049165.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB004000JWKGUドライブ

バージョン: HPD2 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048321.compsig; CP048321.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB004000JWWQB、MB002000JWWQA、および MB001000JWWPVドライブ

バージョン: HPD6 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048431.compsig; CP048431.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB006000JWKGNドライブ

バージョン: HPD2 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048330.compsig; CP048330.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB008000JWJRQおよび MB006000JWJRP ドライブ

バージョン: HPD9 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: CP049132.compsig; CP049132.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアリリースは、コマンドタイムアウトに対する追加の保護を提供します。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00117258en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB008000JWRTD ドライブ

バージョン: HPD2 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048332.compsig; CP048332.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB010000JWAYKおよびMB008000JWAYHドライブ

バージョン: HPD6 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048334.compsig; CP048334.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB010000JWZHA、MB012000JWZHB、MB014000JWZHC、およびMB016000JWZHEドライブ

バージョン: HPD2 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP049051.compsig; CP049051.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB012000JWDFDドライブ

バージョン: HPD3 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048404.compsig; CP048404.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB014000JWTFDおよびMB012000JWTFCドライブ

バージョン: HPD8 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: CP049120.compsig; CP049120.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアリリースは、コマンドタイムアウトに対する追加の保護を提供します。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00117258en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB014000JWUDB ドライブ

バージョン: HPD3 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048341.compsig; CP048341.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB016000JWXKHドライブ

バージョン: HPD9 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP049124.compsig; CP049124.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB016000JXLBAおよびMB018000JXLAUドライブ

バージョン: HPD2 **(推奨)**
ファイル名: CP049256.compsig; CP049256.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- VENDOR IDENTIFICATIONフィールドが "HP "から "HPE "に変更、および信頼性が向上しました。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB1000JVYZL、MB2000JVYZN、MB3000JVYZP、およびMB4000JVYZQドライブ

バージョン: HPD3 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP048344.compsig; CP048344.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB2000JFDSLおよびMB4000JFDSNドライブ

バージョン: HPD4 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP048347.compsig; CP048347.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB4000JEXYAおよびMB6000JEXYBドライブ

バージョン: HPD9 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP048369.compsig; CP048369.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000JVYYVドライブ

バージョン: HPD2 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP048379.compsig; CP048379.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000JVYZDおよびMB4000JVYZCドライブ

バージョン: HPD4 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP048380.compsig; CP048380.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB8000JFECQドライブ

バージョン: HPD7 (H) **(推奨)**
ファイル名: CP048382.compsig; CP048382.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MM1000JEFRBおよびMM2000JEFRCドライブ

バージョン: HPD9 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048391.compsig; CP048391.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MM1000JFJTHおよびMM002000JWCNFドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048392.compsig; CP048392.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO000400JWFWN、MO000800JWFWP、MO001600JWFWQ、MO003200JWFWR、MO000960JWFWT、MO001920JWFWU、およびMO003840JWFWVドライブ

バージョン: HPD5 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP048393.compsig; CP048393.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO000400JWUFT、MO000800JWUFU、MO001600JWUFV、MO003200JWUGA、MO006400JWUGB、EO000400JWUGC、EO000800JWUGD、およびEO001600JWUGEドライブ

バージョン: HPD3 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP048397.compsig; CP048397.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO000800JXBEV、MO001600JXBFP、MO003200JXBFQ、MO006400JXBFR、MO000960JXBFA、MO001920JXBFT、MO003840JXBFU、MO007680JXBGA、MO015360JXBFV、EO000400JXBEU、EO000800JXBFLおよびEO001600JXBFNドライブ

バージョン: HPD1 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP049157.compsig; CP049157.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO0400JFFCF、MO0800JFFCH、MO1600JFFCK、およびMO3200JFFCLドライブ

バージョン: HPD9 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP048439.compsig; CP048439.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK0400JEABD、VK0800JEABE、およびVO1600JEABFドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: CP049410.compsig; CP049410.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 電源オン時間が70,000hrsを超えた場合、PM2Rは次の電源サイクルの後にハードウェアエラー(04/4C/A8)を報告し、Read/Writeコマンドを受け付けません。この修正により、ワークロードログの読み取り処理の最大登録数が70,000に達したときに、ストレージの場所の報告がアップデートされます。最後に登録された70,000番目のストレージの場所が、次の(70,001番目の)ストレージの場所として読み取られるように修正されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00111296en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO000480JWDAR、VO000960JWDAT、VO001920JWDAUおよびVO003840JWDAVドライブ

バージョン: HPD8 (G) **(クリティカル)**
ファイル名: CP048445.compsig; CP048445.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO000800JWZJP、VO001600JWZJQ、VO003200JWZJRおよびVO006400JWZJTドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048454.compsig; CP048454.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO000960JWZJF、VO001920JWZJH、VO003840JWZJK、 VO007680JWZJLおよびVO015360JWZJNドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048455.compsig; CP048455.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO0480JFDGT、VO0960JFDGU、VO1920JFDGV、およびVO3840JFDHAドライブ

バージョン: HPD9 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP048437.compsig; CP048437.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO1920JEUQQドライブ

バージョン: HPD3 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP048419.compsig; CP048419.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000600JWFUVおよびEG001200JWFVAドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048452.compsig; cp048452.exe; cp048452.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフライ

ンでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH000300JWCPK、EH000600JWCPL、およびEH000900JWCPNドライブ

バージョン: HPD7 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048510.compsig; cp048510.exe; cp048510.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB004000JWKGUドライブ

バージョン: HPD2 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048666.compsig; cp048666.exe; cp048666.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB006000JWKGN ドライブ

バージョン: HPD2 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048677.compsig; cp048677.exe; cp048677.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB008000JWRTD ドライブ

バージョン: HPD2 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048670.compsig; cp048670.exe; cp048670.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB012000JWDFDドライブ

バージョン: HPD3 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048634.compsig; cp048634.exe; cp048634.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB016000JWXKHドライブ

バージョン: HPD9 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp049126.compsig; cp049126.exe; cp049126.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000JVYYVドライブ

バージョン: HPD2 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp048615.compsig; cp048615.exe; cp048615.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB8000JFECQドライブ

バージョン: HPD7 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp048619.compsig; cp048619.exe; cp048619.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000300JWBHRドライブ

バージョン: HPD5 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048436.compsig; cp048436.exe; cp048436.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000300JWFVB ドライブ

バージョン: HPD3 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048433.compsig; cp048433.exe; cp048433.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000300JWSJP、EG000600JWJNHおよびEG001200JWJNKドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp049143.compsig; cp049143.exe; cp049143.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000600JWJNPおよびEG001200JWJNQドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048457.compsig; cp048457.exe; cp048457.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG001800JWFVCドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048459.compsig; cp048459.exe; cp048459.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG001800JWJNLおよびEG002400JWJNNドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp049140.compsig; cp049140.exe; cp049140.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG001800JWJNRおよびEG002400JWJNTドライブ

バージョン: HPD6 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048242.compsig; cp048242.exe; cp048242.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG0300JEHLV、EG0600JEHMA、EG0900JEHMB、およびEG1200JEHMCドライブ

バージョン: HPD5 (H) **(推奨)**
ファイル名: cp048482.compsig; cp048482.exe; cp048482.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG0300JFCKA、EG0600JEMCV、EG0900JFCKB、およびEG1200JEMDAドライブ

バージョン: HPD6 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp048483.compsig; cp048483.exe; cp048483.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG0600JETKA、EG0900JETKB、およびEG1200JETKCドライブ

バージョン: HPD8 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048485.compsig; cp048485.exe; cp048485.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG1800JEHMDドライブ

バージョン: HPD6 (H) **(推奨)**
ファイル名: cp048507.compsig; cp048507.exe; cp048507.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG1800JEMDBドライブ

バージョン: HPD5 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp048508.compsig; cp048508.exe; cp048508.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG1800JFHMHドライブ

バージョン: HPD8 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048509.compsig; cp048509.exe; cp048509.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH000600JWCPFおよびEH000900JWCPHドライブ

バージョン: HPD9 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048516.compsig; cp048516.exe; cp048516.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH000900JWHPKおよびEH000600JWHPHドライブ

バージョン: HPD7 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp049134.compsig; cp049134.exe; cp049134.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH0300JDYTH、EH0450JDYTK、およびEH0600JDYTLドライブ

バージョン: HPD6 (H) **(推奨)**
ファイル名: cp048515.compsig; cp048515.exe; cp048515.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH0600JDYTNドライブ

バージョン: HPD7 (F) **(クリティカル)**
ファイル名: cp048553.compsig; cp048553.exe; cp048553.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 古くなったデータが誤ってキャッシュから使用されるというデータ整合性のリスクを修正します。
- アライメントされていない重複書き込み読み取り操作で古いデータが返されるデータ整合性に関するリスクが修正されます。
- 不完全なデータが読み取られる可能性がある、回復されたエラーが発生した場合の順次読み取りおよび書き込みワークロード中のデータ整合性リスクを修正します。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EO000400JWDKP、EO000800JWDKQ、EO001600JWDKR、MO000400JWDKU、MO000800JWDKV、MO001600JWDLA、およびMO003200JWDLBドライブ

バージョン: HPD2 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp048555.compsig; cp048555.exe; cp048555.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB002000JWFVNおよびMB004000JWFVPドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048560.compsig; cp048560.exe; cp048560.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB004000JWFVKおよびMB006000JWFVLドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048562.compsig; cp048562.exe; cp048562.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB008000JWJRQおよび MB006000JWJRPドライブ

バージョン: HPD9 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: cp049130.compsig; cp049130.exe; cp049130.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアリリースは、コマンドタイムアウトに対する追加の保護を提供します。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00117258en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB010000JWAYKおよびMB008000JWAYHドライブ

バージョン: HPD6 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048672.compsig; cp048672.exe; cp048672.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB014000JWRTH、MB012000JWRTFおよびMB010000JWRTE ドライブ

バージョン: HPD2 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp048547.compsig; cp048547.exe; cp048547.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB014000JWTFDおよびMB012000JWTFCドライブ

バージョン: HPD8 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: cp049123.compsig; cp049123.exe; cp049123.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアリリースは、コマンドタイムアウトに対する追加の保護を提供します。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00117258en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB014000JWUDB ドライブ

バージョン: HPD3 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048563.compsig; cp048563.exe; cp048563.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB016000JXLBAおよび MB018000JXLAUドライブ

バージョン: HPD2 **(推奨)**
ファイル名: cp049254.compsig; cp049254.exe; cp049254.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- VENDOR IDENTIFICATIONフィールドが "HP "から "HPE "に変更、および信頼性が向上しました。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB1000JVYZL、MB2000JVYZN、MB3000JVYZP、およびMB4000JVYZQドライブ

バージョン: HPD3 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp048569.compsig; cp048569.exe; cp048569.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB2000JFDSLおよびMB4000JFDSNドライブ

バージョン: HPD4 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp048589.compsig; cp048589.exe; cp048589.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB2000JFEMLおよびMB4000JFEMNドライブ

バージョン: HPD6 (G) **(クリティカル)**
ファイル名: cp048590.compsig; cp048590.exe; cp048590.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、緊急の電源オフの改善も含まれます。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB2000JFEPAおよびMB4000JFEPBドライブ

バージョン: HPD5 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp048591.compsig; cp048591.exe; cp048591.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB4000JEFNCおよびMB6000JEFNDドライブ

バージョン: HPD9 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp048607.compsig; cp048607.exe; cp048607.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB4000JEQNLおよびMB6000JEQNNドライブ

バージョン: HPDB (G) **(推奨)**
ファイル名: cp048608.compsig; cp048608.exe; cp048608.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB4000JEXYAおよびMB6000JEXYBドライブ

バージョン: HPD9 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp048609.compsig; cp048609.exe; cp048609.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000JEQUV およびMB8000JEQVAドライブ

バージョン: HPDB (G) **(推奨)**
ファイル名: cp048614.compsig; cp048614.exe; cp048614.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000JVYZDおよびMB4000JVYZCドライブ

バージョン: HPD4 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp048617.compsig; cp048617.exe; cp048617.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MM1000JEFRBおよびMM2000JEFRCドライブ

バージョン: HPD9 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048625.compsig; cp048625.exe; cp048625.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MM1000JFJTHおよびMM002000JWCNFドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048626.compsig; cp048626.exe; cp048626.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MO0000400JWUFT、MO0000800JWUFU、MO0001600JWUFV、MO0003200JWUGA、MO0006400JWUGB、EO0000400JWUGC、EO0000800JWUGD、およびEO0001600JWUGEドライブ

バージョン: HPD3 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp048628.compsig; cp048628.exe; cp048628.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MO0200JEFNV、MO0400JEFPA、MO0800JEFPB、MO1600JEFPC、EO0200JEFPD、EO0400JEFPE、およびEO0800JEFPFドライブ

バージョン: HPD3 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp048630.compsig; cp048630.exe; cp048630.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MO0400JFFCF、MO0800JFFCH、MO1600JFFCK、およびMO3200JFFCLドライブ

バージョン: HPD9 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp048661.compsig; cp048661.exe; cp048661.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO007680JWCNKおよびVO015300JWCNLドライブ

バージョン: HPD8 (D) **(クリティカル)**
ファイル名: cp048644.compsig; cp048644.exe; cp048644.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO0480JFDGT、VO0960JFDGU、VO1920JFDGV、およびVO3840JFDHAドライブ

バージョン: HPD9 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp048660.compsig; cp048660.exe; cp048660.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO1920JEUQQドライブ

バージョン: HPD3 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp048645.compsig; cp048645.exe; cp048645.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) -VK000960JWSSQ、 VK001920JWSSR、VK003840JWSST、VK007680JWSSUおよびVO015300JWSSVドライブ

バージョン: HPD8 (D) **(クリティカル)**
ファイル名: cp048665.compsig; cp048665.exe; cp048665.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO000960RWUEV、VO001920RWUFA、VO003840RWUFB、VO007680RWUFC、VO000960RWUFD、VO001920RWUFE およびVO003840RWUFFドライブ

バージョン: HPD6 **(クリティカル)**
ファイル名: cp049365.compsig; cp049365.exe; cp049365.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- PMICビジーの問題の発生確率を低減しました。
- ドライブの電源投入時のシステムデータエラーを修正しました。
- PLP操作が開始されると、4KBのアラインされていないホスト書き込み領域に対する待機中のUnmap要求がキャンセルされ、PLPを正しく完了できるようになります。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH000900JWHPP、EH000600JWHPNおよびEH000300JWHPLドライブ

バージョン: HPD7 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp049138.compsig; cp049138.exe; cp049138.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - EO000400PXDBQ、EO000800PXDCK、EO001600PXDCH、MO000800PXDBP、MO001600PXDCC、MO003200PXDCD、MO006400PXDCE、VO000960PXDBN、VO001920PXDBR、VO003840PXDBT、VO007680PXDBU、およびVO015300PXDBVドライブ

バージョン: HPD1 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp049162.compsig; cp049162.exe; cp049162.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB010000JWZHA、MB012000JWZHB、MB014000JWZHC、およびMB016000JWZHEドライブ

バージョン: HPD2 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp049052.compsig; cp049052.exe; cp049052.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - VO000800JWZJP、VO001600JWZJQ、VO003200JWZJRおよびVO006400JWZJTドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048468.compsig; cp048468.exe; cp048468.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MO000400JWFWN、MO000800JWFWP、MO001600JWFWQ、MO003200JWFWR、MO000960JWFWT、MO001920JWFWU、およびMO003840JWFWVドライブ

バージョン: HPD5 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp048627.compsig; cp048627.exe; cp048627.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- EG0300FCSPH、EG0450FCSPK、EG0600FCSPL、およびEG0900FCSPNドライブ

バージョン: HPD2 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp048481.compsig; cp048481.exe; cp048481.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- EH0300JDXBA、EH0450JDXBB、およびEH0600JDXBCドライブ

バージョン: HPD5 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp048517.compsig; cp048517.exe; cp048517.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- EH0300JEDHC、EH0450JEDHD、およびEH0600JEDHEドライブ

バージョン: HPD4 (I) **(推奨)**
ファイル名: cp048520.compsig; cp048520.exe; cp048520.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MO000800JXBEV、MO001600JXBFP、MO003200JXBFQ、MO006400JXBFR、MO000960JXBFA、MO001920JXBFT、MO003840JXBFU、MO007680JXBGA、MO015360JXBFV、EO000400JXBEU、EO000800JXBFLおよびEO001600JXBFNドライブ

バージョン: HPD1 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp049152.compsig; cp049152.exe; cp049152.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフライ

ンでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- VK0400JEABD、VK0800JEABE、およびVO1600JEABFドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: cp049412.compsig; cp049412.exe; cp049412.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 電源オン時間が70,000hrsを超えた場合、PM2Rは次の電源サイクルの後にハードウェアエラー(04/4C/A8)を報告し、Read/Writeコマンドを受け付けません。この修正により、ワークロードログの読み取り処理の最大登録数が70,000に達したときに、ストレージの場所の報告がアップデートされます。最後に登録された70,000番目のストレージの場所が、次の(70,001番目の)ストレージの場所として読み取られるように修正されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00111296en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- VO000960JWZJF、VO001920JWZJH、VO003840JWZJK、 VO007680JWZJLおよびVO015360JWZJNドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048466.compsig; cp048466.exe; cp048466.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

ファームウェア - SATAストレージディスク

先頭

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MM1000GFJTEドライブ

バージョン: HPG5 (F) **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95af9a555e-HPG5-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95af9a555e-HPG5-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB1000GVYZE、MB2000GVYZF、MB3000GVYZH、およびMB4000GVYZKドライブ

バージョン: HPG4 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP048343.compsig; CP048343.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB004000GWWQH、MB002000GWWQF、およびMB001000GWWQEドライブ

バージョン: HPG3 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-12304c1aca-HPG3-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-12304c1aca-HPG3-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - VK000480GZCNE、VK000960GZCNF、VK001920GZCNHおよびVK003840GZCNKドライブ

バージョン: HPG1 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-befd42bd64-HPG1-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-befd42bd64-HPG1-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Linux(x64)- MK000480GWXFF、 MK000960GWXFH、MK001920GWXFKおよびMK003840GWXFLドライブ

バージョン: HPG2 **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8e1e8083c5-HPG2-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8e1e8083c5-HPG2-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

このFWリリースは、ドライブのフォアグラウンドメディアスキャンをアクティブ化するのに十分なアイドル時間がホストシステムから提供されない場合の問題に対処する、拡張メディアスキャンアルゴリズムを展開します。これは、ドライブの長期的な信頼性を確保するために必要です。また、いくつかの軽微な問題にも対処します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB004000GWWQH、MB002000GWWQF、およびMB001000GWWQEドライブ

バージョン: HPG3 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP048430.compsig; CP048430.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MK003840GWHTEドライブ

バージョン: HPG8 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048383.compsig; CP048383.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MK0960GECQKドライブ

バージョン: HPG3 (L) **(クリティカル)**
ファイル名: CP048387.compsig; CP048387.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフライ

ンでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ファームウェアは、非整列シーケンシャル書き込み操作に関連する断続的なデータの破損問題を修正します。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MM1000GFJTEドライブ

バージョン: HPG5 (F) **(オプション)**
ファイル名: CP048389.compsig; CP048389.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - VK000480GZCNE、VK000960GZCNF、VK001920GZCNHおよびVK003840GZCNKドライブ

バージョン: HPG1 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP049156.compsig; CP049156.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - XP0120GFJSLおよびXP0240GFJSNドライブ

バージョン: HPS4 (J) **(推奨)**
ファイル名: CP048423.compsig; CP048423.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB004000GWWQH、MB002000GWWQF、およびMB001000GWWQEドライブ

バージョン: HPG3 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp048652.compsig; cp048652.exe; cp048652.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - VK000480GZCNE、VK000960GZCNF、VK001920GZCNHおよびVK003840GZCNKドライブ

バージョン: HPG1 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp049155.compsig; cp049155.exe; cp049155.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows(x64)- MK000480GWXFF、 MK000960GWXFH、MK001920GWXFKおよびMK003840GWXFLドライブ

バージョン: HPG2 **(推奨)**
ファイル名: cp049300.compsig; cp049300.exe; cp049300.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

このFWリリースは、ドライブのフォアグラウンドメディアスキャンをアクティブ化するのに十分なアイドル時間がホストシステムから提供されない場合の問題に対処する、拡張メディアスキャンアルゴリズムを展開します。これは、ドライブの長期的な信頼性を確保するために必要です。また、いくつかの軽微な問題にも対処します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB001000GWCBCおよびMB002000GWCBDドライブ

バージョン: HPG6 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP048300.compsig; CP048300.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB001000GWFWKおよびMB002000GWFWLドライブ

バージョン: HPG6 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP048302.compsig; CP048302.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB001000GWJAN、MB002000GWFWAおよびMB004000GWFWBドライブ

バージョン: HPG1 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP048313.compsig; CP048313.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB008000GWWQUおよびMB006000GWWQTドライブ

バージョン: HPG2 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP048425.compsig; CP048425.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB014000GWRTN、MB012000GWRTLおよびMB010000GWRTKドライブ

バージョン: HPG2 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP048337.compsig; CP048337.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB1000GDUNU、MB2000GDUNV、MB3000GDUPA、およびMB4000GDUPBドライブ

バージョン: HPG4 (K) **(推奨)**
ファイル名: CP048342.compsig; CP048342.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB4000GEFNAおよびMB6000GEFNBドライブ

バージョン: HPG6 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP048365.compsig; CP048365.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - VK000240GWJPD、VK000480GWJPE、VK000960GWJPF、VK001920GWJPH、VK003840GWJPK、MK000240GWKVK、MK000480GWJPN、MK000960GWJPPおよびMK001920GWJPQドライブ

バージョン: HPG5 (F) **(クリティカル)**
ファイル名: CP048444.compsig; CP048444.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- まれなリンク損失の問題を修正し、ドライブの信頼性を向上させます。
- ドライブにHPG5ファームウェアがダウンロードされると、新しいHPG5ファームウェアがそのドライブでアクティブになります。
- ドライブの次の電源再投入後に、新しいドライブブートローダーコードがアクティブ化されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00072768en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB004000GWKGV ドライブ

バージョン: HPG1 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ca21e169e2-HPG1-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ca21e169e2-HPG1-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWJPD、VK000480GWJPE、VK000960GWJPF、VK001920GWJPH、VK003840GWJPK、MK000240GWKVK、MK000480GWJPN、MK000960GWJPP、およびMK001920GWJPQドライブ

バージョン: HPG5 (F) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aef2a690c9-HPG5-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aef2a690c9-HPG5-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- まれなリンク損失の問題を修正し、ドライブの信頼性を向上させます。
- ドライブにHPG5ファームウェアがダウンロードされると、新しいHPG5ファームウェアがそのドライブでアクティブになります。
- ドライブの次の電源再投入後に、新しいドライブブートローダーコードがアクティブ化されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00072768en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EK000200GWEPD、EK000400GWEPE、EK000800GWEPFおよびEK001600GWEPHドライブ

バージョン: HPG3 (G) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5bf9355926-HPG3-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5bf9355926-HPG3-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB001000GWCBCおよびMB002000GWCBDドライブ

バージョン: HPG6 (F) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-68b12e54d2-HPG6-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-68b12e54d2-HPG6-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB001000GWFWKおよびMB002000GWFWLドライブ

バージョン: HPG6 (E) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bfc4af697b-HPG6-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bfc4af697b-HPG6-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB001000GWJAN、MB002000GWFWAおよびMB004000GWFWBドライブ

バージョン: HPG1 (F) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d39e7a7e75-HPG1-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d39e7a7e75-HPG1-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB002000GWFGHおよびMB001000GWFGFドライブ

バージョン: HPG3 (H) **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0b575b5895-HPG3-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0b575b5895-HPG3-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB006000GWBXQおよびMB008000GWBYLドライブ

バージョン: HPG8 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a1fd19f9ca-HPG8-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a1fd19f9ca-HPG8-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB006000GWJRRおよびMB008000GWJRTドライブ

バージョン: HPG4 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c993b31232-HPG4-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c993b31232-HPG4-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB006000GWKGRドライブ

バージョン: HPG1 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7f2a26e6d0-HPG1-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7f2a26e6d0-HPG1-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュする

ことだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB008000GWRTC ドライブ

バージョン: HPG1 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-82894b9e0a-HPG1-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-82894b9e0a-HPG1-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB008000GWWQUおよびMB006000GWWQTドライブ

バージョン: HPG2 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-18e328f036-HPG2-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-18e328f036-HPG2-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB010000GWAYNおよびMB008000GWAYLドライブ

バージョン: HPG5 (G) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cc819d4bff-HPG5-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cc819d4bff-HPG5-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このコードは、アライメントされていない書き込みコマンドに関連する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。このサプライヤーの継続的なラボテストで発見されました。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB012000GWDFEドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-059b8654a6-HPG3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-059b8654a6-HPG3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB012000GWTFEおよびMB014000GWTFFドライブ

バージョン: HPG7 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b78255e146-HPG7-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b78255e146-HPG7-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB014000GWRTN、MB012000GWRTLおよびMB010000GWRTKドライブ

バージョン: HPG2 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6b7ce3da0e-HPG2-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6b7ce3da0e-HPG2-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB014000GWUDAドライブ

バージョン: HPG2 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-41cdb1c9da-HPG2-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-41cdb1c9da-HPG2-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB016000GWXKKドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e4f147cdd2-HPG3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e4f147cdd2-HPG3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB1000GDUNU、MB2000GDUNV、MB3000GDUPA、および MB4000GDUPB ドライブ

バージョン: HPG4 (J) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3ab4c70e64-HPG4-10.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3ab4c70e64-HPG4-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB1000GVYZE、MB2000GVYZF、MB3000GVYZH、およびMB4000GVYZKドライブ

バージョン: HPG4 (J) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a7010918e-HPG4-10.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a7010918e-HPG4-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000GCWLT、MB3000GCWLUおよびMB4000GCWLVド

ライブ

バージョン: HPG4 (J) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2e70ce7412-HPG4-10.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2e70ce7412-HPG4-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000GFEMHおよびMB4000GFEMKドライブ

バージョン: HPG6 (I) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-70e3962f98-HPG6-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-70e3962f98-HPG6-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、コードのダウンロード後に設定の保存を修正し、緊急電源オフの改善を含みます。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000GEFNAおよびMB6000GEFNBドライブ

バージョン: HPG6 (J) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-40277d55d3-HPG6-10.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-40277d55d3-HPG6-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000GEQNHおよびMB6000GEQNKドライブ

バージョン: HPGB (I) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bfc95f0628-HPGB-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bfc95f0628-HPGB-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、コードのダウンロード後に設定の保存を修正し、緊急電源オフの改善を含みます。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GEBTPドライブ

バージョン: HPG4 (I) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3243fce9a0-HPG4-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3243fce9a0-HPG4-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GEQUTおよびMB8000GEQUUドライブ

バージョン: HPGB (I) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1d7f19120b-HPGB-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1d7f19120b-HPGB-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中でのみ検出されました。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GEXXVドライブ

バージョン: HPG2 (J) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a629fcea59-HPG2-10.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a629fcea59-HPG2-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GVYYUドライブ

バージョン: HPG2 (I) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bdc37cb37f-HPG2-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bdc37cb37f-HPG2-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GVYZBおよびMB4000GVYZAドライブ

バージョン: HPG4 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a7d4aa47f-HPG4-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a7d4aa47f-HPG4-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB8000GFECRドライブ

バージョン: HPG6 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6d922fc9a8-HPG6-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6d922fc9a8-HPG6-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MK000240GWCEU、MK000480GWCEV、MK000960GWCFAおよびMK001920GWCFBドライブ

バージョン: HPG3 (G) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7677644a25-HPG3-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7677644a25-HPG3-

7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MK003840GWHTEドライブ

バージョン: HPG8 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ac20a1e1c6-HPG8-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ac20a1e1c6-HPG8-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MK0960GECQKドライブ

バージョン: HPG3 (K) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3e34285be7-HPG3-11.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3e34285be7-HPG3-11.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ファームウェアは、非整列シーケンシャル書き込み操作に関連する断続的なデータの破損問題を修正します。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MM1000GEFQVおよびMM2000GEFRAドライブ

バージョン: HPG8 (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ec908c3650-HPG8-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ec908c3650-HPG8-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MR000240GWFLU、MR000480GWFLV、VR000480GWFMD、MR000960GWFMA、VR000960GWFME、MR001920GWFMB、およびVR001920GWFMCドライブ

バージョン: HPGG (B) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9196d4f720-HPGG-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9196d4f720-HPGG-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000150GWCNN、VK000240GWCNP、VK000480GWCNQ、VK000960GWCNR、およびVK001600GWCNTドライブ

バージョン: HPG1 (F) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6e3845def5-HPG1-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6e3845def5-HPG1-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWCFD、VK000480GWCFE、VK000960GWCFF、VK001920GWCFHおよびVK003840GWCFKドライブ

バージョン: HPG3 (G) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f42438de3d-HPG3-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f42438de3d-HPG3-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWEZB、VK000480GWEZC、VK000960GWEZD、VK001920GWEZE、MK000240GWEZF、MK000480GWEZH、MK000960GWEZK、およびMK001920GWHRUドライブ

バージョン: HPGG (B) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3db7640485-HPGG-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3db7640485-HPGG-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWSRQ、VK000480GWSRR、VK000960GWSRT、VK001920GWSRU、およびVK003840GWSRVドライブ

バージョン: HPG4 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-db687966b4-HPG4-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-db687966b4-HPG4-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWTSV、VK000480GWTTA、VK000960GWTTB、VK001920GWTTC、VK003840GWTTD、MK000480GWTTH、MK000960GWTTK、MK001920GWTTLおよびMK003840GWTTNドライブ

バージョン: HPG6 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c566d63ca0-HPG6-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c566d63ca0-HPG6-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GXAWE、VK000480GXAWK、VK000960GXAWL、VK001920GXAWN、VK003840GXAWP、VK007680GXAWQ、MK000480GXAWF、MK000960GXAXB、MK001920GXAWR、MK003840GXAWT、VR000240GXBBL、MR000480GXBGH、およびMR000960GXBGKドライブ

バージョン: HPG1 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8f9bf23306-HPG1-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8f9bf23306-HPG1-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000480GWSXF、VK000960GWSXH、VK001920GWSXK、MK000480GWUGF、MK000960GWUGH、MK001920GWUGKドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9e87eecb3f-HPG3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9e87eecb3f-HPG3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000480GWTHA、VK000960GWTHB、VK001920GWTHCおよびVK003840GWTHDドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-492a9952f6-HPG3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-492a9952f6-HPG3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000960GXCLD、VK001920GXCGP、VK003840GXCGQ、およびVK007680GXCGRドライブ

バージョン: HPG2 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-4b4177239b-HPG2-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-4b4177239b-HPG2-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK003840GWSXLドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d1cf327bc4-HPG3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d1cf327bc4-HPG3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK007680GWSXNドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b460823f70-HPG3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b460823f70-HPG3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK0120GFDKE、VK0240GFDKF、VK0480GFDKH、VK0960GFDKK、VK1920GFDKL、およびVK3840GFDKNドライブ

バージョン: HPG1 (J) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a2d4b5c742-HPG1-10.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a2d4b5c742-HPG1-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VR000150GWEPPおよびVR000480GWEPRドライブ

バージョン: HPG1 (G) **(クリティカル)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b7eb905efe-HPG1-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b7eb905efe-HPG1-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ドライブが機能しなくなる問題を修正しました。
- VPDログD0hで報告されたドライブサニタイズ時間を修正しました。
- セキュリティログページBBhのサポートを追加します。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - XP0120GFJSLおよびXP0240GFJSNドライブ

バージョン: HPS4 (J) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d355375539-HPS4-10.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d355375539-HPS4-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64)- MK000480GWSSC、 MK000960GWSSD、MK001920GWSSEおよびMK003840GWSSFドライブ

バージョン: HPG3 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f693ccc138-HPG3-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f693ccc138-HPG3-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64)- VK0240GEPQN、VK0480GEPQP、およびVK0960GEPQQドライブ

バージョン: HPG1 (I) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1a516522d1-HPG1-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1a516522d1-HPG1-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EK000200GWEPD、EK000400GWEPE、EK000800GWEPF、およびEK001600GWEPHドライブ

バージョン: HPG3 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP048295.compsig; CP048295.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB002000GWFGHおよびMB001000GWFGFドライブ

バージョン: HPG3 (H) **(オプション)**
ファイル名: CP048317.compsig; CP048317.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB004000GWKGVドライブ

バージョン: HPG1 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP048319.compsig; CP048319.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB006000GWBXQおよびMB008000GWBYLドライブ

バージョン: HPG8 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP048328.compsig; CP048328.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB006000GWJRRおよびMB008000GWJRTドライブ

バージョン: HPG4 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP048447.compsig; CP048447.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB006000GWKGR ドライブ

バージョン: HPG1 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP048329.compsig; CP048329.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB008000GWRTCドライブ

バージョン: HPG1 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP048331.compsig; CP048331.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB010000GWAYNおよびMB008000GWAYLドライブ

バージョン: HPG5 (G) **(クリティカル)**
ファイル名: CP048333.compsig; CP048333.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このコードは、アライメントされていない書き込みコマンドに関連する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。このサプライヤーの継続的なラボテストで発見されました。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB012000GWDFEドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048335.compsig; CP048335.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB012000GWTFEおよびMB014000GWTFFドライブ

バージョン: HPG7 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP048336.compsig; CP048336.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB014000GWUDAドライブ

バージョン: HPG2 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP048339.compsig; CP048339.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュする

ことだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB016000GWXKKドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP049128.compsig; CP049128.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB2000GCWLT、MB3000GCWLU、およびMB4000GCWLVドライブ

バージョン: HPG4 (K) **(推奨)**
ファイル名: CP048345.compsig; CP048345.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB2000GFEMHおよびMB4000GFEMKドライブ

バージョン: HPG6 (I) **(クリティカル)**
ファイル名: CP048346.compsig; CP048346.zip

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、コードのダウンロード後に設定の保存を修正し、緊急電源オフの改善を含みます。
- ドライブがAHCIコントローラーの背後で接続されているときにオンラインファームウェアアップデートが失敗します。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB4000GEQNHおよびMB6000GEQNKドライブ

バージョン: HPGB (I) **(クリティカル)**
ファイル名: CP048366.compsig; CP048366.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、コードのダウンロード後に設定の保存を修正し、緊急電源オフの改善を含みます。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GEBTPドライブ

バージョン: HPG4 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP048370.compsig; CP048370.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GEQUTおよびMB8000GEQUUドライブ

バージョン: HPGB (I) **(クリティカル)**
ファイル名: CP048371.compsig; CP048371.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中でのみ見つかりました。
- ドライブがAHCIコントローラーの背後で接続されているときにオンラインファームウェアアップデートが失敗します。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GEXXVドライブ

バージョン: HPG2 (K) **(推奨)**
ファイル名: CP048403.compsig; CP048403.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GVYYUドライブ

バージョン: HPG2 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP048372.compsig; CP048372.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GVYZBおよびMB4000GVYZAドライブ

バージョン: HPG4 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP048377.compsig; CP048377.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB8000GFECRドライブ

バージョン: HPG6 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP048381.compsig; CP048381.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK000240GWCEU、MK000480GWCEV、MK000960GWCFAおよびMK001920GWCFBドライブ

バージョン: HPG3 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP048390.compsig; CP048390.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK000480GWSSC、MK000960GWSSD、MK001920GWSSE、およびMK003840GWSSFドライブ

バージョン: HPG3 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP048432.compsig; CP048432.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK000480GWXFF、MK000960GWXFH、MK001920GWXFKおよびMK003840GWXFLドライブ

バージョン: HPG2 **(推奨)**
ファイル名: CP049299.compsig; CP049299.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

このFWリリースは、ドライブのフォアグラウンドメディアスキャンをアクティブ化するのに十分なアイドル時間がホストシステムから提供されない場合の問題に対処する、拡張メディアスキャンアルゴリズムを展開します。これは、ドライブの長期的な信頼性を確保するために必要です。また、いくつかの軽微な問題にも対処します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MM1000GEFQVおよびMM2000GEFRAドライブ

バージョン: HPG8 (H) **(推奨)**
ファイル名: CP048388.compsig; CP048388.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MR000240GWFLU、MR000480GWFLV、VR000480GWFMD、MR000960GWFMA、VR000960GWFME、MR001920GWFMBおよびVR001920GWFMCドライブ

バージョン: HPGG (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048402.compsig; CP048402.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000150GWCNN、VK000240GWCNP、VK000480GWCNQ、VK000960GWCNR、およびVK001600GWCNTドライブ

バージョン: HPG1 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP048405.compsig; CP048405.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000240GWCFD、VK000480GWCFE、VK000960GWCFF、VK001920GWCFH およびVK003840GWCFK ドライブ。

バージョン: HPG3 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP048407.compsig; CP048407.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000240GWEZB、 VK000480GWEZC、VK000960GWEZD、VK001920GWEZE、MK000240GWEZF、MK000480GWEZH、MK000960GWEZK および MK001920GWHRU ドライブ

バージョン: HPGG (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048406.compsig; CP048406.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000240GWSRQ、VK000480GWSRR、VK000960GWSRT、VK001920GWSRU、およびVK003840GWSRVドライブ

バージョン: HPG4 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP048434.compsig; CP048434.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000240GWTSV、 VK000480GWTTA、VK000960GWTTB、VK001920GWTTC、VK003840GWTTD、MK000480GWTTH、MK000960GWTTK、MK001920GWTTLおよびMK003840GWTTNドライブ

バージョン: HPG6 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP048408.compsig; CP048408.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000240GXAWE、VK000480GXAWK、VK000960GXAWL、VK001920GXAWN、VK003840GXAWP、VK007680GXAWQ、MK000480GXAWF、MK000960GXAXB、MK001920GXAWR、MK003840GXAWT、VR000240GXBBL、MR000480GXBGH、およびMR000960GXBGKドライブ

バージョン: HPG1 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP049160.compsig; CP049160.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000480GWSXF、VK000960GWSXH、VK001920GWSXK、MK000480GWUGF、 MK000960GWUGH、MK001920GWUGKドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048409.compsig; CP048409.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000960GXCLD、VK001920GXCGP、VK003840GXCGQ、およびVK007680GXCGRドライブ

バージョン: HPG2 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP049272.compsig; CP049272.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK003840GWSXLドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048410.compsig; CP048410.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK007680GWSXNドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP048411.compsig; CP048411.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK0120GFDKE、VK0240GFDKF、VK0480GFDKH、VK0960GFDKK、VK1920GFDKL、およびVK3840GFDKNドライブ

バージョン: HPG1 (J) **(推奨)**
ファイル名: CP048412.compsig; CP048412.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK0240GEPQN、VK0480GEPQP、およびVK0960GEPQQドライブ

バージョン: HPG1 (J) **(推奨)**
ファイル名: CP048413.compsig; CP048413.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VR000150GWEPPおよびVR000480GWEPRドライブ

バージョン: HPG1 (G) **(クリティカル)**
ファイル名: CP048424.compsig; CP048424.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ドライブが機能しなくなる可能性のあるタイミングの問題を修正しました。
- VPDログD0hで報告されたドライブサニタイズ時間を修正しました。
- セキュリティログページBBhのサポートを追加します。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi -VK000480GWTHA、VK000960GWTHB、VK001920GWTHCおよびVK003840GWTHDドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP049275.compsig; CP049275.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB004000GWKGVドライブ

バージョン: HPG1 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp048561.compsig; cp048561.exe; cp048561.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB006000GWKGRドライブ

バージョン: HPG1 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp048674.compsig; cp048674.exe; cp048674.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB008000GWRTCドライブ

バージョン: HPG1 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp048669.compsig; cp048669.exe; cp048669.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB012000GWDFEドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048673.compsig; cp048673.exe; cp048673.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB014000GWUDAドライブ

バージョン: HPG3 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp048545.compsig; cp048545.exe; cp048545.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB016000GWXKKドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp049127.compsig; cp049127.exe; cp049127.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000GEBTPドライブ

バージョン: HPG4 (H) **(推奨)**
ファイル名: cp048610.compsig; cp048610.exe; cp048610.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000GEXXVドライブ

バージョン: HPG2 (I) **(推奨)**
ファイル名: cp048633.compsig; cp048633.exe; cp048633.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000GVYYUドライブ

バージョン: HPG2 (H) **(推奨)**
ファイル名: cp048612.compsig; cp048612.exe; cp048612.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB8000GFECRドライブ

バージョン: HPG6 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp048618.compsig; cp048618.exe; cp048618.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GWJPD、VK000480GWJPE、VK000960GWJPF、VK001920GWJPH、VK003840GWJPK、MK000240GWKVK、MK000480GWJPN、MK000960GWJPPおよびMK001920GWJPQドライブ

バージョン: HPG5 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: cp048664.compsig; cp048664.exe; cp048664.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- まれなリンク損失の問題を修正し、ドライブの信頼性を向上させます。
- ドライブにHPG5ファームウェアがダウンロードされると、新しいHPG5ファームウェアがそのドライブでアクティブになります。
- ドライブの次の電源再投入後に、新しいドライブブートローダーコードがアクティブ化されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00072768en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EK000200GWEPD、EK000400GWEPE、EK000800GWEPFおよびEK001600GWEPHドライブ

バージョン: HPG3 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp048554.compsig; cp048554.exe; cp048554.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB001000GWCBCおよびMB002000GWCBDドライブ

バージョン: HPG6 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp048556.compsig; cp048556.exe; cp048556.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB001000GWFWKおよびMB002000GWFWLドライブ

バージョン: HPG6 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp048557.compsig; cp048557.exe; cp048557.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB001000GWJAN、MB002000GWFWAおよびMB004000GWFWBドライブ

バージョン: HPG1 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp048558.compsig; cp048558.exe; cp048558.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB006000GWJRRおよびMB008000GWJRTドライブ

バージョン: HPG4 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp048470.compsig; cp048470.exe; cp048470.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB008000GWWQUおよびMB006000GWWQTドライブ

バージョン: HPG2 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp048648.compsig; cp048648.exe; cp048648.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB014000GWRTN、MB012000GWRTLおよびMB010000GWRTKドライブ

バージョン: HPG2 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp048544.compsig; cp048544.exe; cp048544.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB1000GDUNU、MB2000GDUNV、MB3000GDUPA、および MB4000GDUPB ドライブ

バージョン: HPG4 (I) **(推奨)**
ファイル名: cp048564.compsig; cp048564.exe; cp048564.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB1000GVYZE、MB2000GVYZF、MB3000GVYZH、およびMB4000GVYZKドライブ

バージョン: HPG4 (I) **(推奨)**
ファイル名: cp048568.compsig; cp048568.exe; cp048568.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB2000GCWLT、MB3000GCWLU、およびMB4000GCWLVドライブ

バージョン: HPG4 (I) **(推奨)**
ファイル名: cp048574.compsig; cp048574.exe; cp048574.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MK003840GWHTEドライブ

バージョン: HPG8 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048620.compsig; cp048620.exe; cp048620.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MK0960GECQKドライブ

バージョン: HPG3 (K) **(クリティカル)**
ファイル名: cp048621.compsig; cp048621.exe; cp048621.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ファームウェアは、非整列シーケンシャル書き込み操作に関連する断続的なデータの破損問題を修正します。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MM1000GEFQVおよびMM2000GEFRAドライブ

バージョン: HPG8 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp048622.compsig; cp048622.exe; cp048622.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MM1000GFJTEドライブ

バージョン: HPG5 (E) **(オプション)**
ファイル名: cp048623.compsig; cp048623.exe; cp048623.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MR000240GWFLU、MR000480GWFLV、VR000480GWFMD、MR000960GWFMA、VR000960GWFME、MR001920GWFMB、およびVR001920GWFMCドライブ

バージョン: HPGG (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048632.compsig; cp048632.exe; cp048632.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000150GWCNN、VK000240GWCNP、VK000480GWCNQ、VK000960GWCNR、およびVK001600GWCNTドライブ

バージョン: HPG1 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp048635.compsig; cp048635.exe; cp048635.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GWCFD、VK000480GWCFE、VK000960GWCFF、VK001920GWCFHおよびVK003840GWCFKドライブ

バージョン: HPG3 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp048637.compsig; cp048637.exe; cp048637.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GWEZB、VK000480GWEZC、VK000960GWEZD、VK001920GWEZE、MK000240GWEZF、MK000480GWEZH、MK000960GWEZK、およびMK001920GWHRUドライブ

バージョン: HPGG (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048636.compsig; cp048636.exe; cp048636.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GWSRQ、VK000480GWSRR、VK000960GWSRT、VK001920GWSRU、およびVK003840GWSRVドライブ

バージョン: HPG4 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp048657.compsig; cp048657.exe; cp048657.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GWTSV、VK000480GWTTA、VK000960GWTTB、VK001920GWTTC、VK003840GWTTD、MK000480GWTTH、MK000960GWTTK、MK001920GWTTLおよびMK003840GWTTNドライブ

バージョン: HPG6 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp048241.compsig; cp048241.exe; cp048241.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GXAWE、VK000480GXAWK、VK000960GXAWL、VK001920GXAWN、VK003840GXAWP、VK007680GXAWQ、MK000480GXAWF、MK000960GXAXB、MK001920GXAWR、MK003840GXAWT、VR000240GXBBL、MR000480GXBGH、およびMR000960GXBGKドライブ

バージョン: HPG1 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp049159.compsig; cp049159.exe; cp049159.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000480GWSXF、VK000960GWSXH、VK001920GWSXK、MK000480GWUGF、MK000960GWUGH、MK001920GWUGKドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048638.compsig; cp048638.exe; cp048638.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000960GXCLD、VK001920GXCGP、VK003840GXCGQ、およびVK007680GXCGRドライブ

バージョン: HPG2 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp049274.compsig; cp049274.exe; cp049274.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK003840GWSXL ドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**

ファイル名: cp048639.compsig; cp048639.exe; cp048639.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK007680GWSXNドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp048640.compsig; cp048640.exe; cp048640.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK0120GFDKE、VK0240GFDKF、VK0480GFDKH、VK0960GFDKK、VK1920GFDKL、およびVK3840GFDKNドライブ

バージョン: HPG1 (H) **(推奨)**
ファイル名: cp048641.compsig; cp048641.exe; cp048641.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK0240GEPQN、VK0480GEPQP、およびVK0960GEPQQドライブ

バージョン: HPG1 (H) **(推奨)**
ファイル名: cp048642.compsig; cp048642.exe; cp048642.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VR000150GWEPPおよびVR000480GWEPRドライブ

バージョン: HPG1 (F) **(クリティカル)**
ファイル名: cp048647.compsig; cp048647.exe; cp048647.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ドライブが機能しなくなる可能性のあるタイミングの問題を修正しました。
- VPDログD0hで報告されたドライブサニタイズ時間を修正しました。
- セキュリティログページBBhのサポートを追加します。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - XP0120GFJSLおよびXP0240GFJSNドライブ

バージョン: HPS4 (H) **(推奨)**
ファイル名: cp048646.compsig; cp048646.exe; cp048646.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64)- MK000240GWCEU、MK000480GWCEV、MK000960GWCFAおよびMK001920GWCFBドライブ

バージョン: HPG3 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp048624.compsig; cp048624.exe; cp048624.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) -VK000480GWTHA、VK000960GWTHB、VK001920GWTHC、およびVK003840GWTHDドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp049277.compsig; cp049277.exe; cp049277.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB002000GWFGHおよびMB001000GWFGFドライブ

バージョン: HPG3 (G) **(オプション)**
ファイル名: cp048559.compsig; cp048559.exe; cp048559.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB006000GWBXQおよびMB008000GWBYLドライブ

バージョン: HPG8 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp048667.compsig; cp048667.exe; cp048667.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB010000GWAYNおよびMB008000GWAYLドライブ

バージョン: HPG5 (F) **(クリティカル)**
ファイル名: cp048671.compsig; cp048671.exe; cp048671.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このコードは、アライメントされていない書き込みコマンドに関連する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。このサプライヤーの継続的なラボテストで発見されました。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB2000GFEMHおよびMB4000GFEMKドライブ

バージョン: HPG6 (H) **(クリティカル)**

ファイル名: cp048588.compsig; cp048588.exe; cp048588.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。 これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、コードのダウンロード後に設定の保存を修正し、緊急電源オフの改善を含みます。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB4000GEFNAおよびMB6000GEFNBドライブ

バージョン: HPG6 (I) **(推奨)**
ファイル名: cp048592.compsig; cp048592.exe; cp048592.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB4000GEQNHおよびMB6000GEQNKドライブ

バージョン: HPGB (H) **(クリティカル)**
ファイル名: cp048593.compsig; cp048593.exe; cp048593.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、コードのダウンロード後に設定の保存を修正し、緊急電源オフの改善を含みます。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB6000GEQUTおよびMB8000GEQUUドライブ

バージョン: HPGB (H) **(クリティカル)**
ファイル名: cp048611.compsig; cp048611.exe; cp048611.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中でのみ見つかりました。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB6000GVYZBおよびMB4000GVYZAドライブ

バージョン: HPG4 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp048613.compsig; cp048613.exe; cp048613.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MB012000GWTFEおよびMB014000GWTFFドライブ

バージョン: HPG7 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp048543.compsig; cp048543.exe; cp048543.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MK000480GWSSC、 MK000960GWSSD、MK001920GWSSEおよびMK003840GWSSFドライブ

バージョン: HPG3 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp048654.compsig; cp048654.exe; cp048654.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

ファームウェア - ストレージコントローラー

先頭

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPEホストバスアダプターH221

バージョン: 15.10.10.00 (C) **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/i386/firmware-43d7eff89e-15.10.10.00-3.1.i386.rpm

重要な注意！

すでにファームウェアバージョン15.10.10.00をインストールしている場合、15.10.10.00(C)にアップデートする必要はありません。

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

拡張

- Smart Update Managerとの統合を強化しました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - HPE Apollo 2000 System - SASエキスパンダー

バージョン: 1.52 **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-3bf7ece88e-1.52-1.1.x86_64.rpm

修正

1.51へのアップグレード後にHDDゾーニングテーブルがデフォルトに設定されるという、HPE Apollo 2000システムのSASエキスパンダーのFWの問題を修正しました

カスタマーアドバイザリa00095304ja_jpを参照してください。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HPE Apollo 2000 System - SASエキスパンダー

バージョン: 1.52 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP045347.compsig; CP045347.zip

拡張

ESXi 7.0のサポートを追加しました

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HPE Express Bay Enablement Switchカード

バージョン: 1.78 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP044313.compsig; CP044313.zip

重要な注意！

- アップデートを有効にするには、インストール後に電源再投入/コールドリブートが必要です。

事前要件

- HP ProLiant iLOファームウェアバージョンは、v2.20以降である必要があります。 HP ProLiant iLOファームウェアがv2.20より古い場合、以下のエラーメッセージを受け取ります。

  Check dependency failed.

  Current version: iLOx x.xx

  Minimum version required: iLO4 2.20

  The software will not be installed on this system because the required hardware is not present in the system or the software/firmware doesn't apply to this system

拡張

ESXi OS 7.0の変更のサポートを追加しました

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HPEデュアル 8GB MicroSD USB

バージョン: 1.3.2.215 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP037940.compsig; CP037940.zip

修正

- Agentless Management Serviceバージョン11.2.0以降で、対応するHPEデュアル8GB Micron SDパーツ番号を表示します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - SmartアレイP220i、P222、P420i、P420、P421、P721m、およびP822

バージョン: 8.32 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045344.compsig; CP045344.zip

拡張

ESXi 7.0のサポートを追加しました

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - SmartアレイP230i、P430、P431、P731m、P830i および P830

バージョン: 5.02 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP045345.compsig; CP045345.zip

拡張

ESXI OS7.0のサポートを追加しました

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HPE 12Gb/s SASエキスパンダーファームウェア for HPE SmartアレイコントローラーおよびHPE HBAコントローラー

バージョン: 5.10 **(推奨)**
ファイル名: cp049280.compsig; cp049280.exe; cp049280.md5

重要な注意！

- ファームウェアがバージョン1.31またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

修正

- 有効なフラグは最初は常にtrueに設定されているため、initstringパーティションでCRCチェックを実行し、それが本当に有効かどうかをテストできます。
- Winbondの代替フラッシュをサポートするために、スマートキャリア認証をブートプロセスの後半に移動し、Exception Dumperタスクをプロセスの前半に移動してください

拡張

- Windows 2022のサポートを追加してください

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HPE Apollo 45xx Gen9バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 2.51 **(推奨)**
ファイル名: cp043498.exe; cp043498.md5

重要な注意！

- バージョン1.03以前からのファームウェアアップグレードを有効にするために、サーバーの電源コードを1度抜いて、再度挿してください。

修正

システムの再起動後にドライブが表示されない場合があります。

カスタマーアドバイザリa00098241en_usを参照してください。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HPE Express Bay Enablement Switch Card

バージョン: 1.78 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp037730.exe; cp037730.md5

重要な注意！

すでにファームウェアバージョン1.78をインストールしている場合、1.78(C)にアップデートする必要はありません。

- アップデートを有効にするには、インストール後に電源再投入/コールドリブートが必要です。

事前要件

- このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interfaceドライバー"がインストールされて実行されている必要があります。 ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。

  "Setup is unable to load a setup DLL"

- HP ProLiant iLOファームウェアバージョンは、v2.20以降である必要があります。 HP ProLiant iLOファームウェアがv2.20より古い場合、以下のエラーメッセージを受け取ります。

  Check dependency failed.

  Current version: iLOx x.xx

  Minimum version required: iLO4 2.20

  The software will not be installed on this system because the required hardware is not present in the system or the software/firmware doesn't apply to this system.

拡張

- Microsoft Windows Server 2019 OSのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - SmartアレイP220i、P222、P420i、P420、P421、P721m、およびP822

バージョン: 8.32 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp037741.exe; cp037741.md5

重要な注意!

すでにファームウェアバージョン8.32をインストールしている場合、8.32(C)にアップデートする必要はありません。

拡張

- Smart Update Managerとの統合を強化しました

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - SmartアレイP230i、P430、P431、P731m、P830i および P830

バージョン: 5.02 **(オプション)**
ファイル名: cp039412.exe; cp039412.md5

修正

- Smart CacheでアクティブなI/Oが発生しているため、SmartCacheが有効な間ファームウェアの更新が失敗する可能性があります。
- バッファーがコントローラーによって適切に処理されないため、エキスパンダーのシリアル出力がコントローラーログに入力されない場合があります

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPEホストバスアダプターH221

バージョン: 15.10.10.00 (E) **(オプション)**
ファイル名: cp038049.exe; cp038049.md5

重要な注意！

すでにファームウェアバージョン15.10.10.00をインストールしている場合、15.10.10.00(E)にアップデートする必要はありません。

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

拡張

- Smart Update Managerとの統合を強化しました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE 12 Gb/s SASエキスパンダーファームウェアfor HPE Smart アレイコントローラーおよびHPE HBAコントローラー

バージョン: 5.10 **(推奨)**
ファイル名: CP049281.compsig; CP049281.zip

重要な注意！

- ファームウェアがバージョン1.31またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

修正

- 有効なフラグは最初は常にtrueに設定されているため、initstringパーティションでCRCチェックを実行し、それが本当に有効かどうかをテストできます。
- Winbondの代替フラッシュをサポートするために、スマートキャリア認証をブートプロセスの後半に移動し、Exception Dumperタスクをプロセスの前半に移動してください

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE Apollo 45xx Gen9バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 2.51 **(推奨)**
ファイル名: CP043496.compsig; CP043496.zip

重要な注意！

- バージョン1.03以前からのファームウェアアップグレードを有効にするために、サーバーの電源コードを1度抜いて、再度挿してください。

修正

システムの再起動後にドライブが表示されない場合があります。

カスタマーアドバイザリa00098241en_usを参照してください。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - SmartアレイおよびSmart HBA H240ar、H240nr、H240、H241、H244br、P240nr、P244br、P246br、P440ar、P440、P441、P542D、P741m、P840、P840arおよびP841

バージョン: 7.00 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP047335.compsig; CP047335.zip

修正

- フラッシュエンジンの効率の向上

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - HPE Apollo 2000 System - SASエキスパンダー

バージョン: 1.52 **(推奨)**
ファイル名: cp041644.exe; cp041644.md5

修正

1.51へのアップグレード後にHDDゾーニングテーブルがデフォルトに設定されるという、HPE Apollo 2000システムのSASエキスパンダーのFWの問題を修正しました

カスタマーアドバイザリa00095304ja_jpを参照してください。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- SmartアレイおよびSmart HBA H240ar、H240nr、H240、H241、H244br、P240nr、P244br、P246br、P440ar、P440、P441、P542D、P741m、P840、P840arおよびP841

バージョン: 7.00 **(推奨)**
ファイル名: cp039995.exe; cp039995.md5

修正

- FWがその期間中にドライブと同期していないため、一定期間Sanitizeコマンドを実行した後、ドライブがIOを受け入れない場合があります
- 非HPEドライブは、ワークロードが重いときにドライブがqdepth制限に達するため、"Task Set Full"を報告する可能性があります
- ホットプラグ中に不良ドライブが2つのスロットを消費するため、RAIDボリュームは検出されません
- 4.5xより前のファームウェアバージョンからアップグレードすると、データにアクセスできなくなる可能性があります
- CPU例外が原因で、SCSI検証コマンドの実行時にコントローラーが応答を停止することがありました
- I/Oコマンドのタイムアウトにより、システムが通信を停止する可能性があります
- HBAモードでは、早期に割り当てられたバッファリリースにより、ドライブが応答を停止することがありました
- SASドライブのWWNは、誤ったレポートが原因でドライバーがデバイスと同期しなくなるため、不正確であると報告されます
- 4Gモジュールを使用している場合、SSDキャッシュメタデータがバックアップ中に制限を超えると、コントローラーが応答しなくなる可能性があります

- 使用可能なキャッシュスペースの減少によりSSD Smart Cacheモジュールが無効になるります

拡張

通信バッファーの所有権を確認するため、より効果的なメカニズムを持つiLO通信インターフェースの最適化を追加します

サプリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - HPE Apollo 45xx Gen9バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 2.51 **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-7bdfcd246b-2.51-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

- バージョン1.03以前からのファームウェアアップグレードを有効にするために、サーバーの電源コードを1度抜いて、再度挿してください。

修正

システムの再起動後にドライブが表示されない場合があります。

カスタマーアドバイザリa00098241en_usを参照してください。

サプリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - SmartアレイP220i、P222、P420i、P420、P421、P721m、およびP822

バージョン: 8.32 **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-smartarray-46a4d957a7-8.32-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

- Red Hat Enterprise Linux 7.1オペレーティングシステムを実行するシステムを起動すると、HP Smartアレイコントローラーが認識されないことがあります。 この問題は、sgドライバーをシステムブート時にロードしないOSでの変更に起因します。 この問題を回避するには、sgドライバーをロードする"**modprobe sg**"コマンドを手動で発行します。 sgドライバーがロードされた後、/dev/sg* デバイスが存在する必要があり、sgドライバーがSCSIデバイスにアクセスするために使用することができます。

修正

システムは、ベースコードファームウェアによって返される完了について、RAIDスタックスレッドがキューをポーリングしているライブロック状況のために、ロックアップコードを表示せずに応答を停止することがあります。

拡張

ドライブ温度レポート機能の精度が改善されました。

サプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - HPE 12 Gb/s SASエキスパンダーファームウェア for HPE SmartアレイコントローラーおよびHPE HBAコントローラー

バージョン: 5.10 **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-1f19a4a64d-5.10-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-1f19a4a64d-5.10-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

- ファームウェアがバージョン1.31またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

修正

- 有効なフラグは最初は常にtrueに設定されているため、initstringパーティションでCRCチェックを実行し、それが本当に有効かどうかをテストできます。
- Winbondの代替フラッシュをサポートするために、スマートキャリア認証をブートプロセスの後半に移動し、Exception Dumperタスクをプロセスの前半に移動してください

サプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - HPE Express Bay Enablement Switch Card

バージョン: 1.78 (B) **(オプション)**
ファイル名: firmware-smartarray-94189dca85-1.78-2.1.x86_64.rpm

重要な注意！

すでにファームウェアバージョン1.78をインストールしている場合、1.78(B)にアップデートする必要はありません。

- アップデートを有効にするには、インストール後に電源再投入/コールドリブートが必要です。

事前要件

- HPE Express Bay Enablement Switch CardファームウェアSmartコンポーネントの前回リリースでは、iLO 3/4チャネルインターフェイスドライバーへの依存が記録されました。このドライバーは、以下のLinux OSに含まれるようになりました。

  Red Hat Enterprise Linux 7 Server

  Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86-64)

  SUSE Linux Enterprise Server 12

- HP ProLiant iLOファームウェアバージョン2.20以降が必要。HP ProLiant iLOファームウェアがv2.20以前の場合、次のエラーメッセージを受信します。

  依存性の確認に失敗しました。

  現在のバージョン*:iLOx x.xx*

  必要な最小バージョン*:iLO4 2.20*

  必要なハードウェアがシステムに存在しないかソフトウェア/ファームウェアがこのシステムに適用しないため、ソフトウェアはこのシステムにインストールされません。

拡張

- SUSE LINUX Enterprise Server 15 OSのサポートを追加しました。

サプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - SmartアレイP230i、P430、P431、P731m、P830i および P830

バージョン: 5.02 **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-112204add8-5.02-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

- Red Hat Enterprise Linux 7.1オペレーティングシステムを実行するシステムを起動すると、HP Smartアレイコントローラーが認識されないことがあります。 この問題は、sgドライバーをシステムブート時にロードしないOSでの変更に起因します。 この問題を回避するには、sgドライバーをロードする"**modprobe sg**"コマンドを手動で発行します。 sgドライバーがロードされた後、/dev/sg* デバイスが存在する必要があり、sgドライバーがSCSIデバイスにアクセスするために使用することができます。

修正

- Smart Cacheでアクティブな I/Oが発生しているため、SmartCacheが有効な間ファームウェアの更新が失敗する可能性があります。
- バッファーがコントローラーによって適切に処理されないため、エキスパンダーのシリアル出力がコントローラーログに入力されない場合があります

サプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- SmartアレイおよびSmart HBA H240ar、H240nr、H240、H241、H244br、P240nr、P244br、P246br、P440ar、P440、P441、P542D、P741m、P840、P840arおよびP841

バージョン: 7.00 **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-ea3138d8e8-7.00-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

- 正しく検出されるために、いくつかのコントローラーは、コントローラーファームウェアをアップグレードする前にSmartアレイドライバーの新しいバージョンのインストールが必要な場合があります。 インストールされていない場合、コンポーネントはリターンコード3で失敗します。

- Red Hat Enterprise Linux 7.1オペレーティングシステムを実行するシステムを起動すると、HP Smartアレイコントローラーが認識されないことがあります。この問題は、sgドライバーをシステムブート時にロードしないOSでの変更に起因します。この問題を回避するには、sgドライバーをロードする"**modprobe sg**"コマンドを手動で発行します。sgドライバーがロードされた後、/dev/sg* デバイスが存在するようになり、sgドライバーがSCSIデバイスにアクセスするために使用可能になります。

修正

- FWがその期間中にドライブと同期していないため、一定期間Sanitizeコマンドを実行した後、ドライブがIOを受け入れない場合があります
- 非HPEドライブは、ワークロードが重いときにドライブがqdepth制限に達するため、"Task Set Full"を報告する可能性があります
- ホットプラグ中に不良ドライブが2つのスロットを消費するため、RAIDボリュームは検出されません
- 4.5xより前のファームウェアバージョンからアップグレードすると、データにアクセスできなくなる可能性があります
- CPU例外が原因で、SCSI検証コマンドの実行時にコントローラーが応答を停止することがありました
- I/Oコマンドのタイムアウトにより、システムが通信を停止する可能性があります
- HBAモードでは、早期に割り当てられたバッファリリースにより、ドライブが応答を停止することがありました
- SASドライブのWWNは、誤ったレポートが原因でドライバーがデバイスと同期しなくなるため、不正確であると報告されます

- 4Gモジュールを使用している場合、SSDキャッシュメタデータがバックアップ中に制限を超えると、コントローラーが応答しなくなる可能性があります
- 使用可能なキャッシュスペースの減少によりSSD Smart Cacheモジュールが無効になるります

拡張

通信バッファーの所有権を確認するため、より効果的なメカニズムを持つiLO通信インターフェースの最適化を追加します

ファームウェア - ストレージファイバーチャネル

先頭

Emulex Mezzanineファイバーチャネルホストバスアダプター用HPEファームウェアオンラインフラッシュ - Microsoft Windows Server 2012R2 x64

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: cp049107.compsig; cp049107.exe

重要な注意！

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントが開発用のSUMで識別される前に、HPEで提供しているEmulexドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/ のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

Emulex Mezzanineファイバーチャネルホストバスアダプター用HPEファームウェアオンラインフラッシュ - Microsoft Windows Server 2016/2019 x64

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: cp048580.compsig; cp048580.exe

重要な注意！

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントが開発用のSUMで識別される前に、HPEで提供しているEmulexドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/ のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexファイバーチャネルホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2012R2 x64

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: cp049105.compsig; cp049105.exe

重要な注意！

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントが開発用のSUMで識別される前に、HPEで提供しているEmulexドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/ のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexファイバーチャネルホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2016/2019 x64

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: cp048599.compsig; cp048599.exe

重要な注意！

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0

HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントが開発用のSUMで識別される前に、HPEで提供しているEmulexドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/ のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexファイバーチャネルホストバスアダプターfor Linux (x64)

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-fc-emulex-2021.10.01-1.6.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-fc-emulex-2021.10.01-1.6.x86_64.rpm

重要な注意！

ライブラリがないとアダプターの検出が完了しない可能性があるため、ファームウェアをインストールする前に、ターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールする必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ライブラリがないとアダプターの検出が完了しない可能性があるため、ファームウェアをインストールする前に、ターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールする必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

追加の要件:

フラッシュエンジンを動作させるためにsyslogデーモンが実行されている環境が必要です
コンポーネントでEmulexホストバスアダプター(HBA)を検出できるようにするには、32-bit netlink library(libnl.so)がインストールされている環境が必要です

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
~~HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター~~	~~8Gb~~	12.80a3	2.10X6	~~12.8.183.0~~	~~12.8.9.0~~
HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: CP048595.compsig; CP048595.zip

重要な注意！

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0

HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 6.7
バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: CP048596.compsig; CP048596.zip

重要な注意！

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0
HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンファイバーチャネルホストバスアダプターfor Linux (x64)

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-fc-mezz-emulex-2021.10.01-1.5.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-fc-mezz-emulex-2021.10.01-1.5.x86_64.rpm

重要な注意！

ライブラリがないとアダプターの検出が完了しない可能性があるため、ファームウェアをインストールする前に、ターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールする必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ライブラリがないとアダプターの検出が完了しない可能性があるため、ファームウェアをインストールする前に、ターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールする必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

追加の要件:

フラッシュエンジンを動作させるためにsyslogデーモンが実行されている環境が必要です
コンポーネントでEmulexホストバスアダプター(HBA)を検出できるようにするには、32-bit netlink library(libnl.so)がインストールされている環境が必要です

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: CP048576.compsig; CP048576.zip

重要な注意！

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: CP048577.compsig; CP048577.zip

重要な注意！

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class	16Gb	12.8.528.12	12.8.528.12	12.8.528.10	12.8.502.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HPEファームウェアフラッシュfor QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2012R2/2016/2019(x86_64)

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: cp048728.compsig; cp048728.exe

重要な注意！

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81Q 8Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

OOBドライバーは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dlのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81Q 8Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor QLogicファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**

ファイル名: CP048725.compsig; CP048725.zip

重要な注意！

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81Q 8Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

デプロイメントのためにHPE SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、SUMが供給するQLogicドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/ のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81Q 8Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8Gbシングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor QLogicメザニンファイバーチャネルホストバスアダプター - Linux (x86_64)

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-fc-mezz-qlogic-2021.10.01-1.6.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-fc-mezz-qlogic-2021.10.01-

1.6.x86_64.rpm

重要な注意！

ライブラリがないとアダプターの検出が完了しない可能性があるため、ファームウェアをインストールする前に、ターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールする必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ライブラリがないとアダプターの検出が完了しない可能性があるため、ファームウェアをインストールする前に、ターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールする必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

このファームウェアコンポーネントが開発用のSUMで識別される前に、HPEで提供しているイネーブルメントキットをインストールする必要があります。

OOBドライバーおよびイネーブルメントキットは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dlのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

- /var/tmpフォルダーに読み取り/書き込み権限を付与することをお勧めします。/tmpまたは/var/tmpディレクトリで読み取り/書き込み(rw)権限が有効になっていない場合、Service Pack for ProLiant(SPP)を介したファームウェアの展開が失敗する場合があります。

拡張

16Gb製品対応のFirmware/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

HPEファームウェアフラッシュfor QLogicメザニンファイバーチャネルホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2012R2/2016/2019(x86_64)

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: cp048715.compsig; cp048715.exe

重要な注意！

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

OOBドライバーは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dlのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

16Gb製品対応のFirmware/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

HPEファームウェアフラッシュfor QLogicメザニンファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: CP048711.compsig; CP048711.zip

重要な注意！

リリースノート:
HPE QLogicアダプターリリースノート

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

デプロイメントのためにHPE SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、SUMが供給するQLogicドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/ のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

16Gb製品対応のFirmware/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

HPEファームウェアフラッシュfor QLogicメザニンファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: CP048712.compsig; CP048712.zip

重要な注意！

リリースノート:
HPE QLogicアダプターリリースノート

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

デプロイメントのためにHPE SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、SUMが供給するQLogicドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/ のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

16Gb製品対応のFirmware/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター for VMware vSphere 6.5用HPEファームウェアフラッシュ

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: CP048724.compsig; CP048724.zip

重要な注意！

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81Q 8Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

デプロイメントのためにHPE SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、SUMが供給するQLogicドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/ のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81Q 8Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8Gbシングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8Gbデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16Gbデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16Gbシングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - Linux (x86_64)

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-fc-qlogic-2021.10.01-1.3.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-fc-qlogic-2021.10.01-1.3.x86_64.rpm

重要な注意！

ライブラリがないとアダプターの検出が完了しない可能性があるため、ファームウェアをインストールする前に、ターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールする必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81Q 8Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 82Q 8Gbデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE SN1000Q 16GBデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1000Q 16GBシングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1100Q 16GBデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1100Q 16GBシングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ライブラリがないとアダプターの検出が完了しない可能性があるため、ファームウェアをインストールする前に、ターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールする必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

このファームウェアコンポーネントが開発用のSUMで識別される前に、HPEで提供しているイネーブルメントキットをインストールする必要があります。

OOBドライバーおよびイネーブルメントキットは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dlのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

- /var/tmpフォルダーに読み取り/書き込み権限を付与することをお勧めします。/tmpまたは/var/tmpディレクトリで読み取り/書き込み(rw)権限が有効になっていない場合、Service Pack for ProLiant(SPP)を介したファームウェアの展開が失敗する場合があります。

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81Q 8Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 82Q 8Gbデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE SN1000Q 16GBデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43

HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

ファームウェア - システム

先頭

Linux用オンラインフラッシュコンポーネント - NVMeバックプレーンPICファームウェア

バージョン: 8.4 (D) **(オプション)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-nvmebackplane-8.4-4.1.i386.rpm

重要な注意!

注記:バージョン8.4が以前にインストールされてた場合、8.4(D)にアップグレードする必要はありません。

事前要件

iLO 4バージョン2.50以降が必要です。

拡張

- SUSE LINUX Enterprise Server 15 OSのサポートを追加しました。

VMware 用オンラインフラッシュコンポーネント - NVMeバックプレーンPICファームウェア

バージョン: 8.4 (D) **(オプション)**
ファイル名: CP035161.compsig; CP035161.zip

重要な注意!

注記:バージョン8.4が以前にインストールされてた場合、8.4(D)にアップグレードする必要はありません。

事前要件

iLO 4バージョン2.50以降が必要です。

拡張

- VMware vSphere 6.7 OSのサポートを追加しました

オンラインフラッシュコンポーネント for Windows x64 - NVMeバックプレーンPICファームウェア

バージョン: 8.4 (E) **(オプション)**
ファイル名: cp037743.exe

重要な注意!

注記:システムが以前にバージョン8.4にアップデートされている場合、8.4(E)にアップデートする必要はありません。

事前要件

iLO 4バージョン2.50以降が必要です。

拡張

- Microsoft Windows Server 2019 OSのサポートを追加しました。

ファームウェア (資格が必要) – ストレージコントローラー

先頭

HP D2600/D2700 6Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64)

バージョン: 0150 (B) **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/hp-firmware-d2600-d2700-0150-2.1.x86_64.rpm

重要な注意！

現在デバイスが150ファームウェアを実行している場合、150(B)へファームウェアをアップグレードする必要はありません

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注: ディスクエンクロージャーがカスケードされたとき、1つのエンクロージャーのI/OモジュールAは、その後のエンクロージャーのI/OモジュールAに接続されます。ファームウェアのアップデート中、カスケードされたディスクエンクロージャー内のI/OモジュールAは、自動的にアップデートされます。

デュアルドメイン構成で、ターゲットディスクエンクロージャーとカスケードディスクエンクロージャーのI/Oモジュールは、ファームウェアインストール処理の間、自動的にアップデートされます。

すべてのファームウェアフラッシュの進捗メッセージは、/var/cpq/Component.logに記録されます。

事前要件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！ このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注: ディスクエンクロージャーがカスケードされたとき、1つのエンクロージャーのI/OモジュールAは、その後のエンクロージャーのI/OモジュールAに接続されます。ファームウェアのアップデート中、カスケードされたディスクエンクロージャー内のI/OモジュールAは、自動的にアップデートされます。

デュアルドメイン構成で、ターゲットディスクエンクロージャーとカスケードディスクエンクロージャーのI/Oモジュールは、ファームウェアインストール処理の間、自動的にアップデートされます。

すべてのファームウェアフラッシュの進捗メッセージは、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

このバージョンでは、次の修正が追加されています。

誤ったアルゴリズムによるFAULT_SENSEDビットに関するアクションを削除しました。

サポートしているデバイスおよび機能

D2600 / D2700エンクロージャーは、どのHPストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます。

- HP H222 ホストバスアダプター
- HP H221 ホストバスアダプター
- HP H241 Smartホストバスアダプター
- HP SmartアレイP812コントローラー
- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- HP SmartアレイP421コントローラー
- HP SmartアレイP411コントローラー
- HP SmartアレイP212コントローラー
- HP SmartアレイP222コントローラー

HP D2600/D2700 6Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64)

バージョン: 0150 (B) **(推奨)**

ファイル名: cp028806.exe

重要な注意！

現在デバイスが150ファームウェアを実行している場合、150(B)へファームウェアをアップグレードする必要はありません

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！ このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注: ディスクエンクロージャーがカスケードされたとき、1つのエンクロージャーのI/OモジュールAは、その後のエンクロージャーのI/OモジュールAに接続されます。ファームウェアのアップデート中、カスケードされたディスクエンクロージャー内のI/OモジュールAは、自動的にアップデートされます。

デュアルドメイン構成で、ターゲットディスクエンクロージャーとカスケードディスクエンクロージャーのI/Oモジュールは、ファームウェアインストール処理の間、自動的にアップデートされます。

すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥D2000.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥cpqsetup.logに記録されます。

事前要件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！ このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注: ディスクエンクロージャーがカスケードされたとき、1つのエンクロージャーのI/OモジュールAは、その後のエンクロージャーのI/OモジュールAに接続されます。ファームウェアのアップデート中、カスケードされたディスクエンクロージャー内のI/OモジュールAは、自動的にアップデートされます。

デュアルドメイン構成で、ターゲットディスクエンクロージャーとカスケードディスクエンクロージャーのI/Oモジュールは、ファームウェアインストール処理の間、自動的にアップデートされます。

すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥D2000.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥cpqsetup.logに記録されます。

修正

このバージョンでは、次の修正が追加されています。

誤ったアルゴリズムによるFAULT_SENSEDビットに関するアクションを削除しました。

サポートしているデバイスおよび機能

D2600 / D2700エンクロージャーは、どのHPストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます。

- HP H222 ホストバスアダプター
- HP H221 ホストバスアダプター
- HP H241 Smartホストバスアダプター
- HP SmartアレイP812コントローラー
- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- HP SmartアレイP421コントローラー
- HP SmartアレイP411コントローラー
- HP SmartアレイP212コントローラー
- HP SmartアレイP222コントローラー

ソフトウェア - Lights-Outマネジメント

先頭

HPE Lights-Out オンライン構成ユーティリティfor Windows x64 Editions

バージョン: 5.5.0.0 (A) **(オプション)**
ファイル名: cp046381.compsig; cp046381.exe

事前要件

このユーティリティは、以下の最小ファームウェアリビジョンを必要とします。

- Integrated Lights-Out 3ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 4ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 5ファームウェアバージョン1.30以降

マネジメントインターフェイスドライバーがサーバーに必ずインストールされていなければなりません。

HPONCFG GUIを起動するには、Microsoft .Net Framework 2.0以降が必要です。

修正

RBSUでSW RAID構成を有効にしたときにHPONCFG Windows Smartコンポーネントがインストールされなかった問題を修正しました。

HPE Lights-Outオンライン設定ユーティリティfor Linux (AMD64/EM64T)

バージョン: 5.6.0-0 **(オプション)**
ファイル名: hponcfg-5.6.0-0.x86_64.compsig; hponcfg-5.6.0-0.x86_64.rpm

事前要件

このユーティリティは、以下の最小ファームウェアリビジョンを必要とします。

- Integrated Lights-Out 3ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 4ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 5ファームウェアバージョン1.20以降

マネジメントインターフェイスドライバーおよびマネジメントエージェントはサーバーに必ずインストールされていなければなりません。

iLO 5の場合は、上記のパッケージに加え、openssl v1.0.x以降が必要です。
openssslを手動でコンパイルおよびインストールしたり、意図的に/usr/bin/openssslに再配置している場合は、PATH環境変数を設定し、正しい/意図したopenssslにHPONCFGをダイレクトする必要があります。

修正

64ビットのopenssslがインストールされている場合、HPONCFGがopenssslライブラリを検出できないという問題を修正しました。

拡張

製品名をHPE Lights-Outオンライン構成ユーティリティfor Linux (AMD64/EM64T)にアップデートしました。

ソフトウェア - マネジメント

先頭

HPE Agentless Managementバンドル Smart コンポーネント for Gen9 on ESXi 7.0

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: cp047519.compsig; cp047519.zip

修正

Agentless Management Service

- CVE-2018-18065、CVE-2018-18066、CVE-2015-5621のnet-snmpオープンソースコードに適用された修正

HPE CRUドライバーバンドルSmartコンポーネントfor ESXi 7.0

バージョン: 2020.04.01 (A) **(推奨)**
ファイル名: cp044598.compsig; cp044598.zip

拡張

サポートされている新しいサーバーを追加します

HPE iLOドライバーバンドルSmartコンポーネントfor ESXi 7.0

バージョン: 2021.09.01 **(推奨)**
ファイル名: cp047518.compsig; cp047518.zip

修正

- リロード時およびクイックブートが有効になっているときにコントローラーが正しく機能できるように、ドライバーのアンロード機能を修正しました。

HPE Management Bundle Smartコンポーネントfor ESXi 6.5 for Gen9サーバー

バージョン: 2021.10.00 **(推奨)**
ファイル名: cp049077.compsig; cp049077.zip

修正

Agentless Management Service

- CVE-2018-18065、CVE-2018-18066、CVE-2015-5621のnet-snmpオープンソースコードに適用された修正

iLOドライバー

- リロード時にコントローラーが正しく機能できるように、ドライバーのアンロード機能を修正しました。

HPE Management Bundle Smartコンポーネントfor ESXi 6.7 for Gen9サーバー

バージョン: 2021.10.00 **(推奨)**
ファイル名: cp049078.compsig; cp049078.zip

修正

Agentless Management Service

- CVE-2018-18065、CVE-2018-18066、CVE-2015-5621のnet-snmpオープンソースコードに適用された修正

iLOドライバー

- リロード時およびクイックブートが有効になっているときにコントローラーが正しく機能できるように、ドライバーのアンロード機能を修正しました。

HPE SDK Pythonモジュール

バージョン: 3.3.0 **(オプション)**
ファイル名: python-ilorest-library-3.3.0.0.zip

修正

SPP2021.10.0対応

HPE SMXプロバイダーバンドルSmartコンポーネントfor ESXi 7.0

バージョン: 2020.04.01 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp044960.compsig; cp044960.zip

拡張

サポートされているサーバーリストをアップデートしました。

HPEファイバーチャネルおよびストレージ イネーブルメント バンドル Smart コンポーネント for ESXi 7.0

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: cp047521.compsig; cp047521.zip

拡張

VMware ESXi 7.0 U2およびESXi 7.0 U3をサポートします

Smart Storage Administrator (SSA) CLI Smartコンポーネントfor ESXi 7.0

バージョン: 2021.04.01 **(推奨)**
ファイル名: cp047031.compsig; cp047031.zip

拡張

HPE SR Gen10 Plusコントローラーのサポートの追加。

Smart Storage Administrator (SSA) CLI Smartコンポーネントfor ESXi 7.0

バージョン: 2021.09.01 **(推奨)**
ファイル名: cp047066.compsig; cp047066.zip

修正

- LEDの"消灯"操作を行うとすべての識別LEDが一瞬点灯する問題を修正しました。
- ドライブファームウェアのフラッシュ後にNVMEドライブでエラーが発生する問題を修正しました。
- ステータスが"Not Available"であるボリュームの削除中に操作失敗メッセージが表示される問題を修正しました。
- 1TBを超える一部のドライブに関してSSAScriptingが誤ったサイズをレポートする問題を修正しました。これはSSACLIには影響しませんでした。

拡張

- 最初のパッシブSEDのサポートを追加しました。
- "unchanged"という新しいドライブ書き込みキャッシュ(DWC)ポリシーをアプリケーションに追加しました。
- RAIDボリュームに含まれていない障害発生ドライブを検出してレポートするためのサポートを追加しました。

ソフトウェア - ネットワーク

先頭

HPE ProLiantネットワークアダプター for Linux x86_64用Broadcom Active Health Systemエージェント

バージョン: 1.0.21-1 **(オプション)**
ファイル名: hp-tg3sd-1.0.21-1.x86_64.compsig; hp-tg3sd-1.0.21-1.x86_64.rpm; hp-tg3sd-1.0.21-1.x86_64.txt

修正

この製品は、SUSE Linux Enterprise Server 15を実行しているシステムにインストールするときに表示されるライブラリ依存関係の問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HP Ethernet 1Gb 4-port 331FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE ProLiantネットワークアダプター for Linux x86_64用Intel Active Health Systemエージェント

バージョン: 1.1.85.0-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: hp-ocsbbd-1.1.85.0-1.x86_64.compsig; hp-ocsbbd-1.1.85.0-1.x86_64.rpm; hp-ocsbbd-1.1.85.0-1.x86_64.txt

修正

この製品は、ocsbbdサービスが原因でサーバーの起動に時間がかかる問題を修正します。

拡張

SUMはこの製品をサポートしていないGen10サーバーにこの製品をインストールしようとしません。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のインテルネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 364i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366Mアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター

ソフトウェア - ストレージコントローラー

先頭

64-bit Windows Server Editions用HPE ProLiant Smartアレイ SAS/SATA Event Notification Service

バージョン: 6.46.0.64 (E) **(オプション)**
ファイル名: cp037465.exe

重要な注意!

すでにファームウェアバージョン6.46.0.64をインストールしている場合、6.46.0.64(E)にアップデートする必要はありません。

拡張

Microsoft Windows Server 2019のサポートを追加しました。

ソフトウェア - ストレージファイバーチャネル

先頭

HPE QLogicメザニンファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: cp048709.compsig; cp048709.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- Get Port Speed Capabilities(GPSC)の失敗により、ターゲットのインテリジェントインターリーブダイレクトメモリアクセス(IIDMA)が1GB/sに設定されるという望ましくない動作を修正しました。これは以下で説明されています。アドバイザリ:HPEホストバスアダプター - ESXi 6.5 / 6/7 / 7.0を実行し、特定のHPEホストバスアダプターが組み込まれているHPEプラットフォームでは、Brocade FOS v8.0.1(またはそれ以前)に接続すると、パフォーマンスが大幅に低下することがある
- パフォーマンスの低下につながるファブリックポート識別番号(FPIN)ベースの輻輳スロットリングの望ましくない動作に対処しました。
- 古い接続IDがファイバーチャネルNon-Volatile Memory Express(FC-NVMe)トラフィックで使用される可能性があるという望ましくない動作を修正しました。
- https://kb.vmware.com/s/article/81721で説明されている問題を回避するために応答キュー処理の望ましくない動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)輻輳管理アルゴリズムを改善しました
- Non-Volatile Memory Express(NVMe)ターゲット情報を報告し、Non-Volatile Memory Express(NVMe)パススルーコマンドを送信するためのvmkmgmtアプリケーションプログラミングインターフェイス(API)を実装しました

ドライバーバージョン3.1.46.0

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

HPE Storage Emulexメザニンファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: cp048584.compsig; cp048584.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

以下を追加しました。

- デフォルトの論理ユニット番号(LUN)キュー深度を30から64に変更しました
- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.317.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HPE Storage Emulexメザニンファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: cp048585.compsig; cp048585.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

ドライバーバージョン12.8.528.14にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

VMware vSphere 6.5用HPE QLogicファイバーチャネルドライバーコンポーネント

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: cp048721.compsig; cp048721.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- Get Port Speed Capabilities(GPSC)の失敗により、ターゲットのインテリジェントインターリーブダイレクトメモリアクセス(IIDMA)が1GB/sに設定されるという望ましくない動作を修正しました。これは以下で説明されています。アドバイザリ:HPEホストバスアダプター - ESXi 6.5 / 6/7 / 7.0を実行し、特定のHPEホストバスアダプターが組み込まれているHPEプラットフォームでは、Brocade FOS v8.0.1(またはそれ以前)に接続すると、パフォーマンスが大幅に低下することがある
- パフォーマンスの低下につながるファブリックポート識別番号(FPIN)ベースの輻輳スロットリングの望ましくない動作に対処しました。

- 古い接続IDがファイバーチャネルNon-Volatile Memory Express(FC-NVMe)トラフィックで使用される可能性があるという望ましくない動作を修正しました。
- https://kb.vmware.com/s/article/81721で説明されている問題を回避するために応答キュー処理の望ましくない動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)輻輳管理アルゴリズムを改善しました
- Non-Volatile Memory Express(NVMe)ターゲット情報を報告し、Non-Volatile Memory Express(NVMe)パススルーコマンドを送信するためのvmkmgmtアプリケーションプログラミングインターフェイス(API)を実装しました

ドライバーバージョン2.1.101.0

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

VMware vSphere 6.5用HPE QLogicメザニンファイバーチャネルドライバーコンポーネント

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: cp048708.compsig; cp048708.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- Get Port Speed Capabilities(GPSC)の失敗により、ターゲットのインテリジェントインターリーブダイレクトメモリアクセス(IIDMA)が1GB/sに設定されるという望ましくない動作を修正しました。これは以下で説明されています。アドバイザリ:HPEホストバスアダプター - ESXi 6.5 / 6/7 / 7.0を実行し、特定のHPEホストバスアダプターが組み込まれているHPEプラットフォームでは、Brocade FOS v8.0.1(またはそれ以前)に接続すると、パフォーマンスが大幅に低下することがある
- パフォーマンスの低下につながるファブリックポート識別番号(FPIN)ベースの輻輳スロットリングの望ましくない動作に対処しました。
- 古い接続IDがファイバーチャネルNon-Volatile Memory Express(FC-NVMe)トラフィックで使用される可能性があるという望ましくない動作を修正しました。
- https://kb.vmware.com/s/article/81721で説明されている問題を回避するために応答キュー処理の望ましくない動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)輻輳管理アルゴリズムを改善しました
- Non-Volatile Memory Express(NVMe)ターゲット情報を報告し、Non-Volatile Memory Express(NVMe)パススルーコマンドを送信するためのvmkmgmtアプリケーションプログラミングインターフェイス(API)を実装しました

ドライバーバージョン2.1.101.0

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

VMware vSphere 6.5用HPE Storage Emulexファイバーチャネルドライバーコンポーネント

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: cp048603.compsig; cp048603.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

以下を追加しました。

- デフォルトの論理ユニット番号(LUN)キュー深度を30から64に変更しました
- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.317.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

VMware vSphere 6.7用HPE QLogicファイバーチャネルドライバーコンポーネント

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: cp048722.compsig; cp048722.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- Get Port Speed Capabilities(GPSC)の失敗により、ターゲットのインテリジェントインターリーブダイレクトメモリアクセス(IIDMA)が1GB/sに設定されるという望ましくない動作を修正しました。これは以下で説明されています。アドバイザリ:HPEホストバスアダプター - ESXi 6.5 / 6/7 / 7.0を実行し、特定のHPEホストバスアダプターが組み込まれているHPEプラットフォームでは、Brocade FOS v8.0.1(またはそれ以前)に接続すると、パフォーマンスが大幅に低下することがある
- パフォーマンスの低下につながるファブリックポート識別番号(FPIN)ベースの輻輳スロットリングの望ましくない動作に対処しました。
- 古い接続IDがファイバーチャネルNon-Volatile Memory Express(FC-NVMe)トラフィックで使用される可能性があるという望ましくない動作を修正しました。
- https://kb.vmware.com/s/article/81721で説明されている問題を回避するために応答キュー処理の望ましくない動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)輻輳管理アルゴリズムを改善しました
- Non-Volatile Memory Express(NVMe)ターゲット情報を報告し、Non-Volatile Memory Express(NVMe)パススルーコマンドを送信するためのvmkmgmtアプリケーションプログラミングインターフェイス(API)を実装しました

ドライバーバージョン3.1.46.0

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32GbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプターHPE SN1600Q 32GbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプターHPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

VMware vSphere 6.7用HPE Storage Emulexファイバーチャネルドライバーコンポーネント

バージョン: 2021.10.01 **(推奨)**
ファイル名: cp048604.compsig; cp048604.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

ドライバーバージョン12.8.528.14にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

ソフトウェア - ストレージファイバーチャネルHBA

先頭

Fibreutils for HPE Storageファイバーチャネルホストバスアダプター for Linux - Red Hat Enterprise Linux (RHEL)

バージョン: 4.1-1 **(オプション)**
ファイル名: fibreutils-4.1-1_rhel.x86_64.compsig; fibreutils-4.1-1_rhel.x86_64.rpm

事前要件

- 以下のパッケージをインストールする必要があります:glibc libgcc libstdc++ bash perl

拡張

このパッケージでは、Red Hat Enterprise Linux(RHEL)ディストリビューションのみがサポートされています

サポートしているデバイスおよび機能

サポート対象:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE LPe1605 16GbファイバーチャネルホストバスアダプターfoBladeSystem c-Class
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32GbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプターHPE SN1600Q 32GbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプターHPE CN1200EデュアルポートコンバージドネットワークアダプターHPE CN1200E-TコンバージドネットワークアダプターHPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプターHPE FlexFabric 20Gb 2ポート650MアダプターHPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプターHPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-TアダプターHPE QMH2672 16GbファイバーチャネルホストバスアダプターfoBladeSystem

---

Fibreutils for HPE Storageファイバーチャネルホストバスアダプター for Linux - SuSE Linux Enterprise Server(SLES)

バージョン: 4.1-1 **(オプション)**
ファイル名: fibreutils-4.1-1_sles.x86_64.compsig; fibreutils-4.1-1_sles.x86_64.rpm

事前要件

- 以下のパッケージをインストールする必要があります:glibc libgcc libstdc++ bash perl

拡張

このパッケージでは、SuSE Linux Enterprise Server(SLES)ディストリビューションのみがサポートされています

サポートしているデバイスおよび機能

サポート対象:

- HPE 81E 8Gbシングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8Gbデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE LPe1605 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 81Q 8Gbシングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8Gbデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16Gbデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16Gbシングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

HPE Emulex Smart SAN イネーブルメントキット(Linux)

バージョン: 1.0.0.0-4 **(オプション)**
ファイル名: hpe-emulex-smartsan-enablement-kit-1.0.0.0-4.x86_64.compsig; hpe-emulex-smartsan-enablement-kit-1.0.0.0-4.x86_64.rpm

重要な注意！

オペレーティングシステムに受信トレイファイバーチャネルドライバーのみインストールされている場合、Smart SANイネーブルメントキットは実行されません。 アウトオブボックス (OOB) ファイバーチャネルドライバー以外では、Smart SAN機能を利用する必要があります。 OOBドライバーがインストールされている場合、イネーブルメントキットでは、将来の使用のためにSmart SAN機能が事前に有効/無効になります。OOBドライバーが有効なSmart SANがインストールされ(前提条件の注記参照)、再起動後に有効になります。

3PAR用のSmart SANユーザーガイドを次のリンクから入手してください。HPE Smart SAN for 3PAR 2.0 User Guide

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

Smart SAN機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前にHPEで指定されたファイバーチャネルドライバーをインストールしなければなりません。 ドライバーは、HPE.comのウェブサイトwww.hpe.comで利用できます。

HPE Emulex FC HBAおよびメザニンカード用Linux FCドライバーキット、RedHat 7、RedHat 8およびSUSE 12、SUSE 15用バージョン12.8.482.2

ただし、Smart SANが有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

SLES15SP3にサポートを追加しました

バージョン1.0.0.0-4にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8Gbシングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8Gbデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulex Smart SANイネーブルメントキットfor Microsoft Windows Server 2012R2/2016/2019 (x86_64)

バージョン: 1.0.0.1 **(オプション)**
ファイル名: cp048583.compsig; cp048583.exe

重要な注意！

オペレーティングシステムに受信トレイファイバーチャネルドライバーのみインストールされている場合、Smart SANイネーブルメントキットは実行されません。 アウトオブボックス (OOB) ファイバーチャネルドライバー以外では、Smart SAN機能を利用する必要があります。 OOBドライバーがインストールされている場合、イネーブルメントキットでは、将来の使用のためにSmart SAN機能が事前に有効/無効になります。OOBドライバーが有効なSmart SANがインストールされ(前提条件の注記参照)、再起動後に有効になります。

3PAR用のSmart SANユーザーガイドを次のリンクから入手してください。HPE Smart SAN for 3PAR 2.0 User Guide

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

Smart SAN機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前にHPEで指定されたファイバーチャネルドライバーをインストールしなければなりません。 最新のEmulex FCドライバー12.8.351.7は、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

ただし、Smart SAN が有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

バージョン1.0.0.1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulex(BRCM)ファイバーチャネルオーバーイーサーネットイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - Red Hat Enterprise Linux 7 Server

バージョン: 12.0.1339.0 **(推奨)**
ファイル名: HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.rhel7.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.rhel7.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

拡張

EKバージョンを12.0.1339.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200EデュアルポートコンバージドネットワークアダプターHPE CN1200E-TデュアルポートコンバージドネットワークアダプターHPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプターHPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-TアダプターHPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプターHPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Emulex(BRCM)ファイバーチャネルオーバーイーサーネットイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン: 12.0.1339.0 **(推奨)**
ファイル名: HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.rhel8.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.rhel8.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

拡張

アップデートしたバージョン: 12.0.1339.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Emulex(BRCM)ファイバーチャネルオーバーイーサーネットイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 12.0.1339.0 **(推奨)**
ファイル名: HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.sles12sp5.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

拡張

アップデートしたバージョン: 12.0.1339.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Emulex(BRCM)ファイバーチャネルオーバーイーサーネットイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 12.0.1339.0 **(推奨)**
ファイル名: HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.sles15sp2.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

拡張

アップデートしたバージョン: 12.0.1339.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Emulexファイバーチャネルイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - Red Hat Enterprise Linux 7 Server

バージョン: 12.8.526.0 **(推奨)**
ファイル名: HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.526.0-1.rhel7.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.526.0-1.rhel7.x86_64.rpm

重要な注意！

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

拡張

バージョン12.8.526.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE LPe1605 16Gbファイバーチャネルメザニンホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulexファイバーチャネルイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン: 12.8.526.0 **(オプション)**
ファイル名: HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.526.0-1.rhel8.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.526.0-1.rhel8.x86_64.rpm

重要な注意！

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

拡張

以下のサポートを追加しました。

- RHEL 8.4のサポートを追加しました

バージョン12.8.526.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8Gbシングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8Gbデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE LPe1605 16Gbファイバーチャネルメザニンホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulexファイバーチャネルイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 12.8.526.0 **(オプション)**
ファイル名: HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.526.0-1.sles12sp5.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.526.0-1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意！

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

SuSE Linux Enterprise Server 12サービスパック5での同じイネーブルメントキットバージョンの書き換えは、–forceまたは--replacepkgsと--nodepsオプションを使用して実行する必要があります。

例:rpm –Uvh HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-...rpm --force --nodeps

rpm –Uvh HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-...rpm --replacepkgs --nodeps

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

拡張

バージョン12.8.526.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8Gbシングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8Gbデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE LPe1605 16Gbファイバーチャネルメザニンホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulexファイバーチャネルイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 12.8.526.0 **(オプション)**
ファイル名: HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.526.0-1.sles15sp2.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.526.0-1.sles15sp2.x86_64.rpm; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.526.0-1.sles15sp3.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.526.0-1.sles15sp3.x86_64.rpm

重要な注意！

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

SuSE Linux Enterprise Server 15サービスパック2およびSuSE Linux Enterprise Server 15サービスパック3での同じイネーブルメントキットバージョンの書き換えは、--reinstallオプションを使用して実行する必要があります。

例:rpm –Uvh HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-...rpm --reinstall

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

拡張

以下のサポートを追加しました。

- SLES 15 SP3のサポートを追加しました。

バージョン12.8.526.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE LPe1605 16Gbファイバーチャネルメザニンホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE NVMeファイバーチャネルイネーブルメントキットfor Emulexホストバスアダプター - Linuxサーバー

バージョン: 12.8.264.0 **(オプション)**
ファイル名: nvmefc-connect-12.8.264.0-1.rhel7u8.noarch.compsig; nvmefc-connect-12.8.264.0-1.rhel7u8.noarch.rpm; nvmefc-connect-12.8.264.0-1.rhel7u9.noarch.compsig; nvmefc-connect-12.8.264.0-1.rhel7u9.noarch.rpm

重要な注意！

このパッケージは、以下のオペレーティングシステムにのみ適用されます

Red Hat Enterprise Linux Server 7 update 8

Red Hat Enterprise Linux Server 7 update 9

事前要件

Linuxオペレーティングシステムに基づくターゲットシステムにnvme-connect rpmを正常に展開するには、"nvme-cli"パッケージがターゲットシステムで使用可能である必要があります。このパッケージは、OSディストリビューションの一部として入手できます。

拡張

バージョン12.8.264.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPEファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニンホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogic Smart SAN イネーブルメントキット for Linux

バージョン: 3.3-3 **(オプション)**
ファイル名: hpe-qlogic-smartsan-enablement-kit-3.3-3.x86_64.compsig; hpe-qlogic-smartsan-enablement-kit-3.3-3.x86_64.rpm

重要な注意！

3PAR用のSmart SANユーザーガイドを次のリンクから入手してください。HPE Smart SAN for 3PAR 2.0 User Guide

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください。http://www.hpe.com/storage/spock/

Smart SAN機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前にHPEで指定されたファイバーチャネルドライバーをインストールしなければなりません。 ドライバーは、HPE.comのウェブサイトwww.hpe.comで利用できます。

- Red Hat Enterprise Linux 7 Server (x86-64) FCドライバーキットfor HPE Qlogic HBAおよびメザニンHBA、バージョン10.02.01.00.a14-k1
- HPE QLogic HBAおよびメザニンHBA用Red Hat Enterprise Linux 8 Server FCドライバーキット、バージョン10.02.01.01.a2-k1
- HPE Qlogic HBAおよびメザニンHBA用SUSE Linux Enterprise Server 12 FCドライバーキット、バージョン10.02.01.00.a14-k1
- HPE QLogic HBAおよびメザニンHBA用SUSE Linux Enterprise Server 15 FCドライバーキット、バージョン10.02.01.00.a14-k1

ただし、Smart SANが有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

バージョン3.3-3にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16GbファイバーチャネルホストバスアダプターFor c-Class BladeSystem
- HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogic Smart SANイネーブルメントキットforファイバーチャネルホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2012R2/2016/2019 (x86_64)

バージョン: 1.0.0.1 **(オプション)**
ファイル名: cp048718.compsig; cp048718.exe

重要な注意！

オペレーティングシステムに受信トレイファイバーチャネルドライバーのみインストールされている場合、Smart SANイネーブルメントキットは実行されません。 アウトオブボックス (OOB) ファイバーチャネルドライバー以外では、Smart SAN機能を利用する必要があります。 OOBドライバーがインストールされている場合、イネーブルメントキットでは、将来の使用のためにSmart SAN機能が事前に有効/無効になります。OOBドライバーが有効なSmart SANがインストールされ(前提条件の注記参照)、再起動後に有効になります。

3PAR用のSmart SANユーザーガイドを次のリンクから入手してください。HPE Smart SAN for 3PAR 2.0 User Guide

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

Smart SAN機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前にHPEで指定されたファイバーチャネルドライバーをインストールしなければなりません。 最新のQlogic FCドライバー9.4.5.20は、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

ただし、Smart SANが有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

バージョン1.0.0.1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

Gen4ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Gen5ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GB 2ポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1000Q 16GB 1ポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

Gen6ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GB 2ポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GB 1ポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

HPE QLogicファイバーチャネルイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - Linux

バージョン: 6.0.0.0-16 **(推奨)**
ファイル名: HPE-CNA-FC-hpeqlgc-Enablement-Kit-6.0.0.0-16.noarch.compsig; HPE-CNA-FC-hpeqlgc-Enablement-Kit-6.0.0.0-16.noarch.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE QLogicアダプターリリースノート

イネーブルメントキットは、OSインストールメディアからlibHBAAPIパッケージをインストールしたターゲット環境を必要とします。

Linuxイネーブルメントキットは"HP-CNA-FC-hpqlgc-Enablement-Kit"から"HPE-CNA-FC-hpeqlgc-Enablement-Kit"に変更されました。以前にリリースされたイネーブルメントキットからのアップグレードがサポートされています。ただし、以前のバージョン"HP-CNA-FC-hpqlgc-Enablement-Kit"へのダウングレードは成功しない場合があり、競合が報告される場合があります。

回避策:イネーブルメントキットをアンインストールして、古いバージョンをインストールしてください

SuSE Linux Enterprise Server 12サービスパック4およびSuSE Linux Enterprise Server 12サービスパック5での同じイネーブルメントキットバージョンの書き換えは、–forceまたは--replacepkgsと--nodepsオプションを使用して実行する必要があります。

例:rpm –Uvh HPE-CNA-FC-hpeqlgc-Enablement-Kit-.noarch.rpm --force --nodeps

rpm –Uvh HPE-CNA-FC-hpeqlgc-Enablement-Kit-.noarch.rpm --replacepkgs --nodeps

SuSE Linux Enterprise Server 15サービスパック1およびSuSE Linux Enterprise Server 15サービスパック2での同じイネーブルメントキットバージョンの書き換えは、--reinstallオプションを使用して実行する必要があります。

例:rpm –Uvh HPE-CNA-FC-hpeqlgc-Enablement-Kit-.noarch.rpm --force --nodeps

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

イネーブルメントキットは、OSインストールメディアからlibHBAAPIパッケージをインストールしたターゲット環境を必要とします。

拡張

バージョン6.0.0.0-16にキットをアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

ソフトウェア - システムマネジメント

先頭

HPE Agentless Management Bundle for ESXi 7.0 on Gen9

バージョン: 701.11.8.0 **(推奨)**
ファイル名: amshelprComponent_701.11.8.0.12-1_18567695.zip

修正

Agentless Management Service

- CVE-2018-18065、CVE-2018-18066、CVE-2015-5621のnet-snmpオープンソースコードに適用された修正

HPE Apollo、ProLiantおよびSynergy Gen9サーバーのHPE ProLiant Agentless Managementサービス

バージョン: 10.100.0.0 **(オプション)**
ファイル名: cp047524.exe

事前要件

このコンポーネントの前に*HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver for Windows X64*(バージョン3.4.0.0以降)をインストールする必要があります。

修正

- AMSがiSCSI情報を照会しているときに、より多くの実行中の例外を処理しました。
- ソフトウェアインベントリのソフトウェアパス制限を削除しました。
- AMSでiLOとの通信が切断された場合に、OS情報をAHSのログに再度記録しました。

拡張

- サポートOSの稼働時間情報を追加しました。

HPE Insight Management WBEM Providers for Microsoft Windows x64

バージョン: 11.1.0.0 **(オプション)**
ファイル名: cp048743.exe

重要な注意！

WBEMプロバイダーのスマートコンポーネントには、インストール用のVC2015再配布可能パッケージが含まれています。KB2919355がインストールされていないと、VC2015再配布可能パッケージをMicrosoft Windows Server 2012R2にインストールできません。

事前要件

HPE Insight Management WBEM ProviderはHPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface とManagement Controller Drivers (バージョン3.4.0.0以降) for Windows X64がこのコンポーネントに予めインストールされていることを要求します。

また、シングル サーバーWebベースユーザーインターフェイスのためにSystem Management Homepage (SMH) コンポーネント (バージョン7.2.2.9以降) が必要です。

Windows Updateを実行することによって、システム上のOSに必要なすべての更新を適用します。Windows Updateが不完全な場合、HPE WBEM Providerのインストールに失敗することがあります。

修正

- 古いバージョンのWBEMをアンインストールしてもプログラムと機能に存在するように修正しました。

HPE Insightマネジメントエージェントfor Microsoft Windows Server x64 Edition

バージョン: 11.1.0.0 **(オプション)**
ファイル名: cp041529.exe

事前要件

HPE Insightマネジメントエージェントでは、このコンポーネントの前にWindows x64用のSNMPサービス、HPE ProLiant iLO 3/4チャネルインターフェイス、およびマネジメントコントローラードライバーがインストールされている必要があります。

また、シングル サーバーWebベースユーザーインターフェイスのためにSystem Management Homepage(SMH)コンポーネントが必要です。

修正

- SNMPネットワークエージェントから発生する異常なWindowsシステムイベントを修正しました

HPE ProLiant Agentless Management Service for Red Hat Enterprise Linux 7 Server

バージョン: 2.10.4 **(オプション)**
ファイル名: hp-ams-2.10.4-885.4.rhel7.x86_64.compsig; hp-ams-2.10.4-885.4.rhel7.x86_64.rpm

事前要件

- **hp-amsは、HPE ProLiant Gen8およびGen9サーバーでサポートされています。**
- **hp-amsは、SNMPサポートを提供しているHPE iLO 4サービスに情報を提供します。**
- **HPE iLO 4上でSNMPパススルーを無効にして、SNMPがHP iLO 4上で構成されている必要があります。HPE iLO 4は、これらの設定を変更した後にリセットする必要がある場合があります。**
- **要件:**
  - 最低限必要なHPE iLO 4ファームウェアバージョン = 1.05
  - 最低限必要なOSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 5.6, Red Hat Enterprise Linux 6.0, Red Hat Enterprise Linux 7.0, Red Hat Enterprise Linux 8.0, SUSE Linux Enterprise Server 10 SP4, SUSE Linux Enterprise Server 11 SP1, SUSE Linux Enterprise Server 12, SUSE Linux Enterprise Server 15

HPE ProLiant Agentless Management Service for Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン: 2.10.4 **(オプション)**
ファイル名: hp-ams-2.10.4-885.5.rhel8.x86_64.compsig; hp-ams-2.10.4-885.5.rhel8.x86_64.rpm

事前要件

- **hp-amsは、HPE ProLiant Gen8およびGen9サーバーでサポートされています。**
- **hp-amsは、SNMPサポートを提供しているHPE iLO 4サービスに情報を提供します。**
- **HPE iLO 4上でSNMPパススルーを無効にして、SNMPがHP iLO 4上で構成されている必要があります。HPE iLO 4は、これらの設定を変更した後にリセットする必要がある場合があります。**
- **要件:**
  - 最低限必要なHPE iLO 4ファームウェアバージョン = 1.05
  - 最低限必要なOSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 5.6、Red Hat Enterprise Linux 6.0、SuSE Linux Enterprise Server 10 SP4、SuSE Linux Enterprise Server 11 SP1

HPE ProLiant Agentless Management Service for SUSE LINUX Enterprise Server 12

バージョン: 2.10.4 **(オプション)**
ファイル名: hp-ams-2.10.4-885.4.sles12.x86_64.compsig; hp-ams-2.10.4-885.4.sles12.x86_64.rpm

事前要件

- **hp-amsは、HPE ProLiant Gen8およびGen9サーバーでサポートされています。**
- **hp-amsは、SNMPサポートを提供しているHPE iLO 4サービスに情報を提供します。**
- **HPE iLO 4上でSNMPパススルーを無効にして、SNMPがHP iLO 4上で構成されている必要があります。HPE iLO 4は、これらの設定を変更した後にリセットする必要がある場合があります。**
- **要件:**
  - 最低限必要なHPE iLO 4ファームウェアバージョン = 1.05
  - 最低限必要なOSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 5.6, Red Hat Enterprise Linux 6.0, Red Hat Enterprise Linux 7.0, Red Hat Enterprise Linux 8.0, SUSE Linux Enterprise Server 10 SP4, SUSE Linux Enterprise Server 11 SP1, SUSE Linux Enterprise Server 12, SUSE Linux Enterprise Server 15

HPE ProLiant Agentless Management Service for SUSE LINUX Enterprise Server 15

バージョン: 2.10.4 **(オプション)**
ファイル名: hp-ams-2.10.4-885.4.sles15.x86_64.compsig; hp-ams-2.10.4-885.4.sles15.x86_64.rpm

事前要件

- **hp-amsは、HPE ProLiant Gen8およびGen9サーバーでサポートされています。**
- **hp-amsは、SNMPサポートを提供しているHPE iLO 4サービスに情報を提供します。**
- **HPE iLO 4上でSNMPパススルーを無効にして、SNMPがHP iLO 4上で構成されている必要があります。HPE iLO 4は、これらの設定を変更した後にリセットする必要がある場合があります。**
- **要件:**
  - 最低限必要なHPE iLO 4ファームウェアバージョン = 1.05
  - 最低限必要なOSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 5.6、Red Hat Enterprise Linux 6.0、Red Hat Enterprise Linux 7.0、SUSE Linux Enterprise Server 10 SP4、SUSE Linux Enterprise Server 11 SP1、SUSE Linux Enterprise Server 12、SUSE Linux Enterprise Server 15

修正

以下を修正しました。

- SL4540 Gen8 H220 [LSI] ILO4では、SCSIコマンドタグが正しくないため、ドライブステータスのすべての表示が失敗しました。
- U.3 NVMeデバイスがシステムにインストールされているときにhp-amsが起動しない可能性がある問題に対処しました
- HPE Synergy 6810C 25/50Gb Ethernet Adapter が hp-ams で情報を表示しない問題は解決されました。

HPE SNMPエージェント for Red Hat Enterprise Linux 7 Server

バージョン: 10.9.4 **(オプション)**
ファイル名: hp-snmp-agents-10.94-689.8.rhel7.x86_64.compsig; hp-snmp-agents-10.94-689.8.rhel7.x86_64.rpm

事前要件

hp-healthおよびHP SNMPエージェント(hp-snmp-agents)は、x86_64環境では32ビットアプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-snmp-agentsに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のように入力します:

rpm –qp –-requires hp-snmp-agents-.rpm

修正

以下を修正しました。

- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプターがサポートされていないと表示される問題に対処しました
- データベース内の無効なutf8mb4文字を修正しました

HPE SNMPエージェント for SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 10.9.4 **(オプション)**
ファイル名: hp-snmp-agents-10.94-689.8.sles12.x86_64.compsig; hp-snmp-agents-10.94-689.8.sles12.x86_64.rpm

事前要件

hp-healthおよびHP SNMPエージェント(hp-snmp-agents)は、x86_64環境では32ビットアプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-snmp-agentsに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のように入力します:

rpm –qp –-requires hp-snmp-agents-.rpm

修正

以下を修正しました。

- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプターがサポートされていないと表示される問題に対処しました
- データベース内の無効なutf8mb4文字を修正しました

HPE SNMPエージェントfor Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン: 10.9.4 **(オプション)**
ファイル名: hp-snmp-agents-10.94-689.8.rhel8.x86_64.compsig; hp-snmp-agents-10.94-689.8.rhel8.x86_64.rpm

事前要件

hp-healthおよびHP SNMPエージェント(hp-snmp-agents)は、x86_64環境では32ビットアプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-snmp-agentsに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のように入力します:

rpm –qp –-requires hp-snmp-agents-.rpm

修正

以下を修正しました。

- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプターがサポートされていないと表示される問題に対処しました
- データベース内の無効なutf8mb4文字を修正しました

HPE SNMPエージェントfor SUSE LINUX Enterprise Server 15

バージョン: 10.9.4 **(オプション)**
ファイル名: hp-snmp-agents-10.94-689.8.sles15.x86_64.compsig; hp-snmp-agents-10.94-689.8.sles15.x86_64.rpm

事前要件

hp-healthおよびHP SNMPエージェント(hp-snmp-agents)は、x86_64環境では32ビットアプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-snmp-agentsに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のように入力します:

rpm –qp ––requires hp-snmp-agents-.rpm

修正

以下を修正しました。

- hp-snmp-agentは、すべてのSLES15およびSubversionのOSの説明として「NAME = "SLES"」を表示する場合があります。
- SLES15およびsubversionでifconfig systemコマンドが欠落しているために、接続されているNICポートのステータスが正しくない場合があります。
- パッケージのビルド中にSLES15のhp-snmp-agentでsystemd rpmが欠落しているため、SMHページにインターフェイス情報が欠落していることがユーザーに表示される場合があります。

HPE System Management Homepage for Linux(AMD64/EM64T)

バージョン: 7.6.6-2 **(推奨)**
ファイル名: hpsmh-7.6.6-2.x86_64.rpm

重要な注意！

ご使用のシステムが記載された修正に影響する場合、またはこのバージョンで提供される拡張機能を使用する場合、このバージョンにアップデートする必要があります。

SMH 7.6.0以降のバージョンはGen 8およびGen 9サーバーのみをサポートします。将来の全てのパッチリリースはSMH webページ上でのみ行われます。HPE SMH リリースノートを参照してください。

Linux OSのユーザー用のご注意

- パスワードファイルの編集またはその他の方法により、"hpsmh"ユーザー(インストレーション中に作成)にログインアクセスを提供しないでください。
- "hpsmh"グループ(インストール中に作成)にユーザーを追加しないでください。

事前要件

SMHソフトウェアをインストールする前に、RPMが必要なバージョンのLinuxライブラリの依存関係が存在するかどうかを確認します。依存関係が見つからない場合、欠落した依存関係のリストが提供されます。ユーザーはRPMをインストールする前に、すべての必要な依存関係を手動でインストールして、前提条件を満たす必要があります。

修正

- Apacheが2.4.41にアップデートされました
- 応答ヘッダーにセキュリティ修正を追加しました

HPE System Management Homepage for Windows x64

バージョン: 7.6.6.2 **(推奨)**
ファイル名: cp043048.exe

重要な注意！

ご使用のシステムが記載された修正に影響する場合、またはこのバージョンで提供される拡張機能を使用する場合、このバージョンにアップデートする必要があります。

SMH 7.6.0 &以降のバージョンはGen 8およびGen 9サーバーのみをサポートします。将来の全てのパッチリリースはSMH webページ上でのみ行われます。HPE SMH リリースノートを参照してください。

修正

- Apacheが2.4.41にアップデートされました
- 応答ヘッダーにセキュリティ修正を追加しました

HPE System Management Homepageテンプレート for Linux

バージョン: 10.8.1 **(オプション)**
ファイル名: hp-smh-templates-10.8.1-1487.3.noarch.rpm

事前要件

すべての依存関係がインストールされていないと、**hp-smh-templates** RPMインストールが失敗します。管理者は、このコマンドを実行することにより、必要な依存関係の一覧を検証できます。yumまたはzypperにより使用されているリポジトリにこれらの依存関係が含まれている場合は、インストール

ツールにより自動的に取得されます。ただし、存在しない場合は、RPMのインストールに進む前に、ユーザーが主導でインストールする必要があります。

hp-smh-templatesに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

rpm –qp –-requires hp-smh-templates-.rpm

修正

Red Hat Enterprise Linux 8 Serverの初回サポートです

HPEオフライン Bundle for ESXi 6.5 for HPE Gen9サーバー

バージョン: gen9.3.8.0 **(推奨)**
ファイル名: esxi6.5uX-mgmt-bundle-gen9.3.8.0.12-1.zip

修正

Agentless Management Service

- CVE-2018-18065、CVE-2018-18066、CVE-2015-5621のnet-snmpオープンソースコードに適用された修正

iLOドライバー

- リロード時にコントローラーが正しく機能できるように、ドライバーのアンロード機能を修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

VMware vSphere バージョンサポート:

- VMware vSphere 6.5 U1
- VMware vSphere 6.5 U2

HPEオフライン Bundle for ESXi 6.7 for HPE Gen9サーバー

バージョン: gen9.3.8.0 **(推奨)**
ファイル名: esxi6.7uX-mgmt-bundle-gen9.3.8.0.12-1.zip

修正

Agentless Management Service

- CVE-2018-18065、CVE-2018-18066、CVE-2015-5621のnet-snmpオープンソースコードに適用された修正

iLOドライバー

- リロード時およびクイックブートが有効になっているときにコントローラーが正しく機能できるように、ドライバーのアンロード機能を修正しました。

HPEシステムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ for Red Hat Enterprise Linux 7 Server

バージョン: 10.9.3 **(オプション)**
ファイル名: hp-health-10.93-307.7.rhel7.x86_64.compsig; hp-health-10.93-307.7.rhel7.x86_64.rpm

事前要件

hp-healthおよびHP SNMPエージェント(hp-snmp-agents)は、x86_64環境では32ビット アプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-healthに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

rpm –qp –requires hp-health-.rpm

HPEシステムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ for Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン: 10.9.3 **(オプション)**
ファイル名: hp-health-10.93-307.4.rhel8.x86_64.compsig; hp-health-10.93-307.4.rhel8.x86_64.rpm

事前要件

hp-healthおよびHP SNMPエージェント(hp-snmp-agents)は、x86_64環境では32ビットアプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-healthに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

rpm –qp –requires hp-health-< version>.rpm

HPEシステムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ for SUSE LINUX Enterprise Server 12

バージョン: 10.9.3 **(オプション)**
ファイル名: hp-health-10.93-307.6.sles12.x86_64.rpm

事前要件

hp-healthおよびHP SNMPエージェント(hp-snmp-agents)は、x86_64環境では32ビット アプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-healthに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

rpm –qp –requires hp-health-.rpm

HPEシステムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ for SUSE LINUX Enterprise Server 15

バージョン: 10.9.3 **(オプション)**
ファイル名: hp-health-10.93-307.5.sles15.x86_64.rpm

事前要件

hp-healthおよびHP SNMPエージェント(hp-snmp-agents)は、x86_64環境では32ビットアプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-healthに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

rpm –qp –requires hp-health-< version>.rpm

修正

以下を修正しました。

- SMBIOSデータ入力がDIMM情報を正しく初期化していないため、hpasmcliユーティリティがDIMMステータスを「N/A」と表示する場合があります。

HPEファイバーチャネルおよびストレージ イネーブルメント コンポーネント for ESXi 7.0

バージョン: 3.8.0 **(推奨)**
ファイル名: fc-enablement-component_700.3.8.0.6-1_18506758.zip

拡張

VMware ESXi 7.0 U2およびESXi 7.0 U3をサポートします

HPEユーティリティオフライン Bundle for ESXi 6.5

バージョン: 10.8.0 **(推奨)**
ファイル名: HPE-Utility-Component_10.8.0.650-26.zip

重要な注意！

以下のVMware vSphere 6.5 for April 2019用HPE VMwareユーティリティユーザーガイドを参照してください。
http://www.hpe.com/info/vmware/proliant-docs

修正

hpessacli

- 「オフ」LED操作がすべての識別LEDを一時的にオンにする問題を修正しました。
- ドライブファームウェアのフラッシュ後にNVMEドライブが失敗する問題を修正しました。
- ステータスが「使用不可」のボリュームを削除しているときに、操作の失敗メッセージが表示される問題を修正しました。
- SSAScriptingが1TBを超える一部のドライブで誤ったサイズを報告する問題を修正しました。これはSSACLIには影響しませんでした。

拡張

hpessacli

- 初期のパッシブSEDサポートが追加されました。
- 新しい「変更されていない」ドライブ書き込みキャッシュ(DWC)ポリシーをアプリケーションに追加しました。
- RAIDボリュームの一部ではない障害のあるドライブを検出して報告するためのサポートが追加されました。

HPEユーティリティオフライン Bundle for ESXi 6.7

バージョン: 10.8.0 **(推奨)**
ファイル名: HPE-Utility-Component_10.8.0.670-26.zip

重要な注意！

以下のVMware vSphere 6.7 U1 for April 2019用HPE VMwareユーティリティユーザーガイドを参照してください。
http://www.hpe.com/info/vmware/proliant-docs

修正

hpessacli

- 「オフ」LED操作がすべての識別LEDを一時的にオンにする問題を修正しました。
- ドライブファームウェアのフラッシュ後にNVMEドライブが失敗する問題を修正しました。
- ステータスが「使用不可」のボリュームを削除しているときに、操作の失敗メッセージが表示される問題を修正しました。
- SSAScriptingが1TBを超える一部のドライブで誤ったサイズを報告する問題を修正しました。これはSSACLIには影響しませんでした。

拡張

hpessacli

- 初期のパッシブSEDサポートが追加されました。
- 新しい「変更されていない」ドライブ書き込みキャッシュ(DWC)ポリシーをアプリケーションに追加しました。
- RAIDボリュームの一部ではない障害のあるドライブを検出して報告するためのサポートが追加されました。

Smart Storage Administrator (SSA) CLI for Linux 64ビット

バージョン: 5.20.8.0 **(推奨)**
ファイル名: ssacli-5.20-8.0.x86_64.compsig; ssacli-5.20-8.0.x86_64.rpm; ssacli-5.20-8.0.x86_64.txt

修正

- LEDの"消灯"操作を行うとすべての識別LEDが一瞬点灯する問題を修正しました。
- ドライブファームウェアのフラッシュ後にNVMEドライブでエラーが発生する問題を修正しました。
- ステータスが"Not Available"であるボリュームの削除中に操作失敗メッセージが表示される問題を修正しました。
- 1TBを超える一部のドライブに関してSSAScriptingが誤ったサイズをレポートする問題を修正しました。これはSSACLIには影響しませんでした。

拡張

- 最初のパッシブSEDのサポートを追加しました。
- "unchanged"という新しいドライブ書き込みキャッシュ(DWC)ポリシーをアプリケーションに追加しました。
- RAIDボリュームに含まれていない障害発生ドライブを検出してレポートするためのサポートを追加しました。

Smart Storage Administrator (SSA) CLI for VMware 6.5

バージョン: 5.20.8.0 **(推奨)**
ファイル名: MIS_bootbank_ssacli-5.20.8.0-6.5.0.4240417.oem.vib

修正

- LEDの"消灯"操作を行うとすべての識別LEDが一瞬点灯する問題を修正しました。
- ドライブファームウェアのフラッシュ後にNVMEドライブでエラーが発生する問題を修正しました。
- ステータスが"Not Available"であるボリュームの削除中に操作失敗メッセージが表示される問題を修正しました。
- 1TBを超える一部のドライブに関してSSAScriptingが誤ったサイズをレポートする問題を修正しました。これはSSACLIには影響しませんでした。

拡張

- 最初のパッシブSEDのサポートを追加しました。
- "unchanged"という新しいドライブ書き込みキャッシュ(DWC)ポリシーをアプリケーションに追加しました。
- RAIDボリュームに含まれていない障害発生ドライブを検出してレポートするためのサポートを追加しました。

Smart Storage Administrator (SSA) CLI for VMware 6.7

バージョン: 5.20.8.0 **(推奨)**
ファイル名: MIS_bootbank_ssacli-5.20.8.0-6.7.0.7535516.oem.vib

修正

- LEDの"消灯"操作を行うとすべての識別LEDが一瞬点灯する問題を修正しました。
- ドライブファームウェアのフラッシュ後にNVMEドライブでエラーが発生する問題を修正しました。
- ステータスが"Not Available"であるボリュームの削除中に操作失敗メッセージが表示される問題を修正しました。
- 1TBを超える一部のドライブに関してSSAScriptingが誤ったサイズをレポートする問題を修正しました。これはSSACLIには影響しませんでした。

拡張

- 最初のパッシブSEDのサポートを追加しました。
- "unchanged"という新しいドライブ書き込みキャッシュ(DWC)ポリシーをアプリケーションに追加しました。
- RAIDボリュームに含まれていない障害発生ドライブを検出してレポートするためのサポートを追加しました。

Smart Storage Administrator (SSA) CLI for Windows 64ビット

バージョン: 5.20.8.0 **(推奨)**
ファイル名: cp047063.compsig; cp047063.exe

修正

- LEDの"消灯"操作を行うとすべての識別LEDが一瞬点灯する問題を修正しました。
- ドライブファームウェアのフラッシュ後にNVMEドライブでエラーが発生する問題を修正しました。
- ステータスが"Not Available"であるボリュームの削除中に操作失敗メッセージが表示される問題を修正しました。
- 1TBを超える一部のドライブに関してSSAScriptingが誤ったサイズをレポートする問題を修正しました。これはSSACLIには影響しませんでした。

拡張

- HPE ProLiant Gen10およびGen10 Plusプラットフォーム限定で、Windows Server 2022のサポートを追加しました。
- 最初のパッシブSEDのサポートを追加しました。
- "unchanged"という新しいドライブ書き込みキャッシュ(DWC)ポリシーをアプリケーションに追加しました。
- RAIDボリュームに含まれていない障害発生ドライブを検出してレポートするためのサポートを追加しました。

Smart Storage Administrator (SSA) for Linux 64ビット

バージョン: 5.20.8.0 **(推奨)**
ファイル名: ssa-5.20-8.0.x86_64.compsig; ssa-5.20-8.0.x86_64.rpm; ssa-5.20-8.0.x86_64.txt

事前要件

Smart Storage Administrator for Linuxは、サーバーにSystem Management Homepageソフトウェアがインストールされている必要があります。 サーバーにSystem Management Homepageソフトウェアがインストールされていない場合、Smart Storage Administrator for Linuxをインストールする前に、HPE.comからダウンロードしてインストールしてください。

重要なアップデート: SSA(GUI)for Linuxは、System Management Homepageを必要とせず、実行することができます。 SSAはLinux用のローカルアプリケーションモードをサポートします。 System Management Homepageは引き続きサポートされていますが、SSA GUIの実行には必要ありません。

起動するには、コマンドプロンプトで以下を入力してください。

ssa -local

コマンドは新しいFirefoxブラウザーウィンドウでSSAを開始します。ブラウザーウィンドウを閉じると、SSAは自動的に終了します。これは、ループバックインタ-フェイスだけに有効であって、外部のネットワーク接続には当てはまりません。

修正

- LEDの"消灯"操作を行うとすべての識別LEDが一瞬点灯する問題を修正しました。
- ドライブファームウェアのフラッシュ後にNVMEドライブでエラーが発生する問題を修正しました。
- ステータスが"Not Available"であるボリュームの削除中に操作失敗メッセージが表示される問題を修正しました。
- 1TBを超える一部のドライブに関してSSAScriptingが誤ったサイズをレポートする問題を修正しました。これはSSACLIには影響しませんでした。

拡張

- 最初のパッシブSEDのサポートを追加しました。
- "unchanged"という新しいドライブ書き込みキャッシュ(DWC)ポリシーをアプリケーションに追加しました。
- RAIDボリュームに含まれていない障害発生ドライブを検出してレポートするためのサポートを追加しました。

Smart Storage Administrator (SSA) for Windows 64ビット

バージョン: 5.20.8.0 **(推奨)**
ファイル名: cp047062.compsig; cp047062.exe

修正

- LEDの"消灯"操作を行うとすべての識別LEDが一瞬点灯する問題を修正しました。
- ドライブファームウェアのフラッシュ後にNVMEドライブでエラーが発生する問題を修正しました。
- ステータスが"Not Available"であるボリュームの削除中に操作失敗メッセージが表示される問題を修正しました。
- 1TBを超える一部のドライブに関してSSAScriptingが誤ったサイズをレポートする問題を修正しました。これはSSACLIには影響しませんでした。

拡張

- HPE ProLiant Gen10およびGen10 Plusプラットフォーム限定で、Windows Server 2022のサポートを追加しました。
- 最初のパッシブSEDのサポートを追加しました。
- "unchanged"という新しいドライブ書き込みキャッシュ(DWC)ポリシーをアプリケーションに追加しました。
- RAIDボリュームに含まれていない障害発生ドライブを検出してレポートするためのサポートを追加しました。

Smart Storage Administrator Diagnostic Utility (SSADU) CLI for Linux 64ビット

バージョン: 5.20.8.0 **(推奨)**
ファイル名: ssaducli-5.20-8.0.x86_64.compsig; ssaducli-5.20-8.0.x86_64.rpm; ssaducli-5.20-8.0.x86_64.txt

修正

- LEDの"消灯"操作を行うとすべての識別LEDが一瞬点灯する問題を修正しました。
- ドライブファームウェアのフラッシュ後にNVMEドライブでエラーが発生する問題を修正しました。
- ステータスが"Not Available"であるボリュームの削除中に操作失敗メッセージが表示される問題を修正しました。
- 1TBを超える一部のドライブに関してSSAScriptingが誤ったサイズをレポートする問題を修正しました。これはSSACLIには影響しませんでした。

拡張

- 最初のパッシブSEDのサポートを追加しました。
- "unchanged"という新しいドライブ書き込みキャッシュ(DWC)ポリシーをアプリケーションに追加しました。
- RAIDボリュームに含まれていない障害発生ドライブを検出してレポートするためのサポートを追加しました。

Smart Storage Administrator Diagnostic Utility (SSADU) CLI for Windows 64ビット

バージョン: 5.20.8.0 **(推奨)**
ファイル名: cp047064.compsig; cp047064.exe

重要な注意！

Smart Storage Administratorの診断機能のこのスタンドアロンバージョンは、CLIからのみ利用できます。 診断レポートのGUIバージョンは、Smart Storage Administrator(SSA)を使用してください。

修正

- LEDの"消灯"操作を行うとすべての識別LEDが一瞬点灯する問題を修正しました。
- ドライブファームウェアのフラッシュ後にNVMEドライブでエラーが発生する問題を修正しました。
- ステータスが"Not Available"であるボリュームの削除中に操作失敗メッセージが表示される問題を修正しました。
- 1TBを超える一部のドライブに関してSSAScriptingが誤ったサイズをレポートする問題を修正しました。これはSSACLIには影響しませんでした。

拡張

- HPE ProLiant Gen10およびGen10 Plusプラットフォーム限定で、Windows Server 2022のサポートを追加しました。
- 最初のパッシブSEDのサポートを追加しました。
- "unchanged"という新しいドライブ書き込みキャッシュ(DWC)ポリシーをアプリケーションに追加しました。
- RAIDボリュームに含まれていない障害発生ドライブを検出してレポートするためのサポートを追加しました。

VMware 7.0用Smart Storage Administrator (SSA) CLI

バージョン: 5.10.45.0 **(推奨)**
ファイル名: ssacli-component_5.10.45.0-7.0.0_17605318.zip

拡張

HPE SR Gen10 Plusコントローラーのサポートの追加。

VMware 7.0用Smart Storage Administrator (SSA) CLI

バージョン: 5.10.45.1 **(推奨)**
ファイル名: hpessacli-component_5.10.45.1-7.0.0_17771110.zip

拡張

HPE SR Gen10 Plusコントローラーのサポートの追加。

VMware 7.0用Smart Storage Administrator (SSA) CLI

バージョン: 5.20.8.0 **(推奨)**
ファイル名: ssacli-component_5.20.8.0-7.0.0_18528106.zip

修正

- LEDの"消灯"操作を行うとすべての識別LEDが一瞬点灯する問題を修正しました。
- ドライブファームウェアのフラッシュ後にNVMEドライブでエラーが発生する問題を修正しました。
- ステータスが"Not Available"であるボリュームの削除中に操作失敗メッセージが表示される問題を修正しました。
- 1TBを超える一部のドライブに関してSSAScriptingが誤ったサイズをレポートする問題を修正しました。これはSSACLIには影響しませんでした。

拡張

- 最初のパッシブSEDのサポートを追加しました。
- "unchanged"という新しいドライブ書き込みキャッシュ(DWC)ポリシーをアプリケーションに追加しました。
- RAIDボリュームに含まれていない障害発生ドライブを検出してレポートするためのサポートを追加しました。

Windows Server 2012 R2からServer 2019用インテルXeon v3およびXeon v4プロセッサーでのNVMeドライブイジェクトNMIの修正

バージョン: 1.0.5.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp035799.exe

拡張

Windows Server 2019サポート